

**松原市子ども・子育て支援に関する
ニーズ等調査
結果報告書**

**平成 31 年 3 月
松 原 市**

目次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	2
II. 調査結果	3
II-1. 就学前児童調査	3
1 ご家族の構成や保護者の働いている状況	3
2 平日に定期的に利用している施設やサービス	24
3 病気になったときの対応	32
4 平日に定期的に利用したい施設やサービス	38
5 土曜日、日曜日・祝日、長期休業中の定期的な利用希望	42
6 育児休業など、仕事と子育ての両立について	48
7 放課後の過ごし方	66
8 幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用	75
9 地域の子育て支援サービスの利用状況	82
10 市役所などへの要望	90
11 子どもの生活習慣	91
12 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保	93
13 子育てに対する意識	97
II-2. 就学児童調査	103
1 ご家族の構成や保護者の働いている状況	103
2 留守家庭児童会室（学童保育）の利用	118
3 病気になったときの対応や、不定期な一時預かり	140
4 仕事と子育ての両立について	148
5 市役所などへの要望	154
6 子どもの生活習慣	155
7 お子さんの普段の過ごし方	157
8 地域での自然体験などへの参加	159
9 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保	162
10 子育てに対する意識	165
II-3. 妊娠中の方への調査	171
1 あなたやご家族について	171
2 妊娠・出産に関すること	177
3 育児に関する悩みや不安感	181
4 仕事と子育ての両立	186
5 保育所・幼稚園等について	190
6 子育て支援サービス	193
7 市への要望	198
調査票	199

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「第二期松原市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、市内にお住いの就学前のお子さんがおられるご家庭、小学生のお子さんがおられるご家庭、妊娠中の方にアンケート調査を実施し、市民のみなさんが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や、施策に対する意向を把握し、今後の本市における子ども・子育て支援施策の推進のための基礎資料として活用することを目的としています。

2 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
市内在住の就学前のお子さんがおられるご家庭	1,800件 (無作為抽出)	859件	47.7%	平成31年 1月11日～ 1月31日	郵送配布 ・郵送回収
	※前回調査 1,800件	871件	48.4%	平成25年 10月24日～ 11月15日	
市内在住の小学生のお子さんがおられるご家庭	1,000件 (無作為抽出)	401件	40.1%	平成31年 1月11日～ 1月31日	郵送配布 ・郵送回収
	※前回調査 1,000件	502件	50.2%	平成25年 10月24日～ 11月15日	
市内在住の妊娠中の方	200件	29件	14.5%	平成31年 1月11日～ 1月31日	母子健康手帳 交付時等での 手渡しによる 配布・郵送回 収
	※前回調査 200件	144件	72.0%	平成25年 10月24日～ 平成26年 2月28日	

※前回調査…平成25年実施「次世代育成支援に関するニーズ等調査」

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
- MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - 3 LA % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - 2 LA % (2 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
- これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

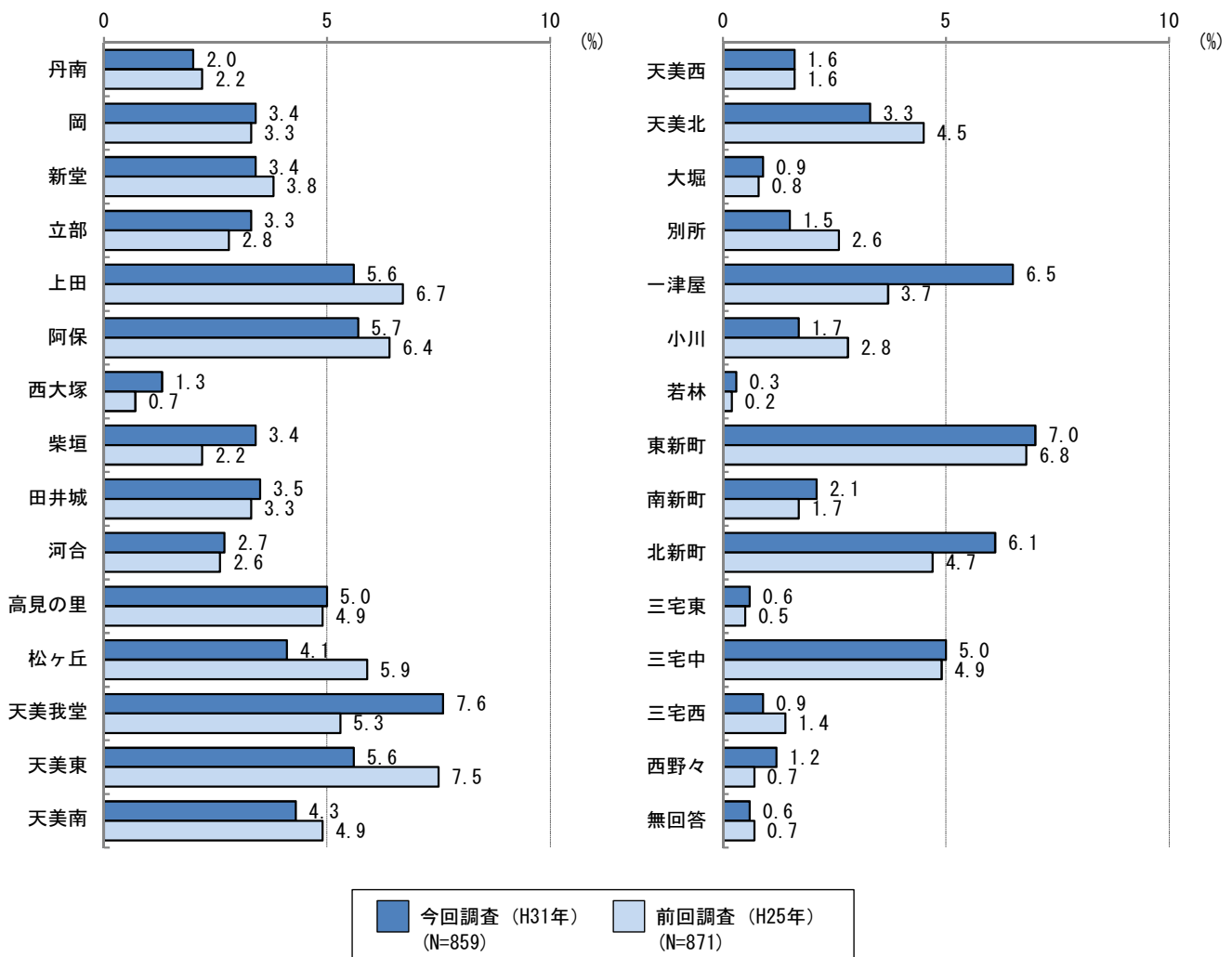
Ⅱ. 調査結果

Ⅱ-1. 就学前児童調査

1 ご家族の構成や保護者の働いている状況

〔1〕居住地区

問1 お住まいの地区（町名・丁目まで）を記入してください。

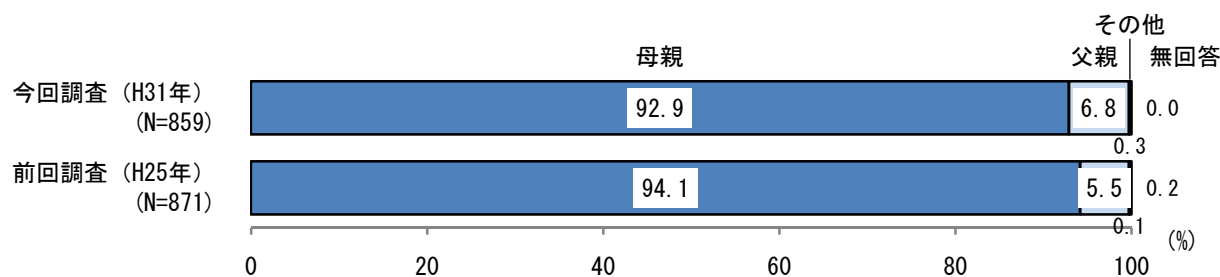


回答者のお住まいの地区は、「天美我堂」（7.6%）が最も多く、次いで、「東新町」（7.0%）、「一津屋」（6.5%）、「北新町」（6.1%）となっています。

II-1. 就学前児童調査

〔2〕 回答者

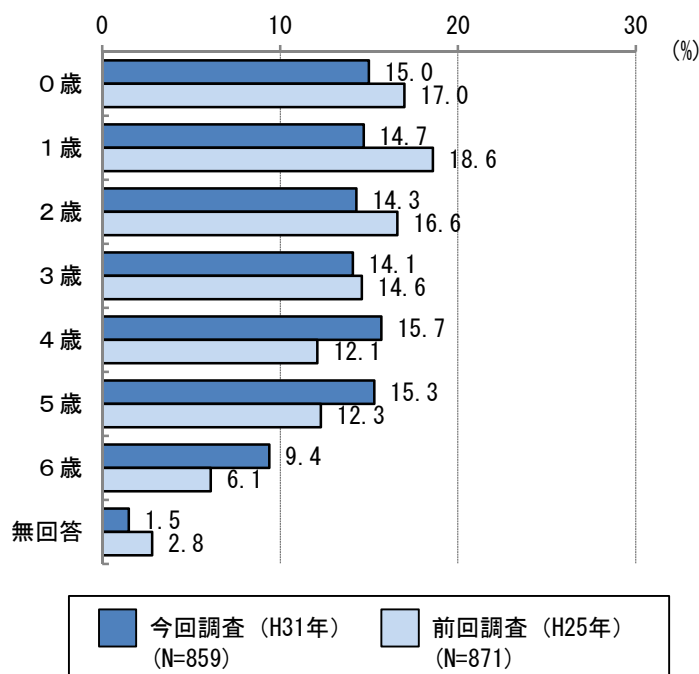
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



調査票の回答者は、「母親」が92.9%、「父親」が6.8%となっています。

〔3〕 子どもの年齢

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月日について、枠内に数字を入れてください。

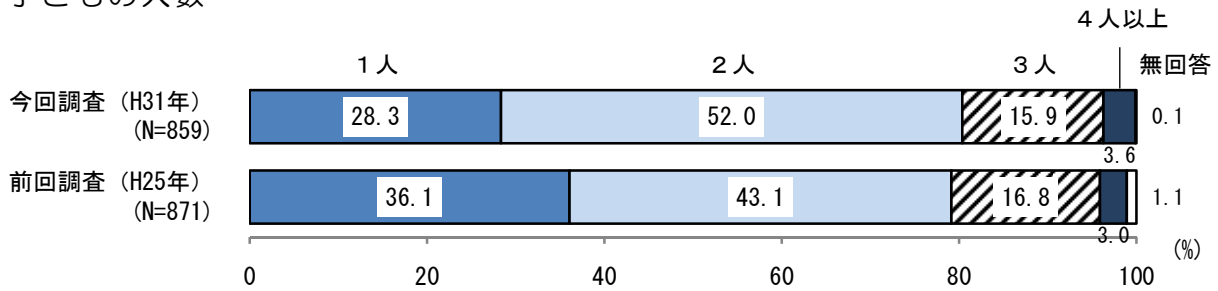


対象の子どもの年齢（平成31年1月時点での年齢）は、「4歳」（15.7%）が最も多く、次いで、「5歳」（15.3%）、「0歳」（15.0%）となっています。

〔4〕子どもの人数

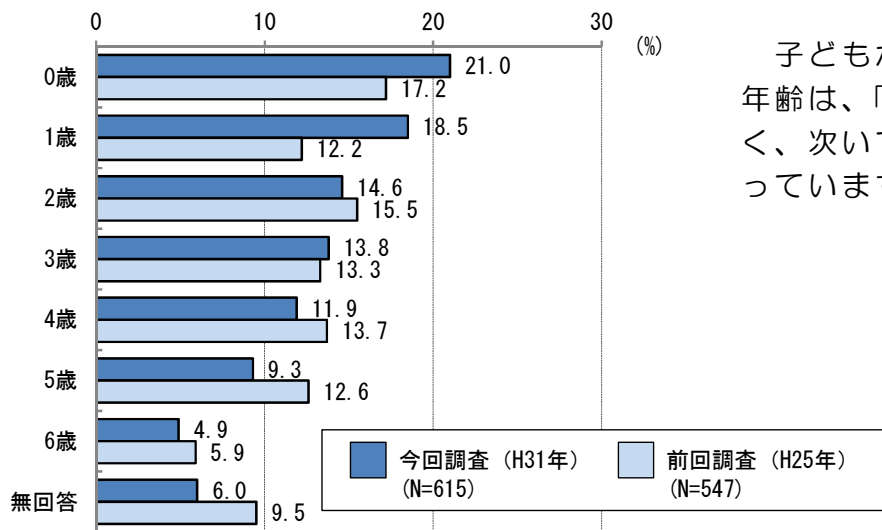
問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。

■子どもの人数



子どもの人数は「2人」が52.0%と最も多く、次いで、「1人」が28.3%、「3人」が15.9%で、前回調査に比べて、「2人」が8.9ポイント増加しています。

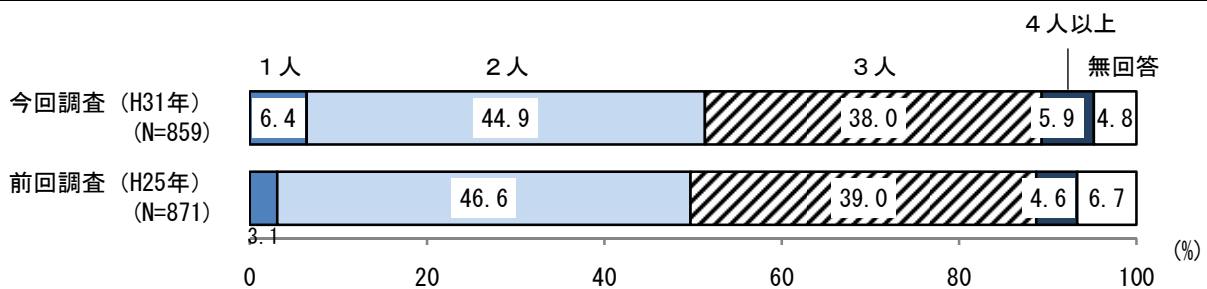
■末子の年齢



子どもが2人以上の場合の末子の年齢は、「0歳」が21.0%と最も多く、次いで、「1歳」が18.5%となっています。

〔5〕希望する子どもの数

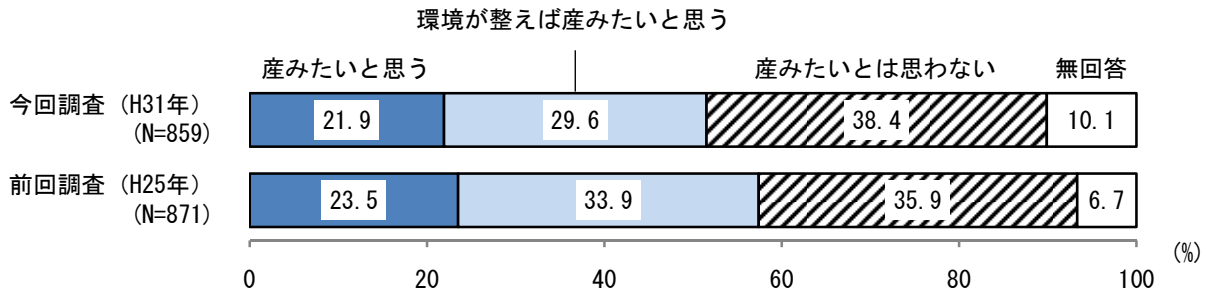
問5 希望として、子どもは何人ほしいですか。



希望する子どもの人数は、「2人」が44.9%と最も多く、次いで、「3人」が38.0%となっています。

〔6〕 もう1人以上の子どもを産みたいか

問6 もう1人以上の子どもを産みたいと思いますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

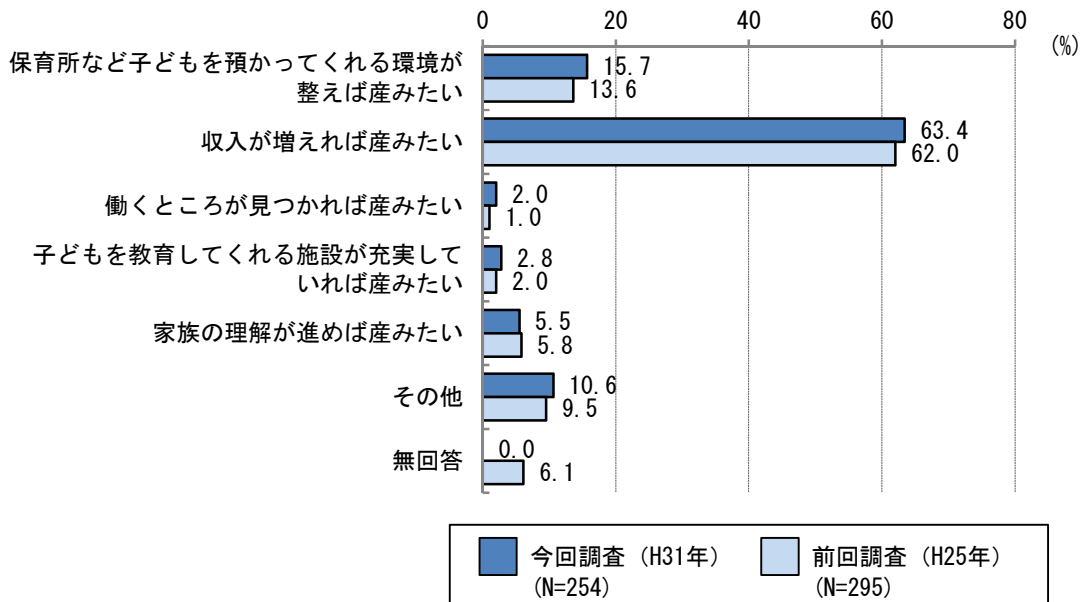


もう1人以上の子どもを「産みたいと思う」人は 21.9%、「環境が整えば産みたいと思う」が 29.6%で、産みたいと思う人は合計 51.5%となっており、前回調査に比べて5.9ポイント減少しています。

〔7〕 もう1人以上の子どもを産みたいと思う環境

問6で「環境が整えば産みたいと思う」を選ばれた方のみ

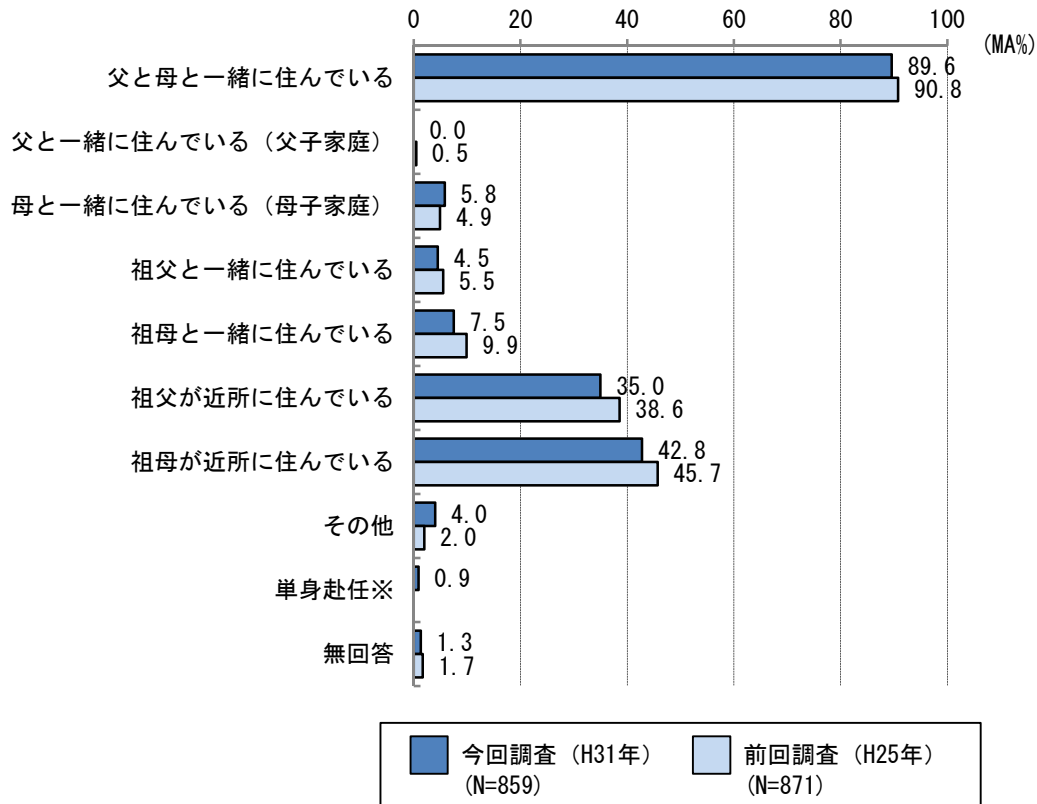
問6-1 どのような環境が整えばもう1人以上の子どもを産みたいと思いますか。
もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



もう1人以上の子どもについて、「環境が整えば産みたいと思う」とお答えの方に、どのような環境が整えば産みたいと思うかをたずねたところ、「収入が増えれば産みたい」が63.4%と最も多くなっています。

〔8〕同居・近居の状況

問7 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

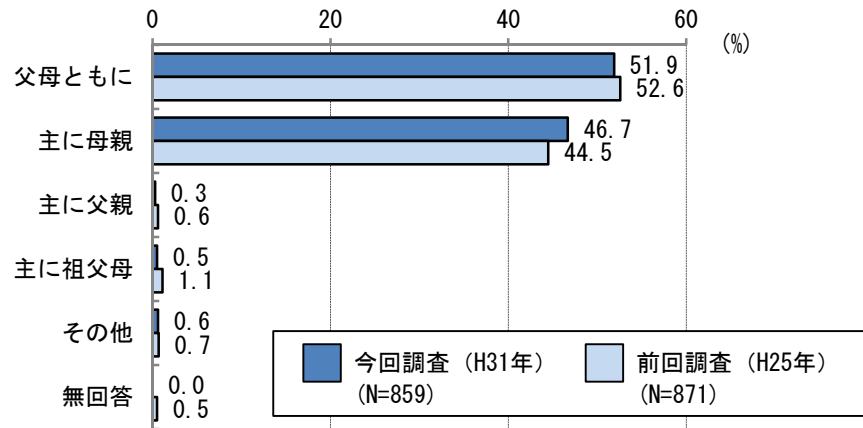


※「単身赴任」は前回調査では選択肢なし

子どもと同居・近居する家族については、「父と母と一緒に住んでいる」が 89.6%と最も多く、次いで、「祖母が近所に住んでいる」が 42.8%、「祖父が近所に住んでいる」が 35.0%となっています。

〔9〕子育ての主体

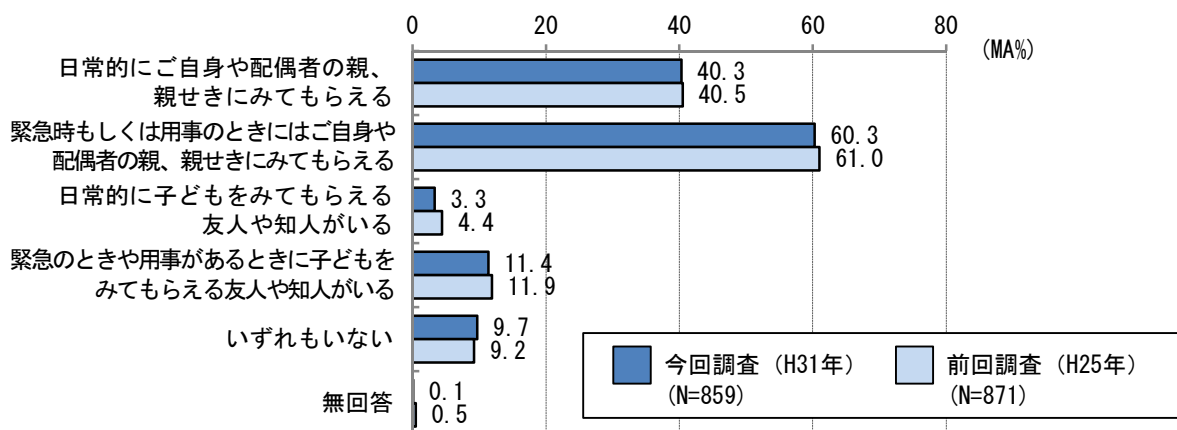
問8 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。



子育てや教育を主に行っているのは、「父母ともに」が51.9%と最も多く、次いで、「主に母親」が46.7%となっています。

〔10〕子どもをみてくれる人の有無

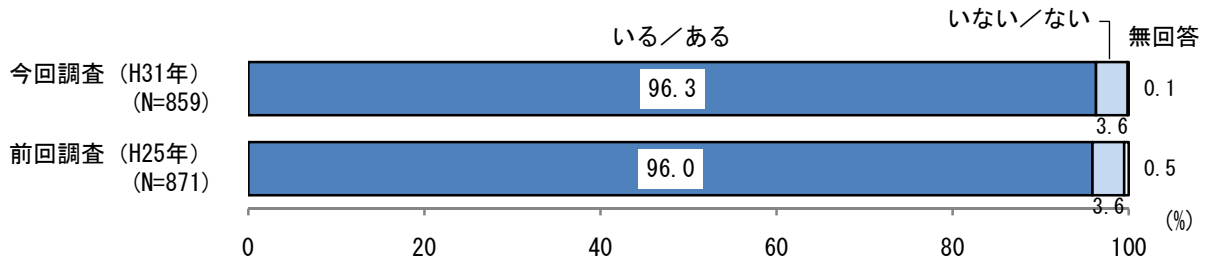
問9 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



日頃、子どもの面倒をみてくれる人の有無については、「緊急時もしくは用事ときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が60.3%と最も多く、次いで、「日常のご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が40.3%となっています。

〔11〕 子育てや教育についての相談先

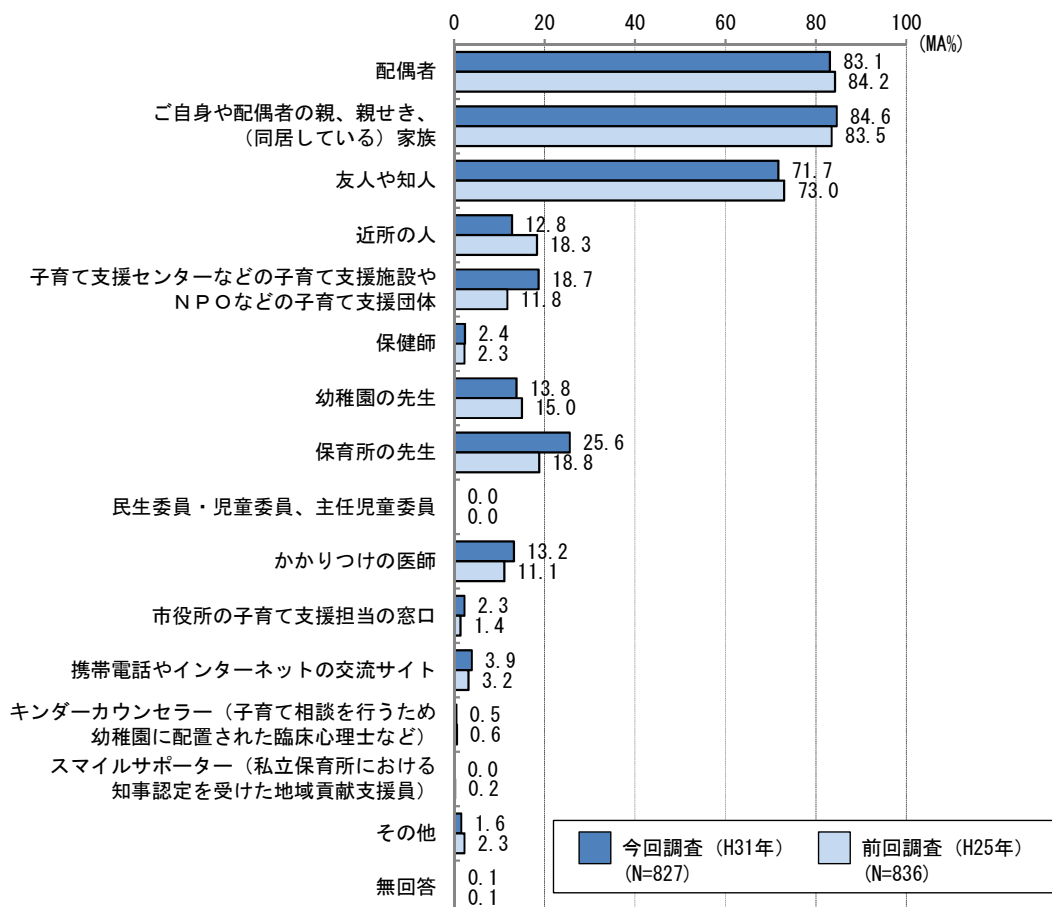
問10 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育てや教育について気軽に相談できる人や場所が「いる／ある」人は96.3%となっています。

問10で「いる／ある」を選ばれた方のみ

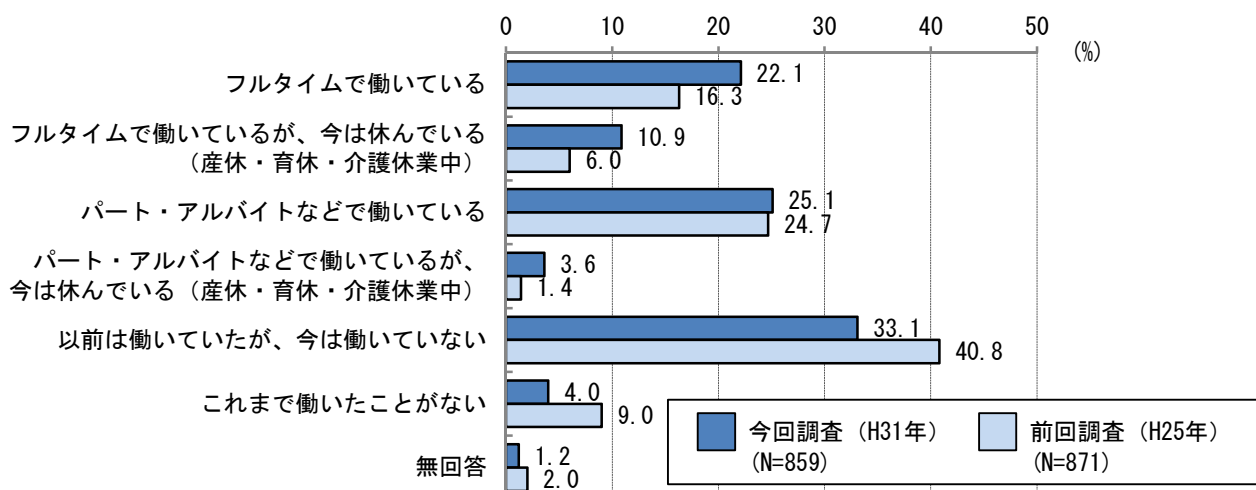
問10-1 気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



子育てや教育についての相談先は、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」が84.6%と最も多く、次いで、「配偶者」が83.1%、「友人や知人」が71.7%となっています。

〔12〕 母親の就労状況

問12 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

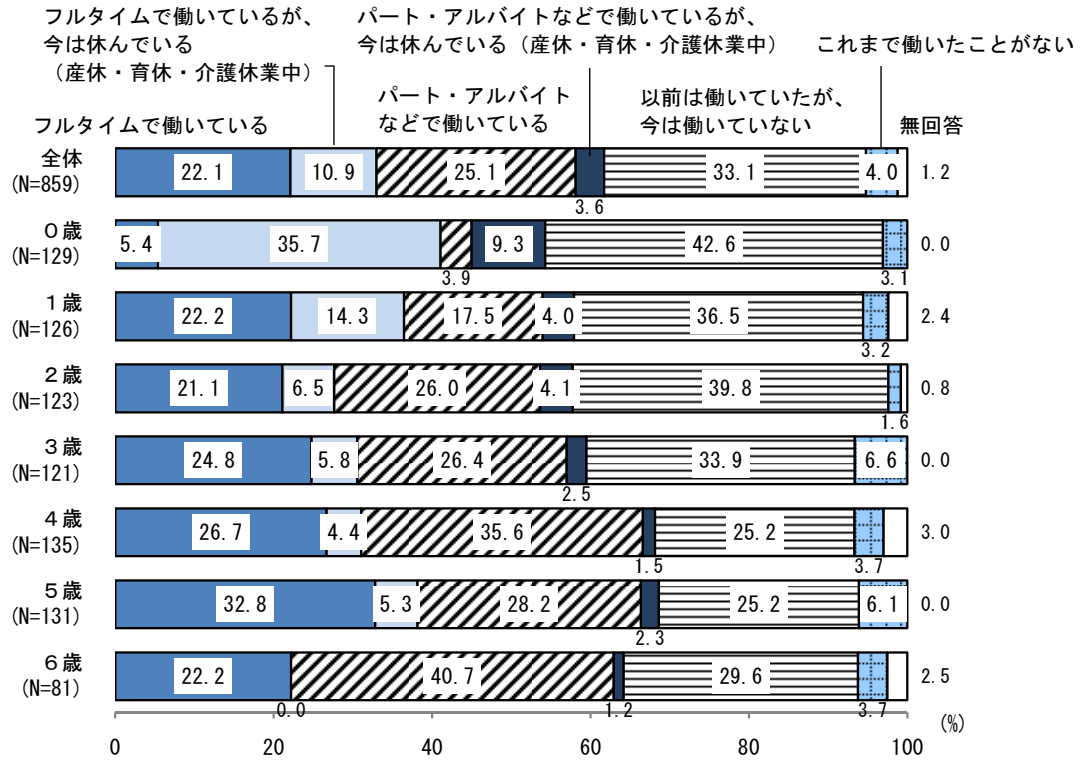


※「フルタイム」… 1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」… 「フルタイム」以外の就労

母親の就労状況は、「以前は働いていたが、今は働いていない」が33.1%と最も多く、次いで、「パート・アルバイトなどで働いている」が25.1%、「フルタイムで働いている」が22.1%で、前回調査に比べて、「フルタイムで働いている」が5.8ポイント増加し、「以前は働いていたが、今は働いていない」が7.7ポイント、「これまで働いたことがない」が5.0ポイント減少しています。

就労している母親の合計（産休・育休・介護休業中を含む）は61.7%と、前回調査時（48.4%）に比べて13.3ポイント増加しています。

【年齢別 母親の就労状況】



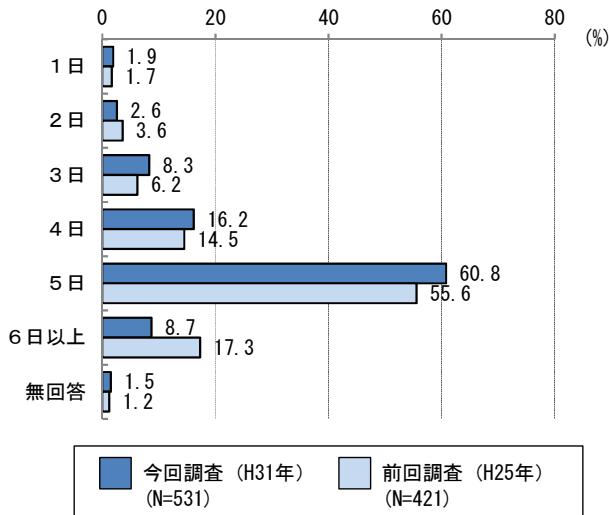
年齢別にみると、就労している母親の合計は、年齢が上がるにつれて増えていき、「5歳」(68.6%)、「4歳」(68.2%)で多くなっています。フルタイムの合計は「0歳」(41.1%)、「5歳」(38.1%)で多く、パート・アルバイトなどの合計は「6歳」(41.9%)で多くなっています。

〔13〕 母親の就労日数・就労時間

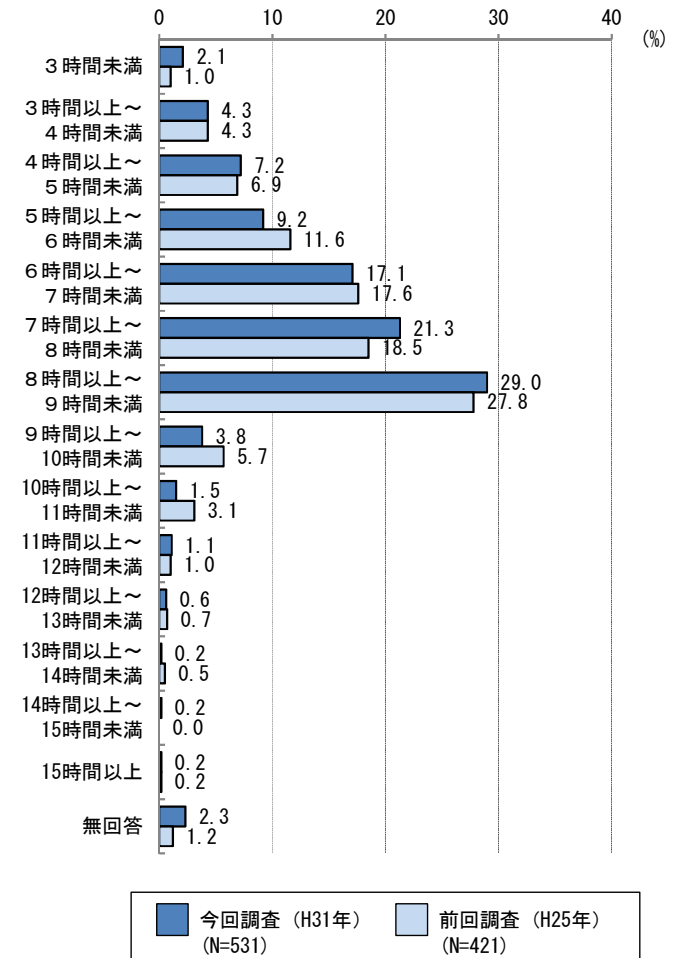
問12で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問12-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。
 不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
 今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間



「就労している」母親の、1週あたりの就労日数は、「5日」(60.8%)が最も多くなっています。1日当たりの就労時間は、「8時間以上～9時間未満」(29.0%)が最も多く、次いで、「7時間以上～8時間未満」(21.3%)となっています。

〔14〕 母親の家を出る時間・帰宅時間

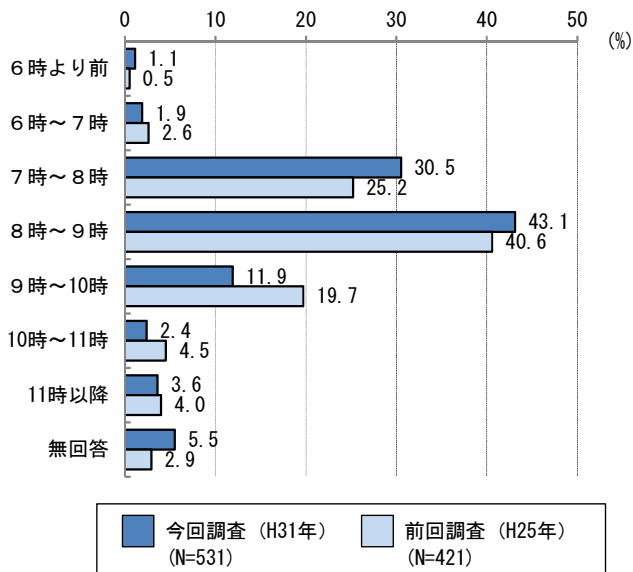
問12で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問12-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

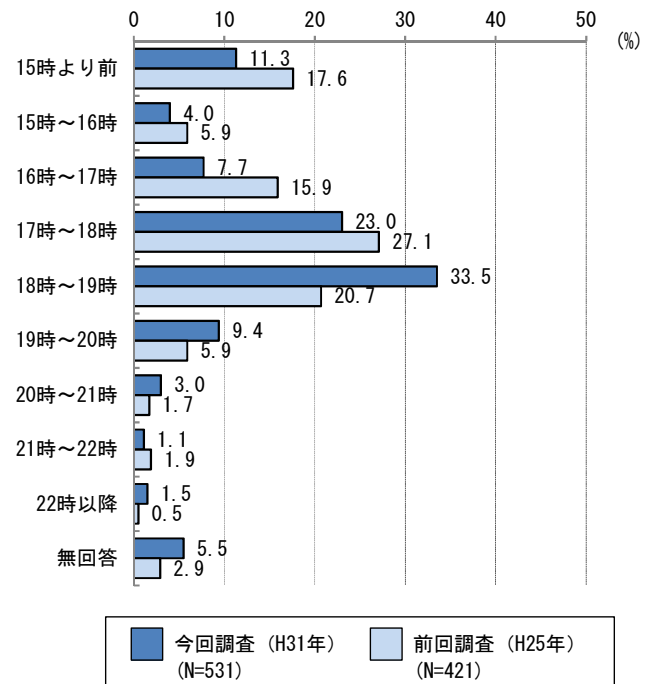
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず(18:00)のように、24時間制でお答えください。

■ 家を出る時間



■ 帰宅時間

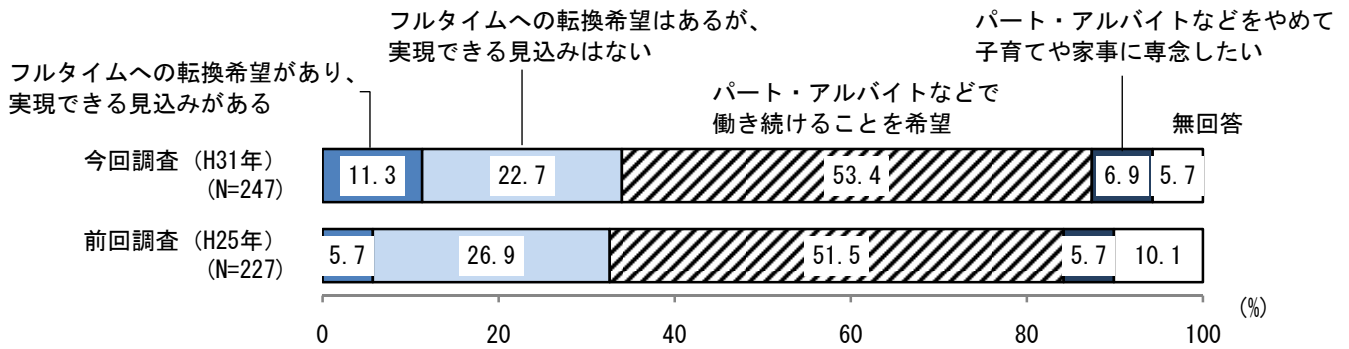


「就労している」母親の家を出る時間は、「8時～9時」(43.1%)が最も多く、次いで、「7時～8時」(30.5%)となっています。帰宅時間は、「18時～19時」(33.5%)が最も多く、次いで、「17時～18時」(23.0%)となっています。

〔15〕 母親のフルタイムへの転換希望

問12で「3」または「4」（パート・アルバイトなどで就労）を選ばれた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。
 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



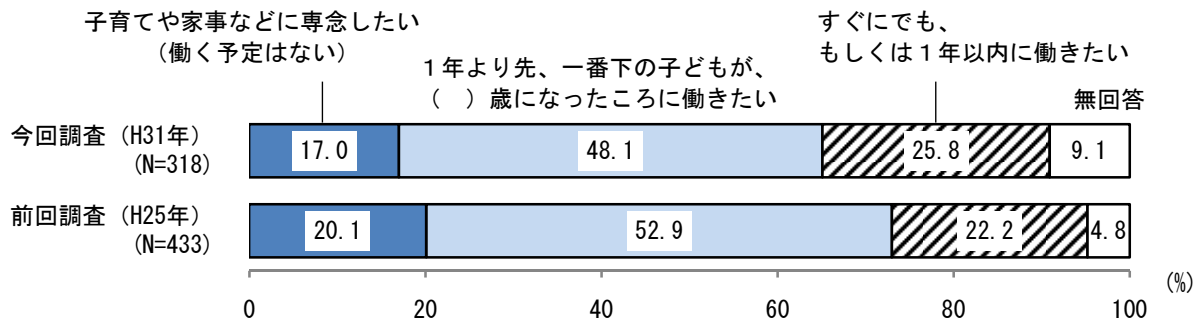
「パート・アルバイトなどで就労している」母親の、フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 53.4%と最も多くなっています。「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は 11.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は 22.7%で、「フルタイムへの転換希望がある」人は合計 34.0%となっています。

〔16〕 働いていない母親の就労希望

問12で「5」または「6」（就労していない）を選ばれた方のみ

問14 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2」または「3」（働きたい）を選ばれた方は、枠内に具体的な数字を入れてください。

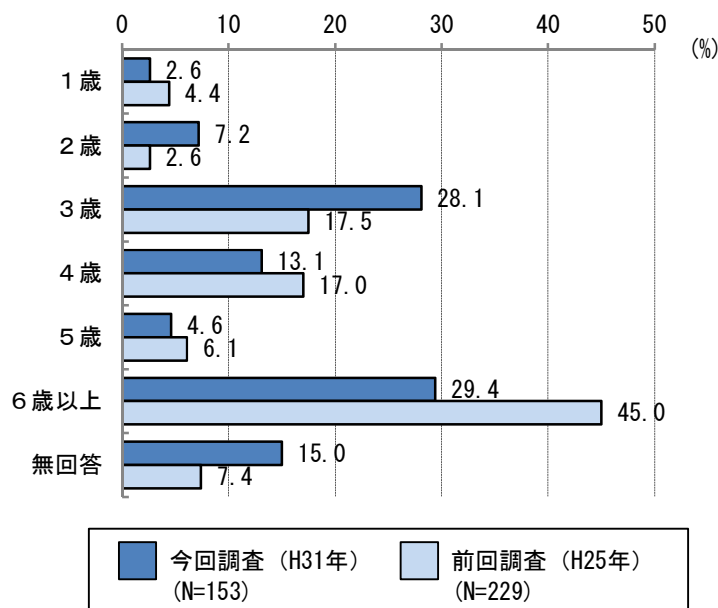
■ 就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」母親の就労の希望は、「1年より先、子どもが()歳になったころに働きたい」が48.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が25.8%で、就労希望者は合計73.9%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに働きたい」とお答えの方のみ

■ 就労を考える子どもの年齢

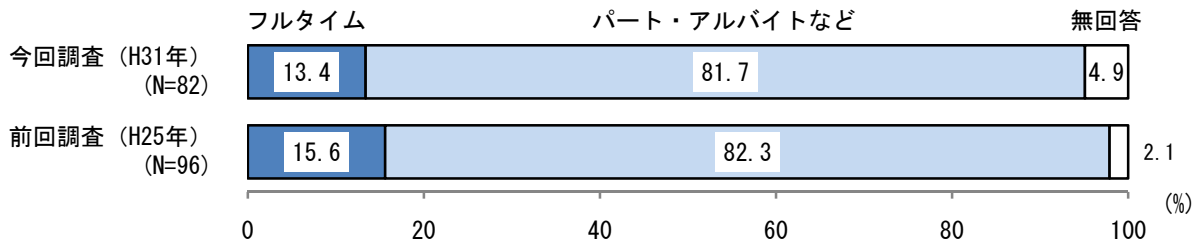


「1年より先に働きたい」母親が就労を考える子どもの年齢は、「6歳以上」が29.4%と最も多く、次いで、「3歳」が28.1%となっています。前回調査に比べて、「3歳」は10.6ポイント増加し、「6歳以上」は15.6ポイント減少しています。

II-1. 就学前児童調査

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

■ 希望する就労形態

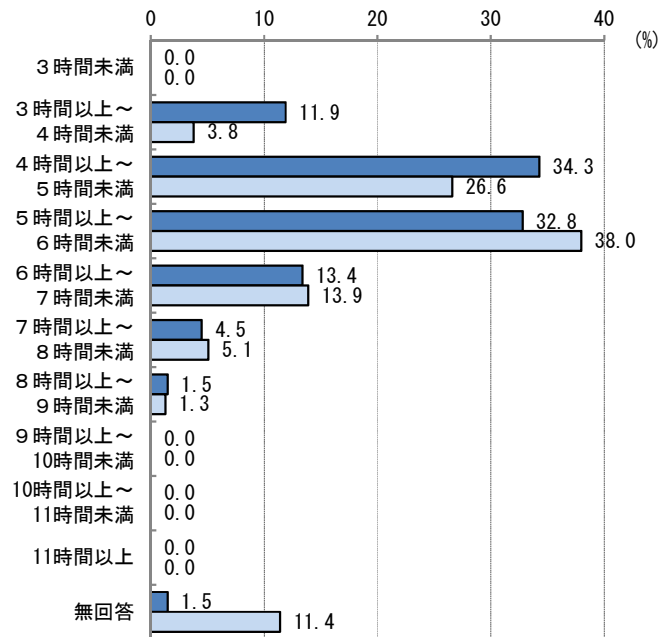
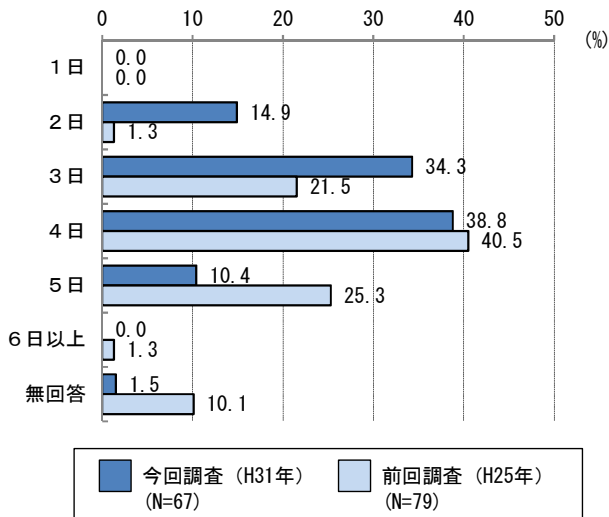


「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」母親の希望の就労形態は、「フルタイム」が13.4%、「パート・アルバイトなど」が81.7%となっています。

「パート・アルバイトなど」での就労を希望する方のみ

■ 1週あたりの希望就労日数

■ 1日あたりの希望就労時間

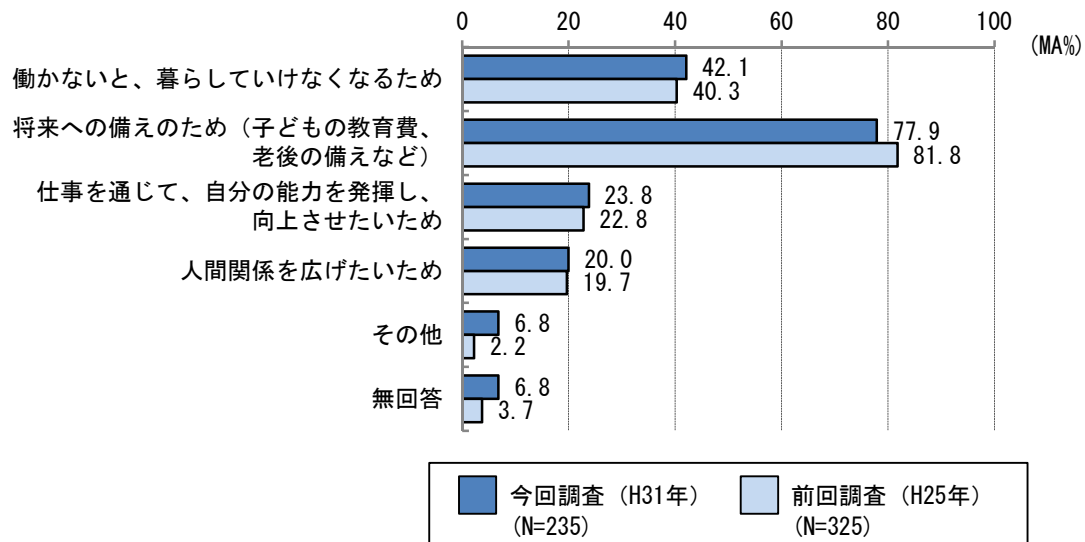


パート・アルバイトなどでの就労を希望する母親の、1週あたりの希望就労日数は、「4日」(38.8%)が最も多く、次いで、「3日」(34.3%)となっています。1日あたりの希望就労時間は、「4時間以上～5時間未満」(34.3%)が最も多く、次いで、「5時間以上～6時間未満」(32.8%)となっています。

〔17〕 働いていない母親が働きたい理由

問14で「2」または「3」（就労希望あり）を選ばれた方のみ

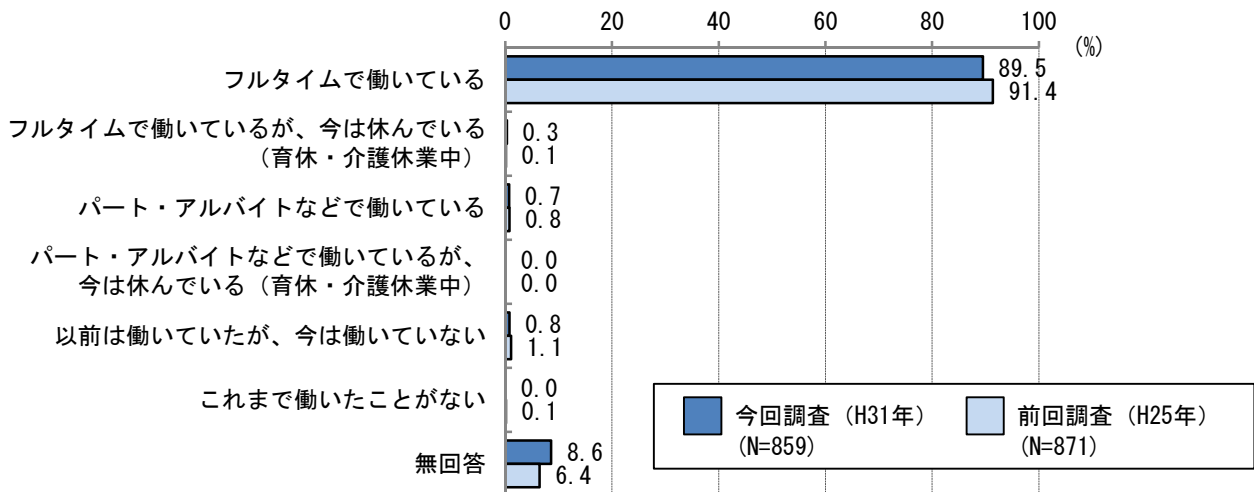
問14-1 働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



現在働いていない方で、就労希望のある母親の働きたい理由は、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が77.9%と最も多く、次いで、「働かないと、暮らしていけなくなるため」が42.1%となっています。

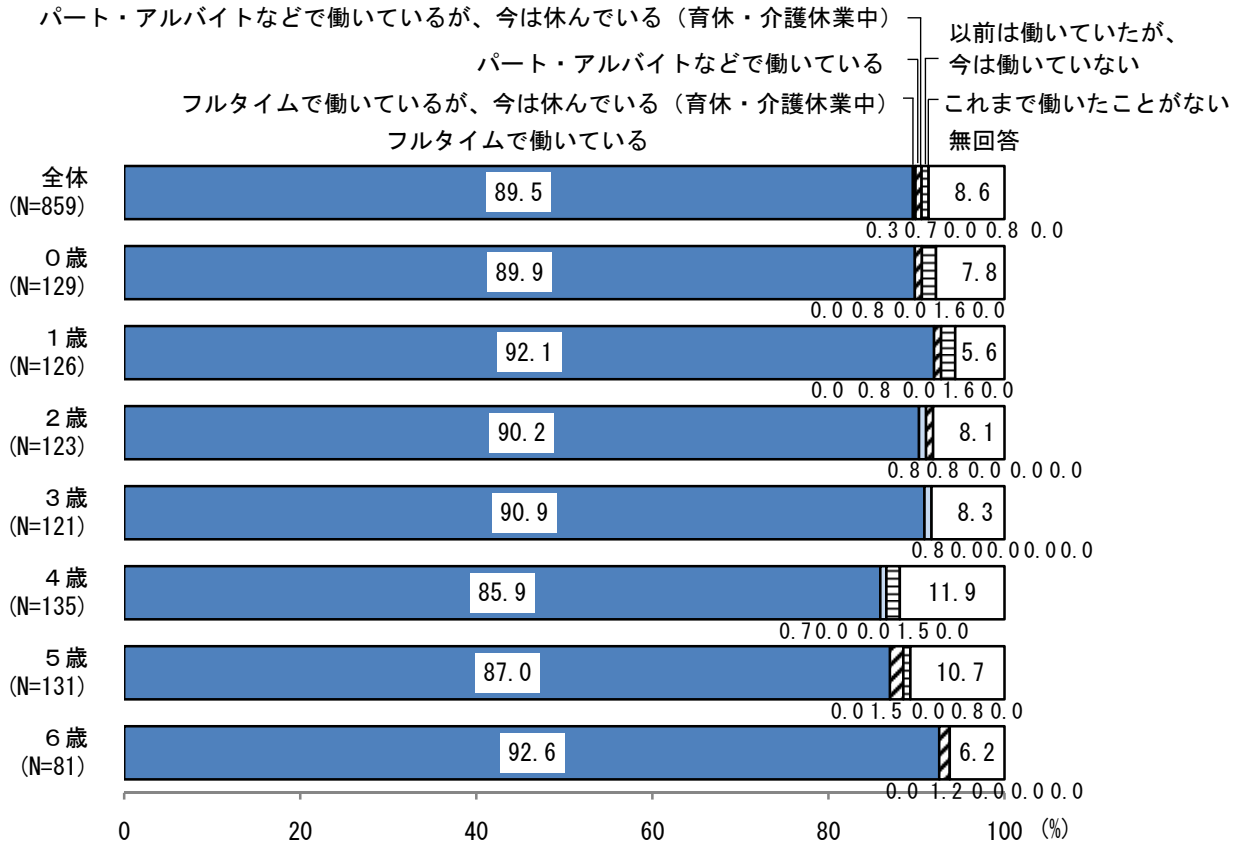
〔18〕 父親の就労状況

問15 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が89.5%となっています。

【年齢別 父親の就労状況】



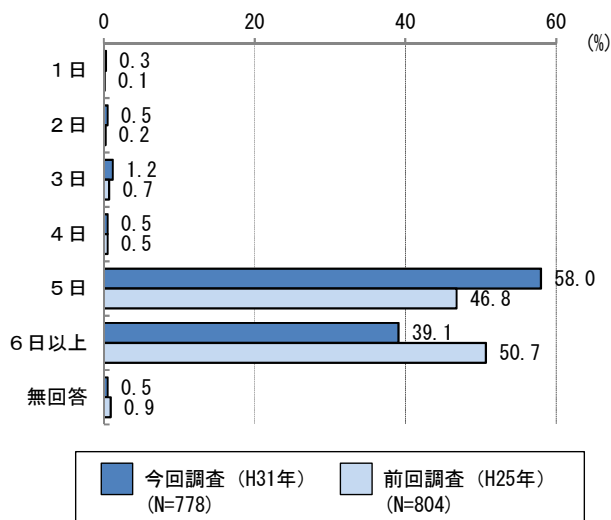
年齢別にみると、「フルタイムで働いている」が、すべての年齢で9割前後となっています。

〔19〕 父親の就労日数・就労時間

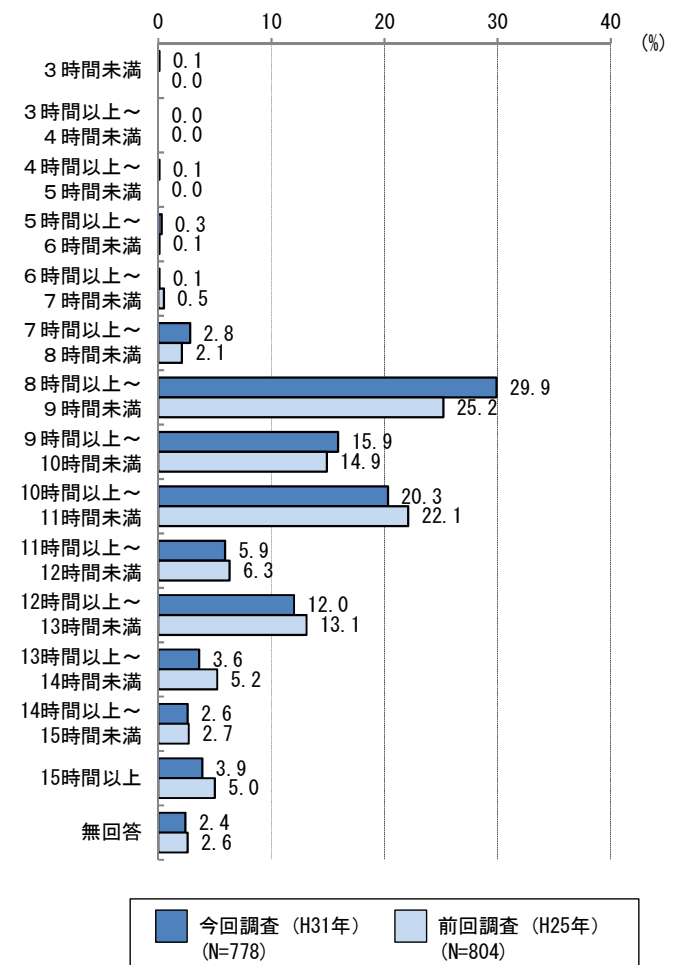
問15で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問15-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。
不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間



「就労している」父親の1週あたりの就労日数は、「5日」(58.0%)が最も多く、次いで、「6日以上」(39.1%)となっています。1日当たりの就労時間は、「8時間以上～9時間未満」(29.9%)が最も多く、次いで、「10時間以上～11時間未満」(20.3%)となっています。

〔20〕 父親の家を出る時間・帰宅時間

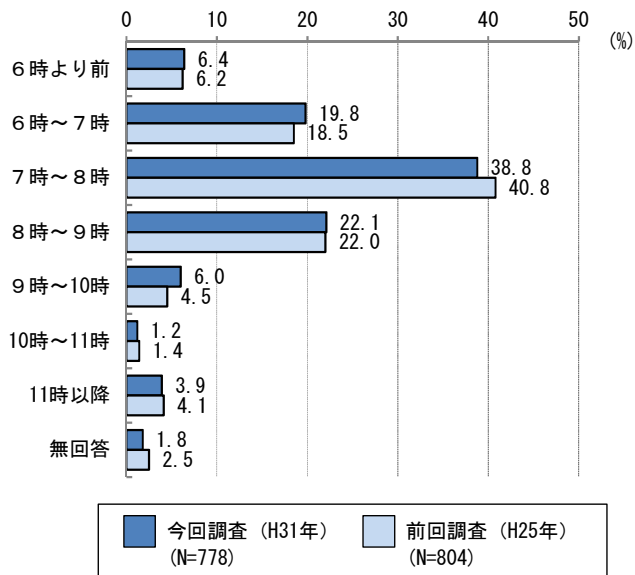
問15で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問15-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

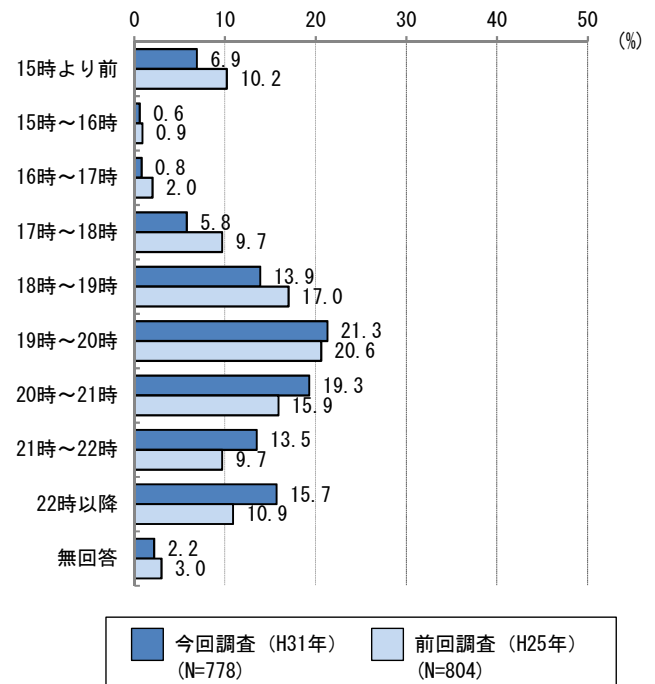
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず(18:00)のように、24時間制でお答えください。

■ 家を出る時間



■ 帰宅時間

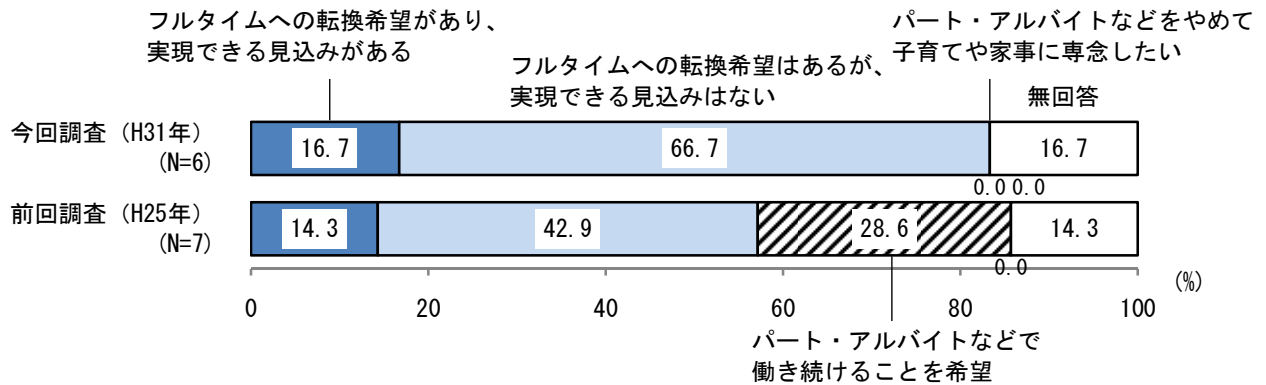


「就労している」父親の家を出る時間は、「7時～8時」(38.8%)が最も多く、次いで、「8時～9時」(22.1%)、「6時～7時」(19.8%)となっています。帰宅時間は、「19時～20時」(21.3%)が最も多く、次いで、「20時～21時」(19.3%)となっています。

〔21〕 父親のフルタイムへの転換希望

問15で「3」または「4」（パート・アルバイトなどで就労）を選ばれた方のみ

問16 フルタイムへの転換希望はありますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



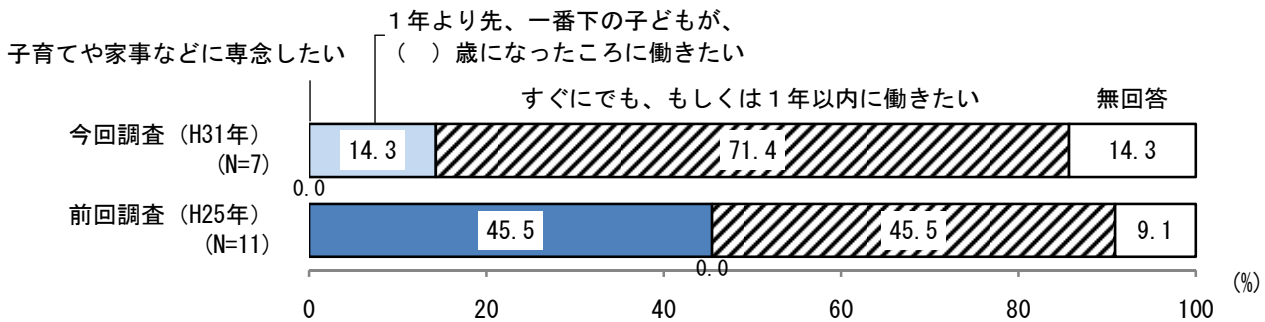
「パート・アルバイト等で就労している」父親の、フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 66.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 16.7%で、「フルタイムへの転換希望がある」人は合計 83.4%となっています。

〔22〕 働いていない父親の就労希望

問15で「5」または「6」（就労していない）を選ばれた方のみ

問17 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2」または「3」（働きたい）を選ばれた方は、枠内に具体的な数字を入れてください。

■ 就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」父親の就労の希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が71.4%と最も多く、次いで、「1年より先、子どもが()歳になったころに働きたい」が14.3%で、就労希望者は合計85.7%となっています。

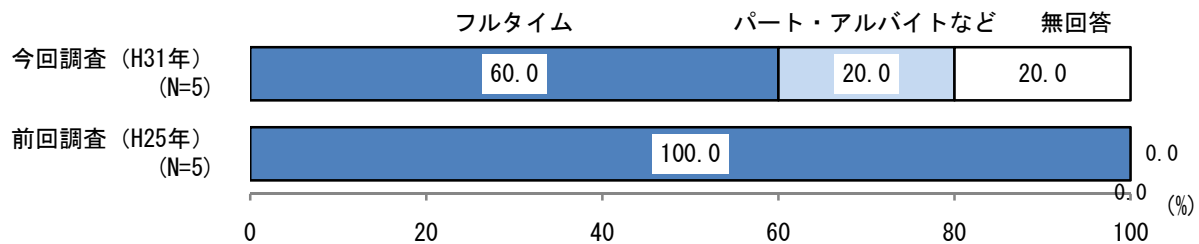
「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに働きたい」とお答えの方のみ

■ 就労を考える子どもの年齢

→ 「6歳以上」が1名となっています。

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

■ 希望する就労形態



「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」父親の希望の就労形態は、「フルタイム」が60.0%、「パート・アルバイトなど」が20.0%となっています。

「パート・アルバイトなど」での就労を希望する方のみ

■ 1週あたりの希望就労日数

→ 「5日」が1名となっています。

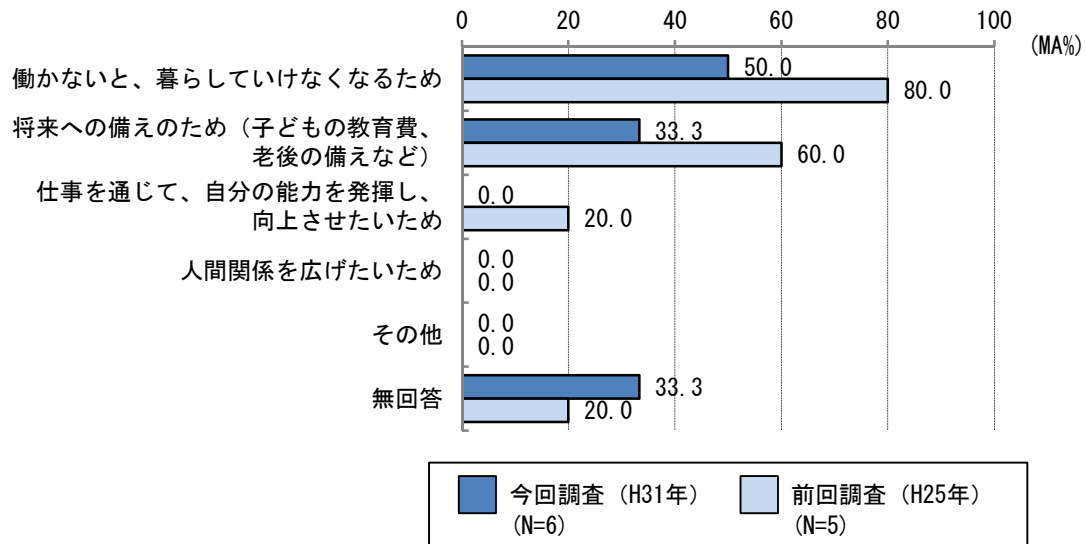
■ 1日あたりの希望就労時間

→ 「6時間以上～7時間未満」が1名となっています。

〔23〕 働いていない父親が働きたい理由

問17で「2」または「3」（就労希望あり）を選ばれた方のみ

問17-1 働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



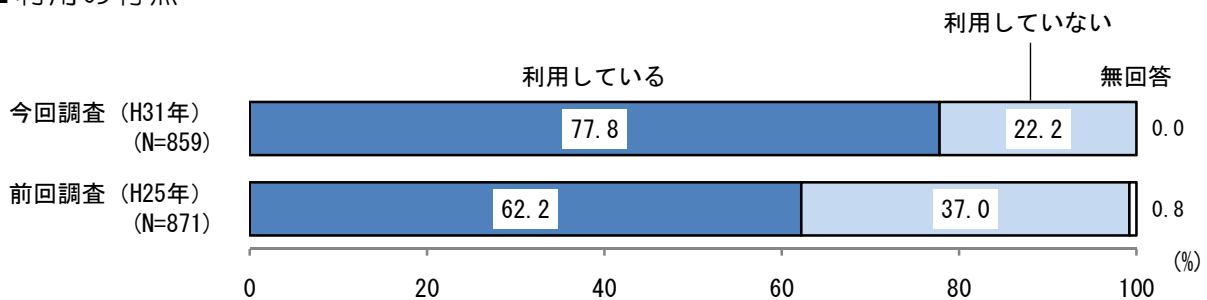
現在働いていない方で、就労希望のある父親の働きたい理由は、「働かないと、暮らしていけなくなるため」が 50.0%と最も多く、次いで、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が 33.3%となっています。

2 平日に定期的に利用している施設やサービス

〔1〕幼稚園・保育所などの施設やサービスの平日の定期的な利用

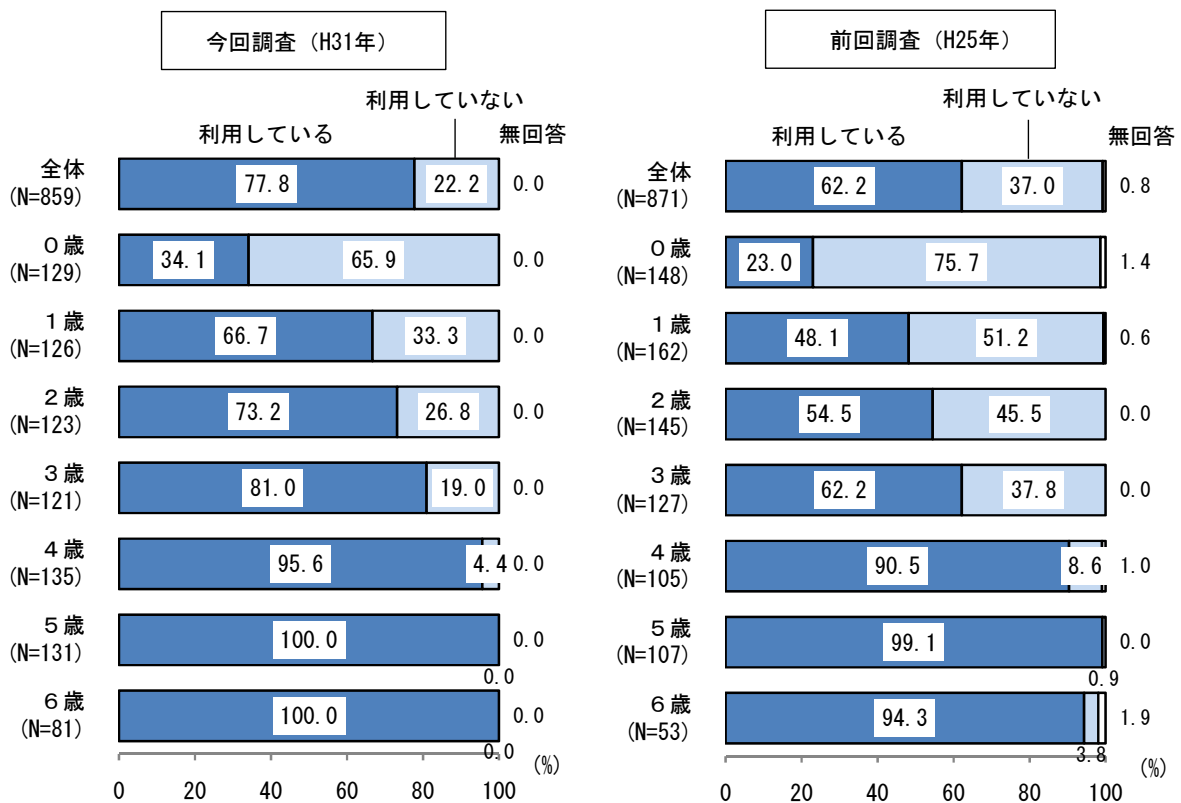
問18 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に利用していますか。利用の有無について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 利用している場合は、利用している施設やサービスについて、「ア」～「コ」のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

■ 利用の有無



平日に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用している」人は77.8%で、前回調査に比べて、15.6ポイント増加しています。

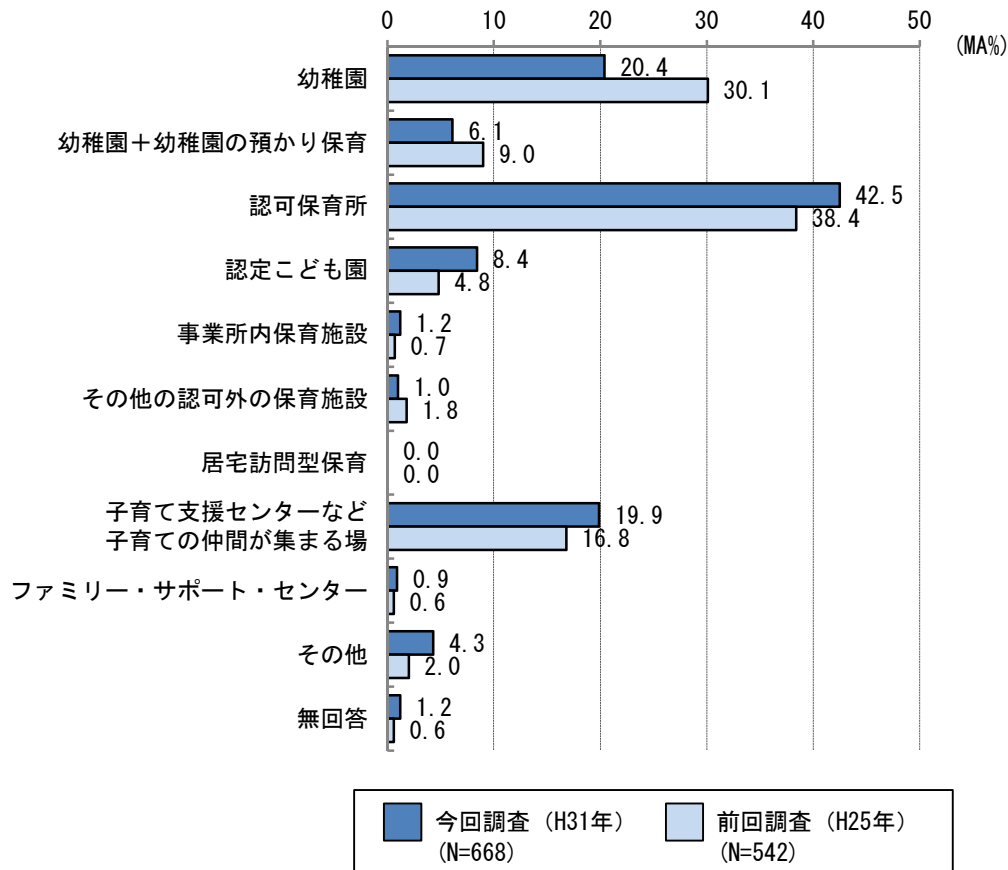
【年齢別 幼稚園や保育所などの施設やサービスの平日の定期的な利用】



年齢別にみると、「利用している」は「0歳」で34.1%、「1歳」では66.7%と、年齢があがるごとに増えていき、4歳以上では9割を超えています。

平日に幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用している」方のみ

■ 利用している施設やサービス



※各施設やサービスの内容については以下のとおり

幼稚園…通常の就園時間だけ利用

幼稚園+幼稚園の預かり保育…通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている

認可保育所…市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園

認定こども園…施設の中に幼稚園と保育所がある施設

事業所内保育施設…会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設

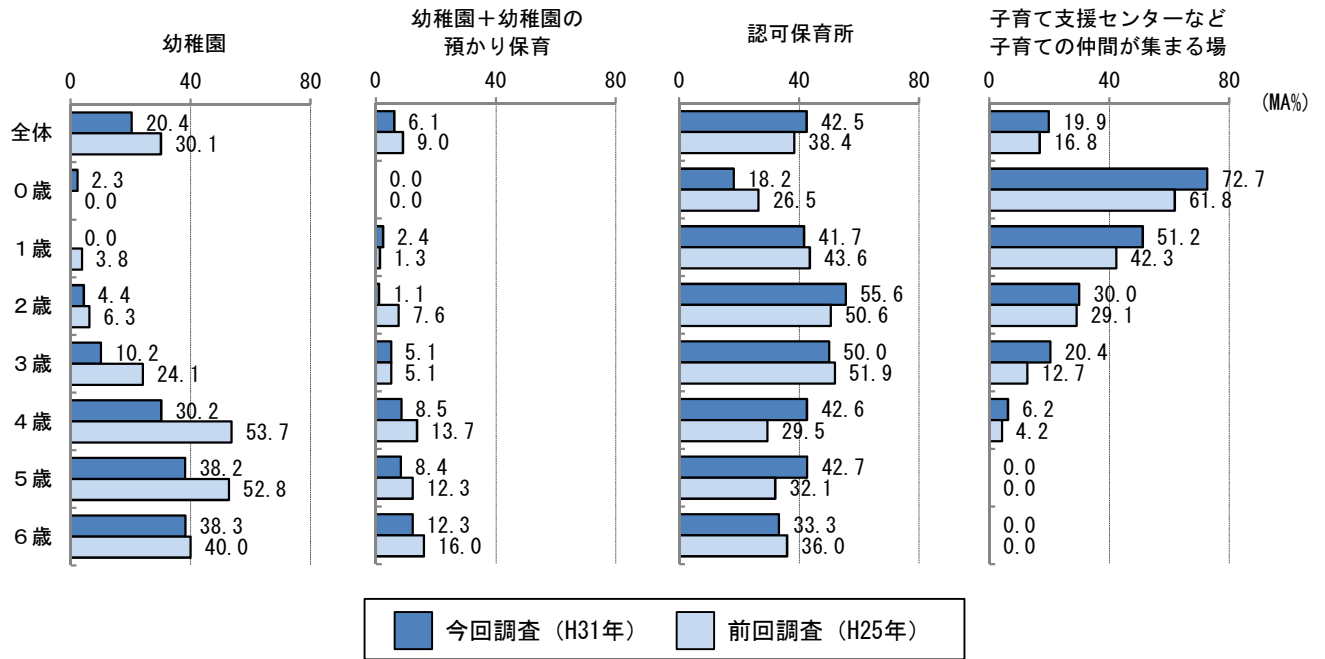
居宅訪問型保育…ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてるサービス

ファミリー・サポート・センター…市役所に登録している近所の人が子どもをみてるサービス

平日に定期的に利用している施設やサービスは、「認可保育所」が 42.5%と最も多く、次いで、「幼稚園」が 20.4%、「子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場」が 19.9%となっています。前回調査に比べて、「認可保育所」が 4.1 ポイント、「認定こども園」が 3.6 ポイント増加し、「幼稚園」が 9.7 ポイント減少しています。

II-1. 就学前児童調査

【年齢別 利用している施設やサービス】

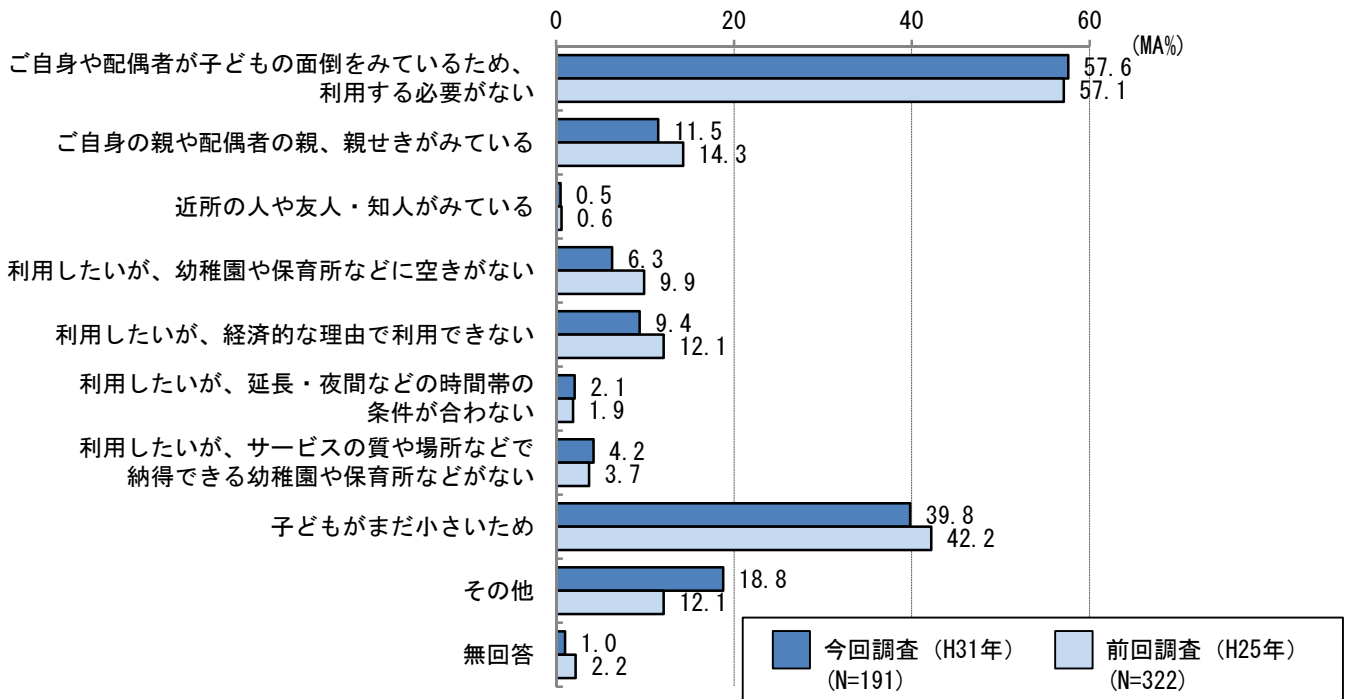


平日に定期的に利用している施設やサービスのうち、「幼稚園」「幼稚園+幼稚園の預かり保育」「認可保育所」「子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場」について年齢別にみると、「0歳」「1歳」は「子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場」、「2歳」から「5歳」は「認可保育所」、「6歳」は「幼稚園」の利用が多くなっています。

〔2〕 平日に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由

問18で「利用していない」を選ばれた方のみ

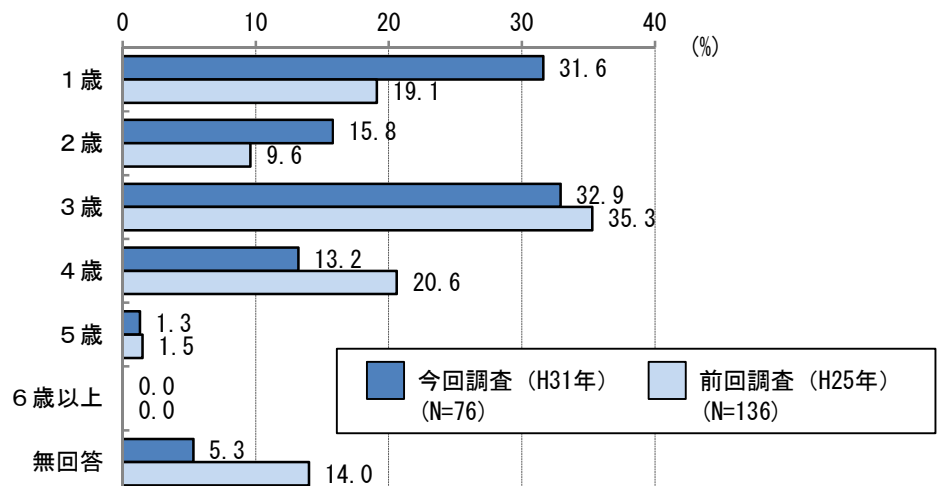
問18-1 幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。



平日に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用していない」理由は、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が57.6%と最も多く、次いで、「子どもがまだ小さいため」が39.8%となっています。

「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」方のみ

■ 利用を考える子どもの年齢



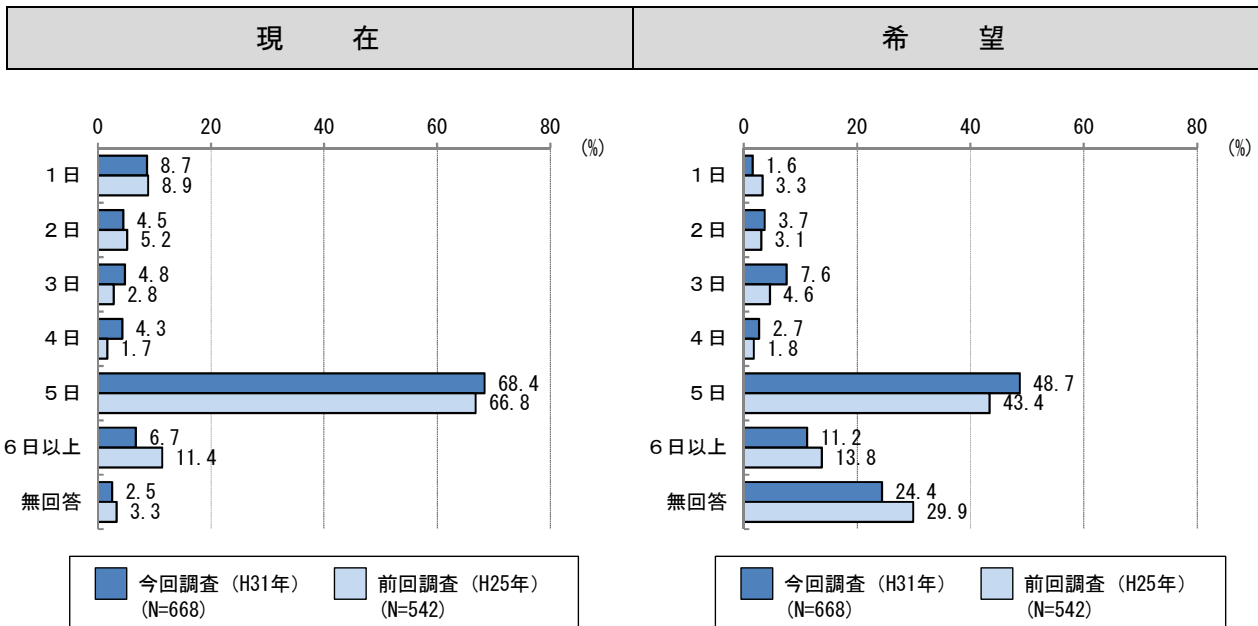
「利用していない」理由が「子どもがまだ小さいため」の方が、利用を考える子どもの年齢は、「3歳」が32.9%と最も多く、次いで、「1歳」が31.6%で、前回調査に比べて、「1歳」は12.5ポイント増加し、「4歳」は7.4ポイント減少しています。

〔3〕 平日に定期的に利用している施設やサービスの利用状況

問18で「利用している」を選ばれた方のみ

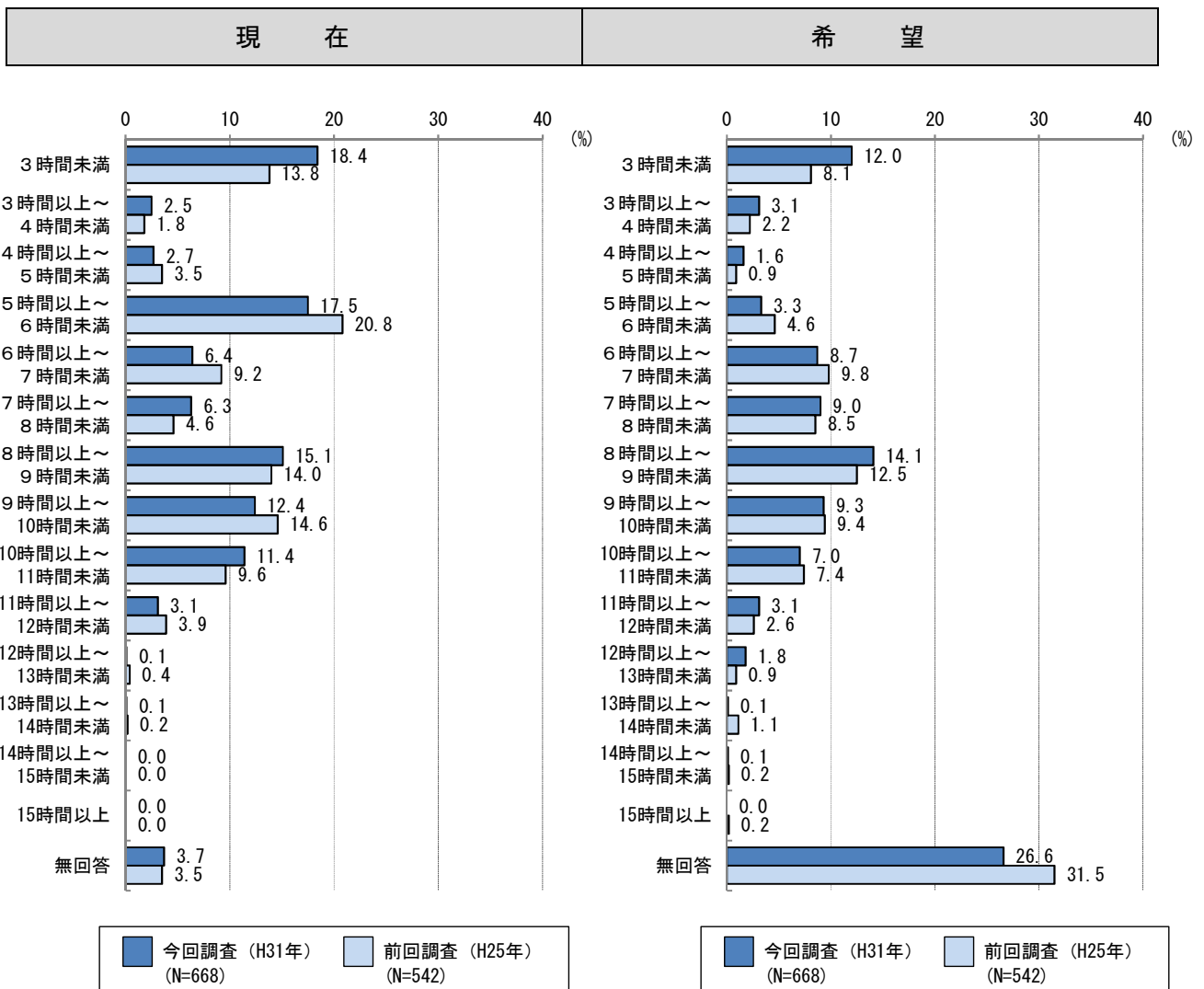
問18-2 あなたが現在利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。

■ 1週あたりの利用日数



平日に定期的に利用している施設やサービスの、現在の1週あたりの利用日数は「5日」（68.4%）が最も多く、希望の利用日数も「5日」（48.7%）が最も多くなっています。

■ 1日あたりの利用時間



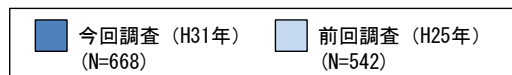
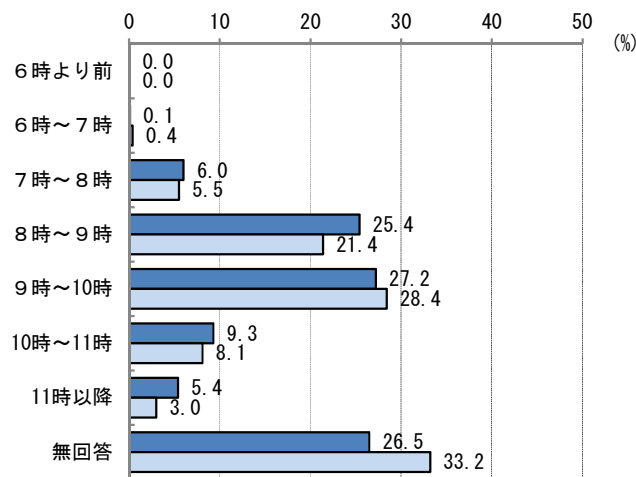
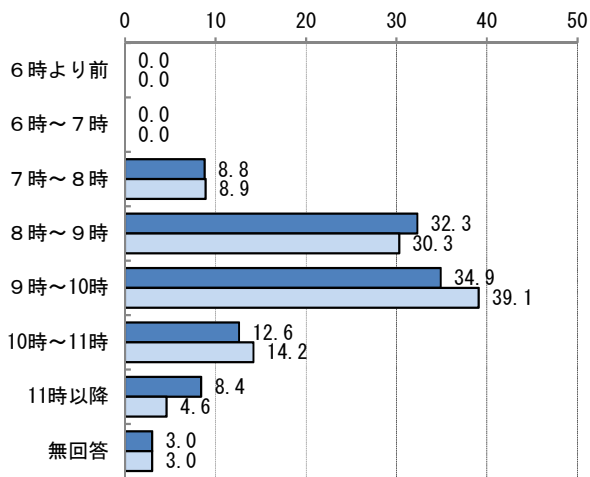
現在の1日あたりの利用時間は「3時間未満」(18.4%)が最も多く、次いで、「5時間以上～6時間未満」(17.5%)となっています。希望の利用時間は「8時間以上～9時間未満」(14.1%)が最も多く、次いで、「3時間未満」(12.0%)となっています。

II-1. 就学前児童調査

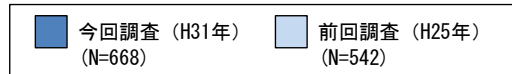
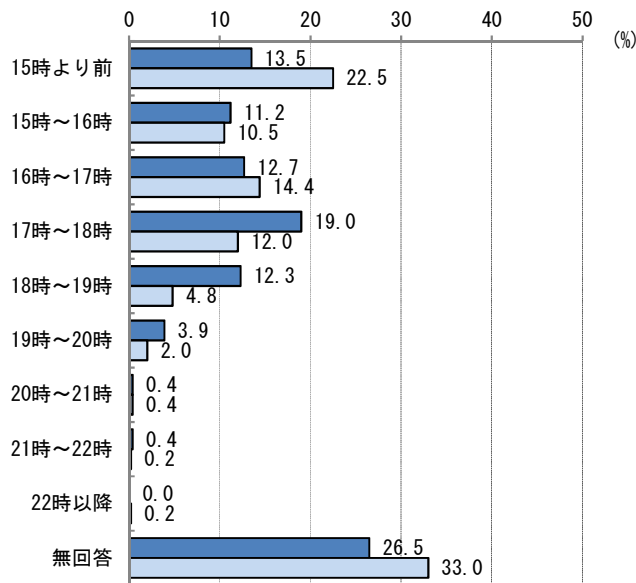
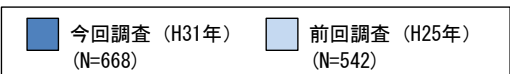
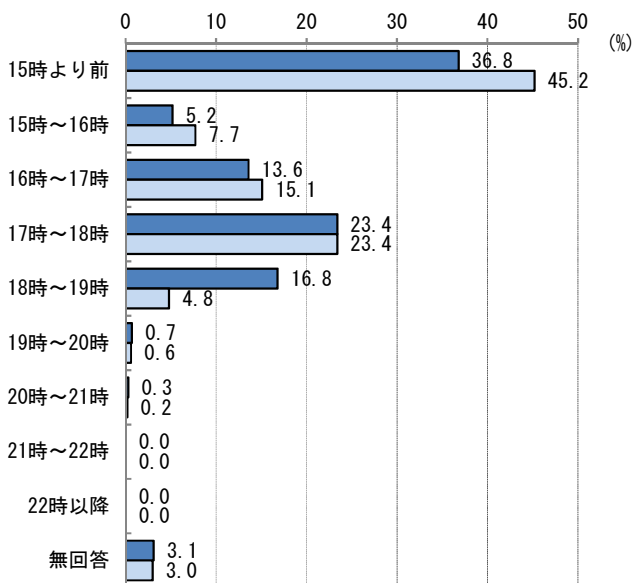
■ 利用時間帯

	現 在	希 望
--	-----	-----

(利用開始時間)



(利用終了時間)



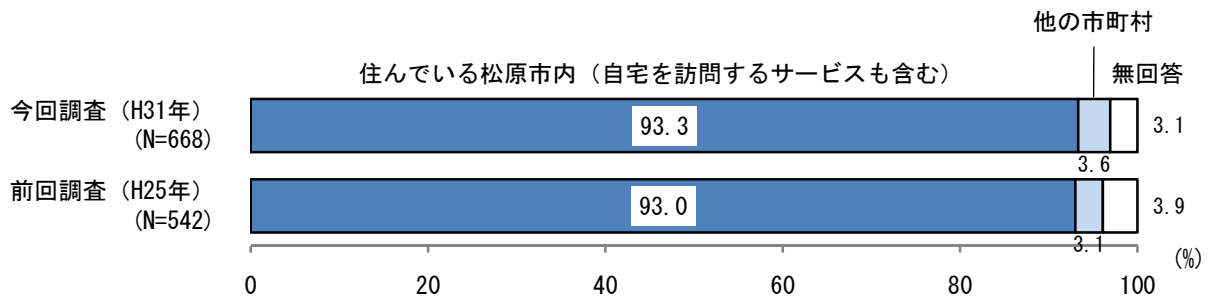
現在の利用開始時間は「9時～10時」(34.9%)が最も多く、次いで、「8時～9時」(32.3%)となっています。希望の開始時間も「9時～10時」(27.2%)が最も多く、次いで、「8時～9時」(25.4%)となっています。

現在の利用終了時間は「15時より前」(36.8%)が最も多く、次いで、「17時～18時」(23.4%)となっています。希望の終了時間は「17時～18時」(19.0%)が最も多くなっています。

〔4〕平日に定期的に利用している施設の場所

問18で「利用している」を選ばれた方のみ

問18-3 現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「他の市町村」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

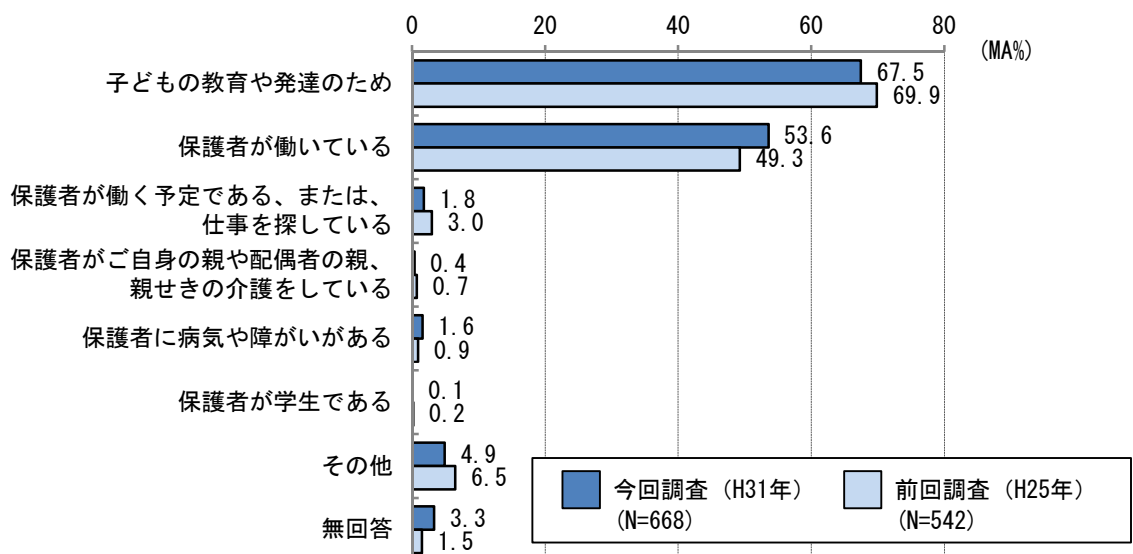


平日に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用している」方が、利用している施設の場所は、「住んでいる松原市内（自宅を訪問するサービスも含む）」が93.3%となっています。

〔5〕平日に幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に利用している理由

問18で「利用している」を選ばれた方のみ

問18-4 幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用されている理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



平日に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用している」理由は、「子どもの教育や発達のため」が67.5%と最も多く、次いで、「保護者が働いている」が53.6%となっています。

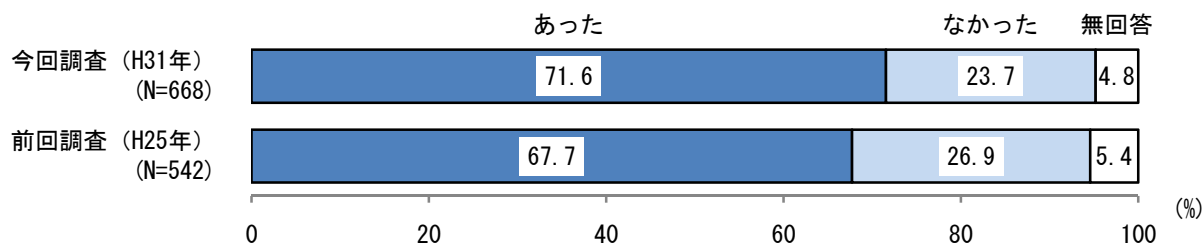
3 病気になったときの対応

〔 平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している方のみ 〕

〔 1 〕 病気やけがで幼稚園・保育所などを欠席したこと

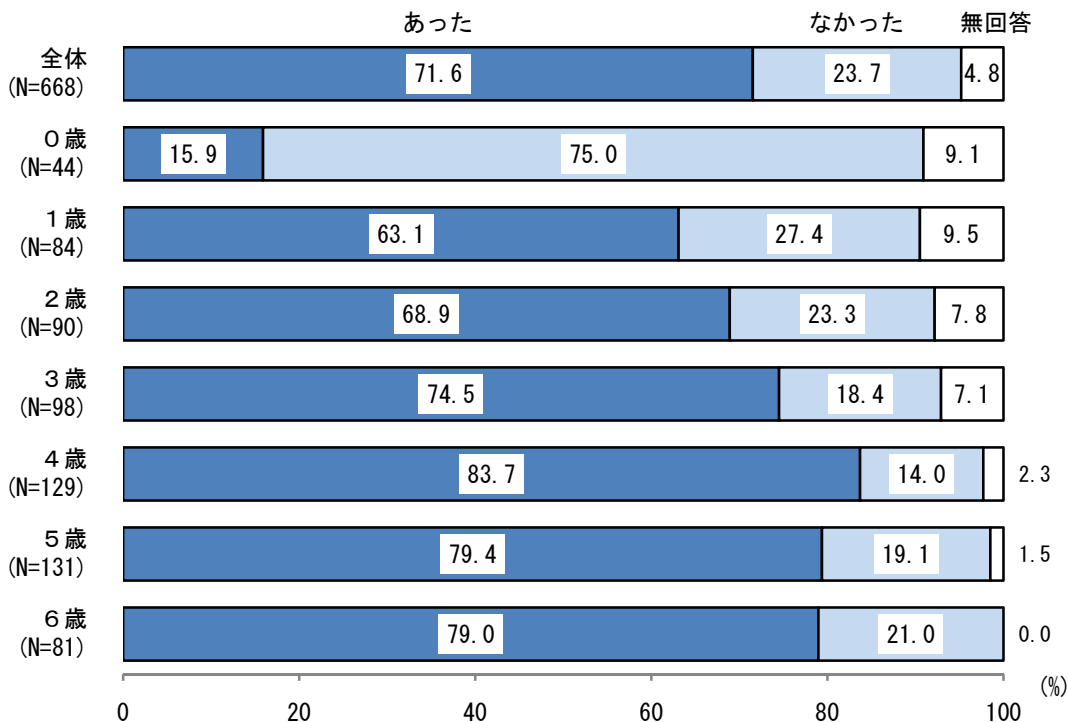
問18 で「利用している」を選んだ方のみ

問19 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



平日に、定期的に幼稚園や保育所などを「利用している」方で、この1年間に、子どもの病気やけがで利用できなかったことが「あった」人は71.6%となっています。

【年齢別 この1年間に幼稚園・保育所などを欠席したこと】



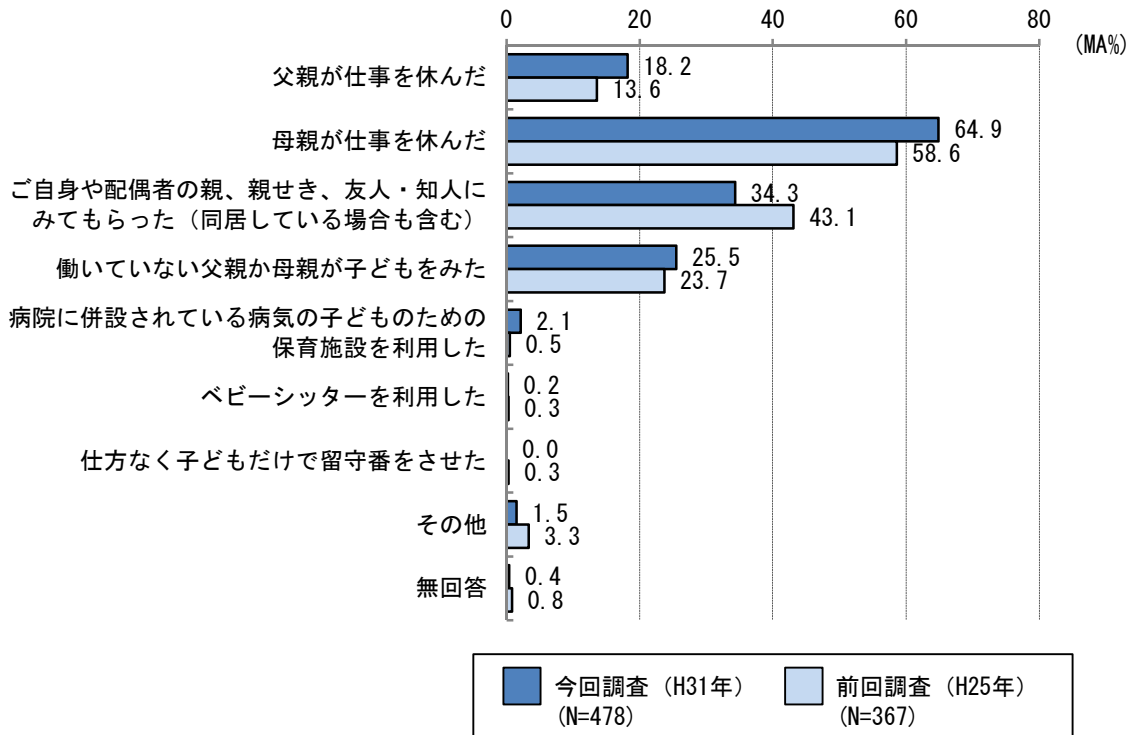
年齢別にみると、「あった」人は「0歳」では15.9%と少なく、「1歳」で63.1%に増加したあと、2歳以上は7割弱～8割強となっています。

〔2〕 病気やけがの際の対処方法

問19で「あった」を選ばれた方のみ

問19-1 この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

■ 対処の方法



この1年間に、子どもの病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったときの対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が64.9%と最も多く、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が34.3%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が25.5%となっています。

前回調査に比べて、「母親が仕事を休んだ」は6.3ポイント、「父親が仕事を休んだ」は4.6ポイント増加し、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」は8.8ポイント減少しています。

II-1. 就学前児童調査

■ 対処した日数

	N	(%)								平均 (日)
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 以上	無 回 答		
父親が仕事を休んだ日数	87	16.1	26.4	12.6	4.6	13.8	16.1	10.3	4.9	
母親が仕事を休んだ日数	310	6.1	9.0	8.1	4.2	11.3	45.2	16.1	9.6	
ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に みてもらった日数	164	7.3	17.7	14.6	2.4	18.3	28.7	11.0	5.8	
働いていない父親か母親が子どもをみた日数	122	3.3	18.0	6.6	1.6	9.8	45.9	14.8	9.7	
病院に併設されている病気の子どものための 保育施設を利用した日数	10	30.0	20.0	20.0	0	10.0	20.0	0	3.8	
ベビーシッターを利用した日数	1	0	0	100.0	0	0	0	0	3.0	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他日数	7	0	42.9	0	0	0	42.9	14.3	7.1	

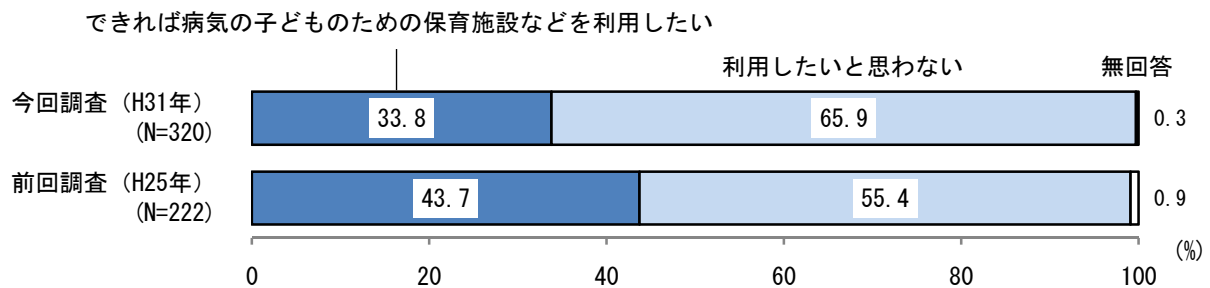
子どもの病気やけがに対処した日数は、「母親が仕事を休んだ」「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」「働いていない父親か母親が子どもをみた」で「6日以上」が最も多く、「父親が仕事を休んだ」では「2日」が最も多くなっています。

〔3〕 病気の子どものための保育施設の利用希望

問19-1で「1」または「2」（父親または母親が休んだ）を選ばれた方のみ

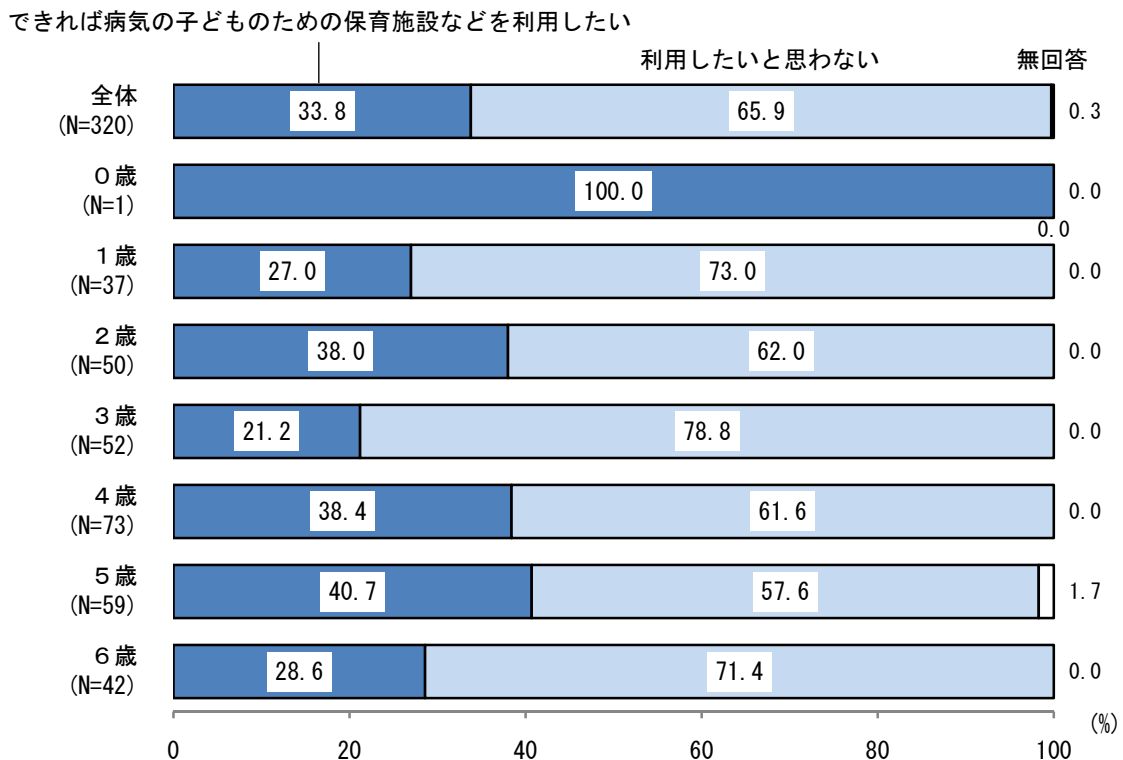
問19-2 子どもの病気のために仕事を休んだ際、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に日数を入れてください。
 なお、病気の子どものための保育施設などを利用するには、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

■ 病気の子どものための保育施設の利用希望



子どもの病気やけがの際に「父親または母親が休んだ」方で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は33.8%で、前回調査に比べて9.9ポイント減少しています。

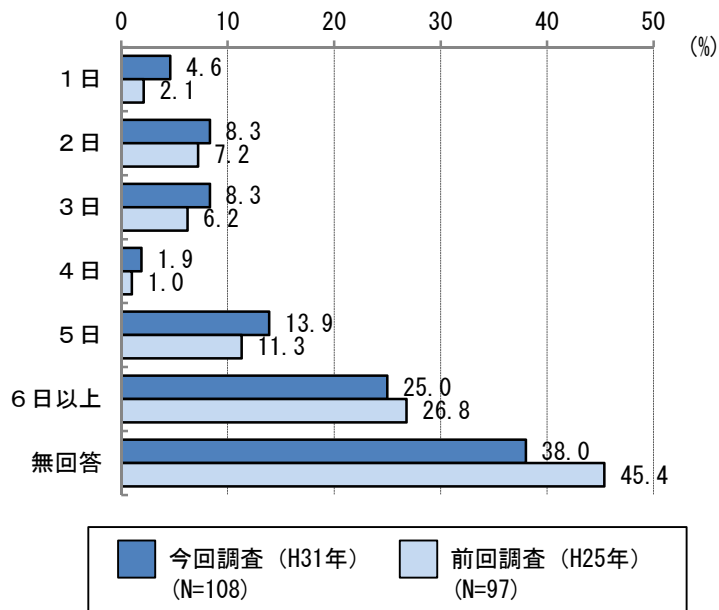
【年齢別 病気の子どものための保育施設の利用希望】



年齢別にみると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は「5歳」「4歳」「2歳」で4割前後と多くなっています。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」方のみ

■ 利用したい日数

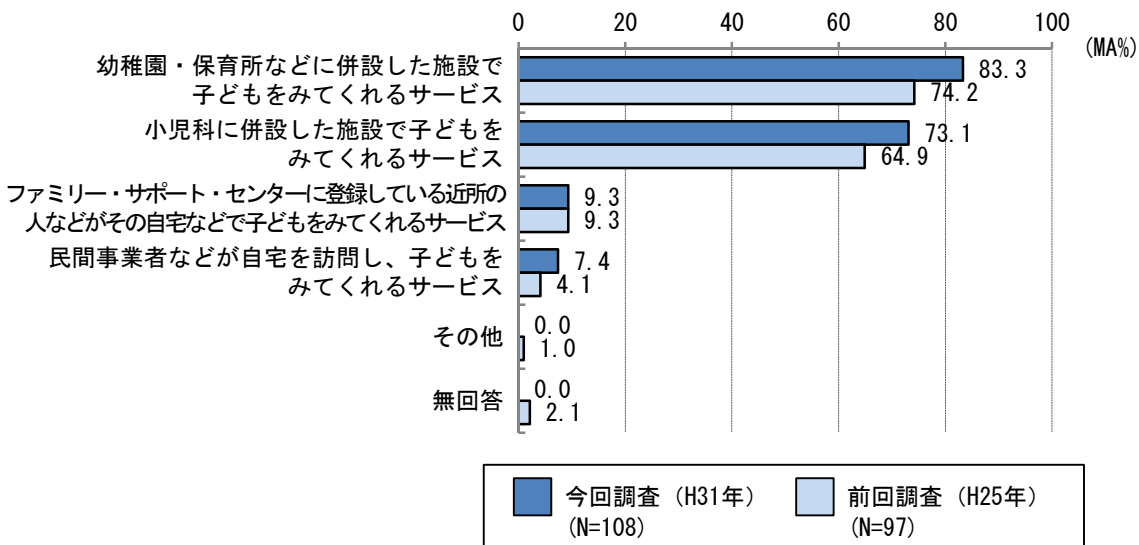


「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」人の利用希望日数は、「6日以上」が25.0%と最も多く、次いで、「5日」が13.9%となっています。

〔4〕 病気の子どものための保育施設に望ましい事業形態

問19-2で「利用したい」を選ばれた方のみ

問19-3 病気の子どものための保育施設などを利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

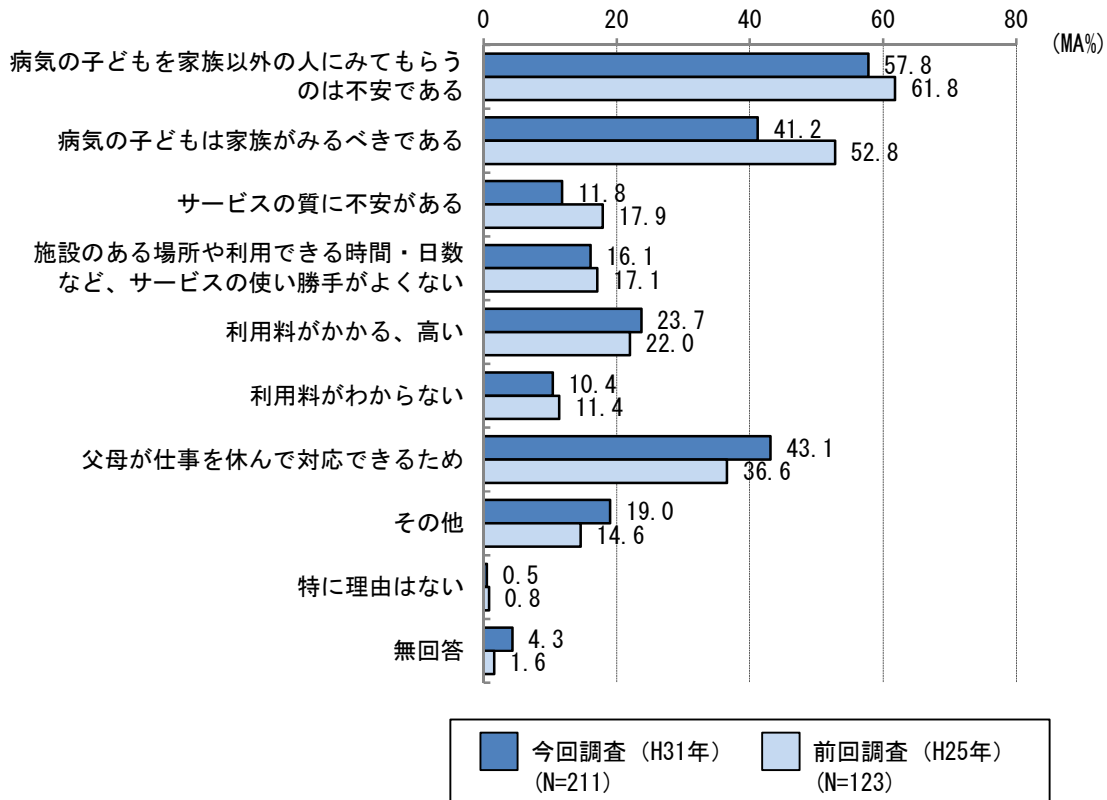


「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」人が、子どもを預けるのに望ましいと思うサービスは、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス」が83.3%と最も多く、次いで、「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」が73.1%となっています。

〔5〕 病気の子どものための保育施設を利用したくない理由

問19-2で「利用したいと思わない」を選ばれた方のみ

問19-4 病気の子どものために保育施設などを「利用したいと思わない」理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

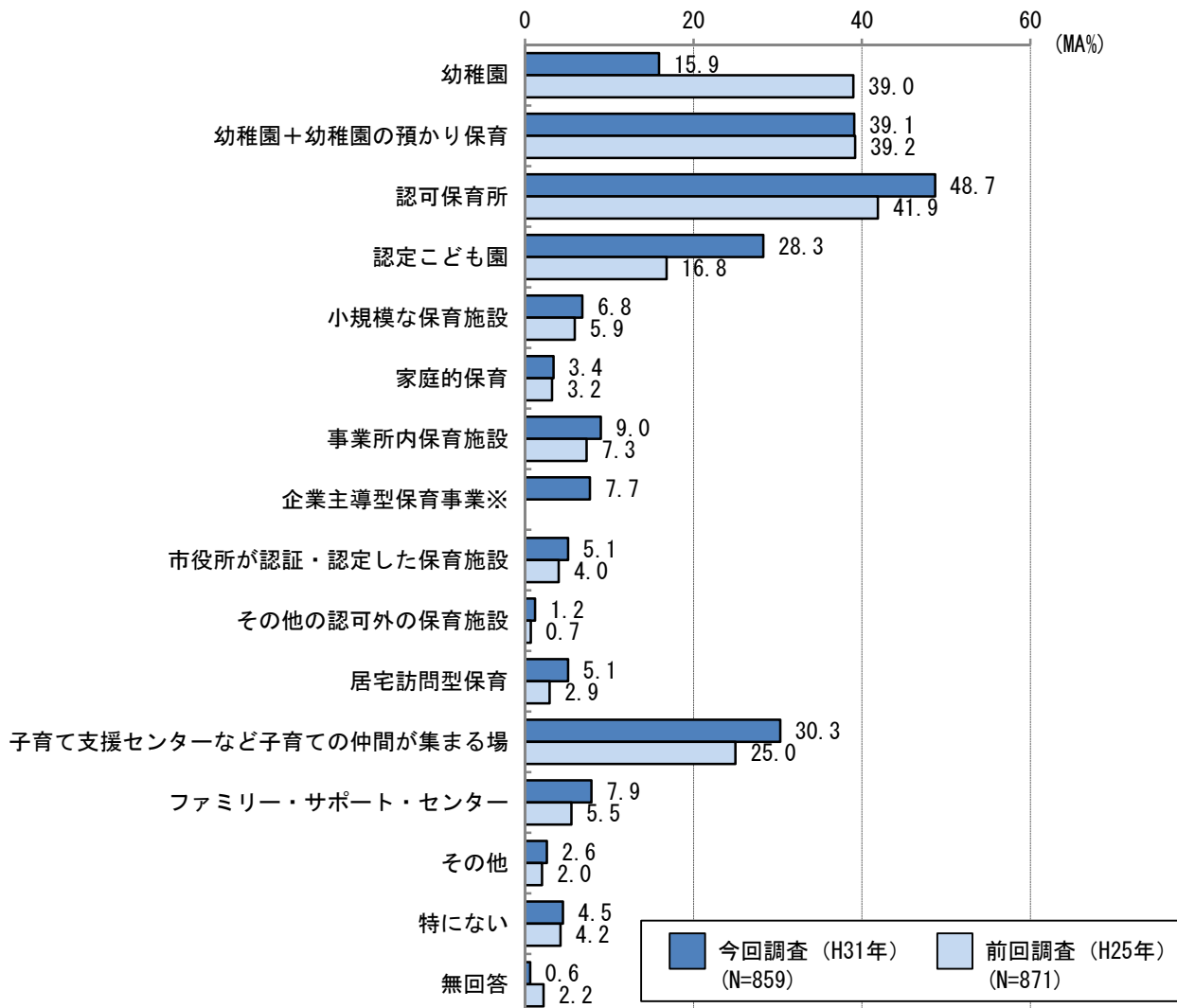


病気の子どものための保育施設などを「利用したいと思わない」理由は、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が 57.8%と最も多く、次いで、「父母が仕事を休んで対応できるため」が 43.1%、「病気の子どもは家族がみるべきである」が 41.2%となっています。

4 平日に定期的に利用したい施設やサービス

〔1〕平日に定期的に利用したい施設やサービス

問20 幼稚園や保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 なお、これらの施設やサービスを利用するためには一定の利用料を支払う必要があります。



※各施設やサービスの内容については以下のとおり

小規模な保育施設…主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの

家庭的保育…保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス

企業主導型保育事業…企業が設置する、従業員の子どもを保育する認可外保育施設。地域の子どもが利用できる場合もあります

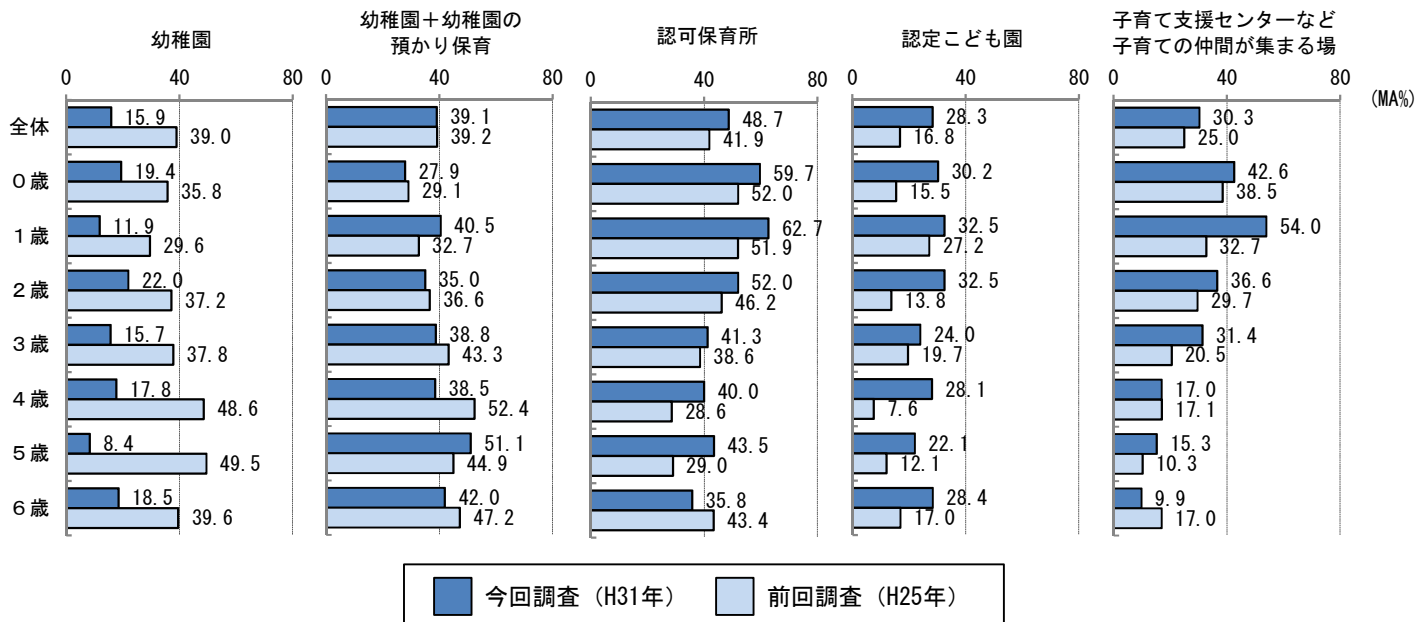
市役所が認証・認定した保育施設…認可外だが市役所が定める基準を満たした施設

※「企業主導型保育事業」は前回調査では選択肢なし

平日に定期的に利用したい施設やサービスは、「認可保育所」が48.7%と最も多く、次いで、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が39.1%となっています。

前回調査に比べて、「認定こども園」が11.5ポイント、「認可保育所」が6.8ポイント増加し、「幼稚園」が23.1ポイント減少しています。

【年齢別 平日に定期的に利用したい施設やサービス】

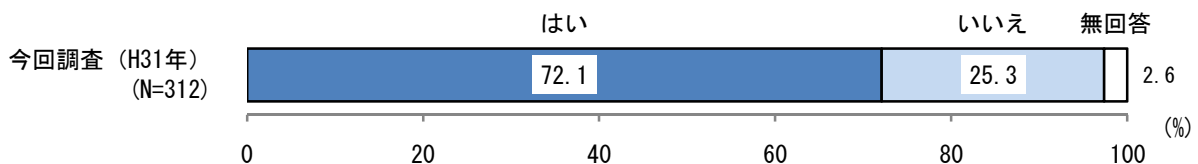


平日に定期的に利用したい施設やサービスのうち、「幼稚園」「幼稚園+幼稚園の預かり保育」「認可保育所」「認定こども園」「子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場」について年齢別にみると、「0歳」から「2歳」は「認可保育所」や「子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場」、「3歳」「4歳」は「認可保育所」や「幼稚園+幼稚園の預かり保育」、「5歳」「6歳」は「幼稚園+幼稚園の預かり保育」の利用が多くなっています。

〔2〕幼稚園の利用希望【新規設問】

問20で「幼稚園」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、「3」～「13」にも○をつけた方のみ

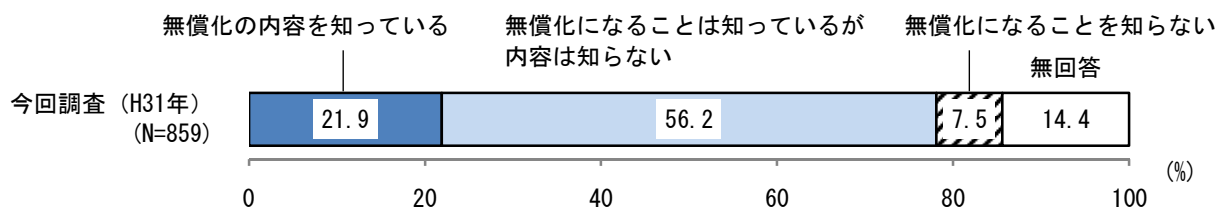
問20-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



平日に利用したい施設やサービスで「幼稚園」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ、幼稚園以外の施設やサービスにも○をつけた方で、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望する人は、72.1%となっています。

〔3〕 幼児教育・保育の無償化の認知【新規設問】

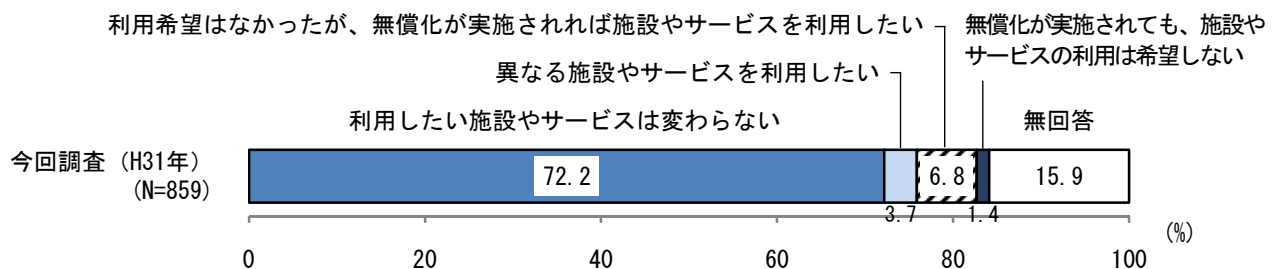
問21-1 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定です。無償化が実施された場合、世帯の収入に関わらず、3歳以上の子どもの幼稚園、保育所などの施設やサービスの利用料が月額3万7千円まで（幼稚園は月額2万5700円まで）無償化される予定です（0～2歳児については、住民税非課税世帯のみが、月額4万2千円まで無償化の対象）。また、認可外保育施設や幼稚園の預かり保育等については、保育の必要性の認定を受けた子どもが無償化の対象となる予定です（この内容は確定したものではありません）。
 このように、無償化の内容について検討されていることをご存知ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



幼児教育・保育の無償化について、「無償化の内容を知っている」人は21.9%、「無償化になることは知っているが内容は知らない」人は56.2%、「無償化になることを知らない」が7.5%となっています。

〔4〕 無償化による利用希望の変化【新規設問】

問21-2 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、問20で選んだ、利用したい平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスは変わりますか。
 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

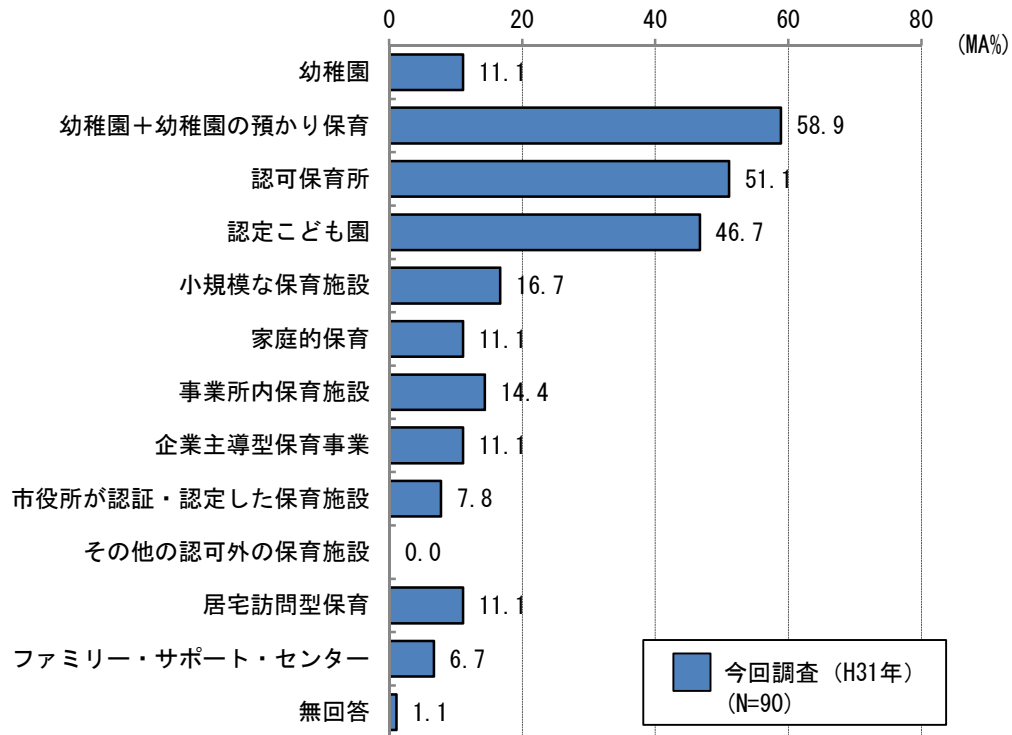


無償化の実施により利用したい施設やサービスが変わるかについては、「利用したい施設やサービスは変わらない」が72.2%となっています。

〔5〕 無償化された場合に利用したい施設やサービス【新規設問】

問21-2で「2」または「3」（無償化により利用希望が変わる）を選ばれた方のみ

問21-3 利用料が無償化された場合、封筒のあて名のお子さんの平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスとして、今後、定期的に利用したいと思う事業は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



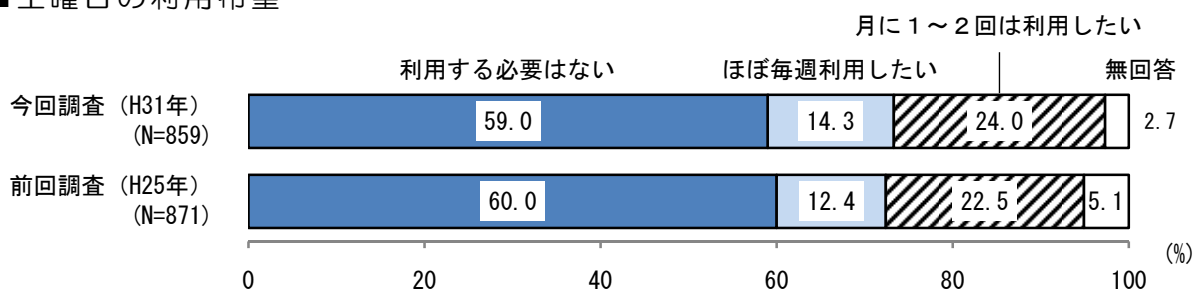
無償化が実施されれば、「異なる施設やサービスを利用したい」「利用希望はなかったが、施設やサービスを利用したい」とお答えの方が、無償化実施後に平日に定期的に利用したいと思う施設やサービスは、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が 58.9%と最も多く、次いで、「認可保育所」が 51.1%、「認定こども園」が 46.7%となっています。

5 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望

〔1〕土曜日と日曜日・祝日の幼稚園や保育所などの利用希望

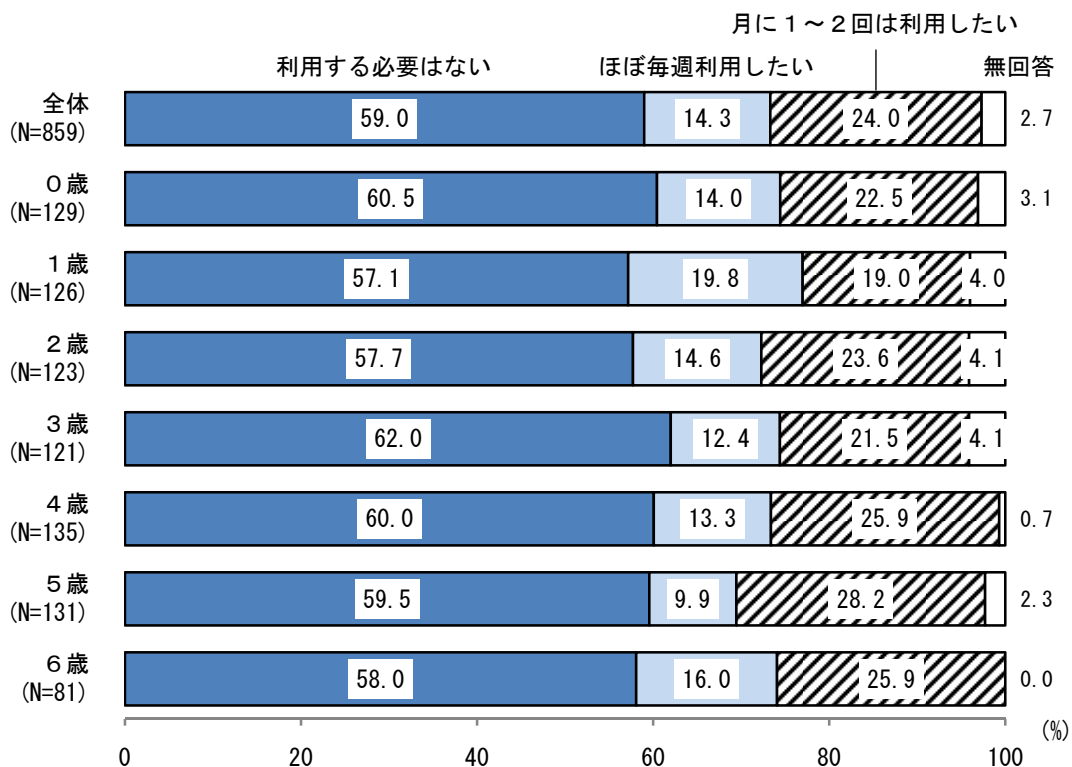
問22-1 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。
 時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制でご記入ください。
 なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

■土曜日の利用希望



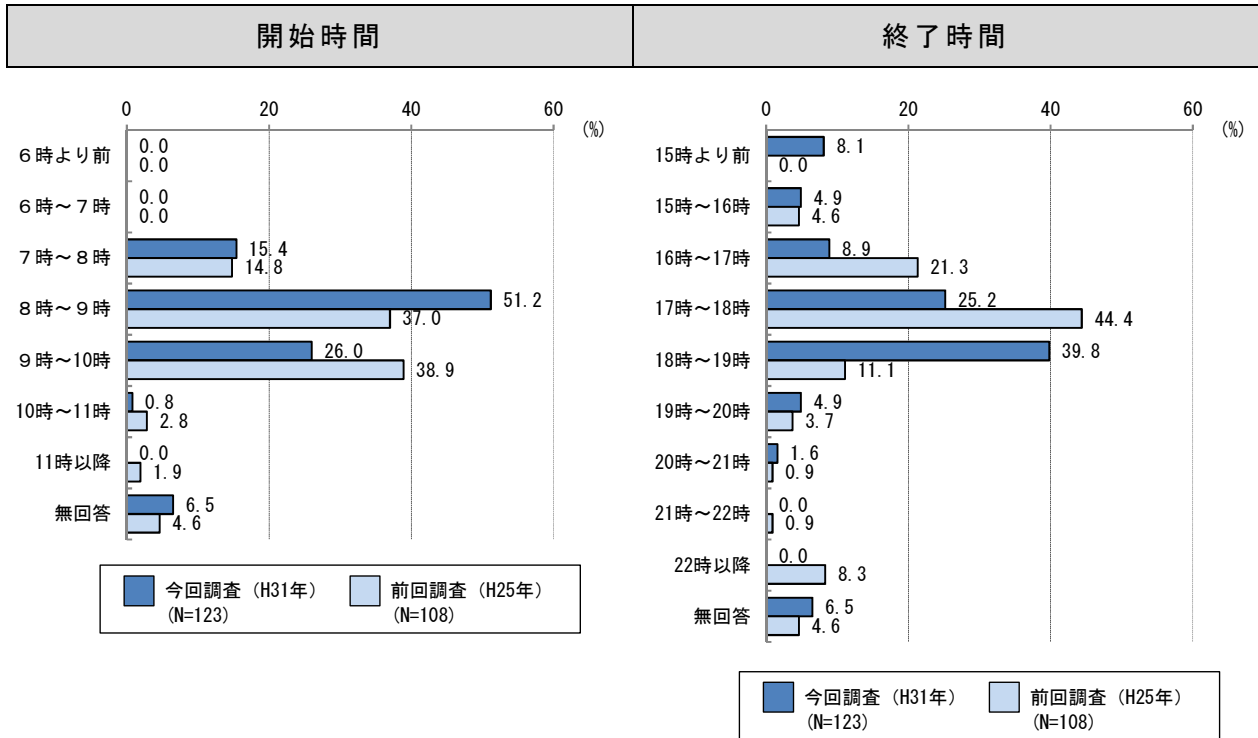
幼稚園や保育所などの土曜日の利用については、「ほぼ毎週利用したい」が14.3%、「月に1～2回は利用したい」が24.0%で、利用希望者は合計38.3%となっています。

【年齢別 幼稚園や保育所などの土曜日の利用希望】



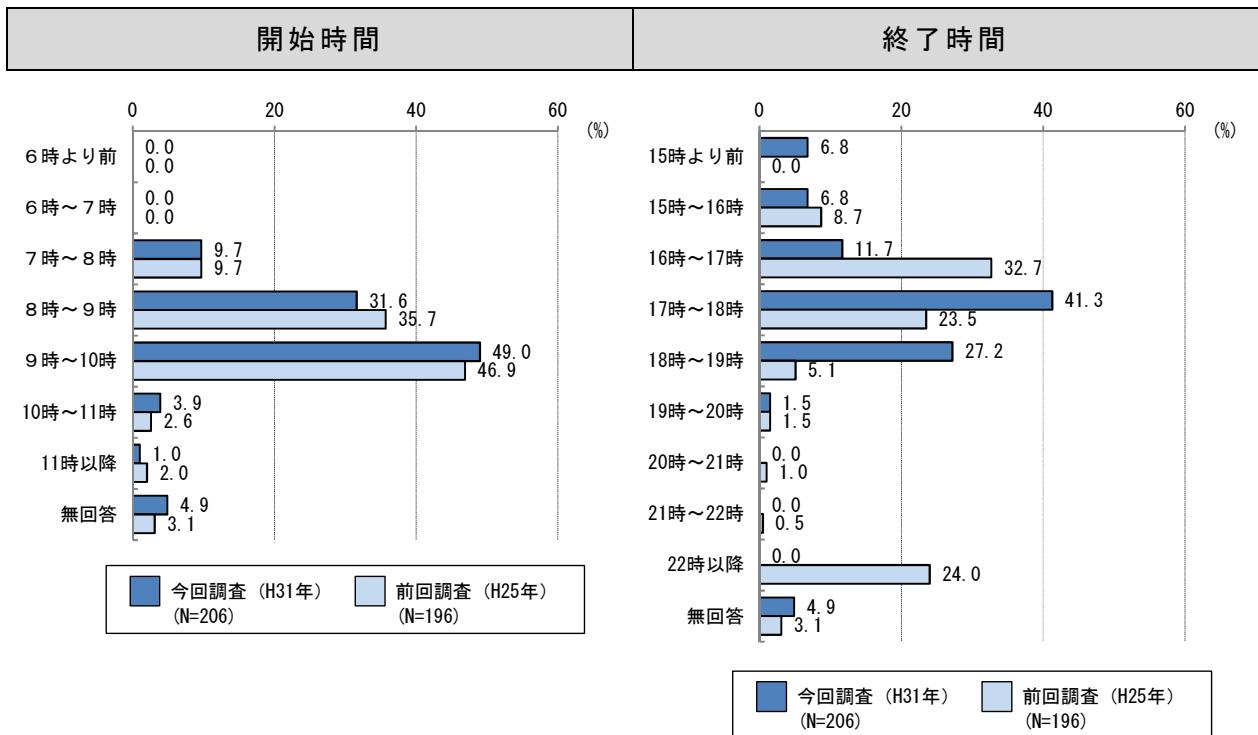
年齢別にみると、利用希望者は「6歳」で41.9%と最も多く、「3歳」で33.9%とやや少なくなっていますが、それ以外の年齢は4割前後となっています。

■ 土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の利用希望時間帯



土曜日に、幼稚園や保育所などを「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」(51.2%)、終了時間は「18時～19時」(39.8%)が最も多くなっています。

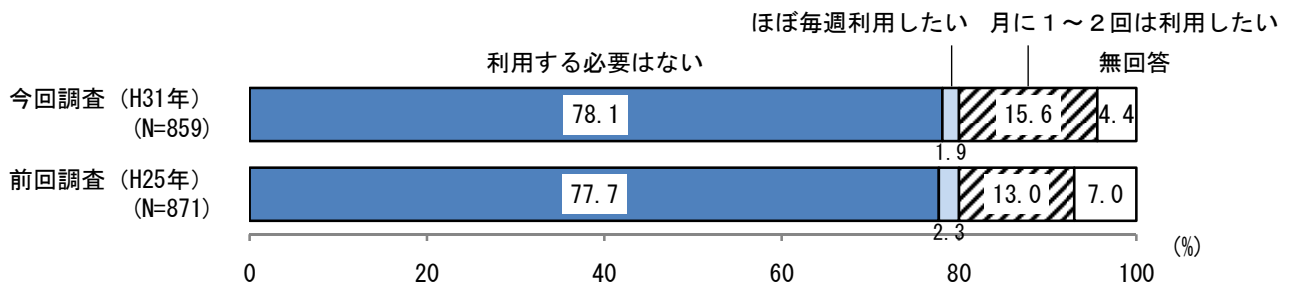
■ 土曜日に「月に1～2回は利用したい」人の利用希望時間帯



土曜日に、幼稚園や保育所などを「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は「9時～10時」(49.0%)、終了時間は「17時～18時」(41.3%)が最も多くなっています。

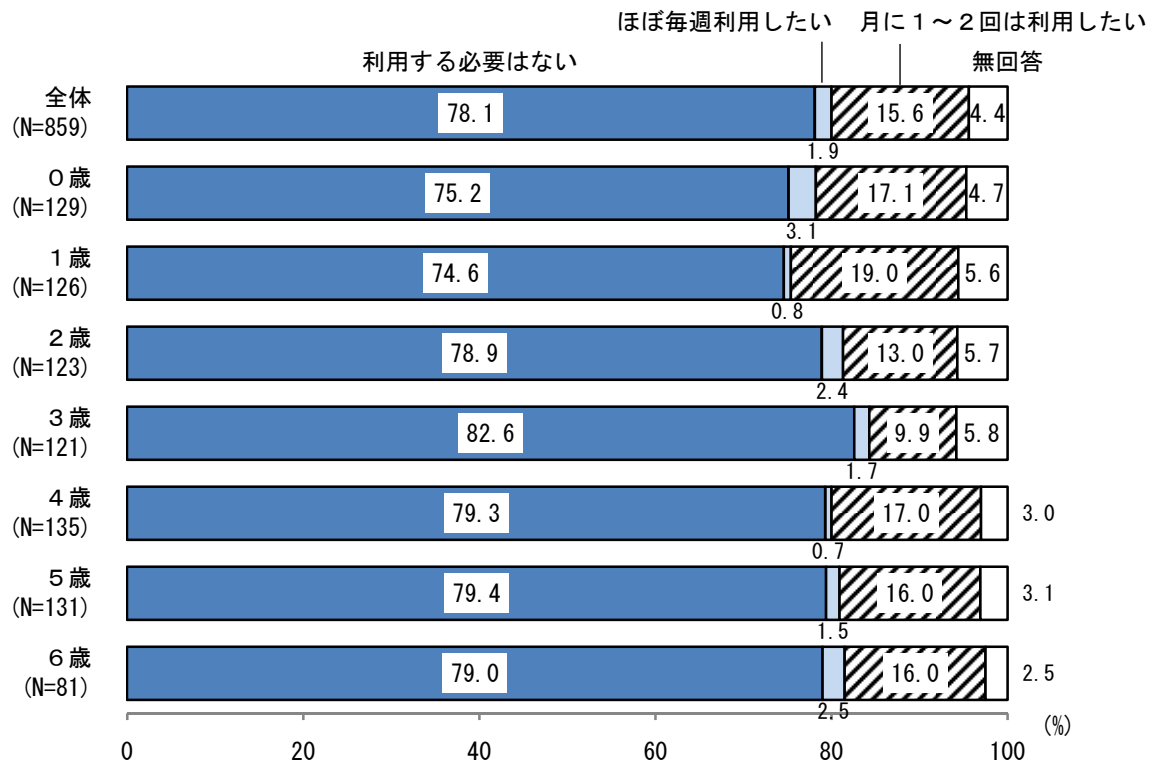
II-1. 就学前児童調査

■ 日曜日・祝日の利用希望



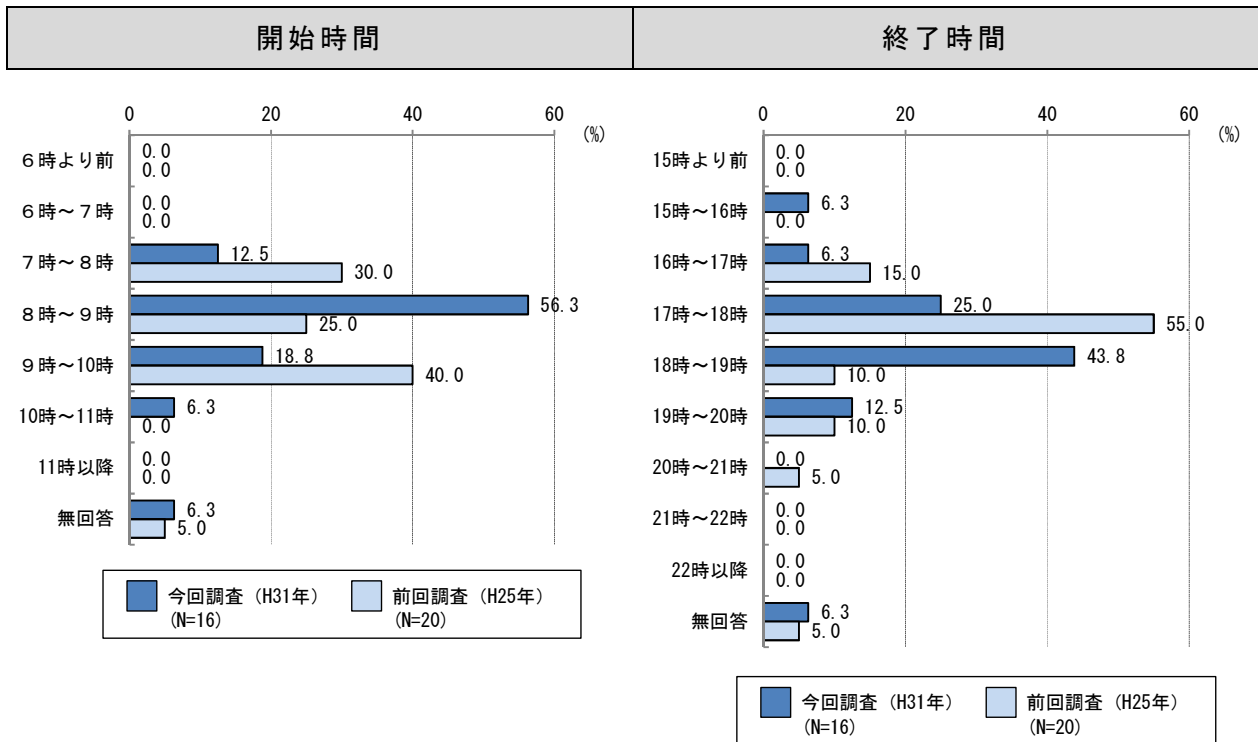
幼稚園や保育所などの日曜日・祝日の利用については、「ほぼ毎週利用したい」が1.9%、「月に1～2回は利用したい」が15.6%で、利用希望者は合計17.5%となっています。

【年齢別 幼稚園や保育所などの日曜日・祝日の利用希望】



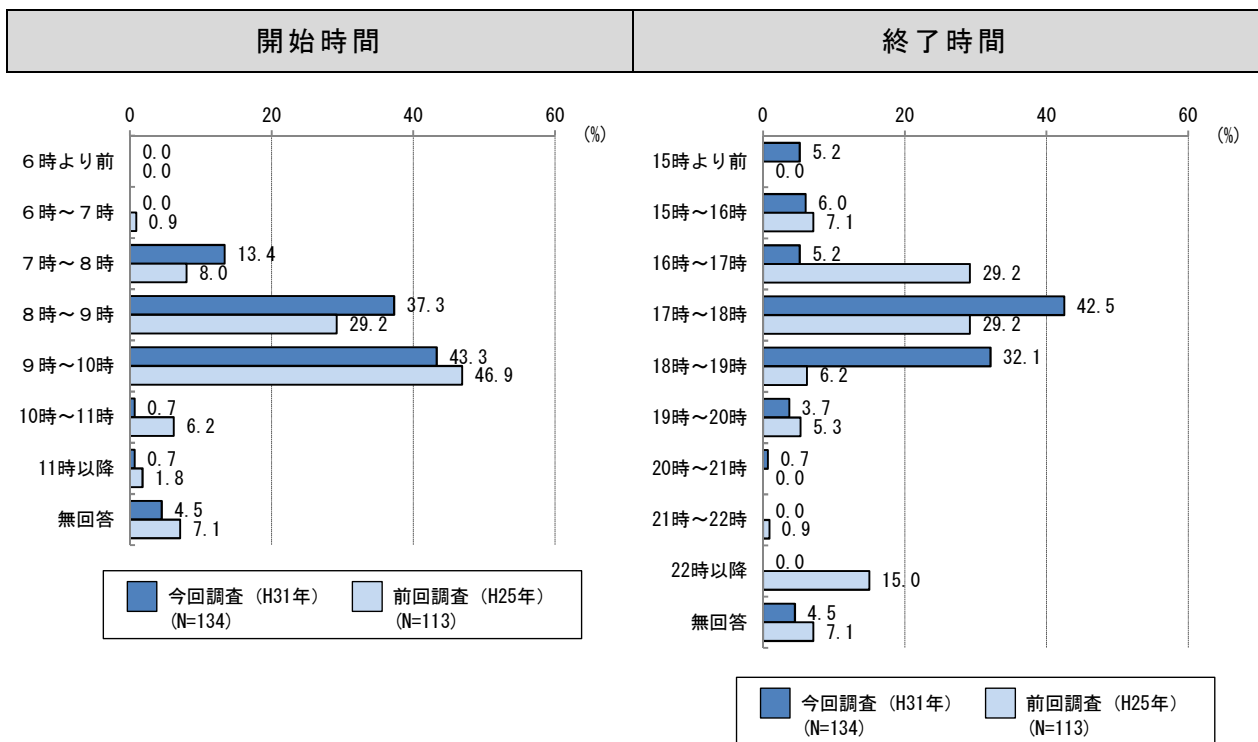
年齢別にみると、利用希望者は「0歳」で20.2%と最も多く、「2歳」で15.4%、「3歳」で11.6%とやや少なくなっていますが、それ以外の年齢は2割程度となっています。

■ 日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の利用希望時間帯



日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などを「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」(56.3%)、終了時間は「18時～19時」(43.8%)が最も多くなっています。

■ 日曜日・祝日に「月に1～2回は利用したい」人の利用希望時間帯



日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などを「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は「9時～10時」(43.3%)、終了時間は「17時～18時」(42.5%)が最も多くなっています。

〔2〕長期休暇中の幼稚園の利用希望

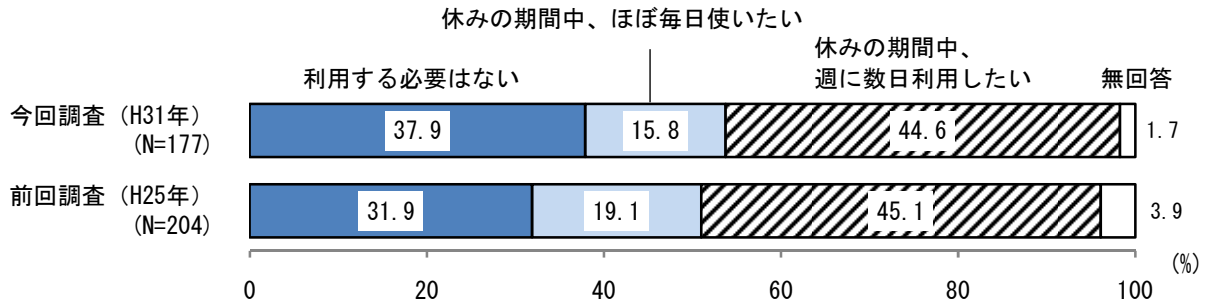
「幼稚園」を利用されている方のみ

問22-2 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

時間は、必ず(9:00~18:00)のように24時間制で記入してください。

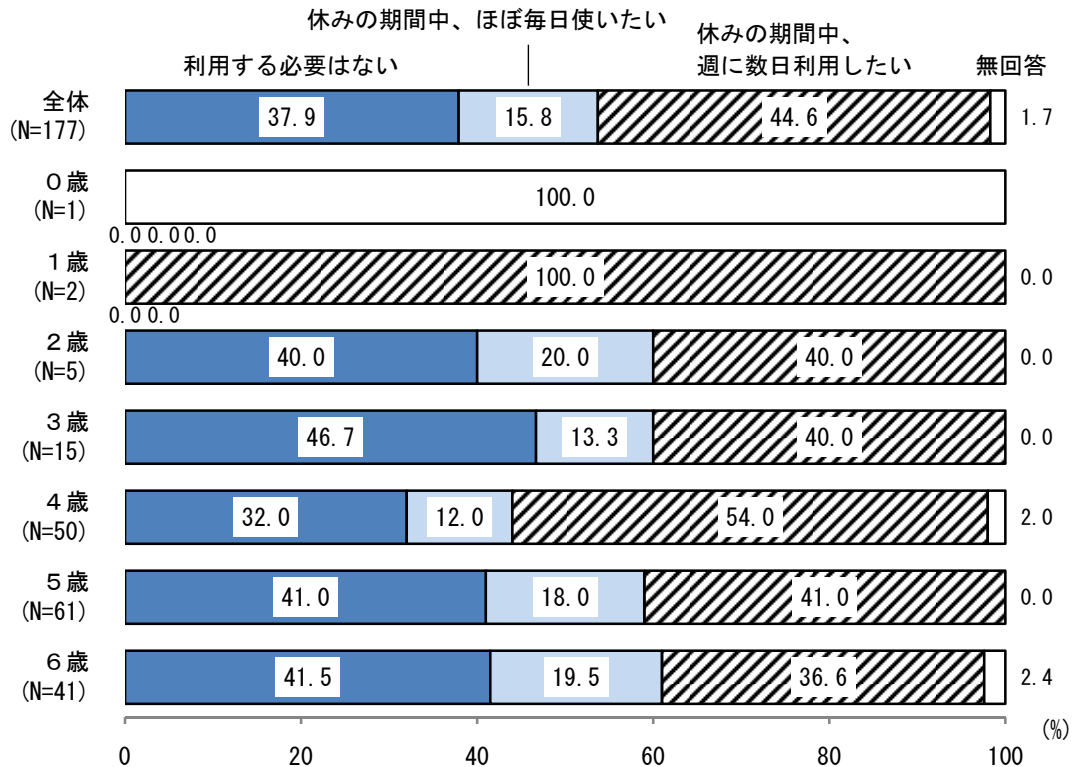
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が必要です。

■長期休暇中の利用希望



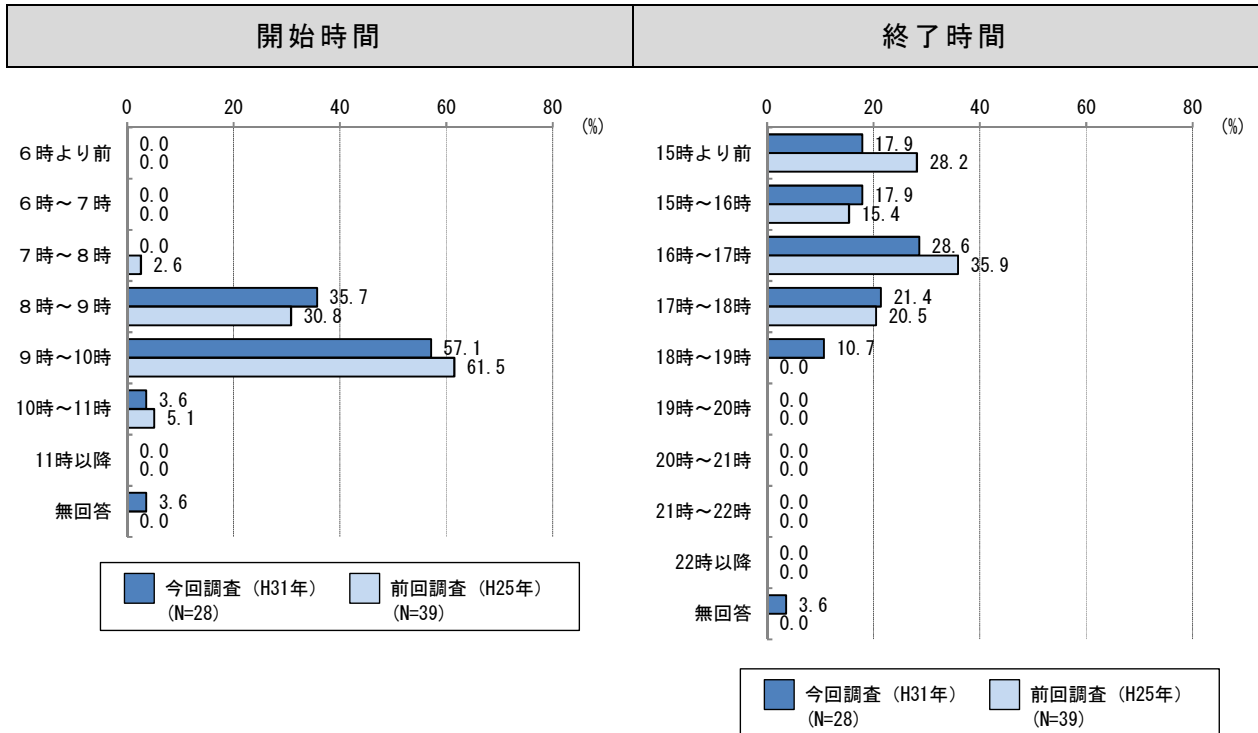
「幼稚園」利用者の、夏休み・冬休みなど長期休暇中の幼稚園の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」が 15.8%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.6%で、利用希望者は合計 60.4%となっています。

【年齢別 幼稚園の長期休暇中の利用希望】



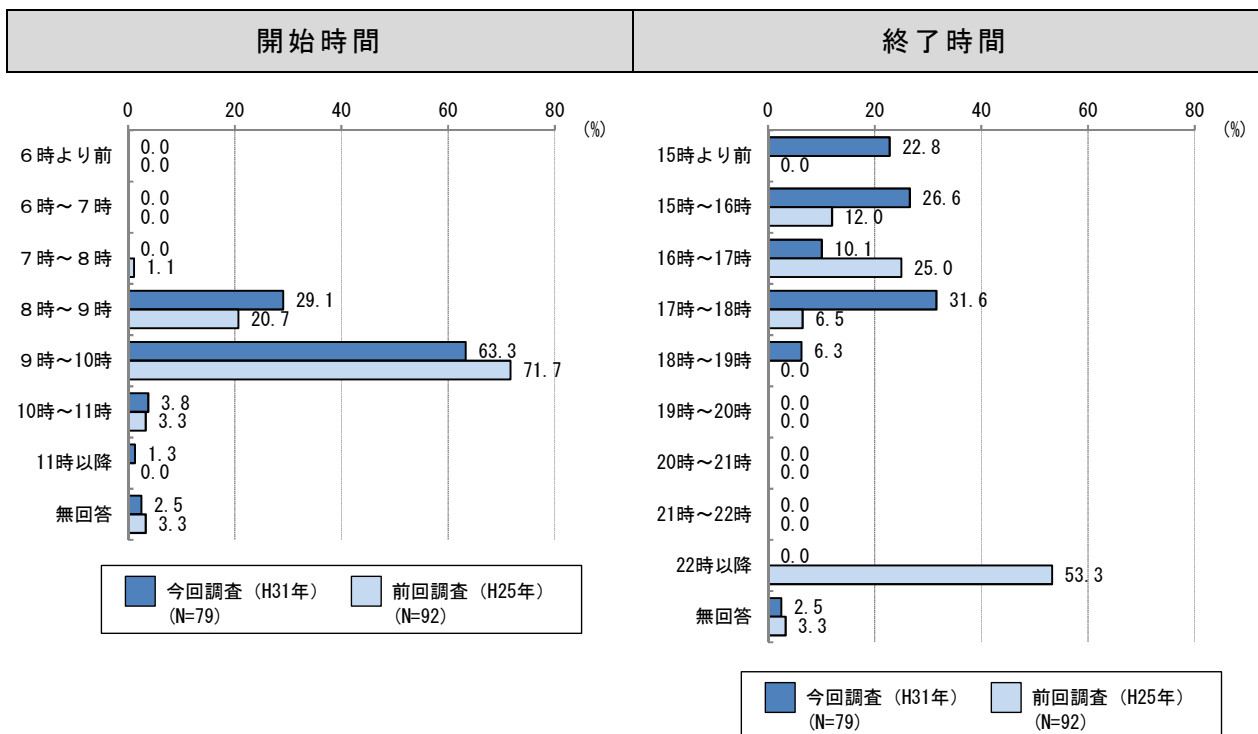
年齢別にみると、利用希望者は「4歳」で 66.0%と最も多く、「3歳」で 53.3%とやや少なくなっていますが、「2歳」「5歳」「6歳」では 6割前後となっています。

■長期休暇中に「ほぼ毎日使いたい」人の利用希望時間帯



長期休暇中に、幼稚園を「ほぼ毎日使いたい」人の希望開始時間は「9時～10時」(57.1%)が最も多く、終了時間は「16時～17時」(28.6%)が最も多くなっています。

■長期休暇中に「週に数日利用したい」人の利用希望時間帯



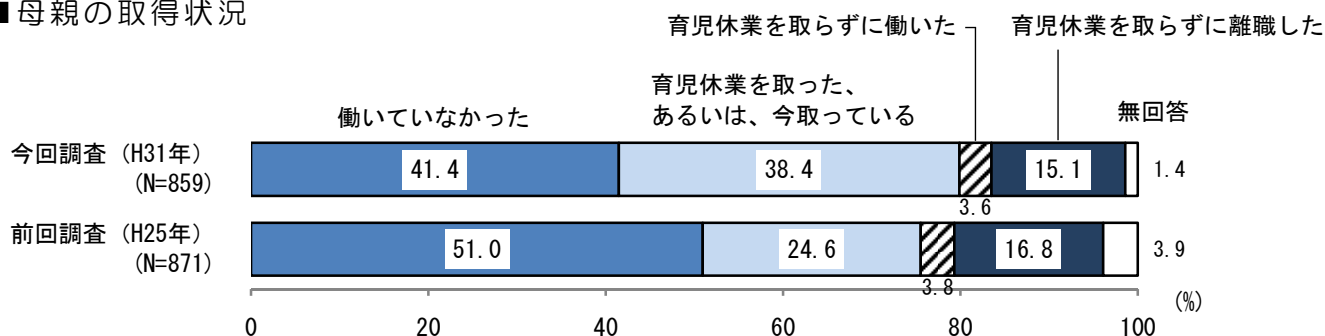
長期休暇中に、幼稚園を「週に数日利用したい」人の希望開始時間は「9時～10時」(63.3%)が最も多く、終了時間は「17時～18時」(31.6%)が最も多くなっています。

6 育児休業など、仕事と子育ての両立について

〔1〕母親の育児休業取得状況

問23 封筒のあて名のお子さんが生まれたときの「母親」の育児休業の取得状況についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「3」または「4」（育児休業を取らなかった）を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

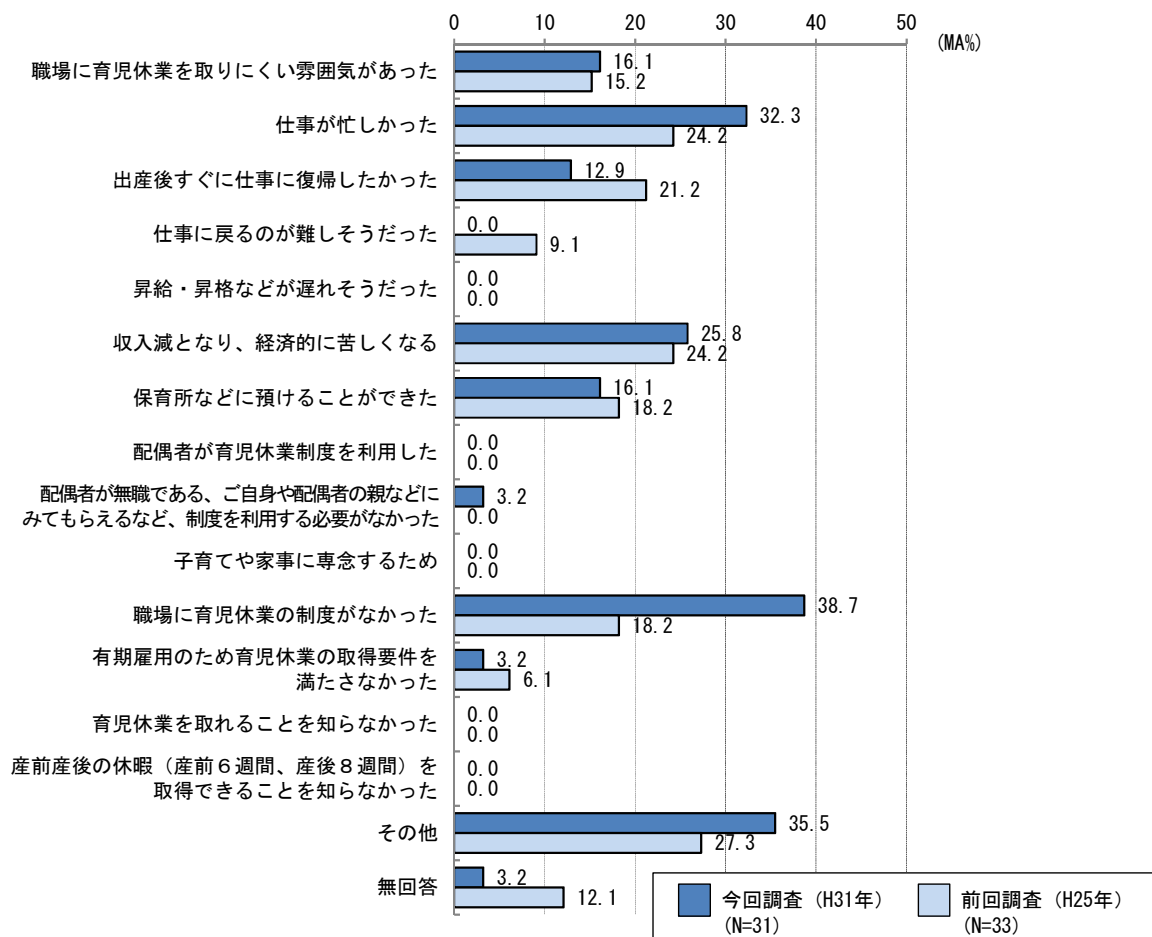
■ 母親の取得状況



母親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が38.4%で、前回調査に比べて13.8ポイント増加しています。

「育児休業を取らずに働いた」方のみ

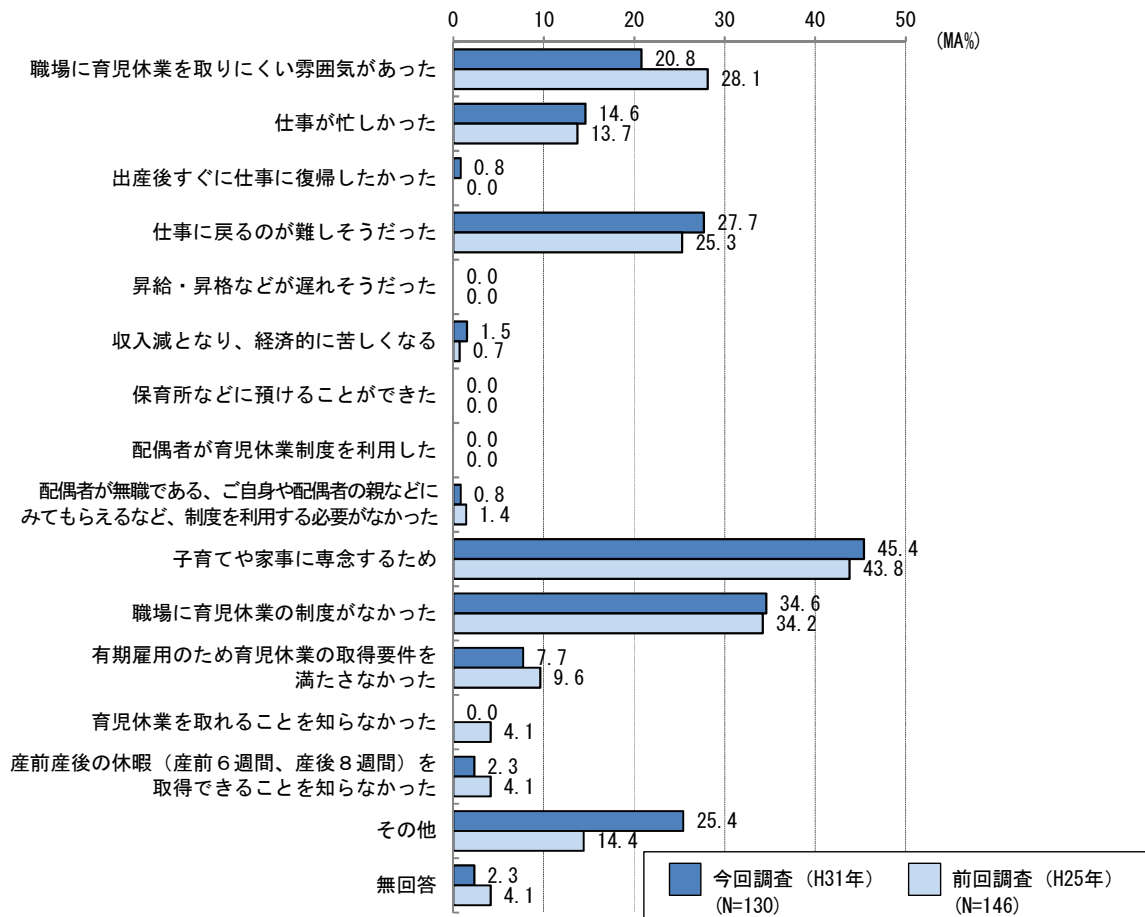
■ 「育児休業を取らずに働いた」理由



「育児休業を取らずに働いた」人は全体の 3.6%で、その理由は、「職場に育児休業の制度がなかった」が 38.7%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が 32.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 25.8%となっています。

「育児休業を取らずに離職した」方のみ

■ 「育児休業を取らずに離職した」理由

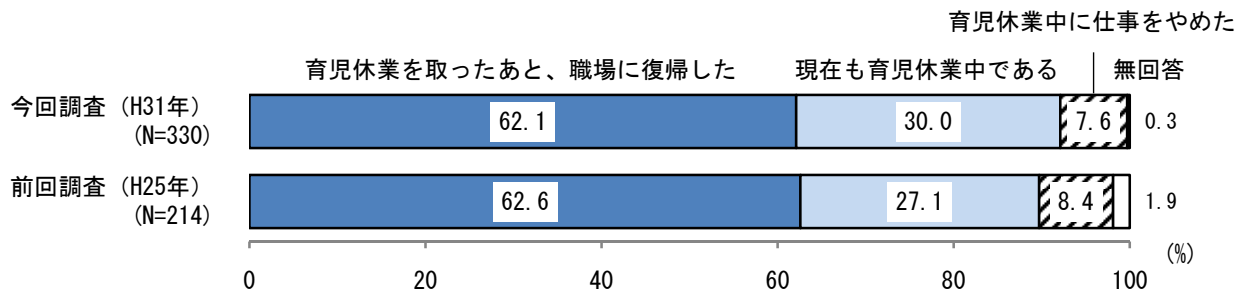


「育児休業を取らずに離職した」人は全体の 15.1%で、その理由は、「子育てや家事に専念するため」が 45.4%と最も多く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」が 34.6%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が 27.7%となっています。

II-1. 就学前児童調査

〔2〕 母親の育児休業後の職場復帰の状況

問23で「2」（育児休業を取った、あるいは、今取っている）を選ばれた方のみ
 問23-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

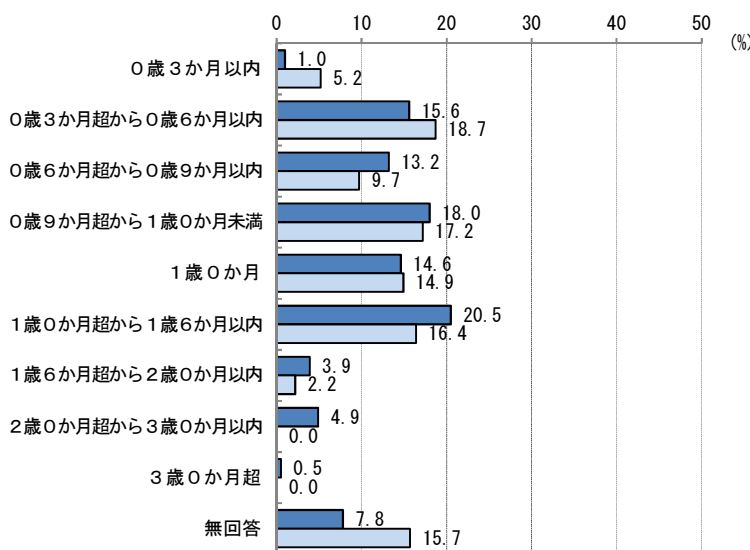


「育児休業を取った、あるいは、今取っている」方に、育児休業後の職場復帰についてたずねたところ、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が62.1%、「現在も育児休業中である」が30.0%、「育児休業中に仕事をやめた」が7.6%となっています。

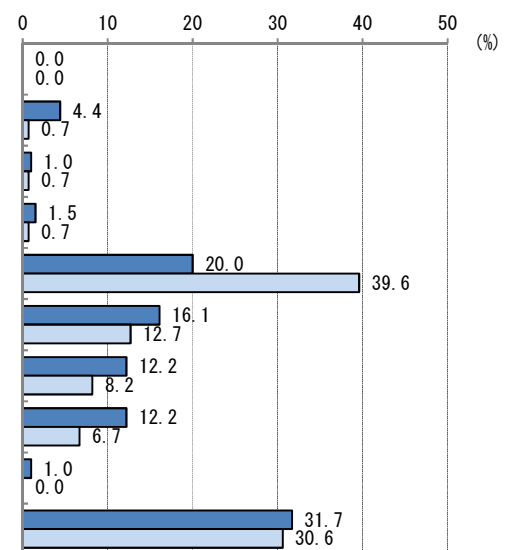
〔3〕 母親の職場復帰の時期

問23-1で「1」（育児休業を取ったあと、職場に復帰した）を選ばれた方のみ
 問23-2 育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

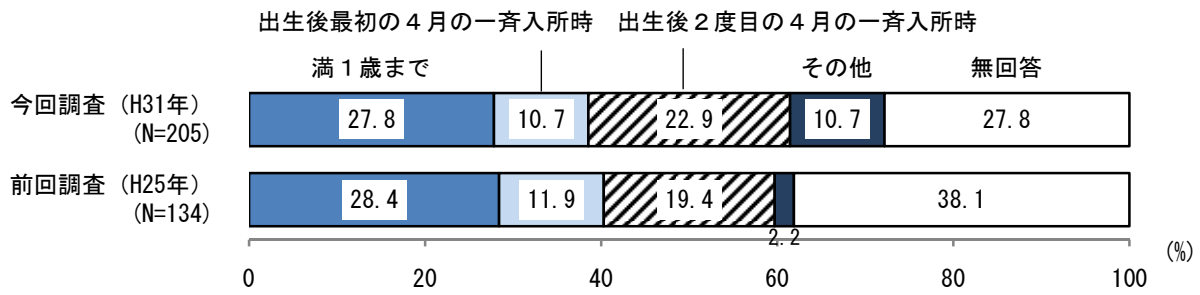
■ 実際の取得期間



■ 希望の取得期間



■ 希望の職場復帰時期



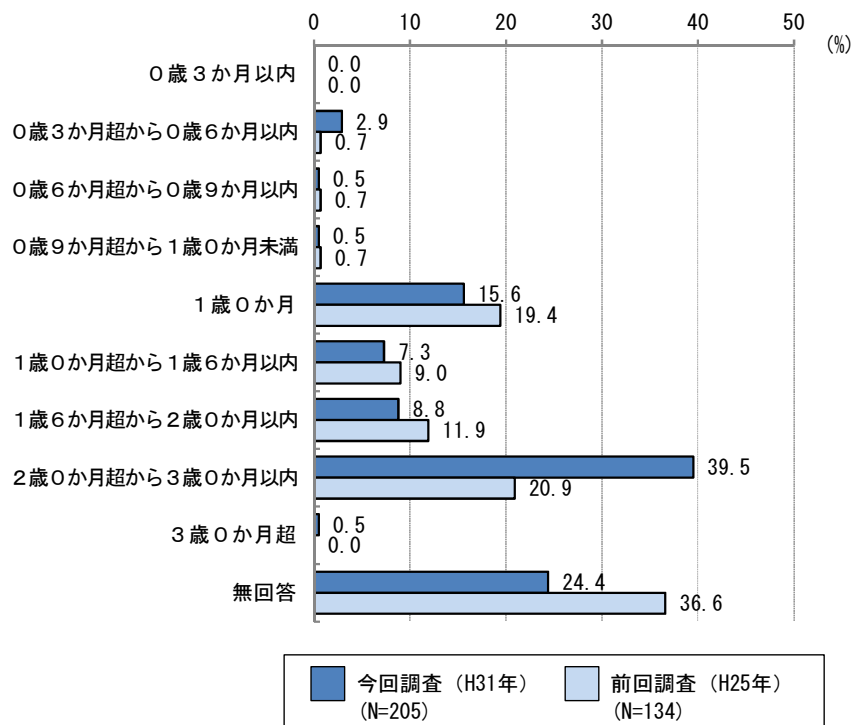
「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」方の実際の取得期間は、「1歳0か月超から1歳6か月以内」が20.5%と最も多く、希望の取得期間は、「1歳0か月」が20.0%と最も多くなっています。

また、希望の職場復帰時期は、「満1歳まで」が27.8%と最も多く、次いで、「出生後2度目の4月の一斉入所時」が22.9%となっています。

〔4〕 3歳まで休暇を取得できた場合の母親の職場復帰時期の希望

問23-1で「1」（育児休業を取ったあと、職場に復帰した）を選ばれた方のみ

問23-3 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。



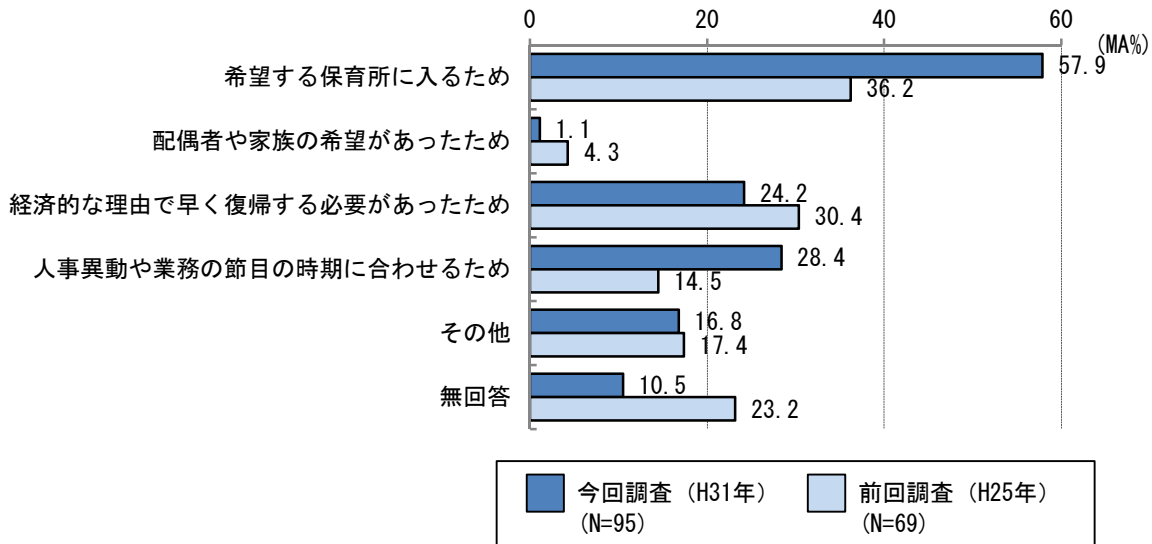
育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、希望の取得期間は、「2歳0か月超から3歳0か月以内」が39.5%と最も多くなっています。

〔5〕 母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由

問23-2で実際の復帰と希望が異なる方のみ

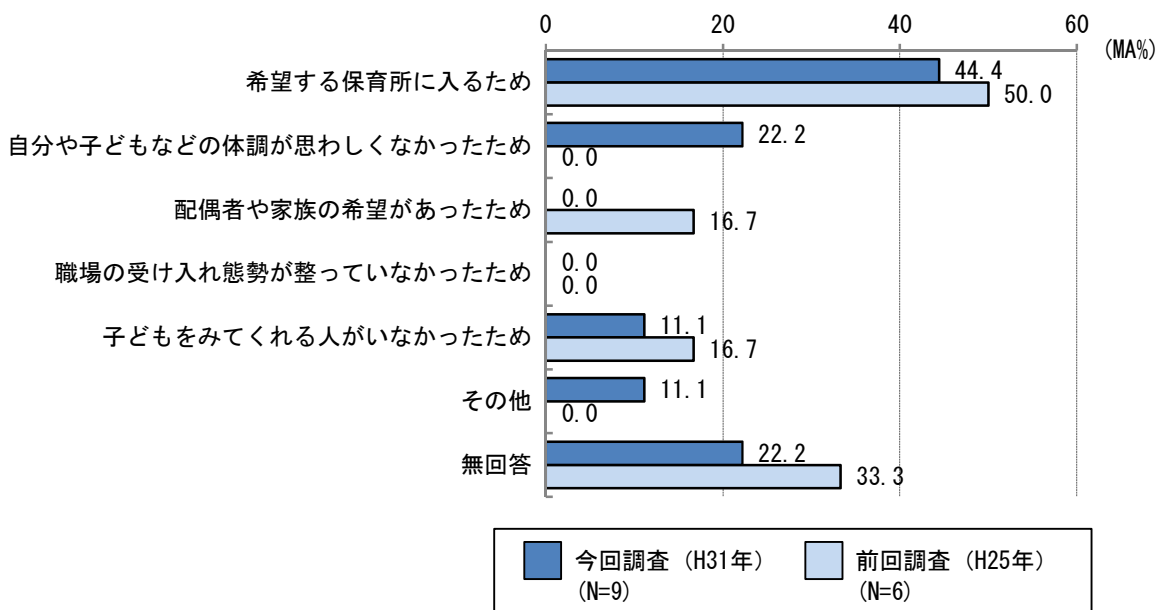
問23-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 希望より早く復帰した理由



希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が 57.9%と最も多くなっています。

■ 希望より遅く復帰した理由



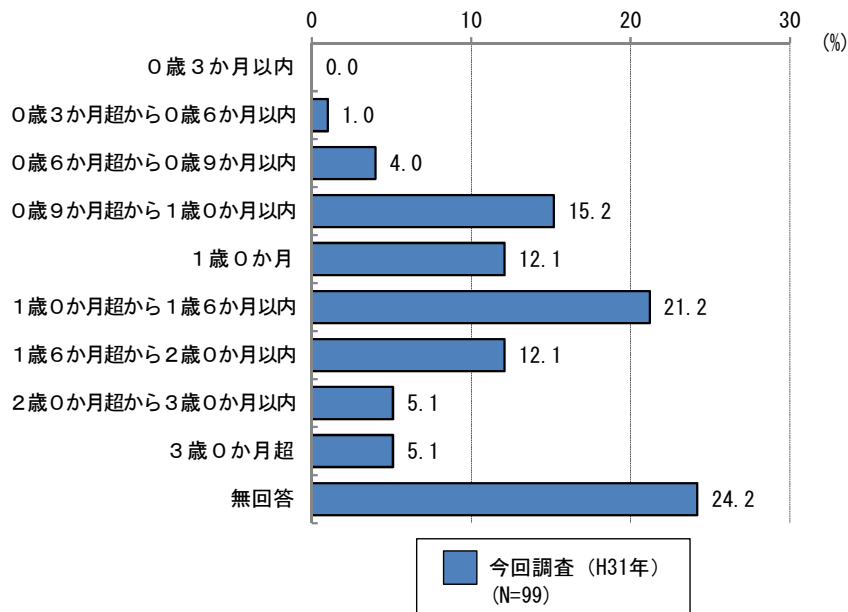
希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が 44.4%と最も多くなっています。

〔6〕 育児休業中の母親の職場復帰予定 ※前回調査では設問なし

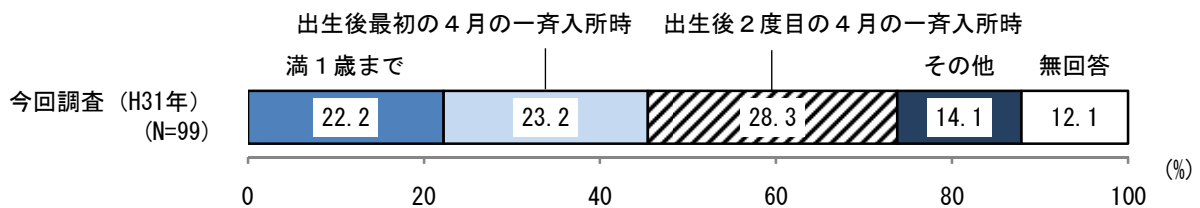
問23-1で「2」（現在も育児休業中である）を選ばれた方のみ

問23-5 育児休業を取ったあと、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰する予定ですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

■ 育児休業中の母親の予定取得期間



■ 職場復帰予定時期



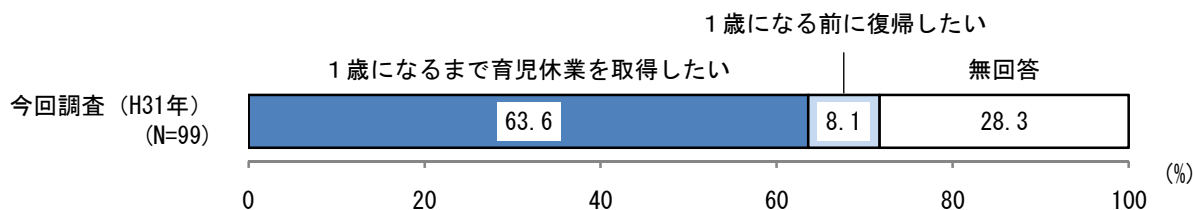
「現在も育児休業中である」母親の予定取得期間は、「1歳0か月超から1歳6か月以内」が21.2%と最も多くなっています。

職場復帰予定時期は、「出生後2度目の4月の一斉入所時」が28.3%と最も多く、次いで、「出生後最初の4月の一斉入所時」が23.2%、「満1歳まで」が22.2%となっています。

〔7〕 預けられる事業があれば1歳まで育児休業を取得するか ※前回調査では設問なし

問23-1で「2」（現在も育児休業中である）を選ばれた方のみ

問23-6 宛名のお子さんが1歳になったときに、子どもを預ける事ができる保育所など、必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

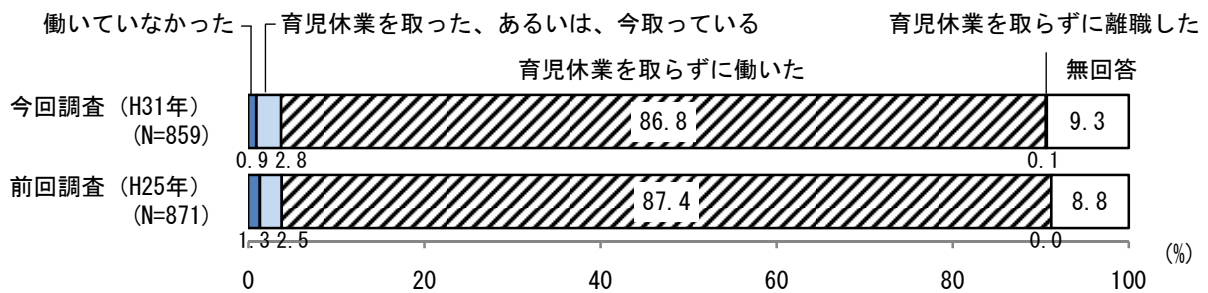


「現在も育児休業中である」母親に、子どもが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかをたずねたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が63.6%となっています。

〔8〕 父親の育児休業の取得状況

問24 封筒のあて名のお子さんが生まれたときの「父親」の育児休業の取得状況についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ〇をつけてください。「2」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に具体的な数字を入れてください。「3」または「4」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

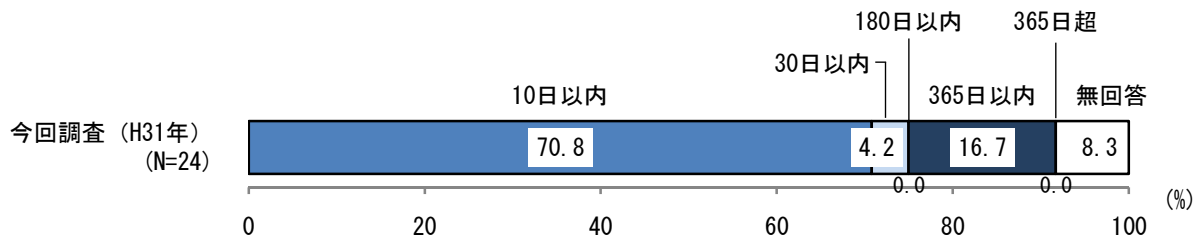
■ 父親の取得状況



父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取らずに働いた」が86.8%と最も多くなっています。

「育児休業を取った、あるいは、今取っている」方のみ

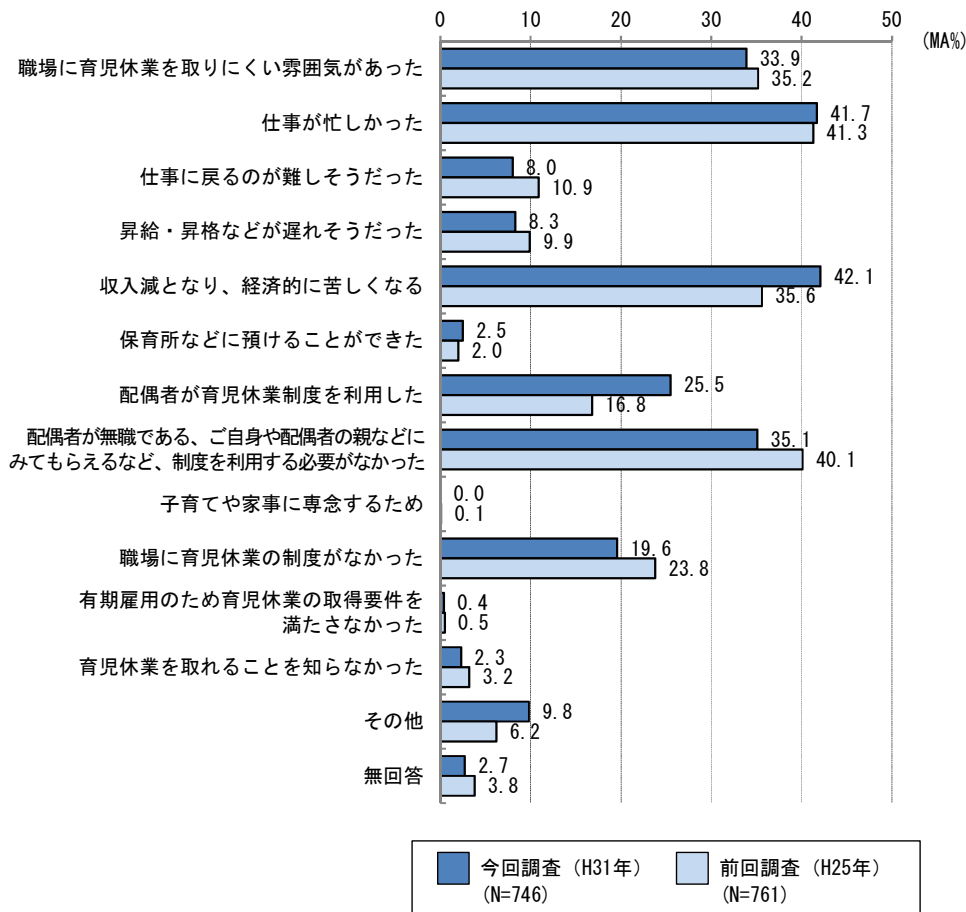
■ 育児休業取得日数



「育児休業を取った、あるいは、今取っている」人は全体の2.8%で、取得日数は、「10日以内」が70.8%と最も多くなっています。

「育児休業を取らずに働いた」方のみ

■ 「育児休業を取らずに働いた」理由



「育児休業を取らずに働いた」人は全体の 86.8%で、その理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 42.1%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が 41.7%となっています。

「育児休業を取らずに離職した」方のみ

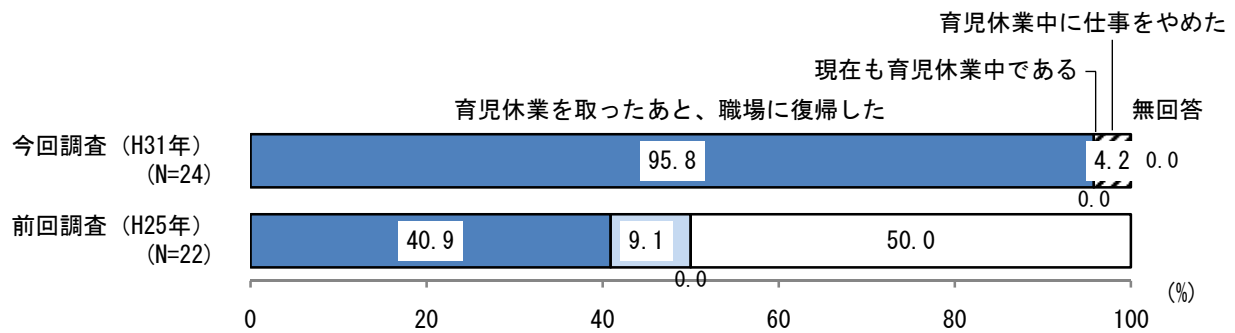
■ 「育児休業を取らずに離職した」理由

→ 「育児休業を取れることを知らなかった」が 1 件となっています。

〔9〕 父親の育児休業後の職場復帰について

問24で「2」（育児休業を取った、あるいは、今取っている）を選ばれた方のみ

問24-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



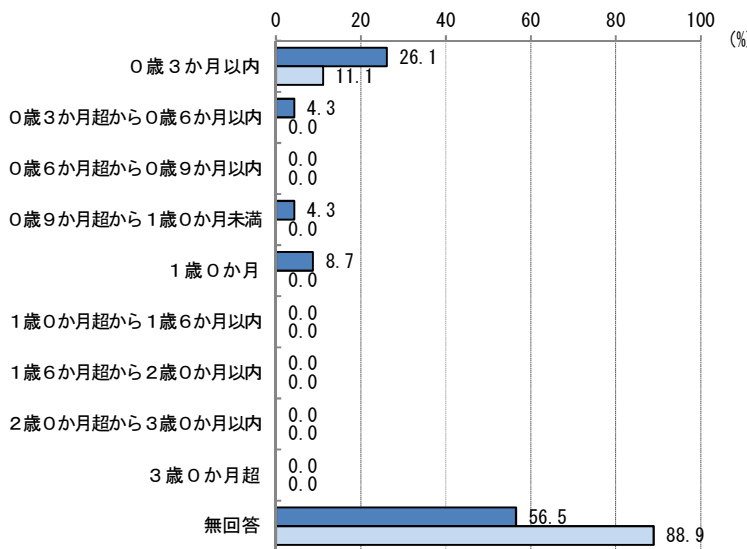
「育児休業を取った、あるいは、今とっている」方に、育児休業後の職場復帰についてたずねたところ、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 95.8%となっています。

〔10〕 父親の職場復帰の時期

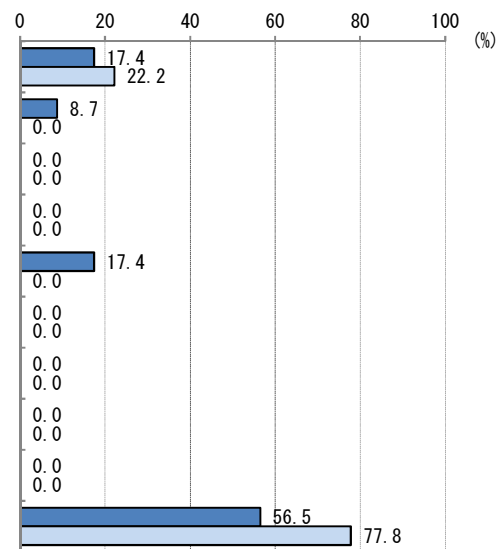
問24-1で「1」（育児休業を取ったあと、職場に復帰した）を選ばれた方のみ

問24-2 育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

■ 実際の取得期間

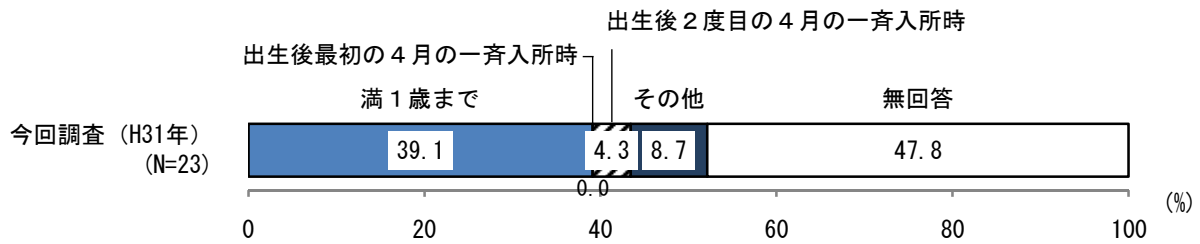


■ 希望の取得期間



II-1. 就学前児童調査

■ 希望の職場復帰時期



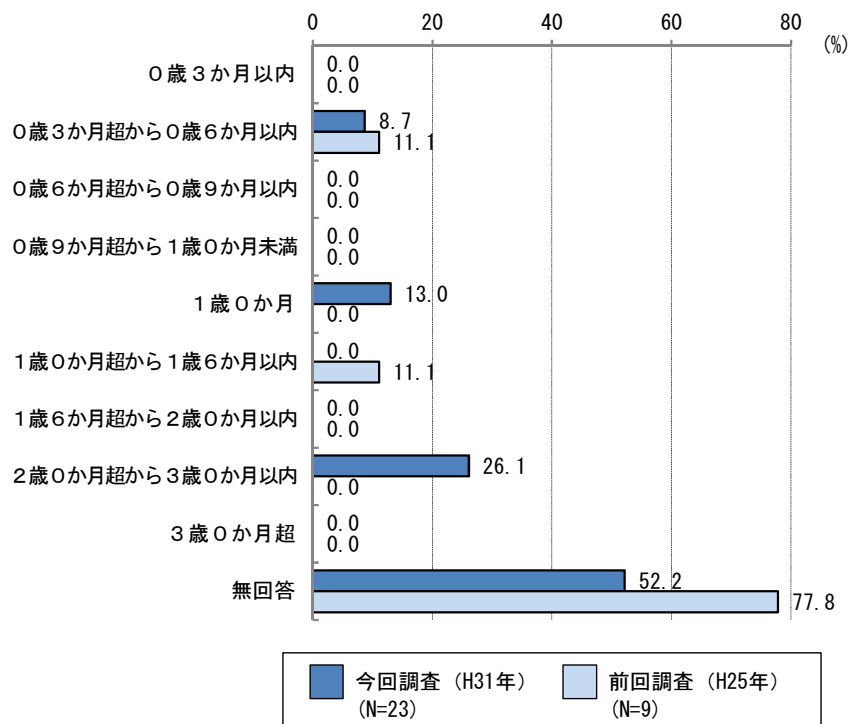
「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」方の実際の取得期間は、「0歳3か月以内」が26.1%と最も多く、希望の取得期間は、「0歳3か月以内」「1歳0か月」がそれぞれ17.4%となっています。

また、希望の職場復帰時期は、「満1歳まで」が39.1%と最も多くなっています。

〔11〕 3歳まで休暇を取得できた場合の父親の職場復帰時期の希望

問24-1で「1」（育児休業を取ったあと、職場に復帰した）を選ばれた方のみ

問24-3 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。



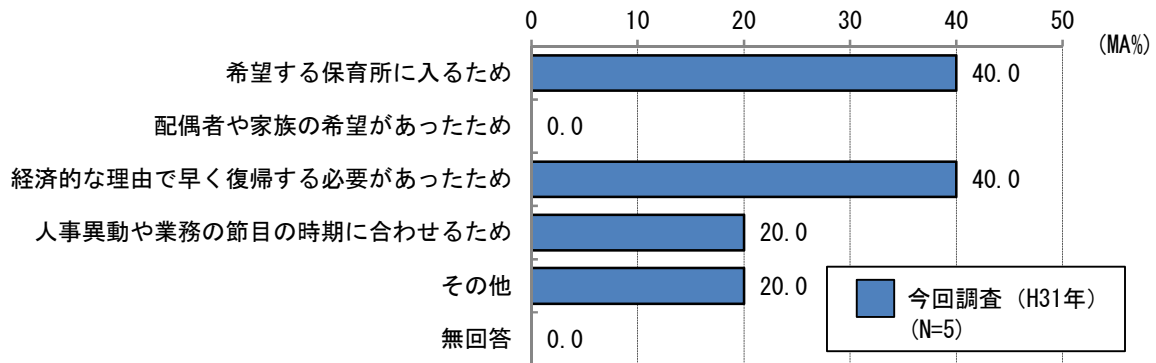
育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、希望の取得期間は、「2歳0か月超から3歳0か月以内」が26.1%と最も多くなっています。

〔12〕 父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由

問24-2で実際の復帰と希望が異なる方のみ

問24-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 希望より早く復帰した理由



※前回調査では、回答者なし

希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」がそれぞれ 40.0%となっています。

■ 希望より遅く復帰した理由

→回答者なし

〔13〕 育児休業中の父親の復帰予定 ※前回調査では設問なし

問24-1で「2」（現在も育児休業中である）を選ばれた方のみ

問24-5 育児休業を取ったあと、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰する予定ですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

■ 育児休業中の父親の予定取得期間 →回答者なし

■ 職場復帰予定時期 →回答者なし

〔14〕 預けられる事業があれば1歳まで育児休業を取得するか ※前回調査では設問なし

問24-1で「2」（現在も育児休業中である）を選ばれた方のみ

問24-6 宛名のお子さんが1歳になったときに、子どもを預ける事ができる保育所など、必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

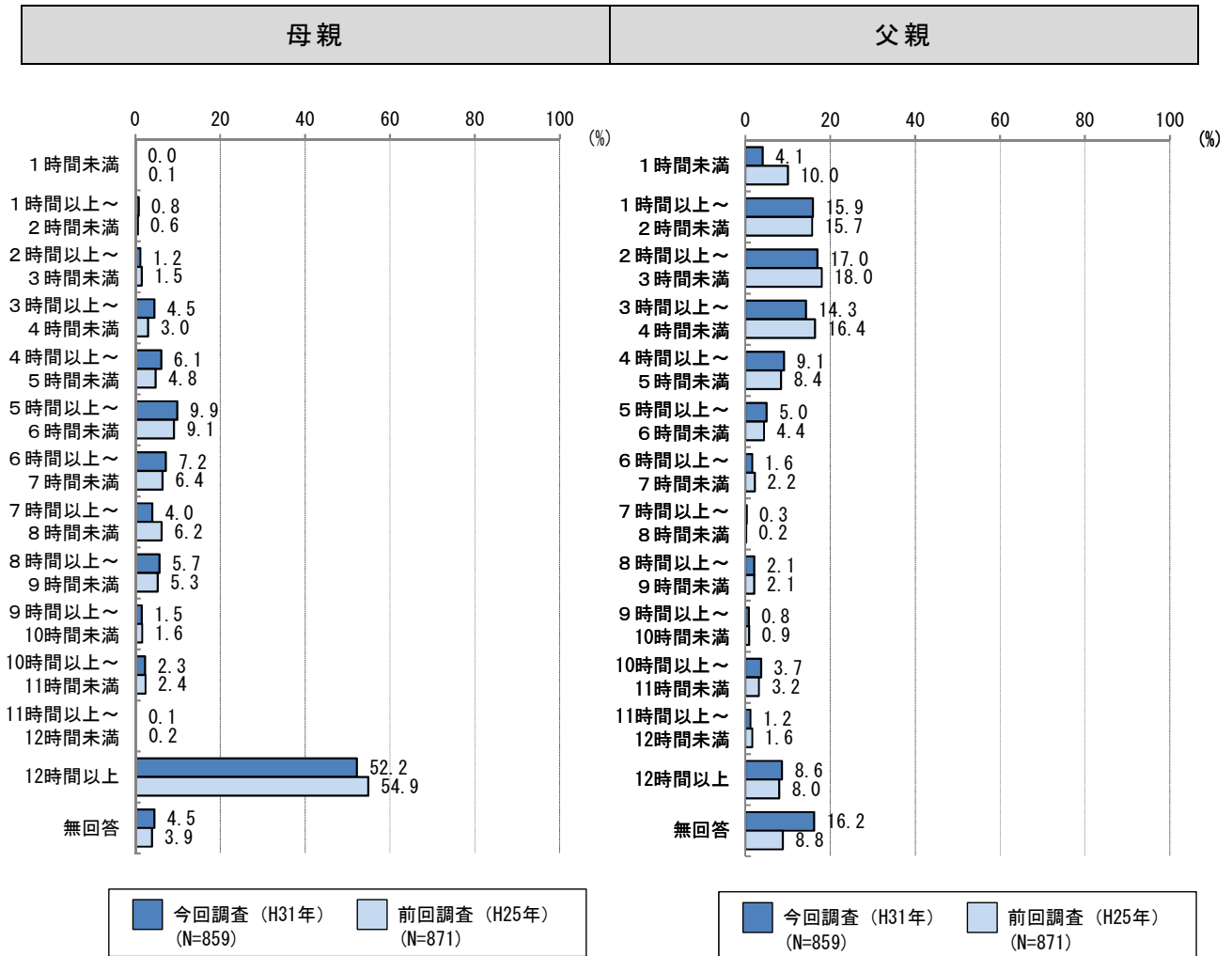
→回答者なし

II-1. 就学前児童調査

〔15〕子どもと一緒に過ごす時間

問25 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

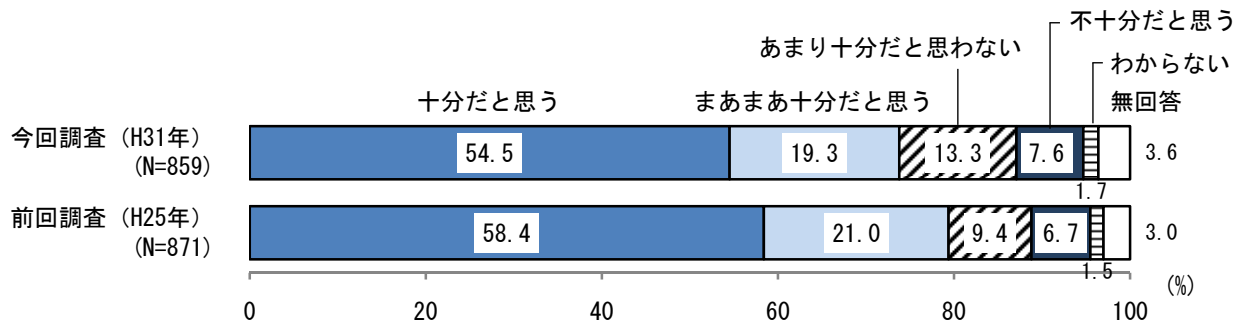
■ 平日に子どもと一緒に過ごす時間



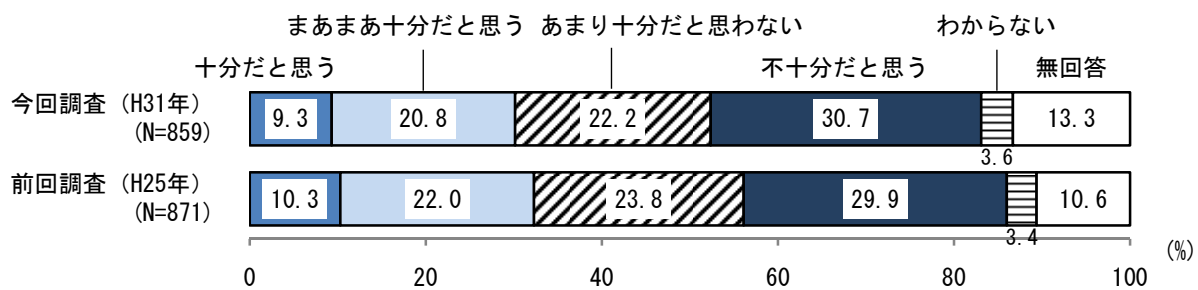
平日に子どもと一緒に過ごす時間については、母親は「12時間以上」(52.2%)が最も多くなっています。父親は「2時間以上～3時間未満」(17.0%)が最も多く、次いで、「1時間以上～2時間未満」(15.9%)となっています。

■ 平日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度

(母親)



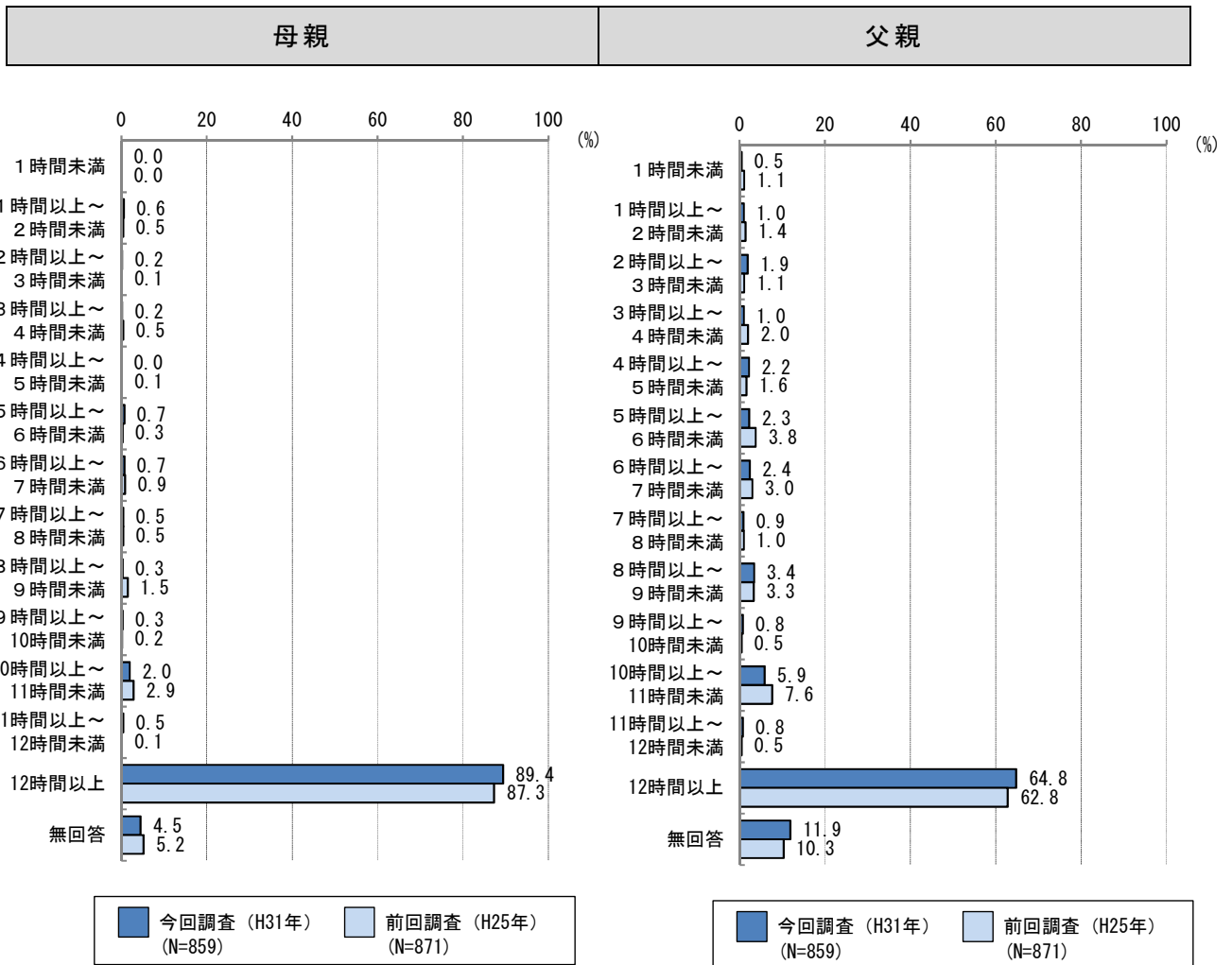
(父親)



平日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度については、母親は『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）が73.8%となっています。父親は『十分』が30.1%、『不十分』（「不十分だと思う」と「あまり十分だと思わない」の合計）が52.9%となっています。

II-1. 就学前児童調査

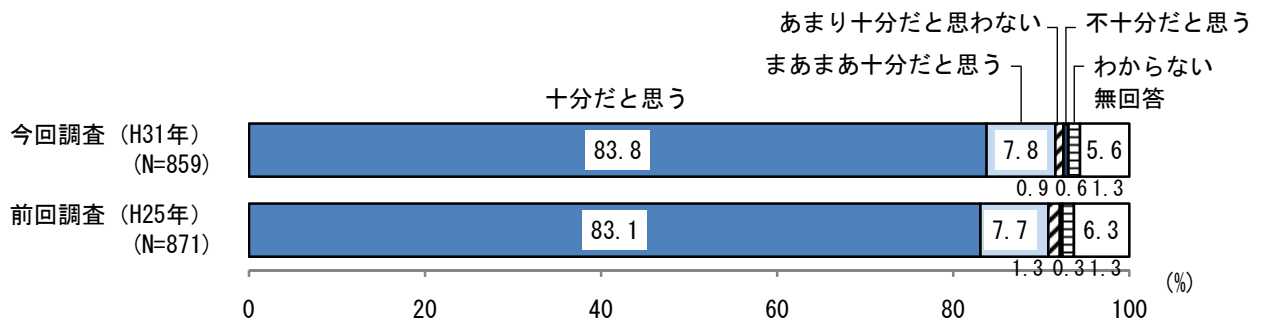
■ 休日に子どもと一緒に過ごす時間



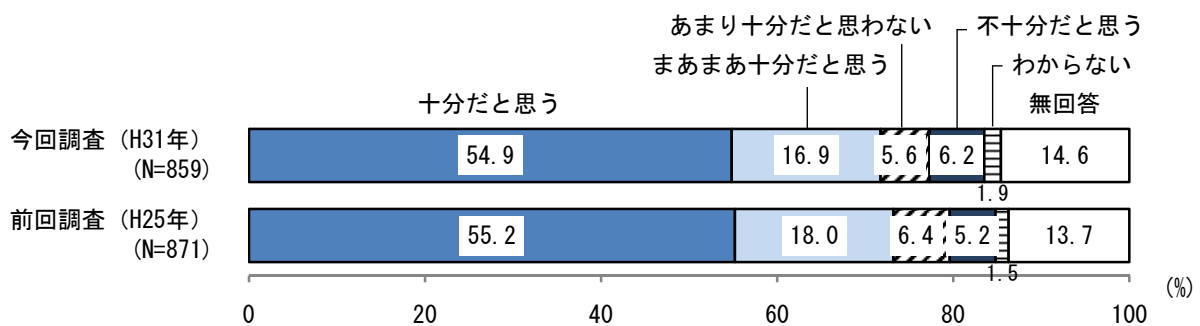
休日に子どもと一緒に過ごす時間については、母親、父親ともに「12 時間以上」が最も多く（母親 89.4%、父親 64.8%）なっています。

■ 休日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度

(母親)



(父親)

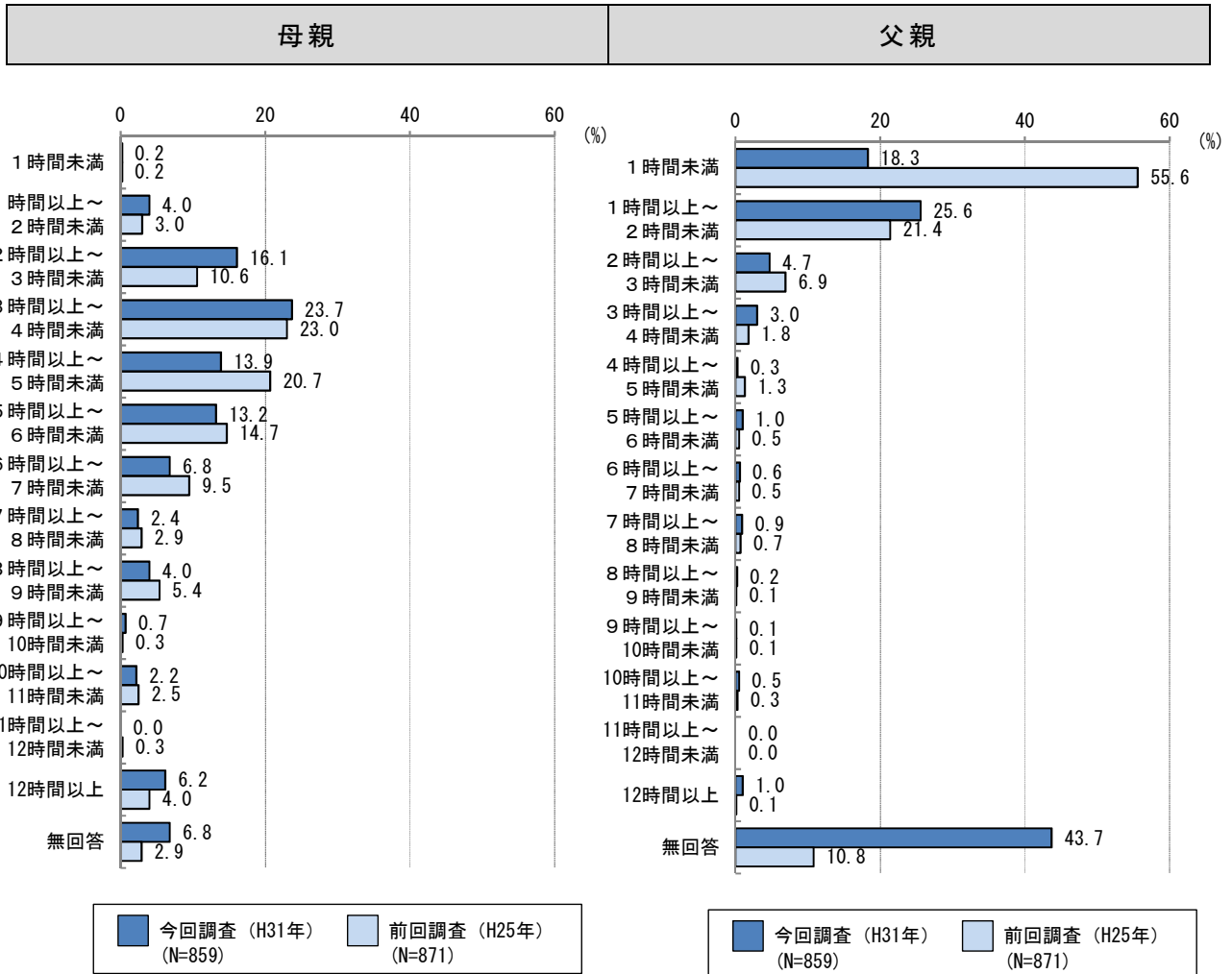


休日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度については、母親は『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）が 91.6%、父親は『十分』が 71.8%となっています。

II-1. 就学前児童調査

〔16〕 1日の家事時間

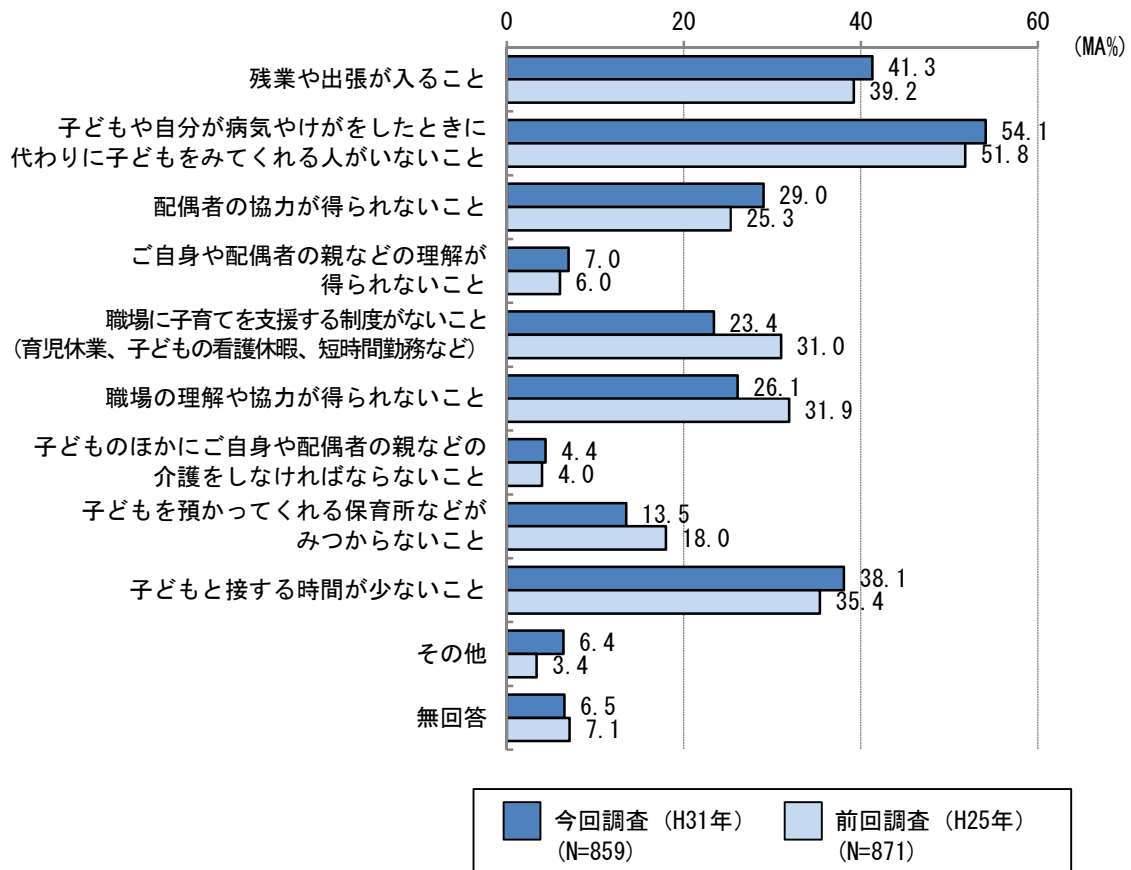
問26 1日あたり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。



1日あたりの家事時間については、母親は「3時間以上～4時間未満」(23.7%)、父親は「1時間以上～2時間未満」(25.6%)が最も多くなっています。

〔17〕 仕事と子育てを両立させる上での課題

問27 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



仕事と子育てを両立させる上での課題は、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 54.1%と最も多く、次いで、「残業や出張が入ること」が 41.3%、「子どもと接する時間が少ないこと」が 38.1%となっています。

7 放課後の過ごし方

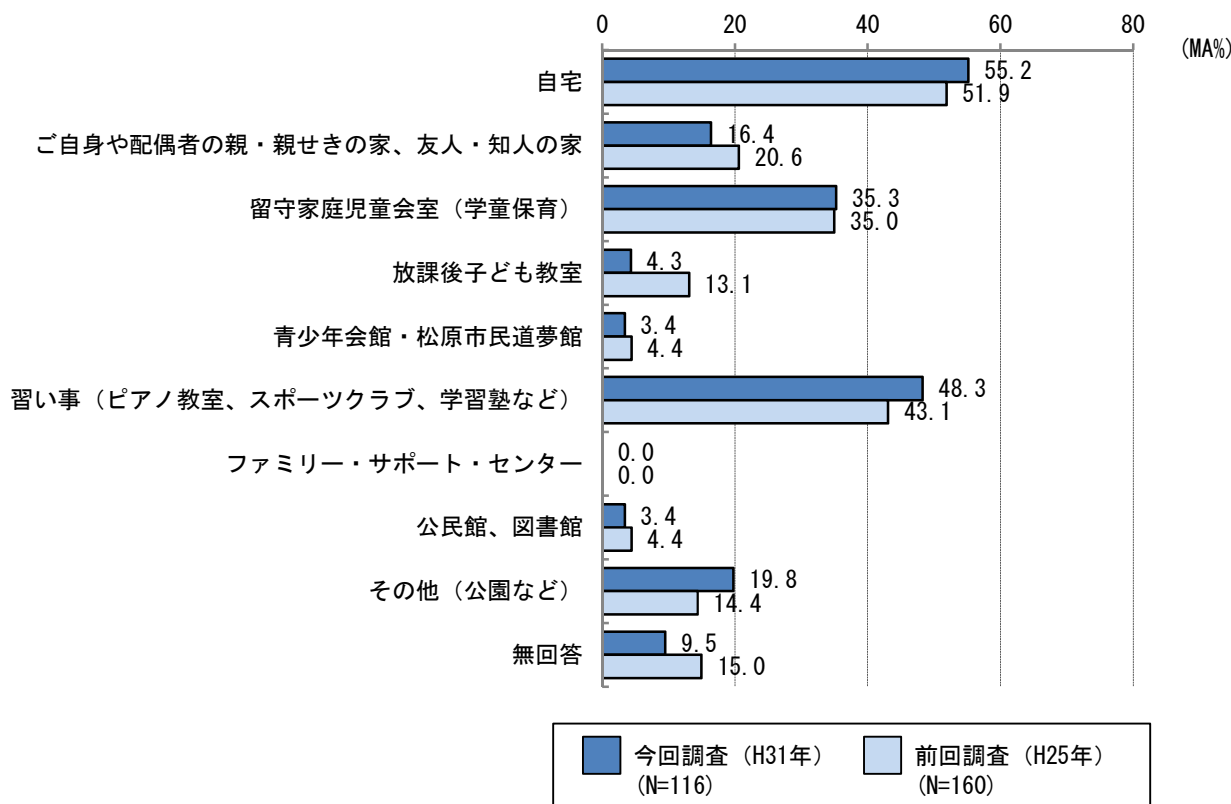
〔1〕小学校就学後の放課後の過ごし方（小学校低学年 1～3年生）

お子さんが5歳以上の方のみ

問28 小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

■低学年（1～3年生）のうち、放課後を過ごさせたい場所



※「留守家庭児童会室（学童保育）」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できますが、松原市では土曜日のみ実施しています。

5歳以上の子どもの保護者が、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が55.2%と最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が48.3%、「留守家庭児童会室（学童保育）」が35.3%となっています。

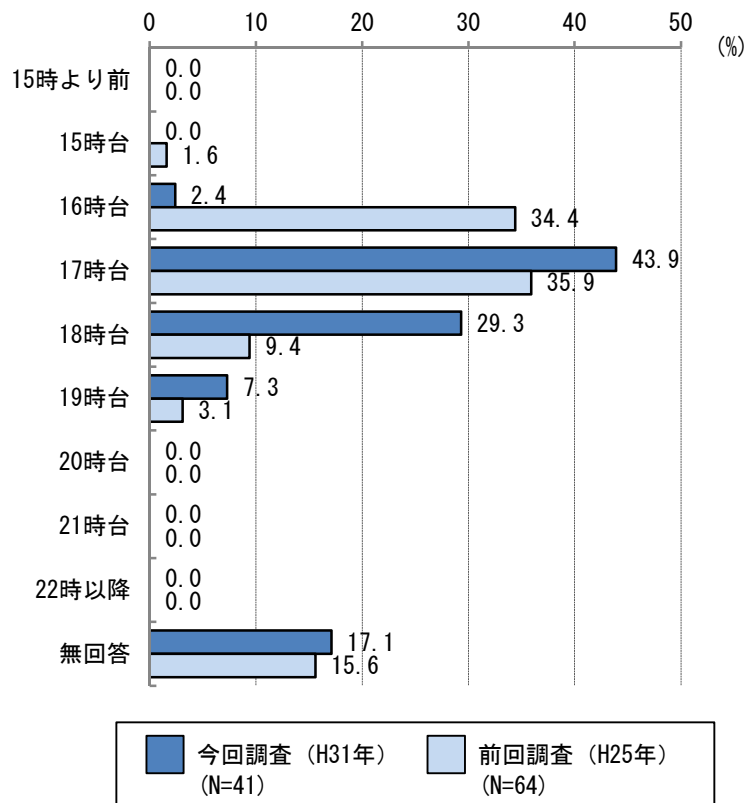
■ 1 週あたりの希望利用日数

	N	(%)							平均 (日)
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日 以上	無 回 答		
自宅	64	12.5	20.3	15.6	7.8	29.7	14.1	3.4	
ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	19	36.8	26.3	0	0	21.1	15.8	2.3	
留守家庭児童会室（学童保育）	41	0	2.4	2.4	14.6	68.3	12.2	4.9	
放課後子ども教室	5	20.0	0	0	0	60.0	20.0	4.3	
青少年会館・松原市民道夢館	4	50.0	0	25.0	0	0	25.0	1.7	
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	56	26.8	42.9	16.1	3.6	5.4	5.4	2.2	
ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	0	0	0	
公民館、図書館	4	75.0	25.0	0	0	0	0	1.4	
その他（公園など）	23	17.4	39.1	21.7	8.7	4.3	8.7	2.4	

1 週あたりの希望利用日数は、「自宅」「留守家庭児童会室（学童保育）」では「5 日以上」が最も多く、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」では「2 日」が最も多くなっています。

「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方のみ

■ 留守家庭児童会室（学童保育）の希望利用終了時間



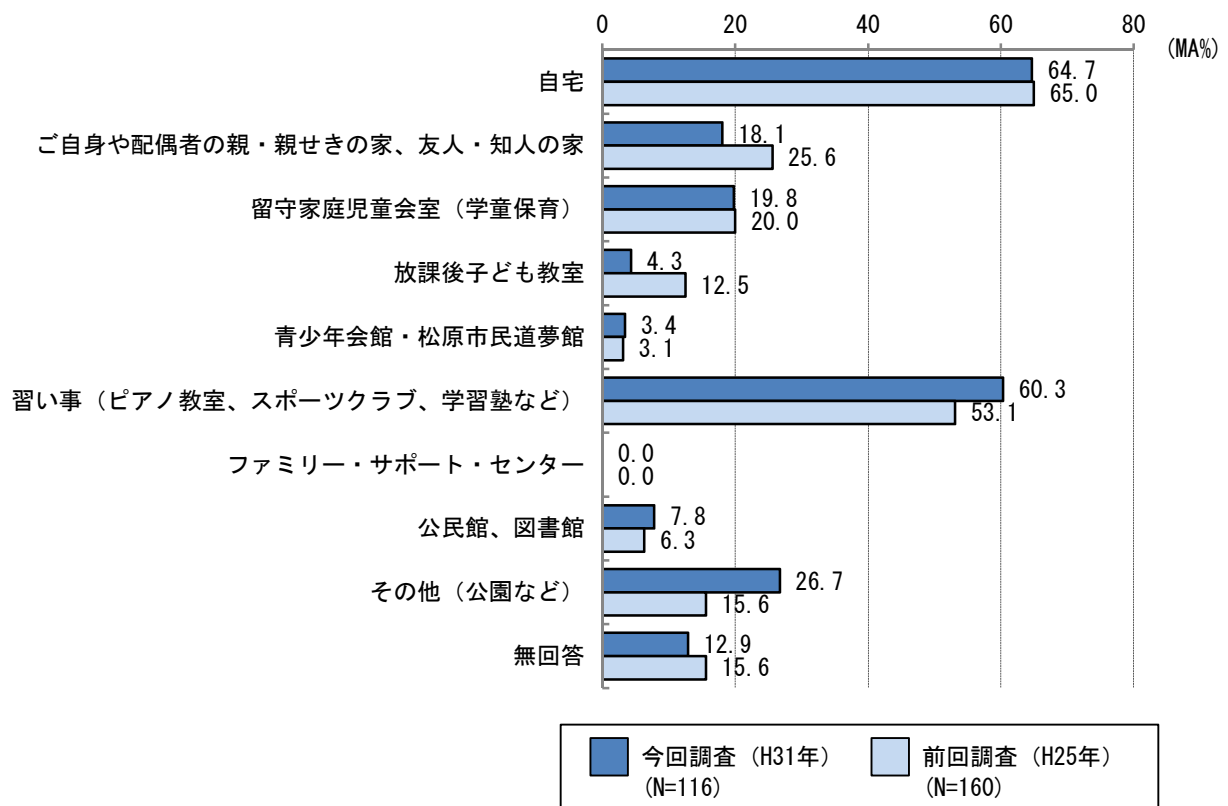
留守家庭児童会室（学童保育）を選択した方の希望利用終了時間は、「17 時台」が 43.9%と最も多く、次いで、「18 時台」が 29.3%となっています。

〔2〕 小学校就学後の放課後の過ごし方（小学校高学年 4～6年生）

お子さんが5歳以上の方のみ

問29 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。
 「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

■ 高学年（4～6年生）になったら放課後を過ごさせたい場所



5歳以上の子どもの保護者が、小学校高学年（4～6年生）になったら放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が64.7%と最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が60.3%となっています。

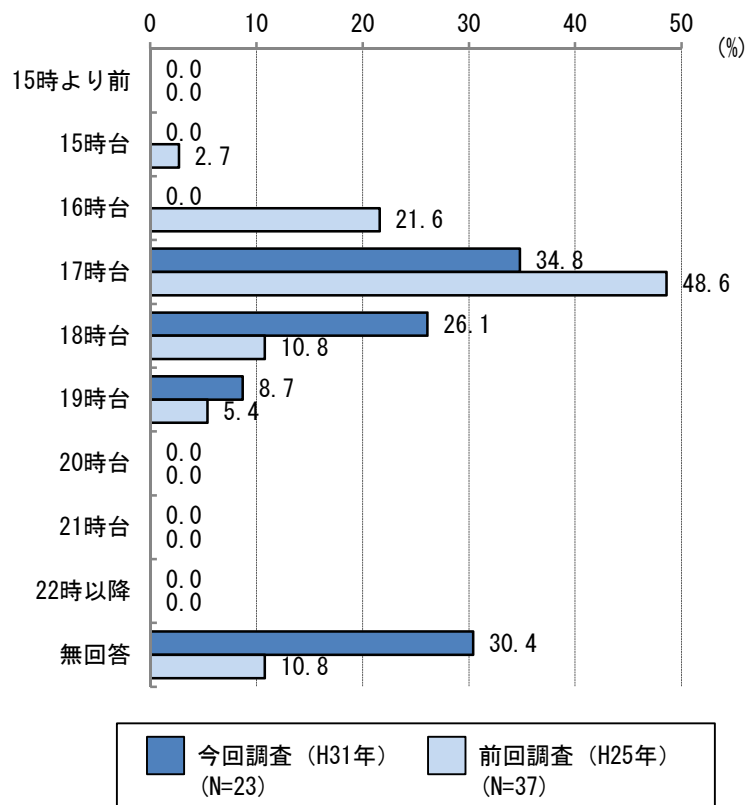
■ 1 週あたりの希望利用日数

	N	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答	平均(日)
自宅	75	12.0	32.0	6.7	2.7	34.7	12.0	3.4
ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	21	28.6	33.3	9.5	0	14.3	14.3	2.4
留守家庭児童会室（学童保育）	23	0	4.3	13.0	4.3	52.2	26.1	4.6
放課後子ども教室	5	20.0	0	0	0	40.0	40.0	3.7
青少年会館・松原市民道夢館	4	25.0	25.0	0	0	0	50.0	1.5
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	70	22.9	28.6	22.9	8.6	5.7	11.4	2.5
ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	0	0	0
公民館、図書館	9	44.4	33.3	11.1	0	0	11.1	1.8
その他（公園など）	31	32.3	29.0	22.6	6.5	6.5	3.2	2.4

1 週あたりの希望利用日数は、「自宅」「留守家庭児童会室（学童保育）」では「5日以上」が最も多く、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」では「2日」が最も多くなっています。

「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方のみ

■ 留守家庭児童会室（学童保育）の希望利用終了時間



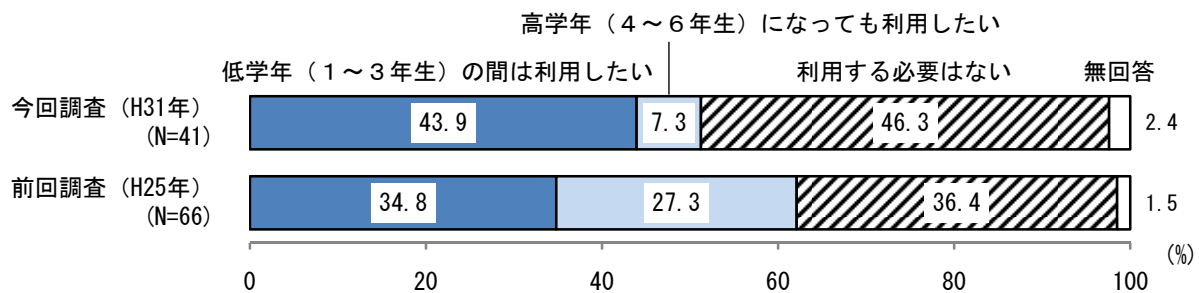
留守家庭児童会室（学童保育）を選択した方の希望利用終了時間は、「17 時台」が 34.8% と最も多く、次いで、「18 時台」が 26.1%となっています。

〔3〕土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望

問28または問29で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選ばれた方のみ

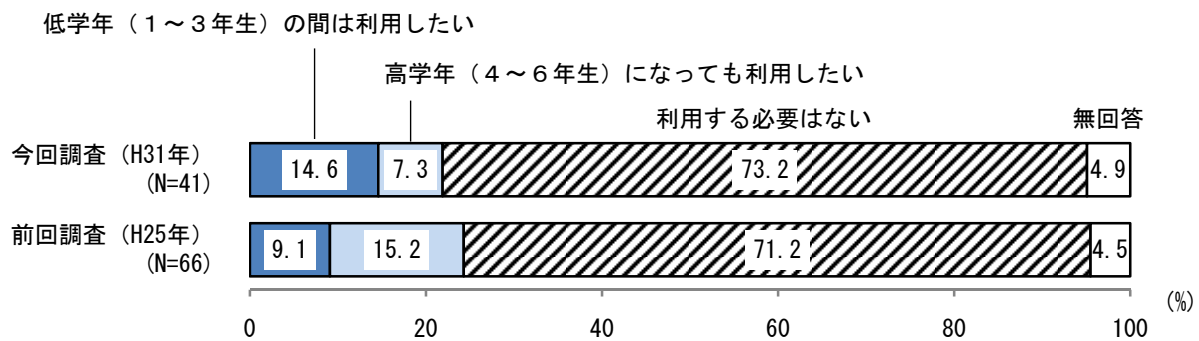
問30 土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように24時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

■土曜日の利用希望



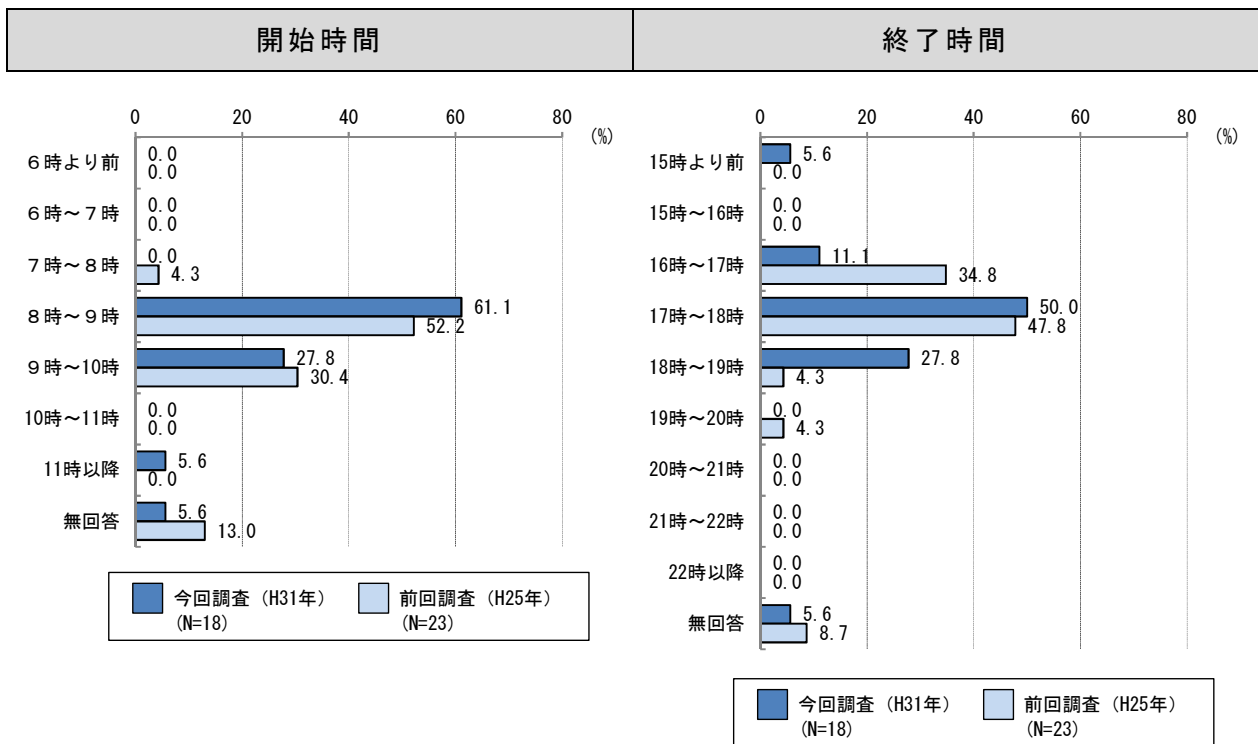
放課後を過ごさせたい場所で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方の、土曜日の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が43.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.3%となっています。「利用する必要はない」は46.3%で、前回調査に比べて9.9ポイント増加しています。

■日曜日・祝日の利用希望



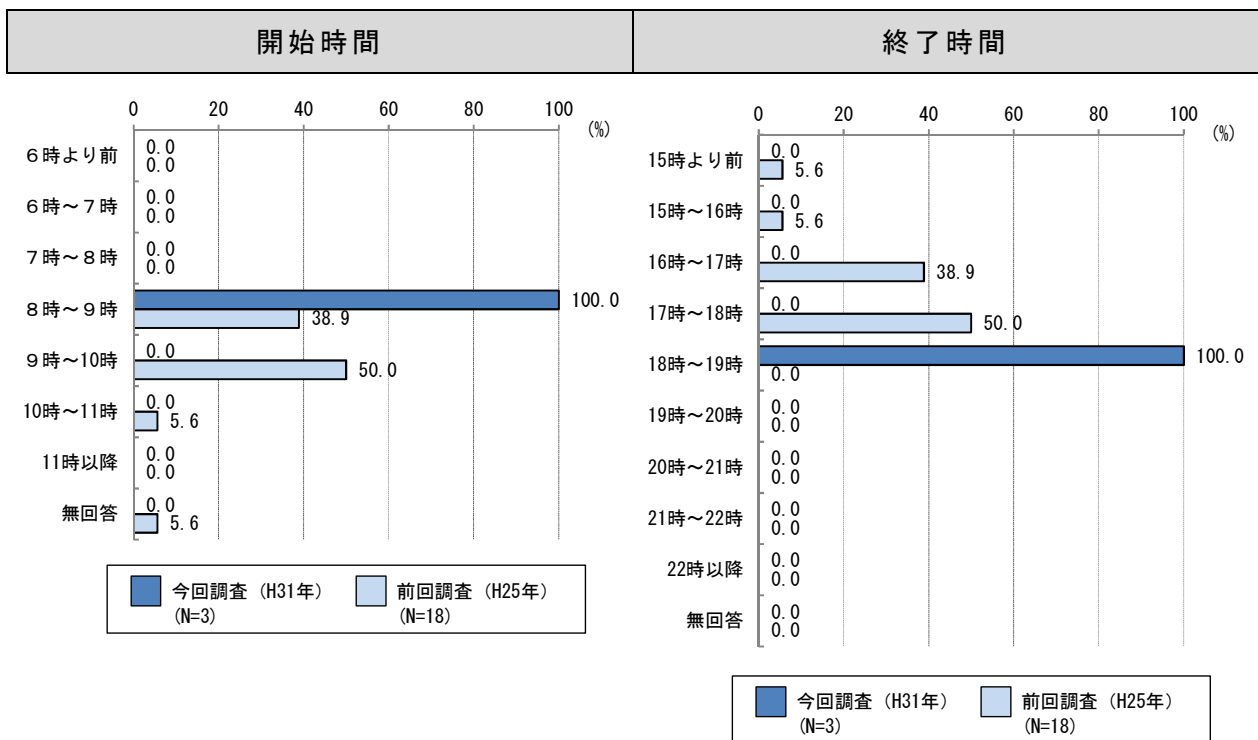
放課後を過ごさせたい場所で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方の、日曜日・祝日の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が14.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.3%で、「利用する必要はない」が73.2%となっています。

■土曜日を「低学年（1～3年生）の間は利用したい」人の希望利用時間帯



土曜日を、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」（61.1%）、希望終了時間は「17時～18時」（50.0%）が最も多くなっています。

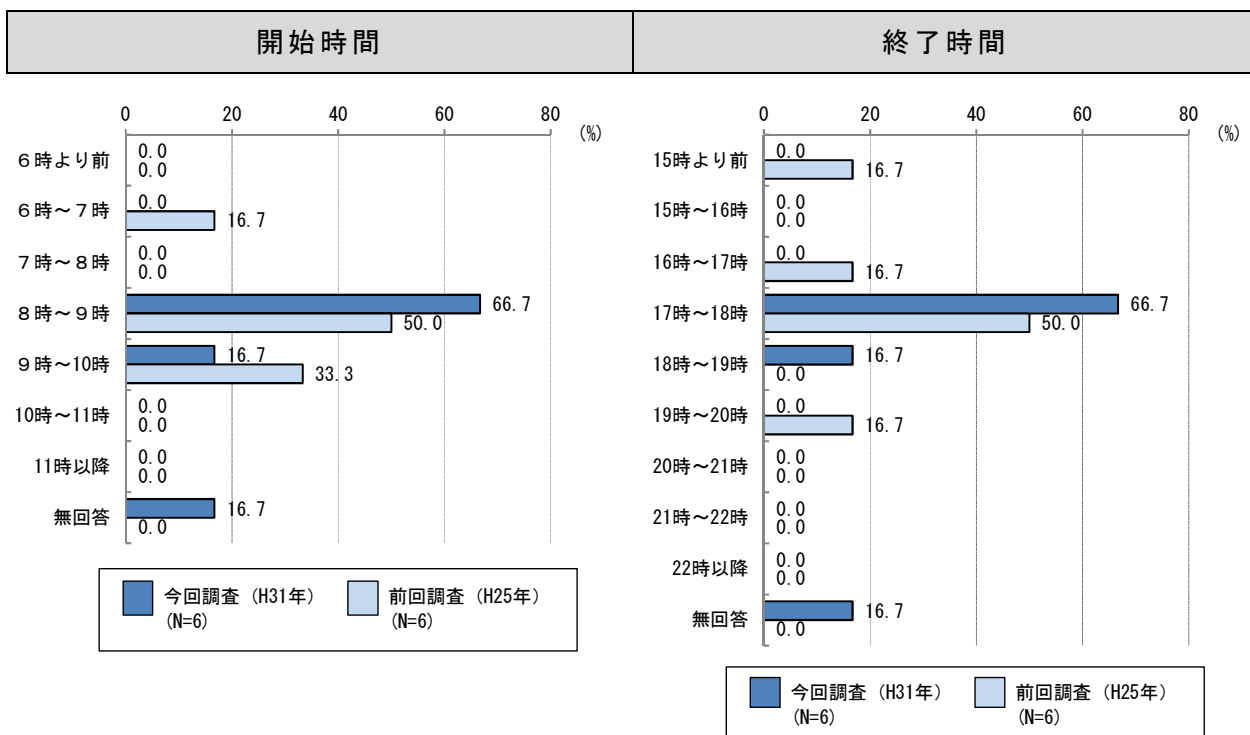
■土曜日を「高学年（4～6年生）になっても利用したい」人の希望利用時間帯



土曜日を、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」、希望終了時間は「18時～19時」がそれぞれ 100.0%となっています。

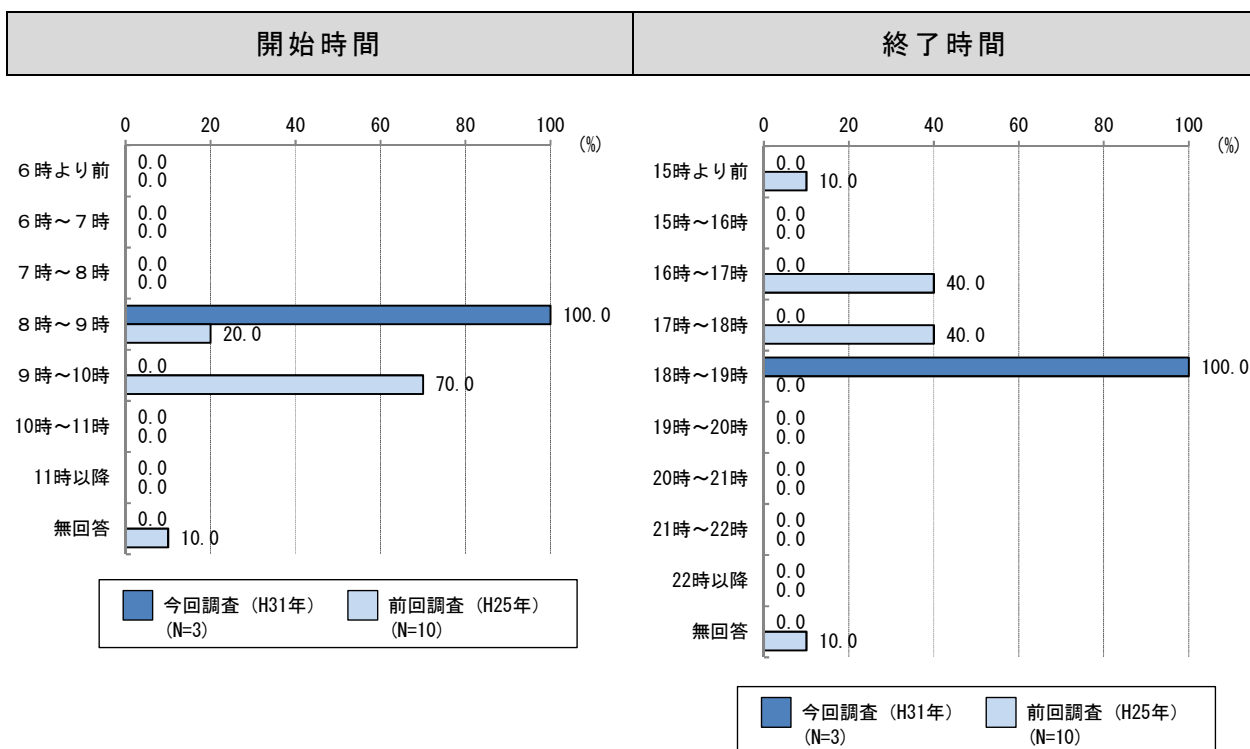
II-1. 就学前児童調査

■ 日曜日・祝日を「低学年（1～3年生）の間は利用したい」人の希望利用時間帯



日曜日・祝日を、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」（66.7%）、希望終了時間は「17時～18時」（66.7%）が最も多くなっています。

■ 日曜日・祝日を「高学年（4～6年生）になっても利用したい」人の希望利用時間帯



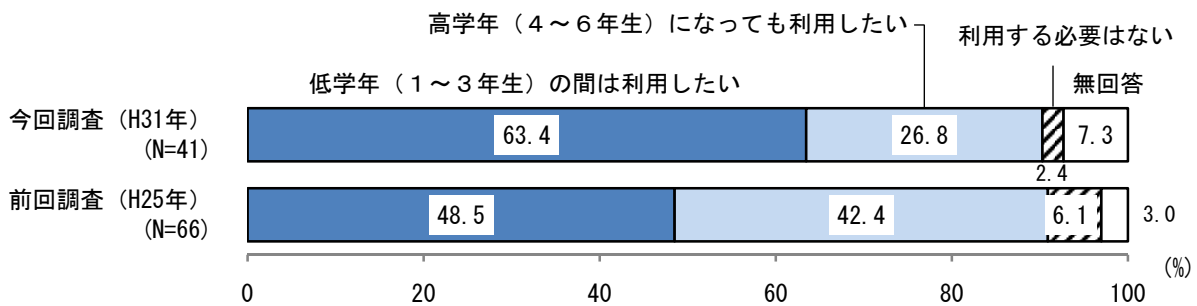
日曜日・祝日を、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」、希望終了時間は「18時～19時」がそれぞれ 100.0%となっています。

〔4〕長期休暇中の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望

問28または問29で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選ばれた方のみ

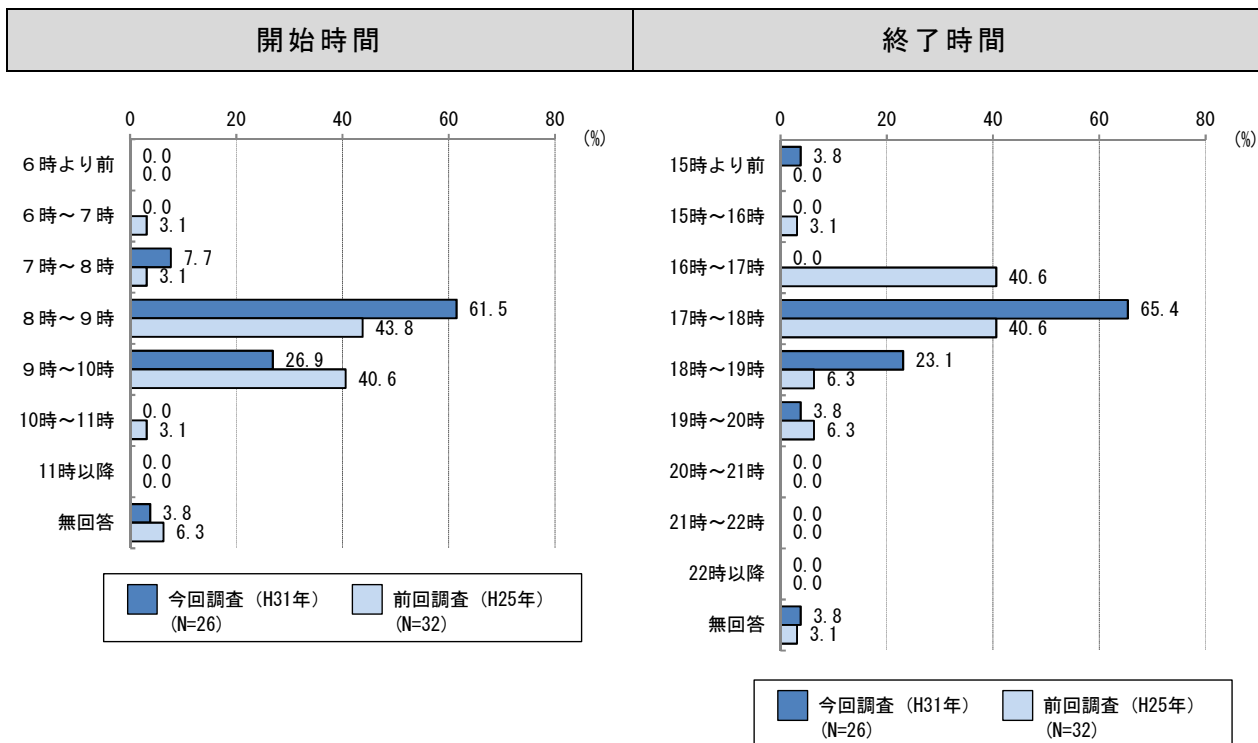
問31 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童会室(学童保育)の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に(9:00~18:00)のように24時間制で入れてください。
 なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

■長期休暇中の利用希望



放課後を過ごさせたい場所で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方の、長期休暇中の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が63.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.8%となっています。

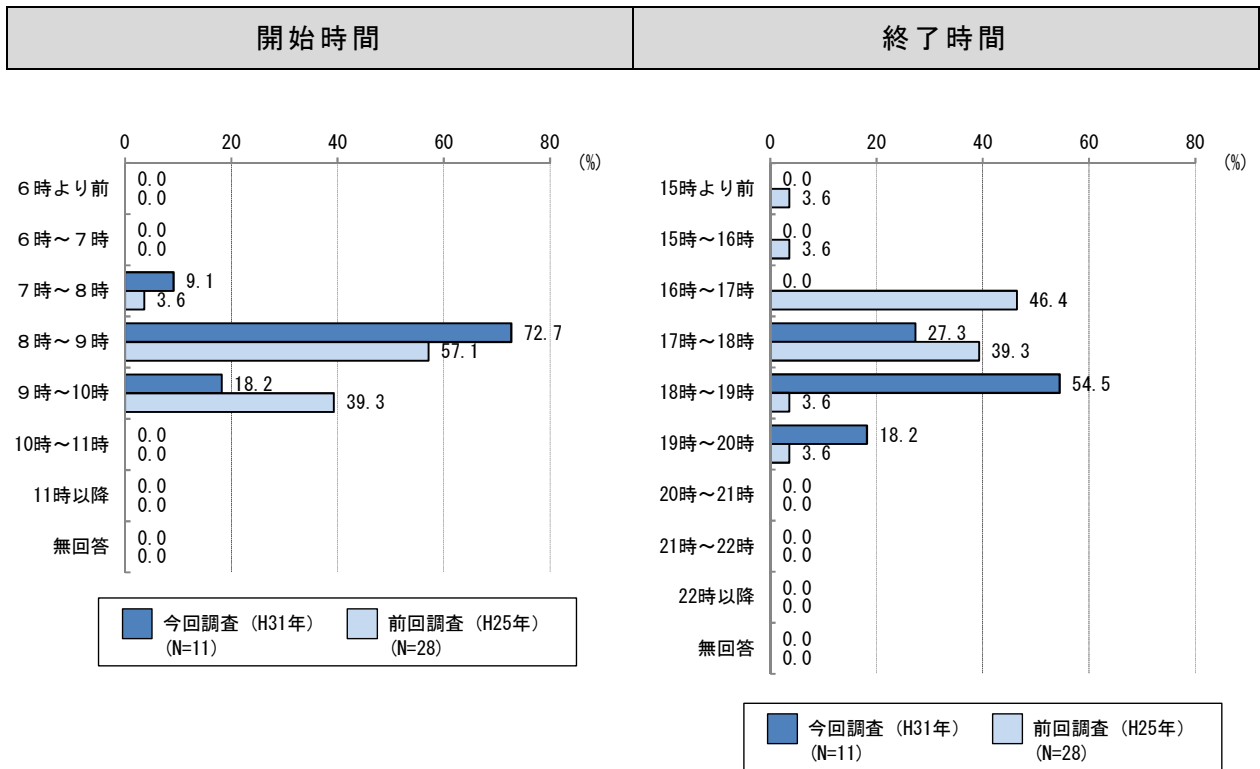
■長期休暇中を「低学年（1～3年生）の間は利用したい」人の希望利用時間帯



長期休暇中を、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」（61.5%）、希望終了時間は「17時～18時」（65.4%）が最も多くなっています。

II-1. 就学前児童調査

■ 長期休暇中を「高学年（4～6年生）になっても利用したい」人の希望利用時間帯



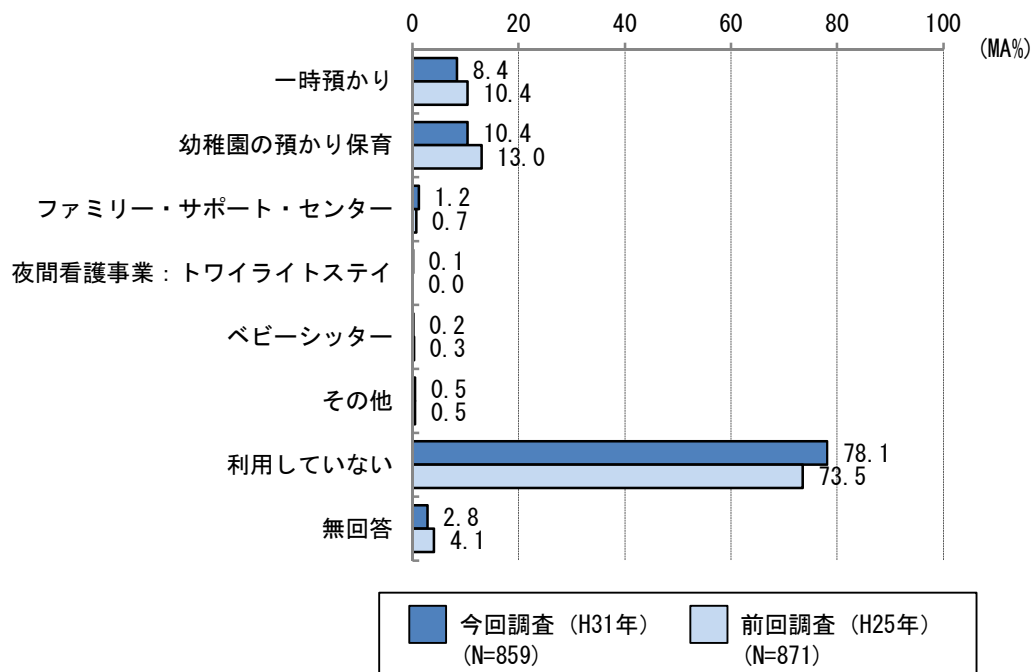
長期休暇中を、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」人の希望開始時間は「8時～9時」（72.7%）、希望終了時間は「18時～19時」（54.5%）が最も多くなっています。

8 幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用

〔1〕親の通院や不定期な仕事により不定期に利用した預かりサービス

問32 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気の際の保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

■利用したサービス



※各施設やサービスの内容については以下のとおり

- 一時預かり…私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス
- 幼稚園の預かり保育…幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合
- ファミリー・サポート・センター…市役所に登録している近所の方が子どもをみてるサービス
- 夜間看護事業：トワイライトステイ…仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの

親の通院、不定期な仕事などを理由として、「不定期に」利用したサービスは、「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」で1割程度みられますが、「利用していない」が78.1%となっています。

II-1. 就学前児童調査

■ 1年間の利用日数

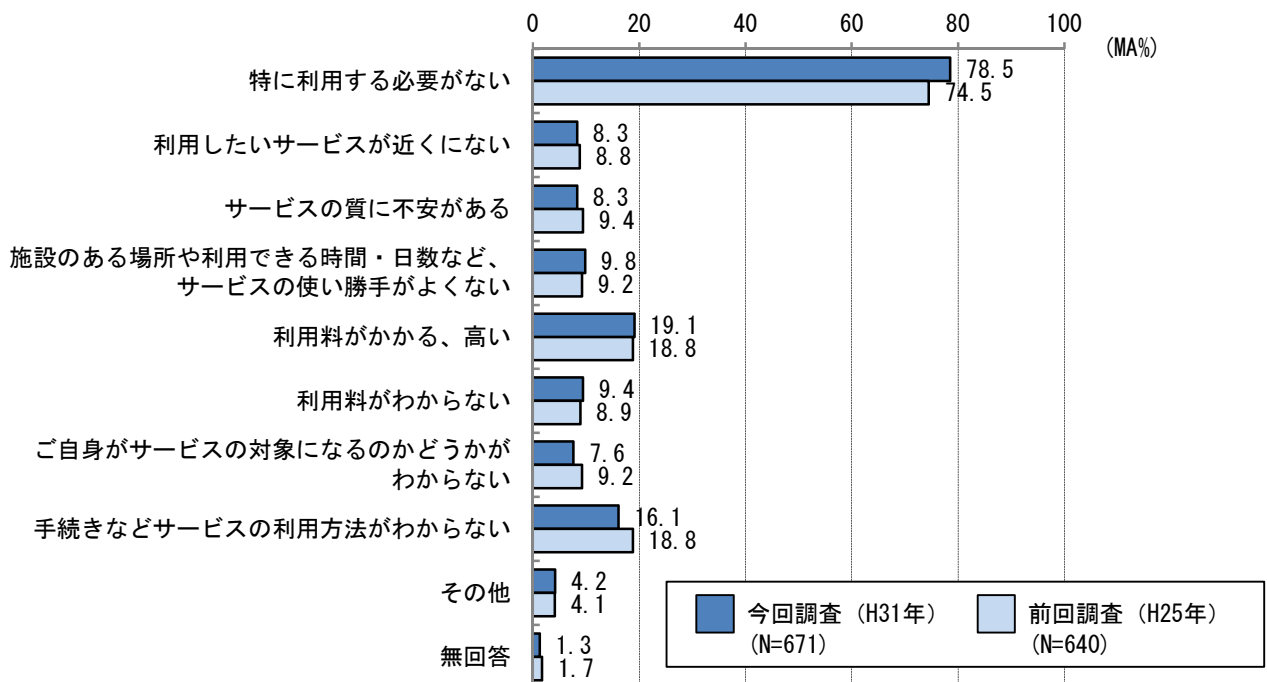
	N	(%)							平均 (日)
		1日 ～ 2日	3日 ～ 5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無 回 答	
一時預かり	72	33.3	19.4	13.9	6.9	5.6	11.1	9.7	14.1
幼稚園の預かり保育	89	12.4	20.2	24.7	19.1	4.5	12.4	6.7	17.9
ファミリー・サポート・センター	10	50.0	10.0	10.0	0	0	10.0	20.0	7.6
夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	0	0	100.0	0	0	0	0	10.0
ベビーシッター	2	0	0	50.0	0	0	0	50.0	10.0
その他	4	75.0	25.0	0	0	0	0	0	2.6

1年間の利用日数は、「一時預かり」では「1日～2日」が最も多く、「幼稚園の預かり保育」では「6日～10日」が最も多くなっています。

〔2〕 不定期に預かりサービスを利用していない理由

問32で「利用していない」を選ばれた方のみ

問32-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

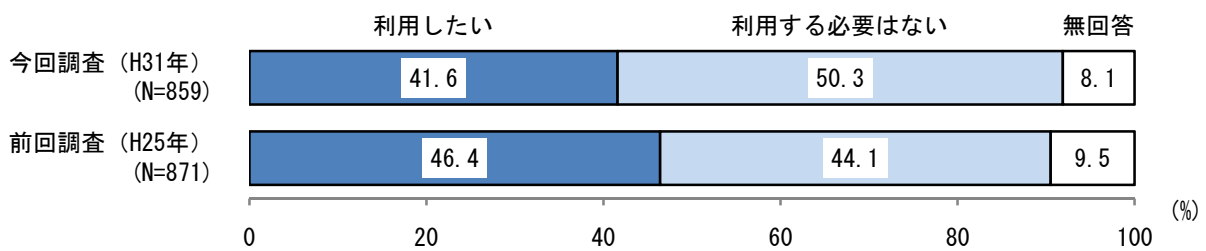


不規則な預かりサービスを「利用していない」理由は、「特に利用する必要がない」が78.5%と最も多く、次いで、「利用料がかかる、高い」が19.1%、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」が16.1%となっています。

〔3〕「一時預かり」の利用意向

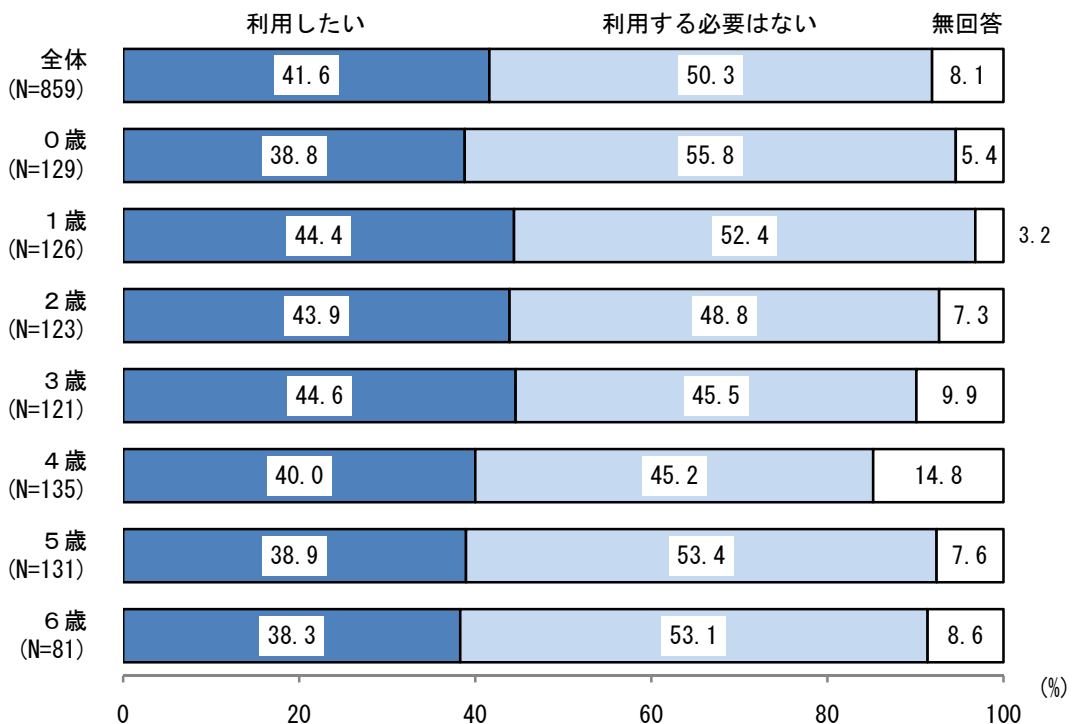
問33 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期的な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。
 なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

■ 利用意向の有無



保育所などで実施されている「一時預かり」を「利用したい」は 41.6%、「利用する必要はない」は 50.3%となっています。

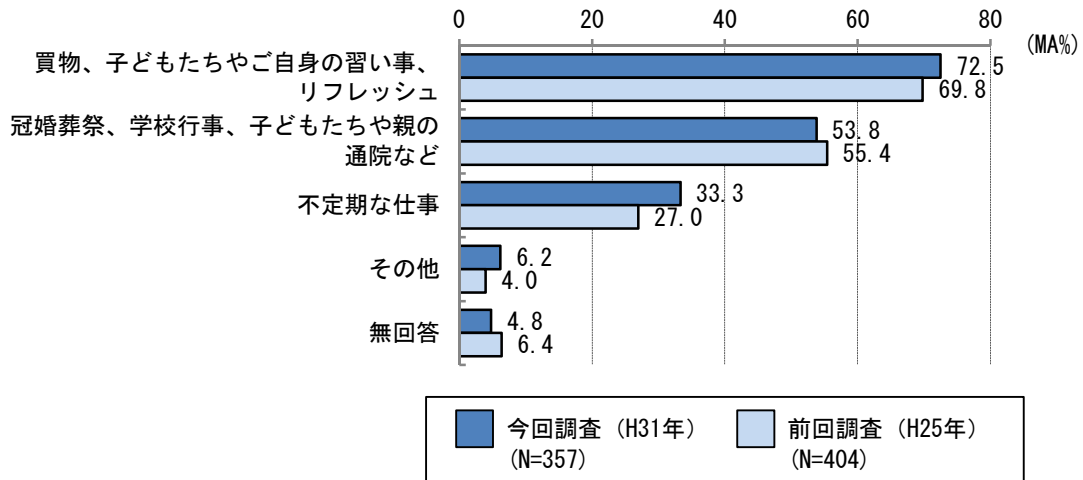
【年齢別 「一時預かり」の利用意向】



年齢別にみると、「利用したい」は「1歳」から「3歳」でやや多くなっていますが、すべての年齢で4割前後となっています。

「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用希望者の利用目的



「一時預かり」を「利用したい」方の利用目的は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が 72.5%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が 53.8%、「不定期な仕事」が 33.3%となっています。

■ 1 年間の利用希望日数

	N	(%)							平均 (日)
		1日	3日	6日	1週間	2週間	3週間以上	無回答	
利用希望日数計	357	3.4	8.7	13.7	21.6	9.5	10.9	32.2	20.6
買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ目的	259	11.6	14.7	23.9	22.0	6.6	6.9	14.3	12.8
冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	192	15.6	36.5	19.3	7.8	1.6	1.0	18.2	7.3
不定期な仕事	119	11.8	21.8	20.2	13.4	4.2	5.0	23.5	13.3
その他	22	13.6	31.8	13.6	13.6	0	13.6	13.6	15.1

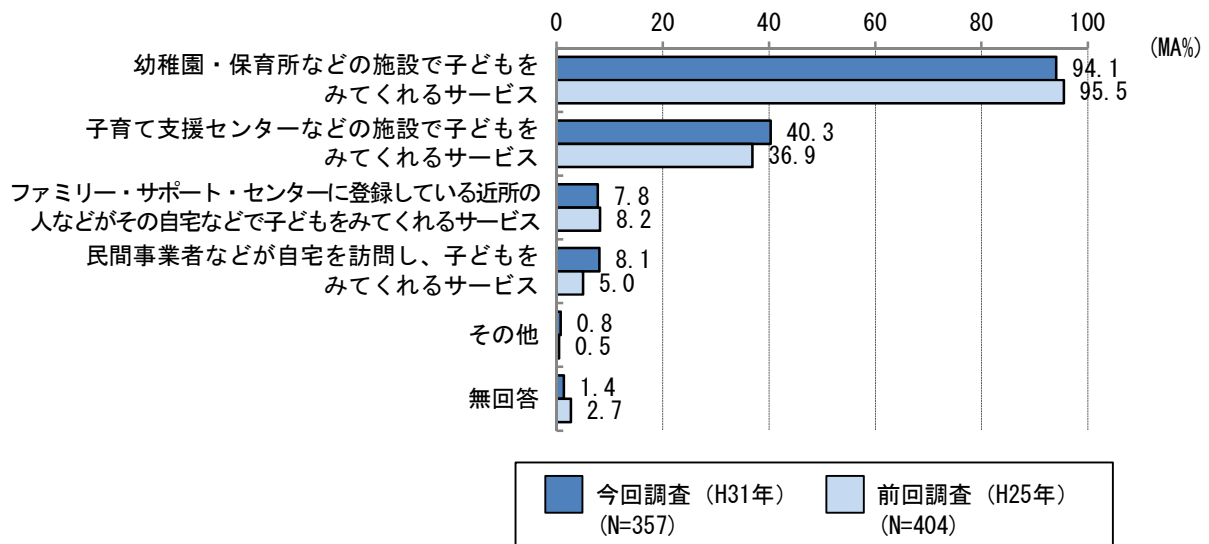
1年間の利用希望日数は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」では「6～10日」が最も多く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」「不定期な仕事」では「3日～5日」が最も多くなっています。また、「一時預かり」全体の利用希望日数は年平均で 20.6 日となっています。

〔4〕「一時預かり」に望ましいサービス

問33で「利用したい」を選ばれた方のみ

問33-1 問33の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

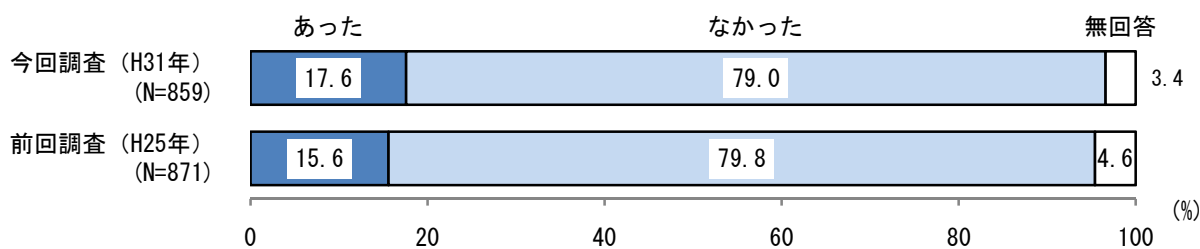


「一時預かり」の利用希望者に、「一時預かり」として子どもを預けるのに望ましいと思われる子育て支援サービスをたずねたところ、「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてるサービス」が94.1%と最も多く、次いで、「子育て支援センターなどの施設で子どもをみてるサービス」が40.3%となっています。

〔5〕子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験

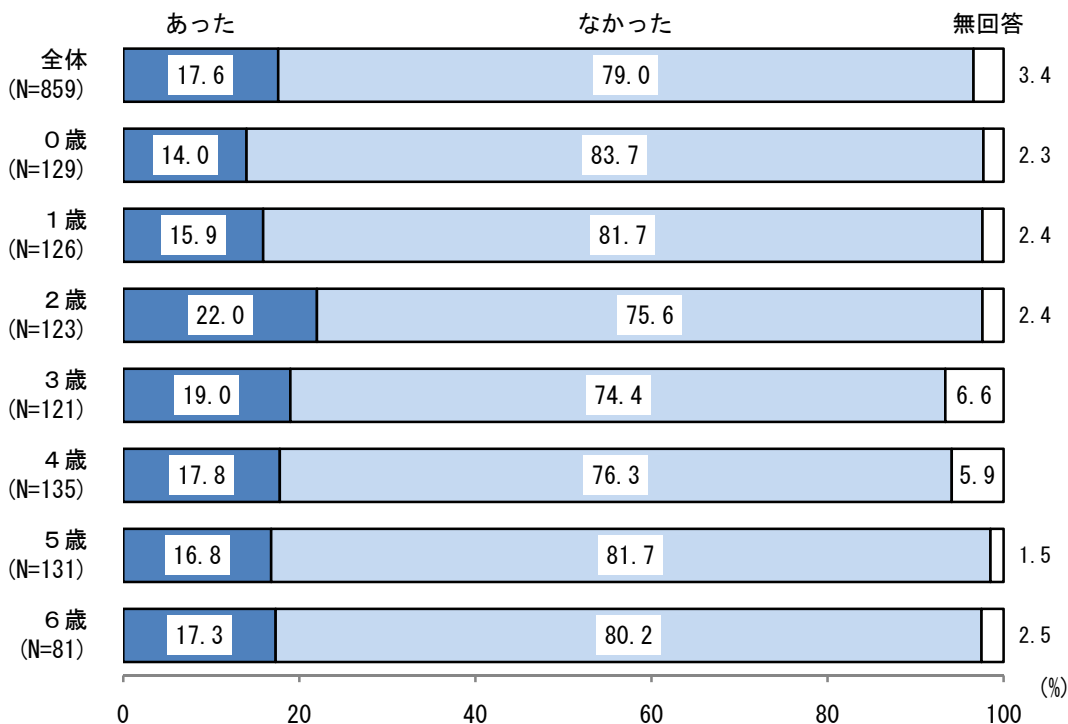
問34 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)あったか、なかったかについて、あてはまる番号に○をつけてください。あった場合、その対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、枠内に日数を記入してください。

■子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験の有無



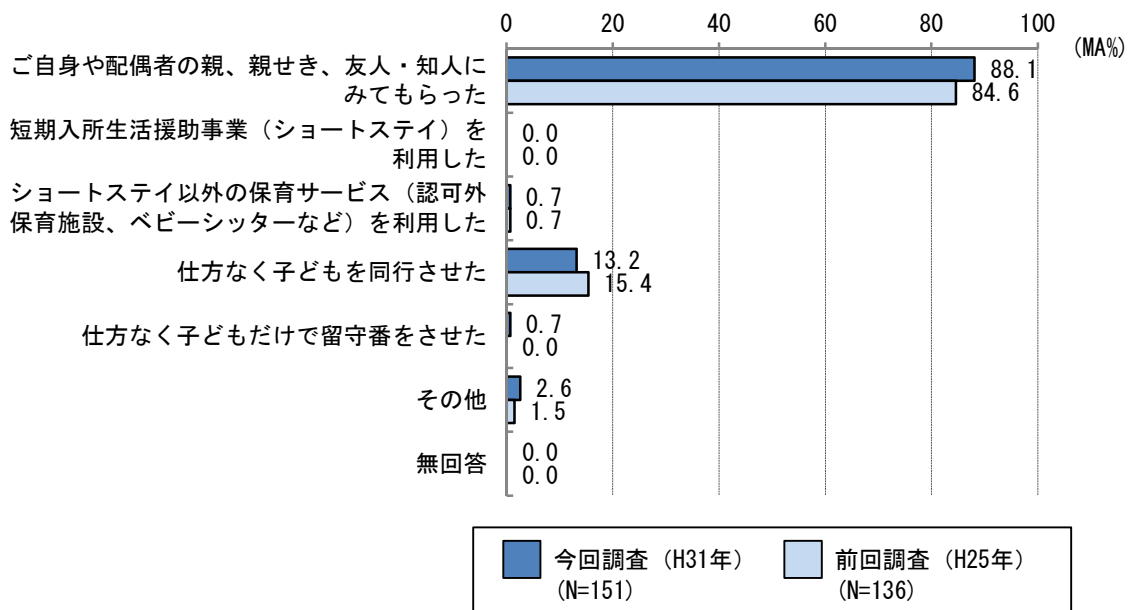
この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらうことが「あった」は17.6%となっています。

【年齢別 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験の有無】



年齢別にみると、「あった」は「2歳」で22.0%とやや多く、すべての年齢で2割前後となっています。

■この1年間の対処の方法



※短期入所生活援助事業（ショートステイ）…児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの

子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった際の、この1年間の対処の方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が88.1%と最も多く、次いで、「仕方なく子どもを同行させた」が13.2%となっています。

■対処した日数（年間）

	N	(%)							平均（日）
		1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	
ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった日数（同居している場合も含む）	133	33.8	12.0	10.5	8.3	9.0	18.0	8.3	6.6
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショートステイ以外の保育サービス（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した日数	1	0	0	0	0	0	100.0	0	10.0
仕方なく子どもを同行させた日数	20	25.0	15.0	20.0	5.0	0	10.0	25.0	3.8
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数	1	0	0	100.0	0	0	0	0	3.0
その他日数	4	0	0	0	0	0	50.0	50.0	13.5

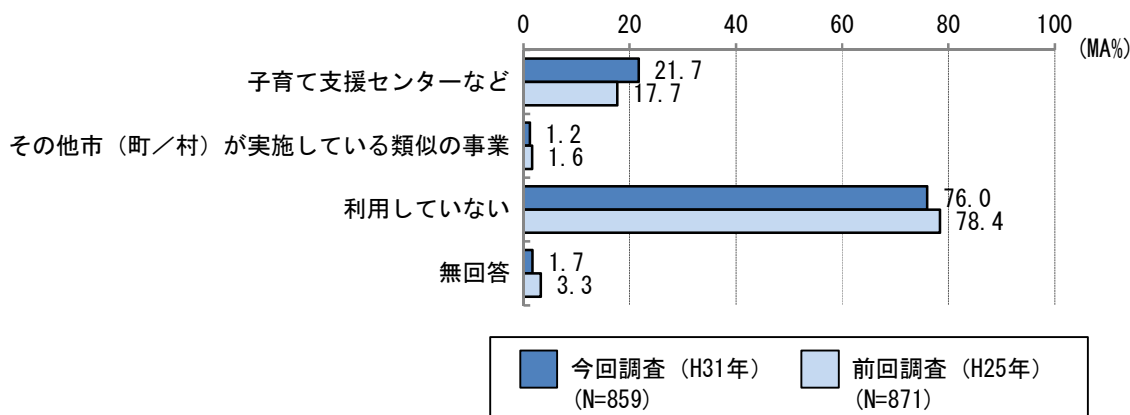
子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった日数は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」「仕方なく子どもを同行させた」ともに「1日」が最も多くなっています。

9 地域の子育て支援サービスの利用状況

〔1〕子育て支援センターなどの利用状況

問35 子育て支援センターなどについておうかがいします。現在、子育て支援センターなどを利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

■ 利用状況

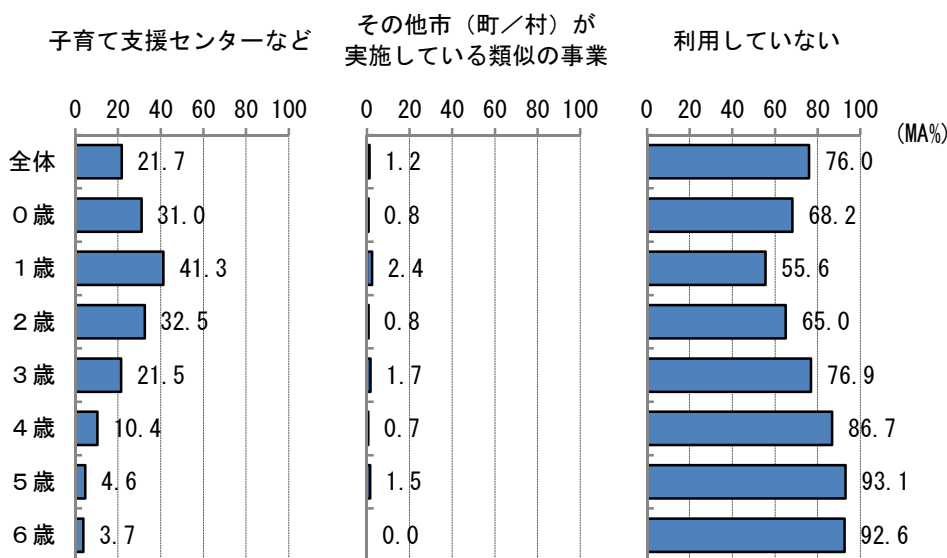


※子育て支援センターなど

親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、松原市では「なごみのひろば」「わいわいひろば」「キラキラひろば」「子育て支援センターのびのび」「子育て支援センターわくわく」「子育て支援センターともだち広場」「子育て支援センターぴい～す KIDS」「子育て支援センターNICO(ニコ)ひろば」「子育て支援センターあいあい・あいあいひろば」が該当します。

「子育て支援センターなど」を利用している人は 21.7%、「その他市(町/村)が実施している類似の事業」は 1.2%、「利用していない」が 76.0%となっています。

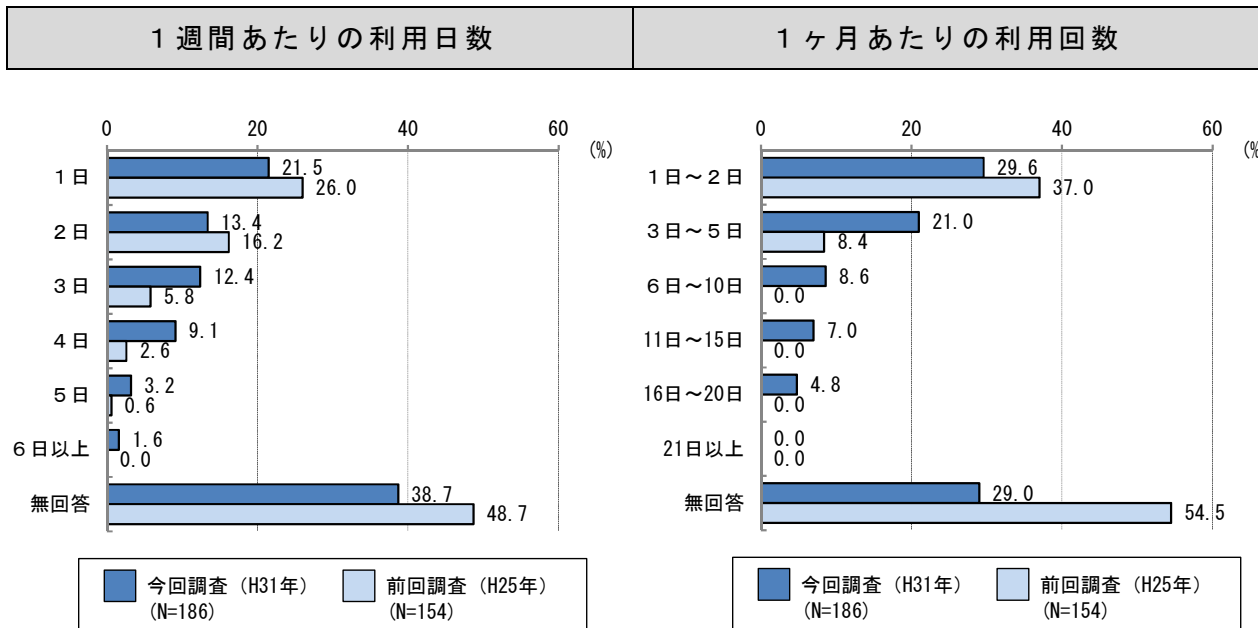
【年齢別 子育て支援センターなどの利用状況】



年齢別にみると、「子育て支援センターなど」の利用は「1歳」が 41.3%と最も多く、次いで、「2歳」(32.5%)、「0歳」(31.0%)となっています。

「子育て支援センターなど」の利用者のみ

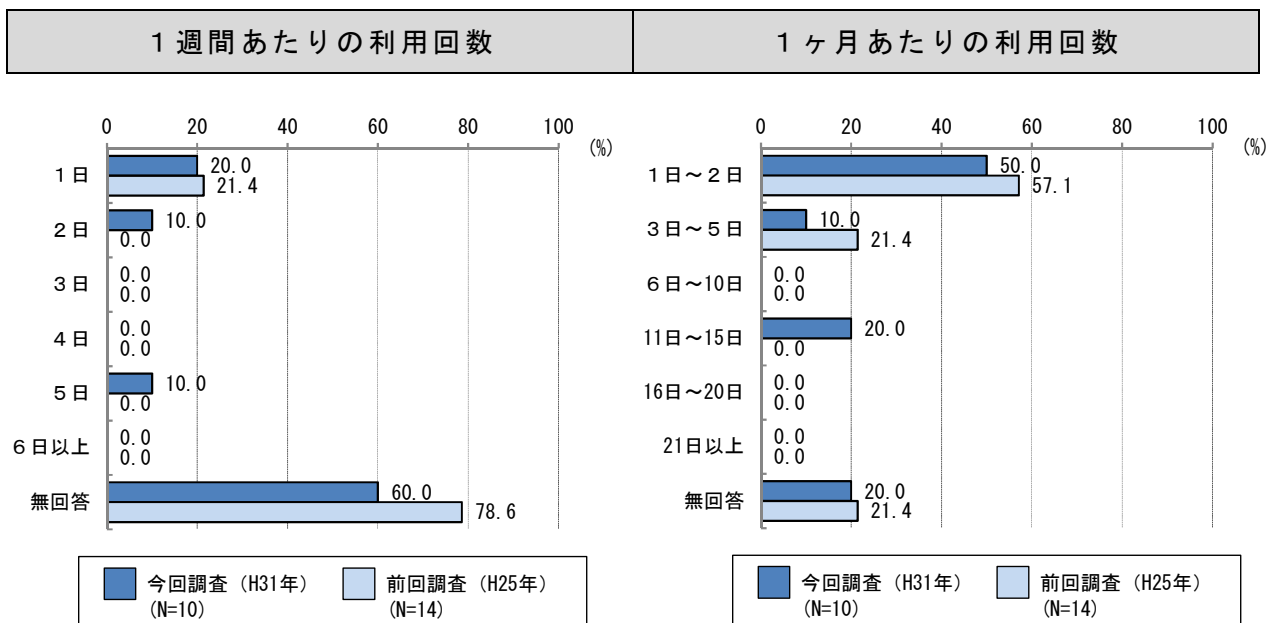
■子育て支援センターなどの利用日数



子育て支援センターなどの利用者の、1週間あたりの利用日数は、「1日」(21.5%)が最も多く、1ヶ月あたりの利用回数は、「1日～2日」(29.6%)が最も多くなっています。

「その他市(町/村)が実施している類似の事業」の利用者のみ

■その他市(町/村)が実施している類似の事業の利用回数

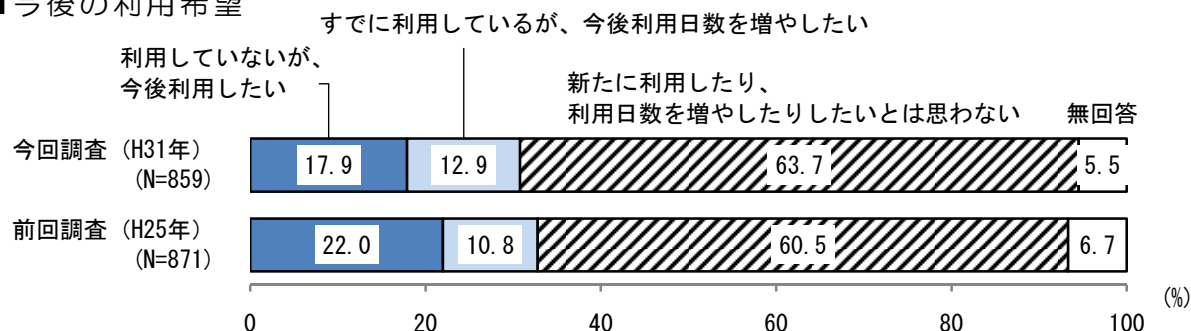


その他市(町/村)が実施している類似の事業の利用者の、1週間あたりの利用回数は、「1日」(20.0%)が最も多く、1ヶ月あたりの利用回数は、「1日～2日」(50.0%)が最も多くなっています。

〔2〕子育て支援センターなどの今後の利用希望

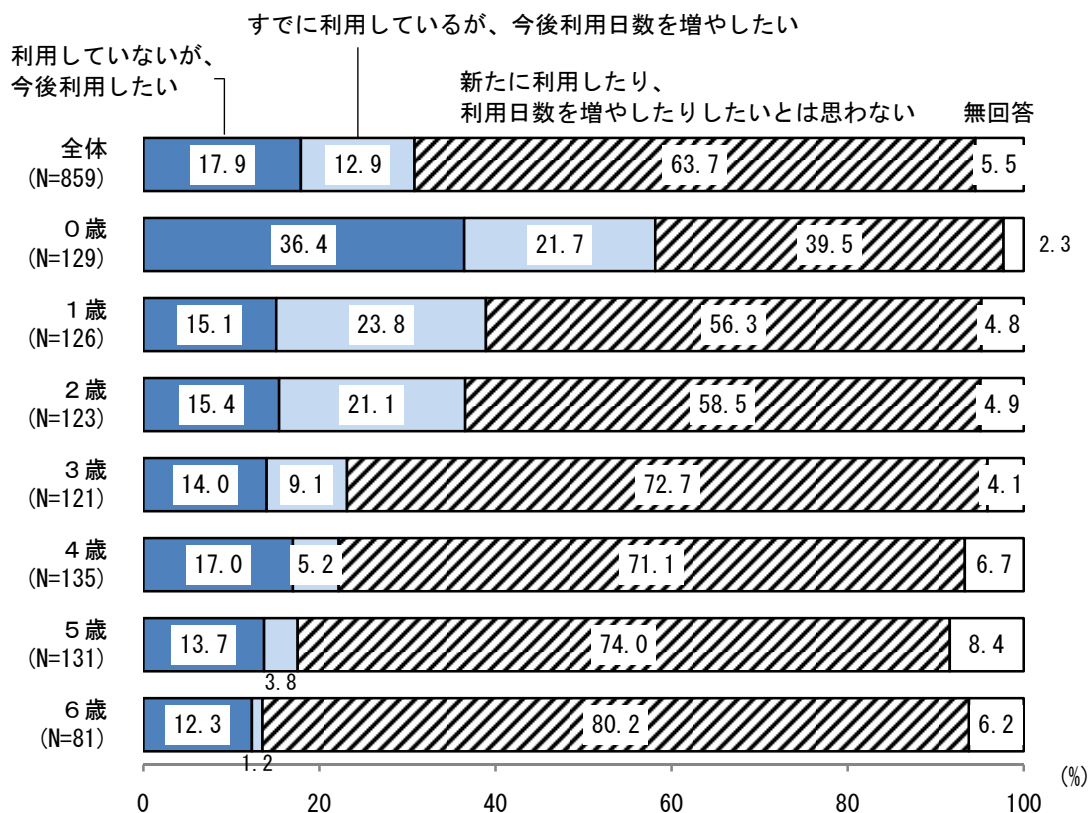
問36 子育て支援センターなどについて、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

■今後の利用希望



子育て支援センターなどについての今後の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」が17.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.9%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が63.7%となっています。

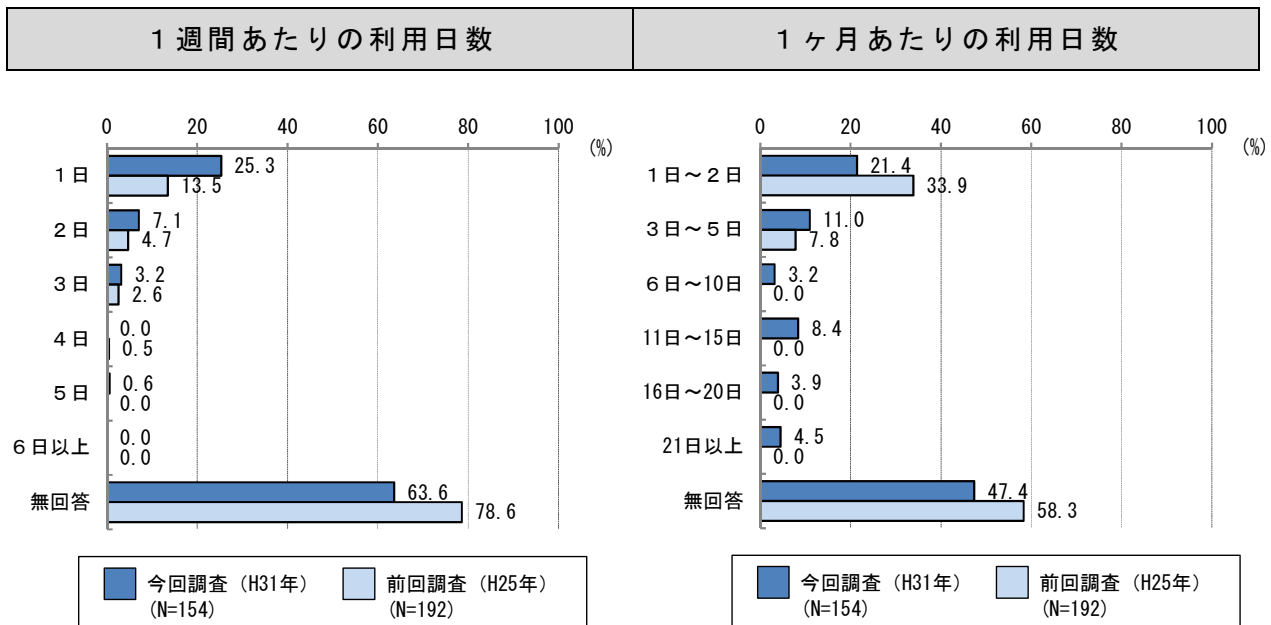
【年齢別 子育て支援センターなどの今後の利用希望】



年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は「0歳」で36.4%と最も多く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は「0歳」「1歳」「2歳」で2割程度となっています。「3歳」以上は「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が7割以上と多くなっています。

「利用していないが、今後利用したい」人のみ

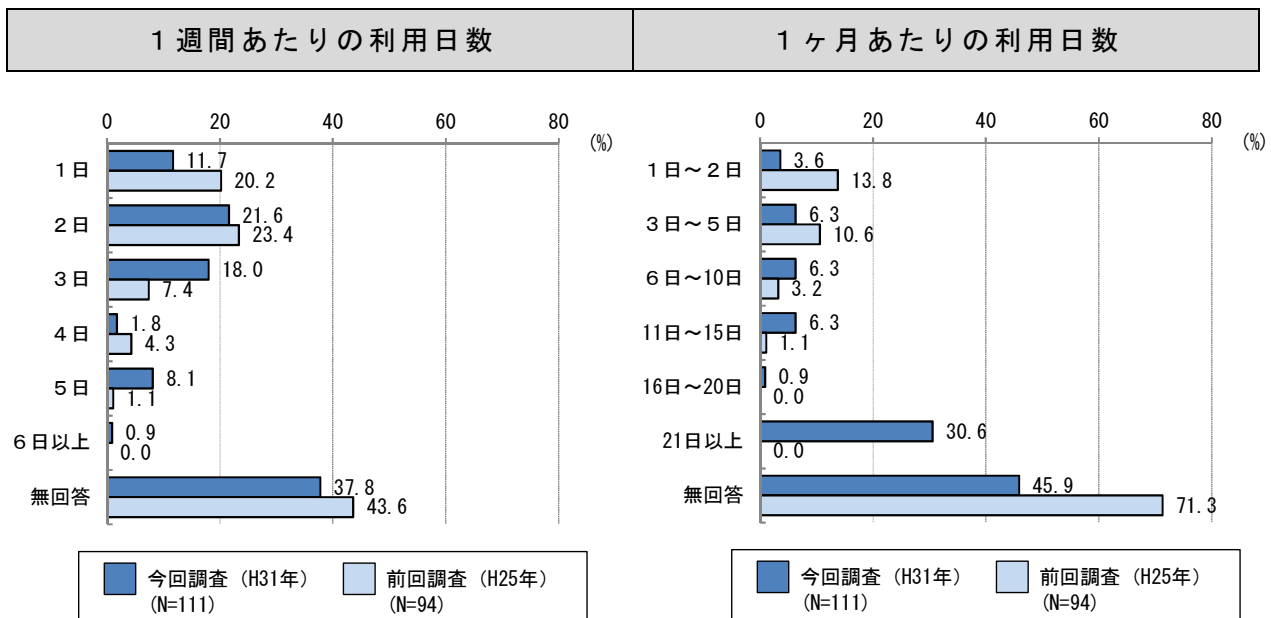
■ 「利用していないが、今後利用したい」人の希望利用日数



「利用していないが、今後利用したい」人の、1週間あたりの希望利用日数は「1日」(25.3%)が最も多く、1ヶ月あたりの希望利用日数は「1日～2日」(21.4%)が最も多くなっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人のみ

■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の希望利用回数

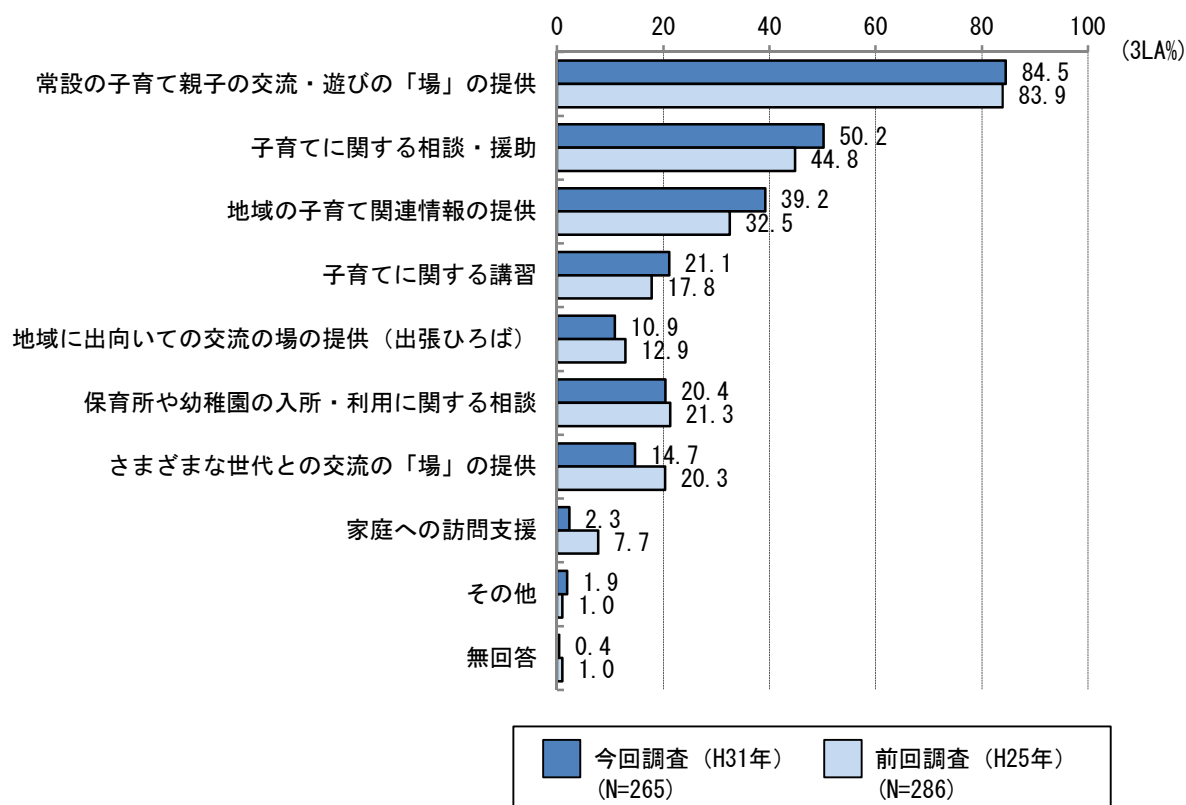


「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の、1週間あたりの希望利用日数は「2日」(21.6%)が最も多く、1ヶ月あたりの希望利用日数は「21日以上」(30.6%)が最も多くなっています。

〔3〕 利用したいサービス

問36で「1」、「2」（今後の利用希望あり）を選ばれた方におうかがいします。

問36-1 子育て支援センターなどを利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。



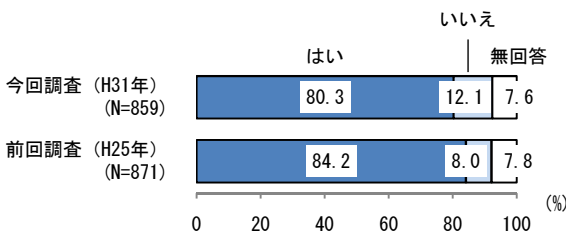
子育て支援センターなどを「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方の利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流・遊びの「場」の提供」が84.5%と最も多く、次いで、「子育てに関する相談・援助」が50.2%、「地域の子育て関連情報の提供」が39.2%となっています。

〔4〕子育て支援サービスの認知度・利用度

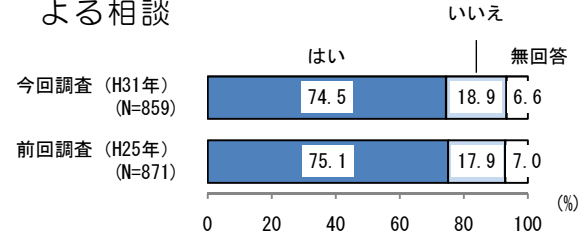
問37 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

■ 認知度（知っている）

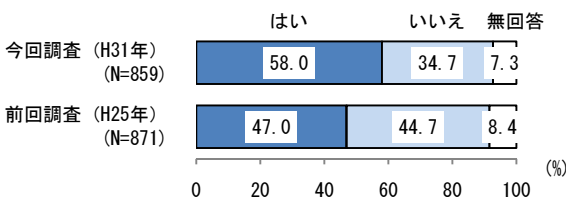
① マタニティスクール、パパママ教室



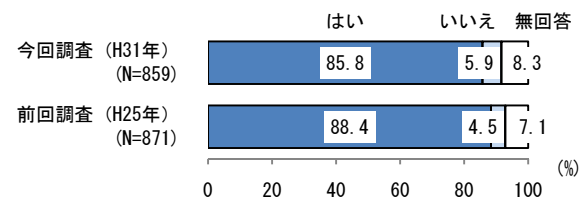
② 保健センター等で保健師・栄養士による相談



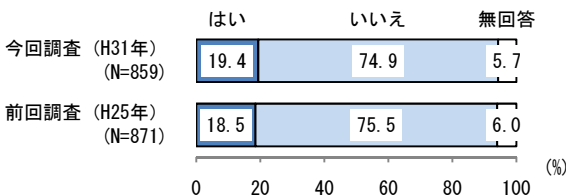
③ こんにちは赤ちゃん事業



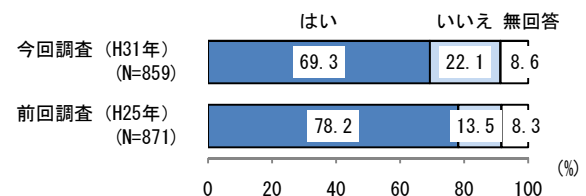
④ 保育所や幼稚園の園庭などの開放



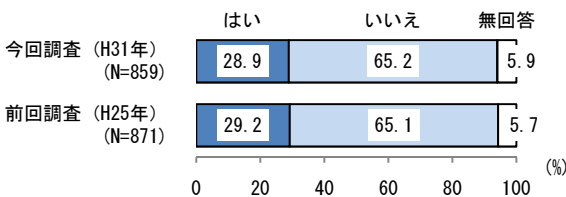
⑤ 家庭教育に関する学級・講座



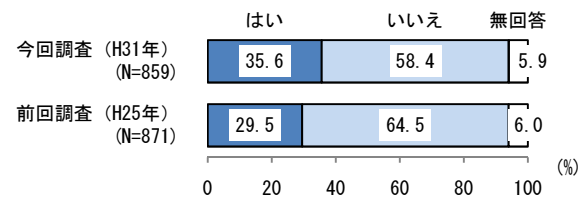
⑥ 青少年会館・市民道夢館



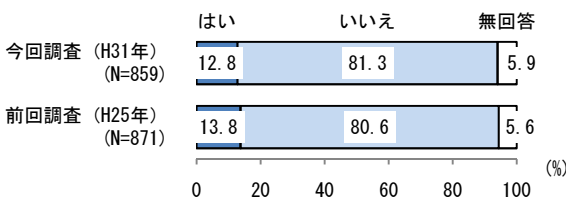
⑦ 家庭児童相談室



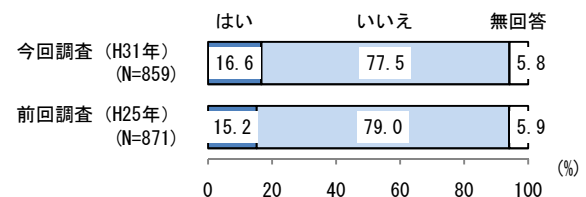
⑧ 市が発行する子育て支援情報ブック



⑨ 養育支援家庭訪問事業



⑩ 子ども家庭センター



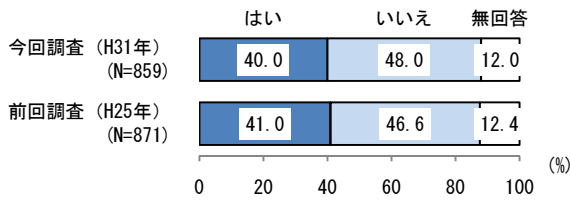
※「養育支援家庭訪問事業」…さまざまな原因で子育ての支援が必要な家庭に子育て経験者による家事や子育ての援助、保健師による訪問指導などを実施する。

松原市が行っている各子育て支援サービスの認知度は、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」「マタニティスクール、パパママ教室」で8割以上と多く、前回調査に比べて、「こんにちは赤ちゃん事業」が11.0ポイント増加しています。

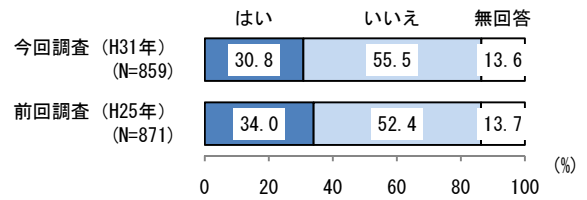
II-1. 就学前児童調査

■ 利用経験（利用したことがある）

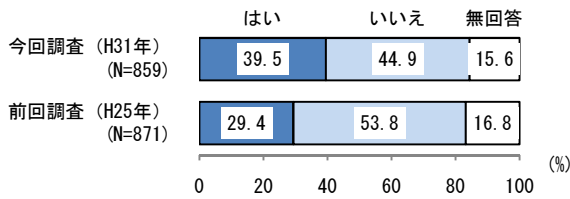
① マタニティスクール、パパママ教室



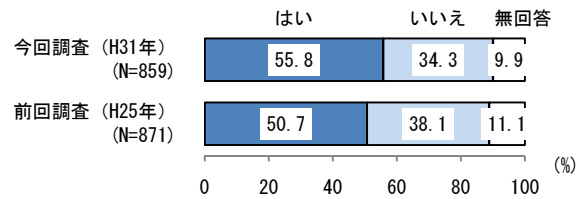
② 保健センター等で保健師・栄養士による相談



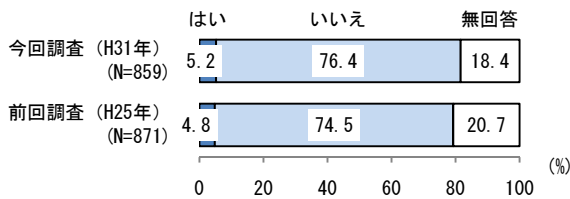
③ こんにちは赤ちゃん事業



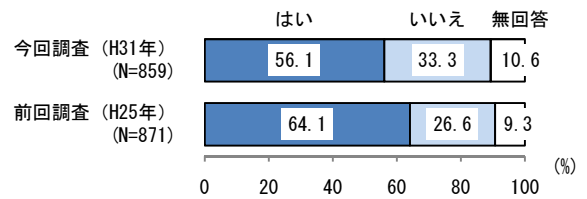
④ 保育所や幼稚園の園庭などの開放



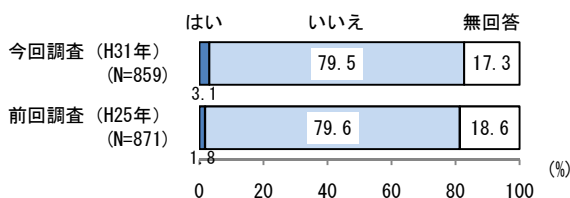
⑤ 家庭教育に関する学級・講座



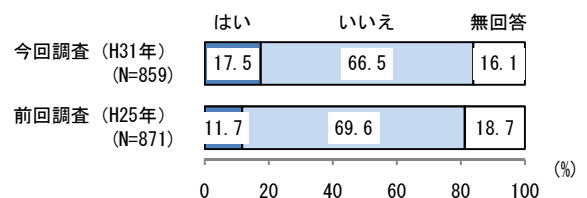
⑥ 青少年会館・市民道夢館



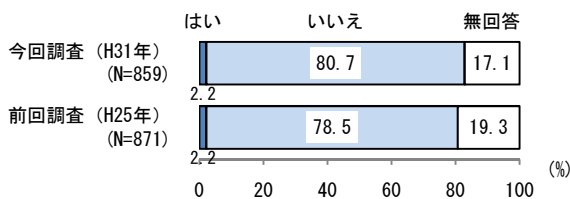
⑦ 家庭児童相談室



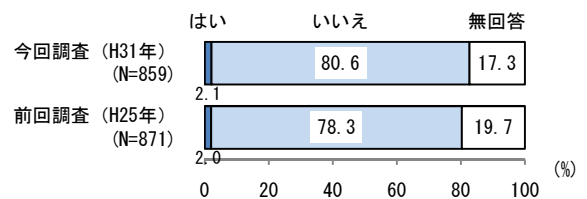
⑧ 市が発行する子育て支援情報ブック



⑨ 養育支援家庭訪問事業



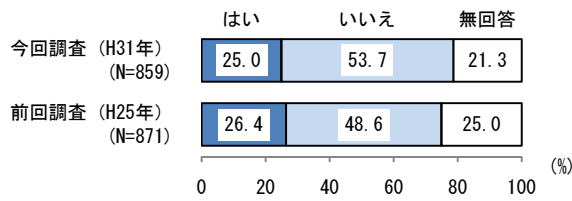
⑩ 子ども家庭センター



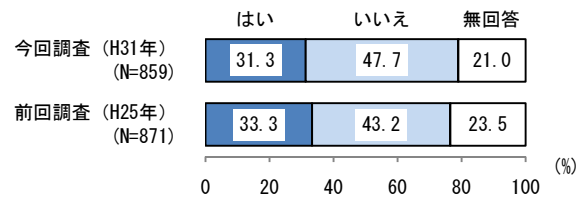
利用経験は、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」「青少年会館・市民道夢館」が5割強で多く、前回調査に比べて、「こんにちは赤ちゃん事業」が10.1ポイント増加しています。

■ 今後の利用意向（今後利用したい）

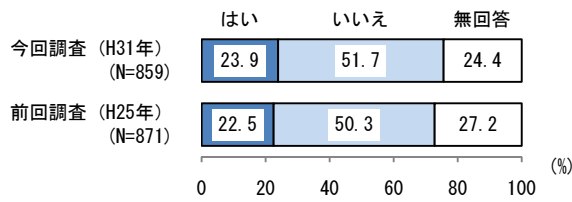
① マタニティスクール、パパママ教室



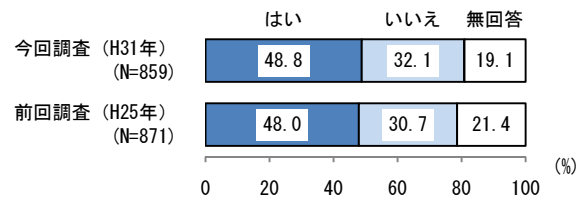
② 保健センター等で保健師・栄養士による相談



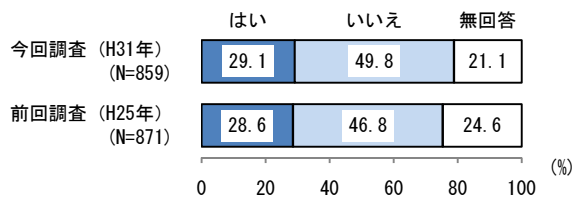
③ こんにちは赤ちゃん事業



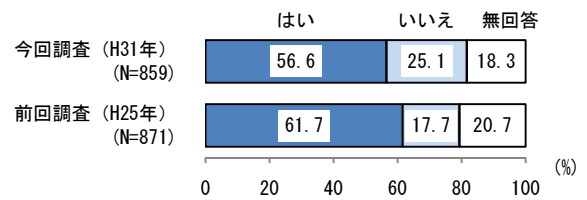
④ 保育所や幼稚園の園庭などの開放



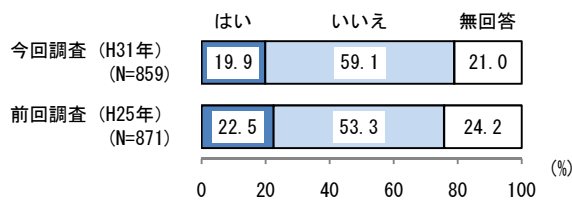
⑤ 家庭教育に関する学級・講座



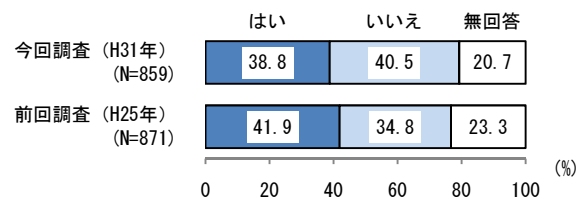
⑥ 青少年会館・市民道夢館



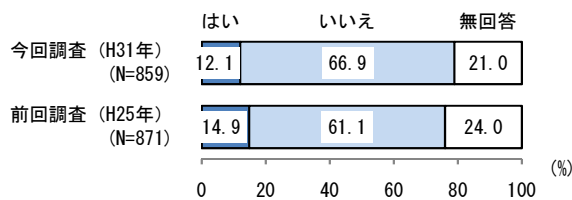
⑦ 家庭児童相談室



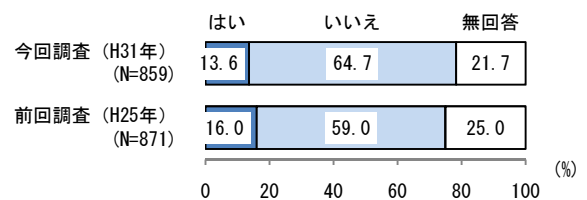
⑧ 市が発行する子育て支援情報ブック



⑨ 養育支援家庭訪問事業



⑩ 子ども家庭センター

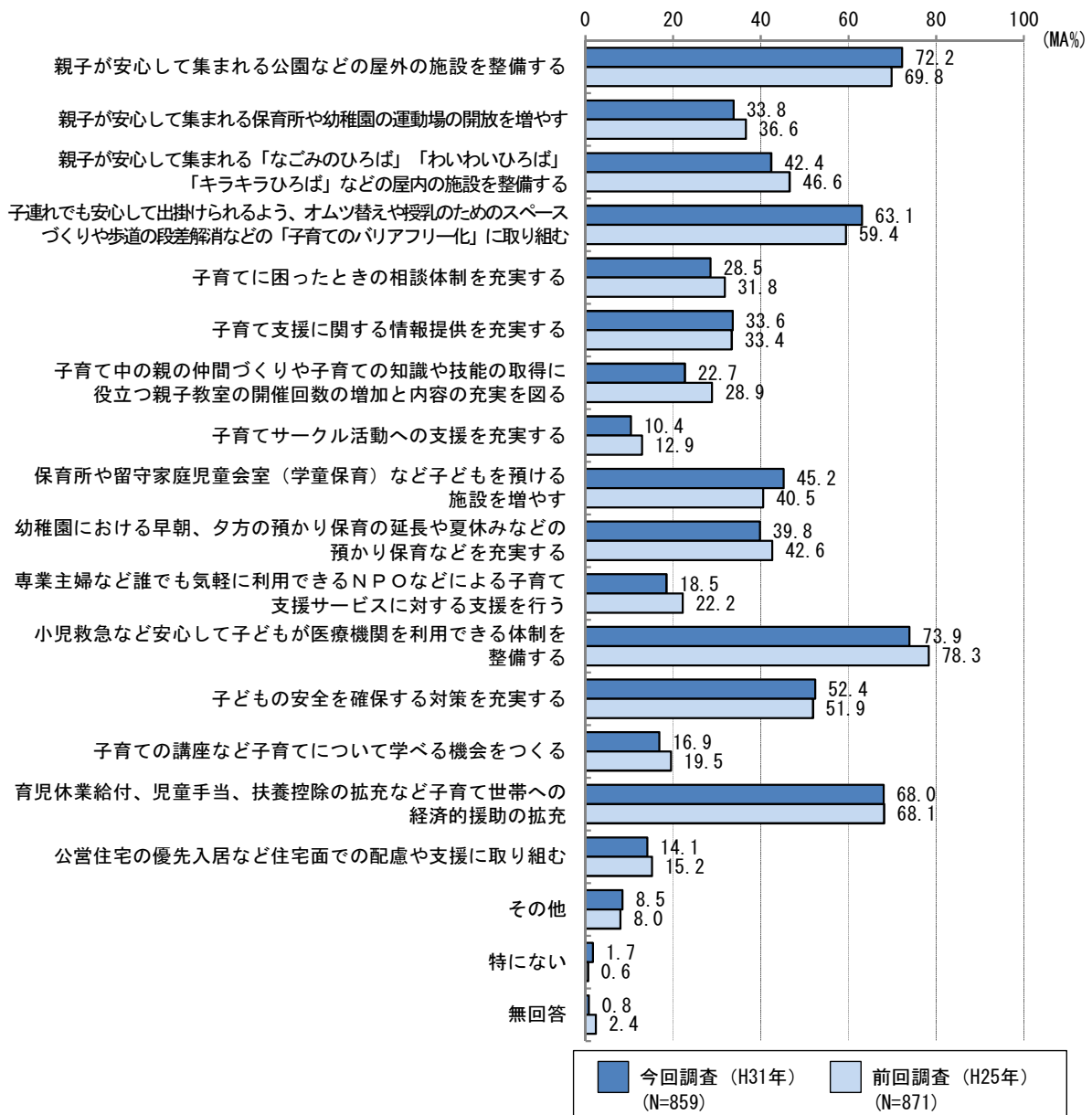


今後の利用意向は、「青少年会館・市民道夢館」が56.6%、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」が48.8%と多くなっています。

10 市役所などへの要望

〔1〕 充実してほしい子育て支援サービス

問38 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



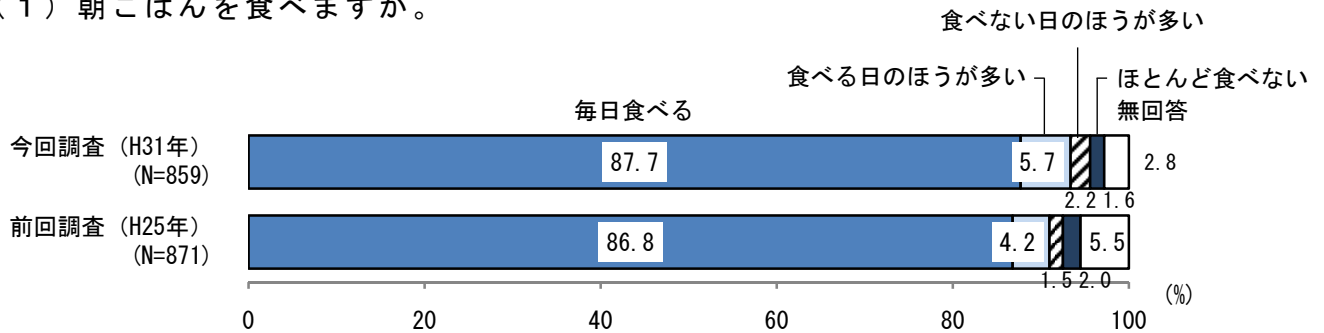
市役所などに対して充実してほしい子育て支援サービスは、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が73.9%と最も多く、次いで、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が72.2%、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」が68.0%となっています。

11 子どもの生活習慣

〔1〕子どもの生活習慣について

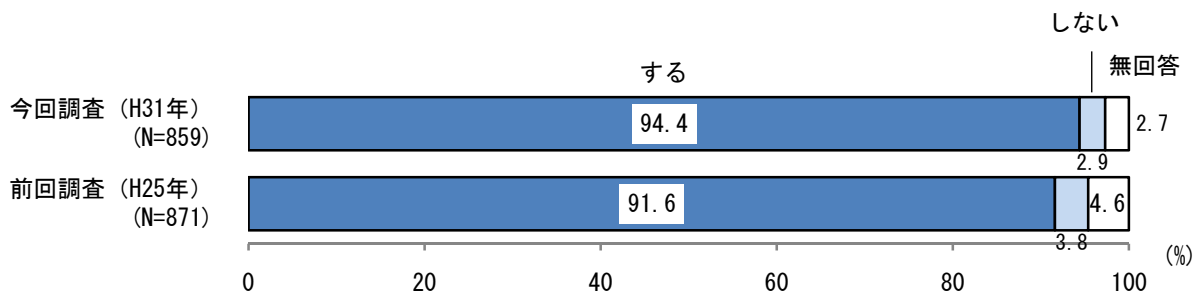
問39 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。



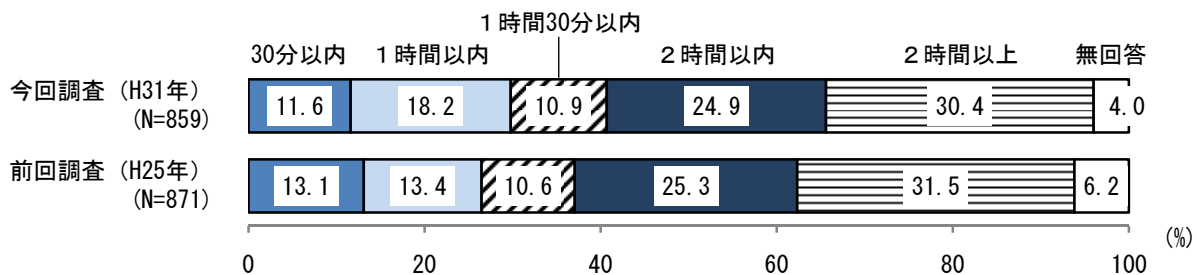
朝ごはんは、「毎日食べる」が87.7%と多くなっています。

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。



1日1回は家族と一緒に食事を「する」が94.4%となっています。

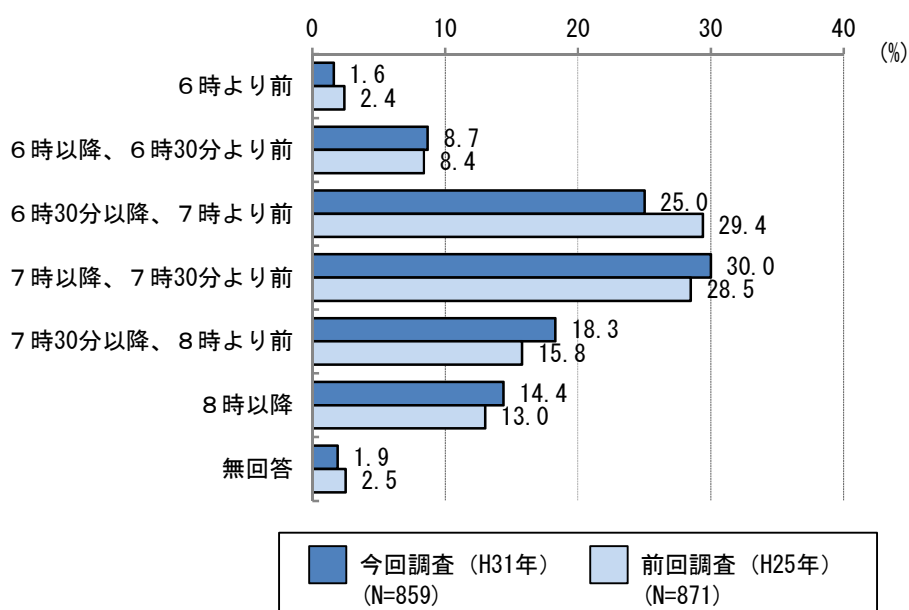
(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。



平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の平均視聴時間は、「2時間以上」が30.4%と最も多く、次いで、「2時間以内」が24.9%となっています。

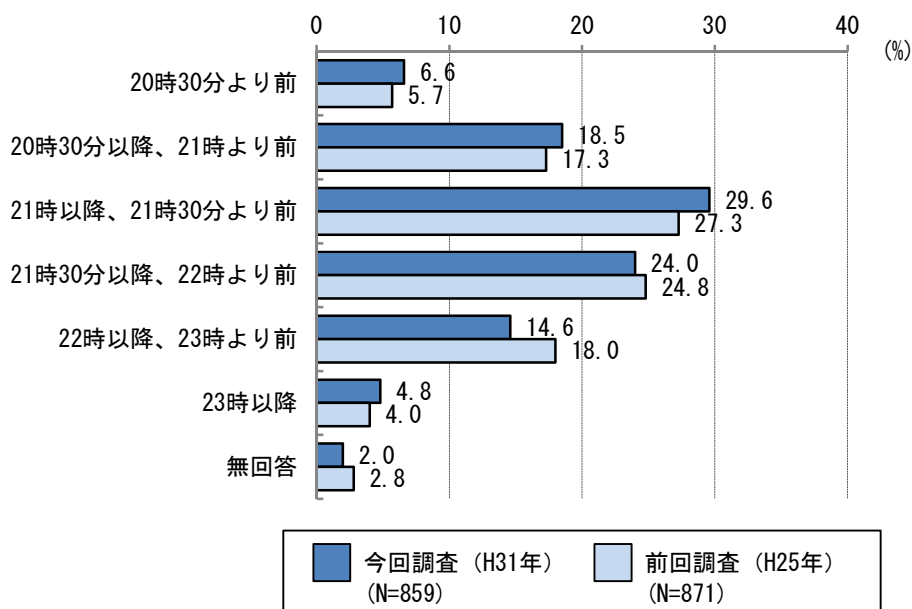
II-1. 就学前児童調査

(4) 起床時間は何時ですか。



起床時間は、「7時以降、7時30分より前」が30.0%と最も多く、次いで、「6時30分以降、7時より前」が25.0%となっています。

(5) 就寝時間は何時ですか。

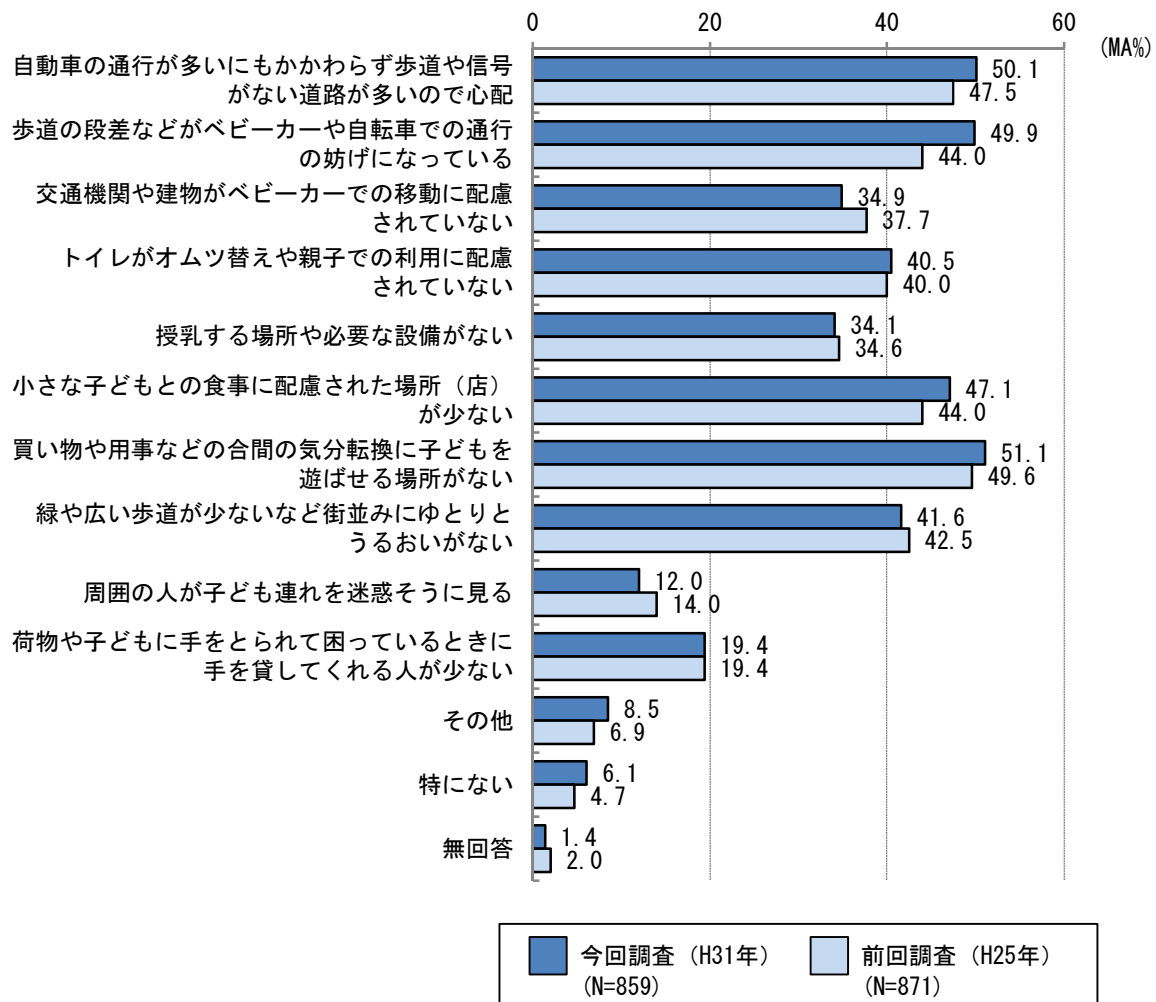


就寝時間は、「21時以降、21時30分より前」が29.6%と最も多く、次いで、「21時30分以降、22時より前」が24.0%となっています。

12 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保

〔1〕外出時に困ること、困ったこと

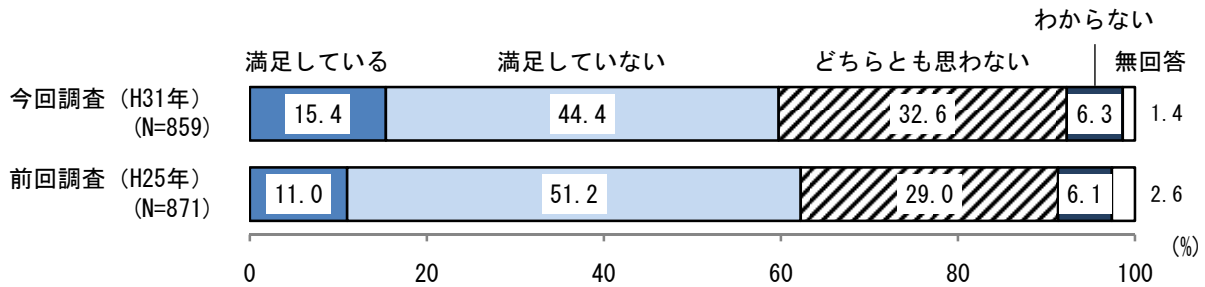
問40 封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



子どもとの外出時に困ること、困ったことは、「買物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が 51.1%と最も多く、次いで、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」が 50.1%、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が 49.9%となっています。

〔2〕子どもの遊び場の満足度

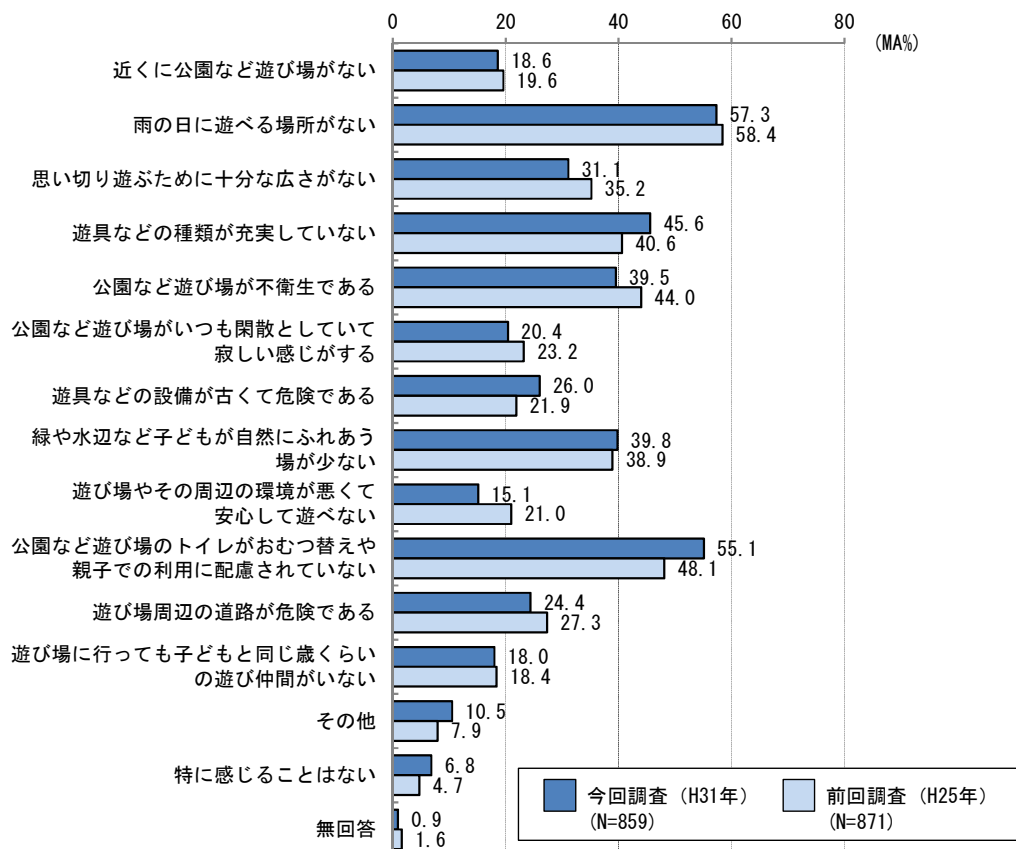
問41 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



地域における子どもの遊び場に、「満足している」は15.4%、「満足していない」は44.4%で、前回調査に比べて、「満足している」は4.4ポイント増加しています。

〔3〕子どもの遊び場について日ごろ感じること

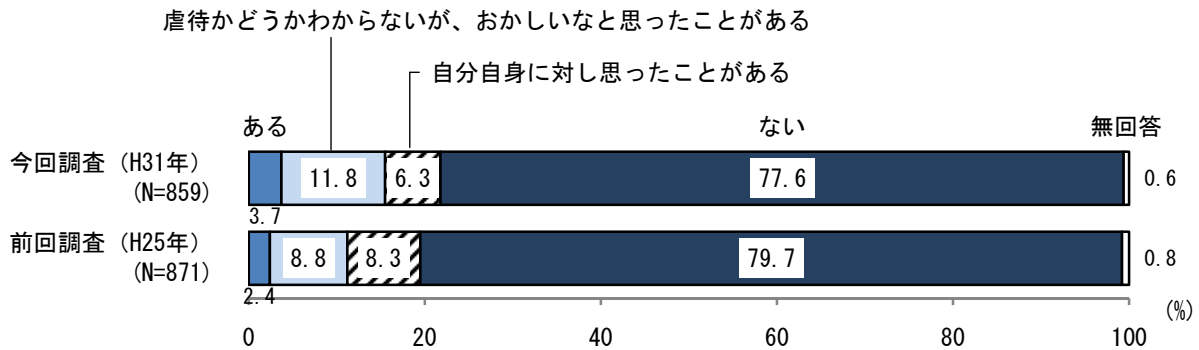
問42 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が57.3%と最も多く、次いで、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が55.1%となっています。

〔4〕 虐待を見聞きした経験

問43 あなたは、身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

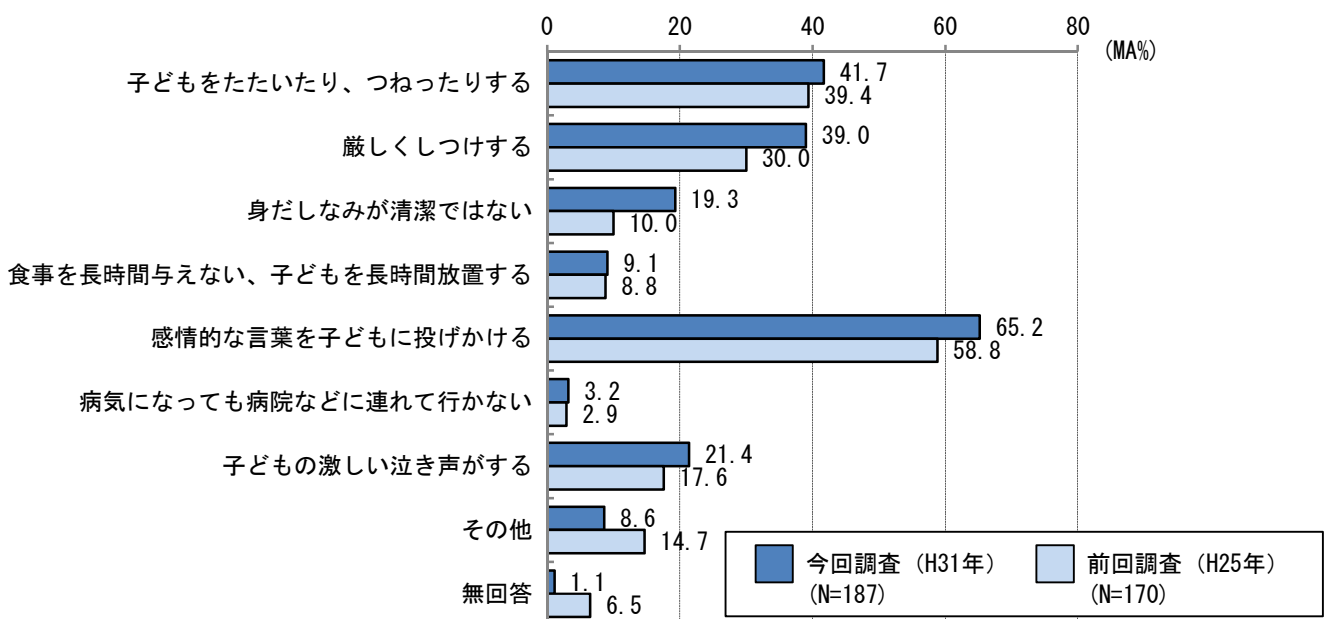


身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりした経験は「ない」が77.6%と多く、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」「自分自身に対し思ったことがある」を含めた『ある』の合計は21.8%となっています。

〔5〕 虐待の状況

問43で「1」から「3」(虐待を見聞きしたことがある)を選ばれた方のみ

問43-1 それは、どのような状況でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

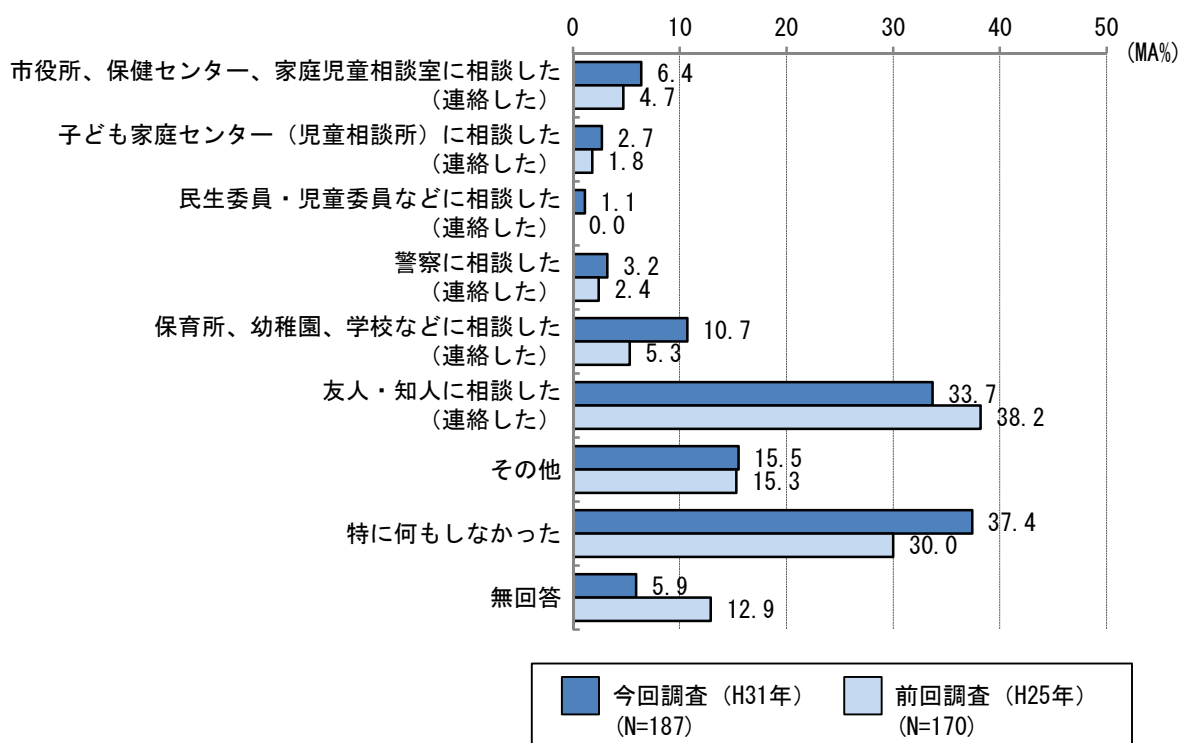


子どもの虐待を見聞きしたことが『ある』方に、その状況をたずねたところ、「感情的な言葉を子どもに投げかける」が65.2%と最も多く、次いで、「子どもをたたいたり、つねったりする」が41.7%、「厳しくしつけする」が39.0%となっています。

〔6〕虐待を見聞きしたときの対応

問43で「1」から「3」(虐待を見聞きしたことがある)を選ばれた方のみ

問43-2 その時、あなたはどのように対応しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

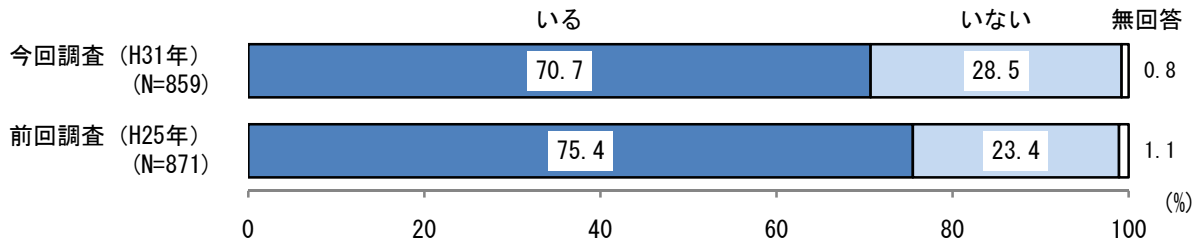


子どもの虐待を見聞きしたことが『ある』方が、その時にとった対応は、「特に何もしなかった」が37.4%と最も多く、次いで、「友人・知人に相談した (連絡した)」が33.7%となっています。

13 子育てに対する意識

〔1〕近所で日常的に話をする人の有無

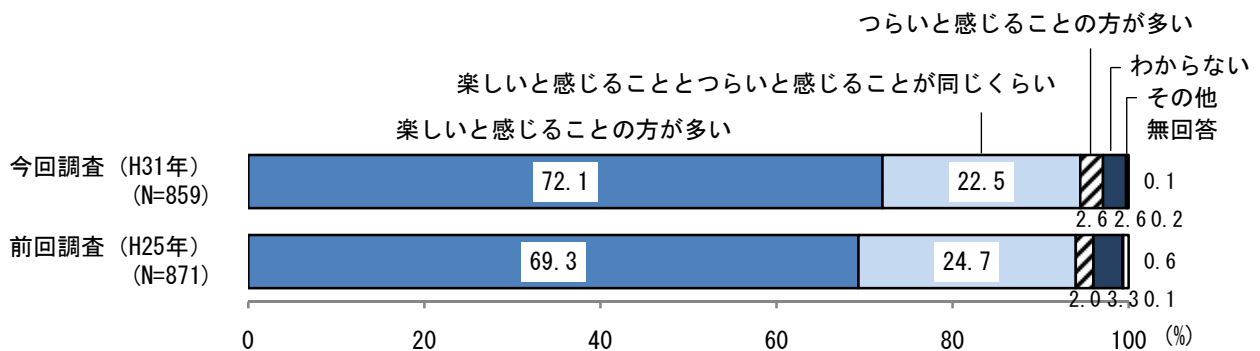
問44 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。



近所で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人が「いる」人は 70.7%となっています。

〔2〕子育てを楽しんでいると感じるか

問45 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

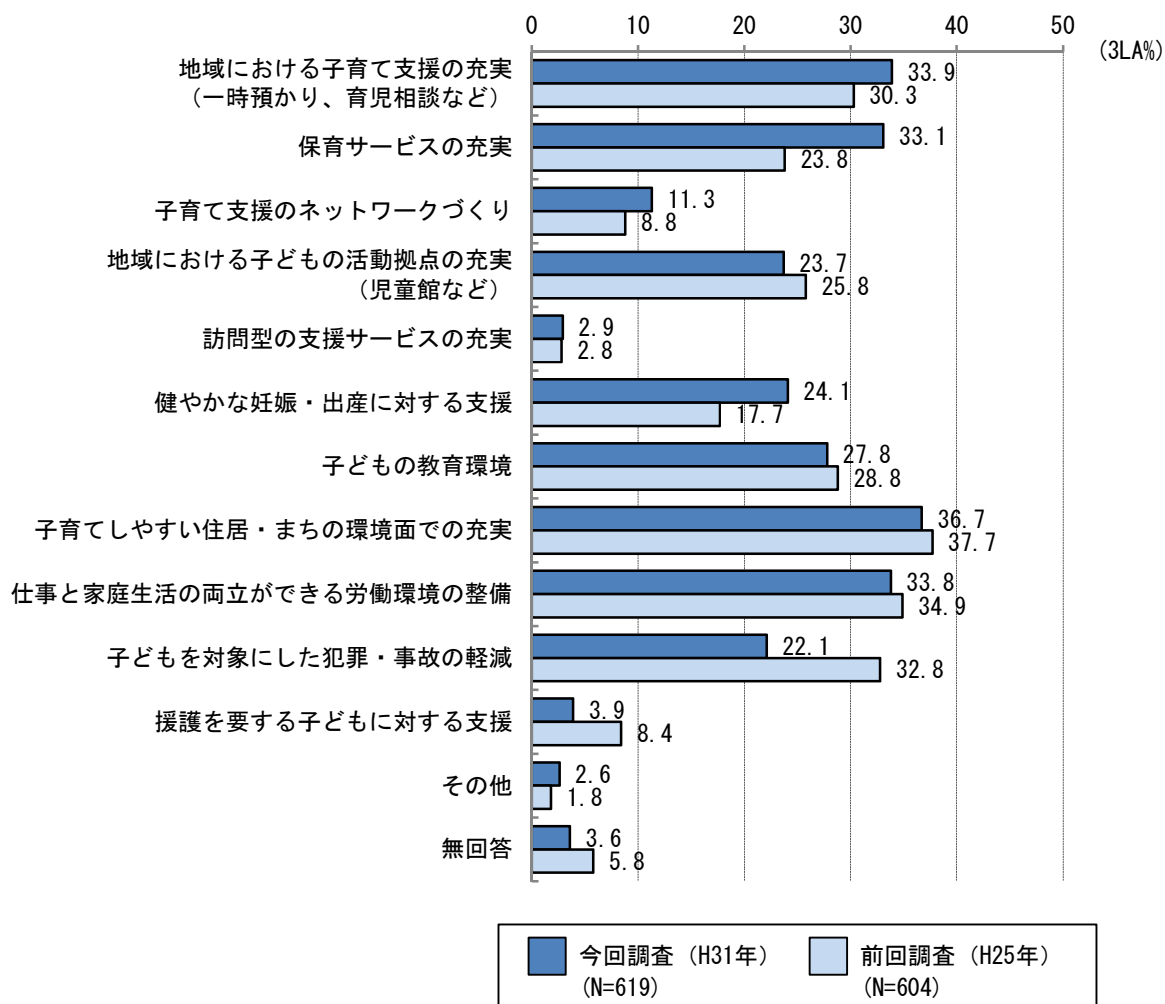


子育てを「楽しいと感じることが多い」人は 72.1%と多く、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の人は 22.5%となっています。

〔3〕子育てが「楽しい」人が有効と感じる支援・対策

問45で「1」（楽しいと感じることの方が多い）を選ばれた方のみ

問45-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。
 あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



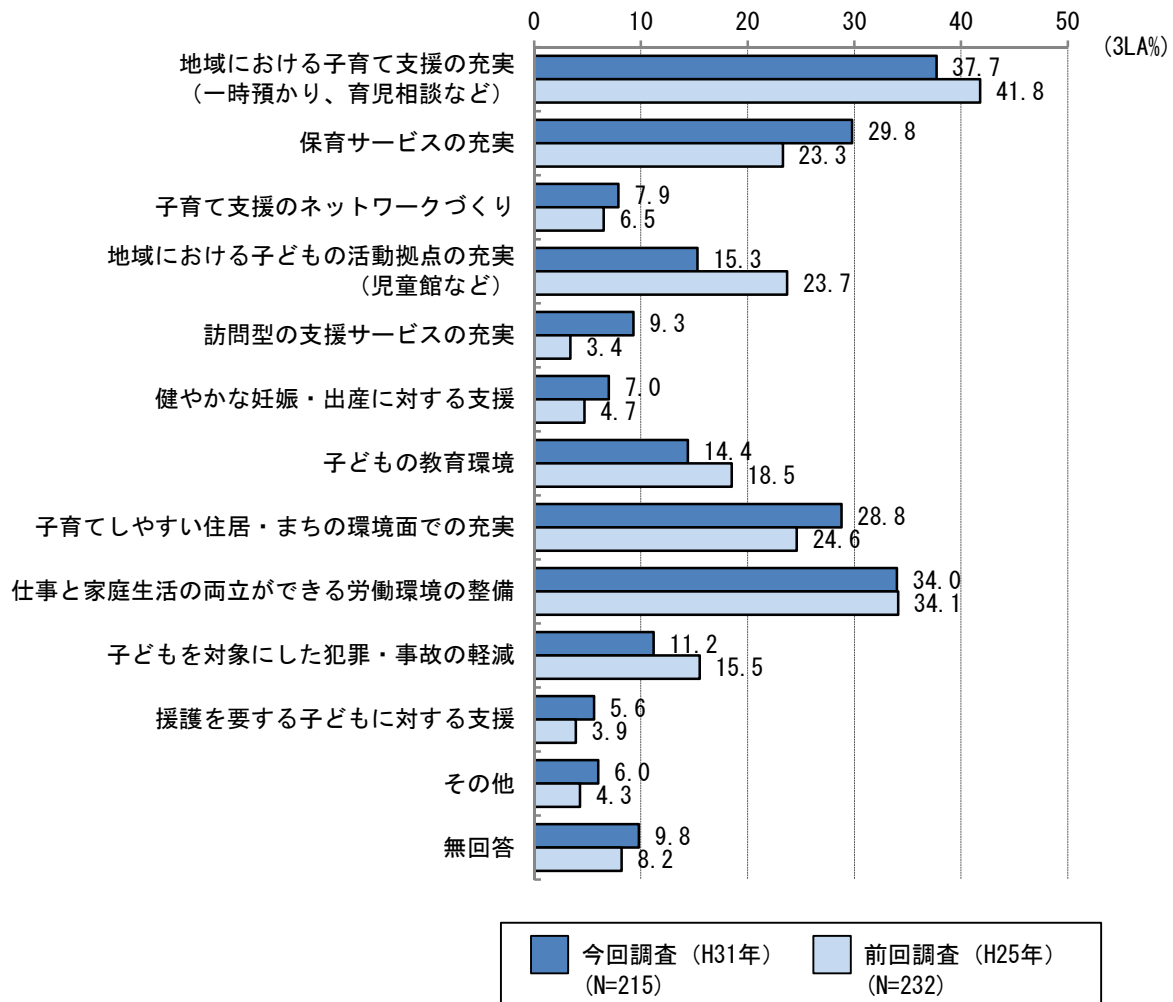
子育てを「楽しいと感じることの方が多い」人が、有効だと感じる支援・対策は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 36.7%と最も多く、次いで、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が 33.9%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 33.8%となっています。

前回調査に比べて、「保育サービスの充実」が 9.3 ポイント、「健やかな妊娠・出産に対する支援」が 6.4 ポイント増加し、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が 10.7 ポイント減少しています。

〔4〕子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

問45で「2」「3」（つらいと感じる）を選ばれた方のみ

問45-2 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



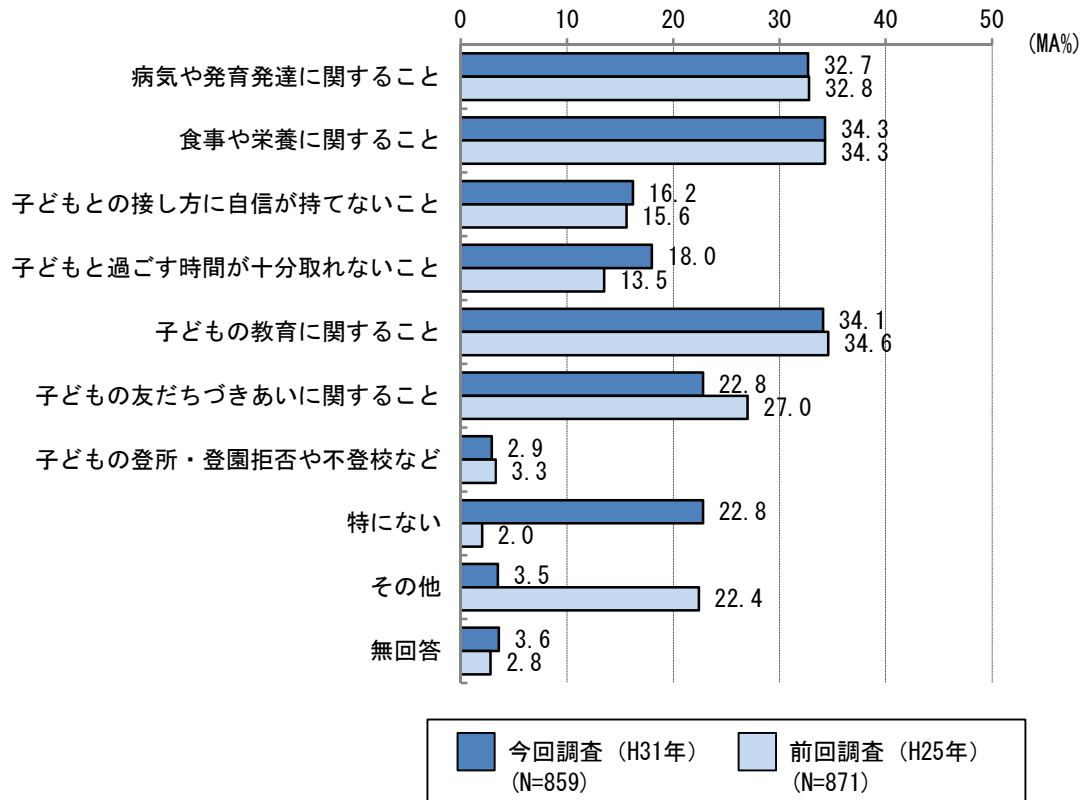
子育てを「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多い」人が、子育てのつらさを解消するために必要だと思う支援・対策は、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が37.7%と最も多く、次いで、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が34.0%となっています。

前回調査に比べて、「保育サービスの充実」が6.5ポイント、「訪問型の支援サービスの充実」が5.9ポイント増加し、「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が8.4ポイント減少しています。

〔5〕子育てに関して日常悩んでいること、気になること

問46 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

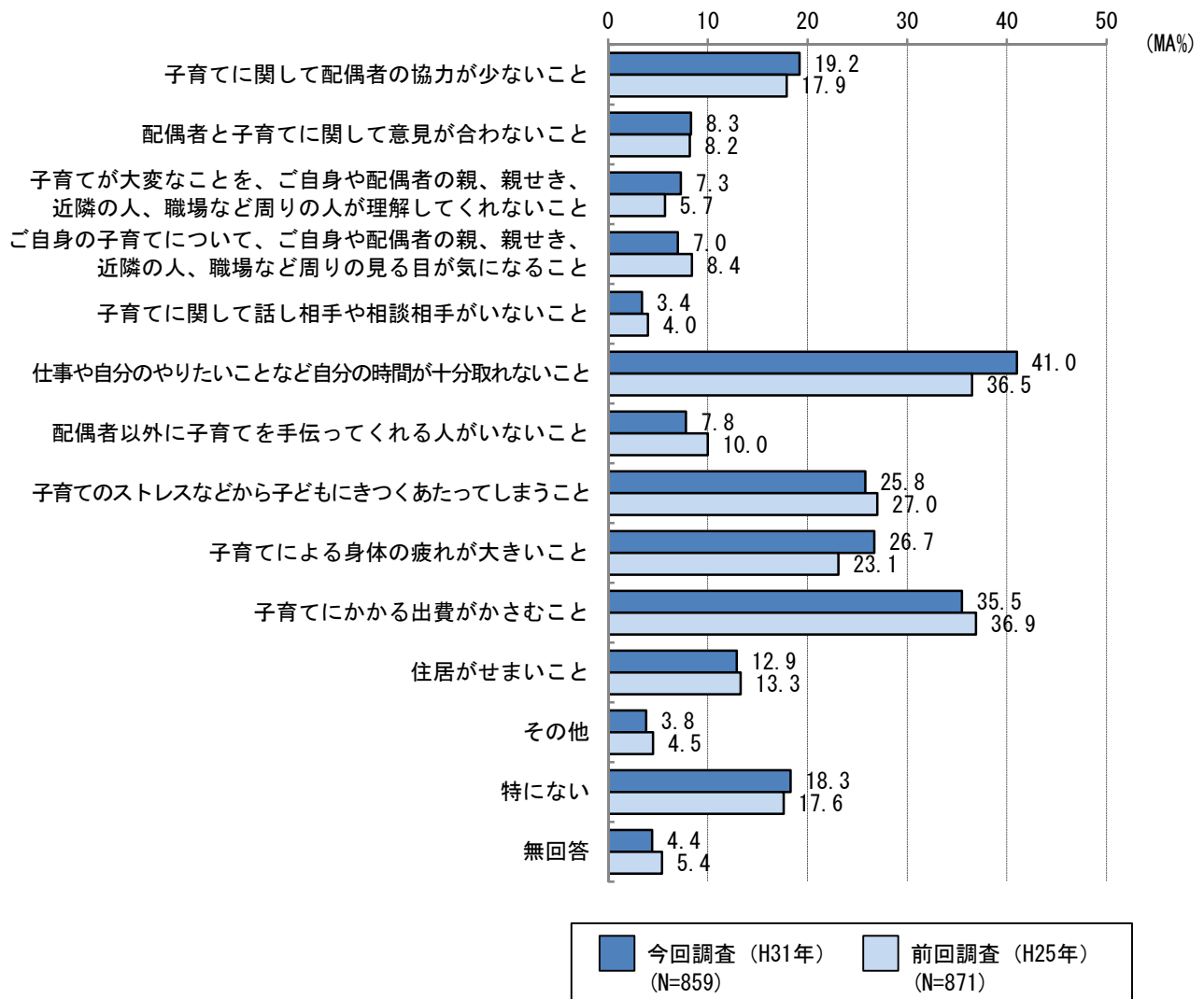
(1) 子どもに関すること



子どもに関することで日常悩んでいることや気になることは、「食事や栄養に関すること」が 34.3%と最も多く、次いで、「子どもの教育に関すること」が 34.1%、「病気や発育発達に関すること」が 32.7%となっています。

前回調査に比べて、「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」が 4.5 ポイント増加し、「子どもの友だちづきあいに関すること」が 4.2 ポイント減少しています。

(2) ご自身に関すること



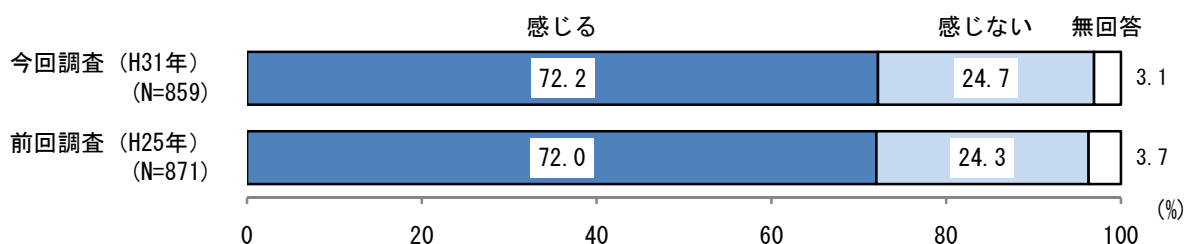
ご自身に関することで日常悩んでいることや気になることは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 41.0%と最も多く、次いで、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 35.5%となっています。

前回調査に比べて、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 4.5 ポイント増加しています。

〔6〕 地域の人に支えられていると感じること

問47 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

■ 自身の子育てが地域に支えられていると感じるか



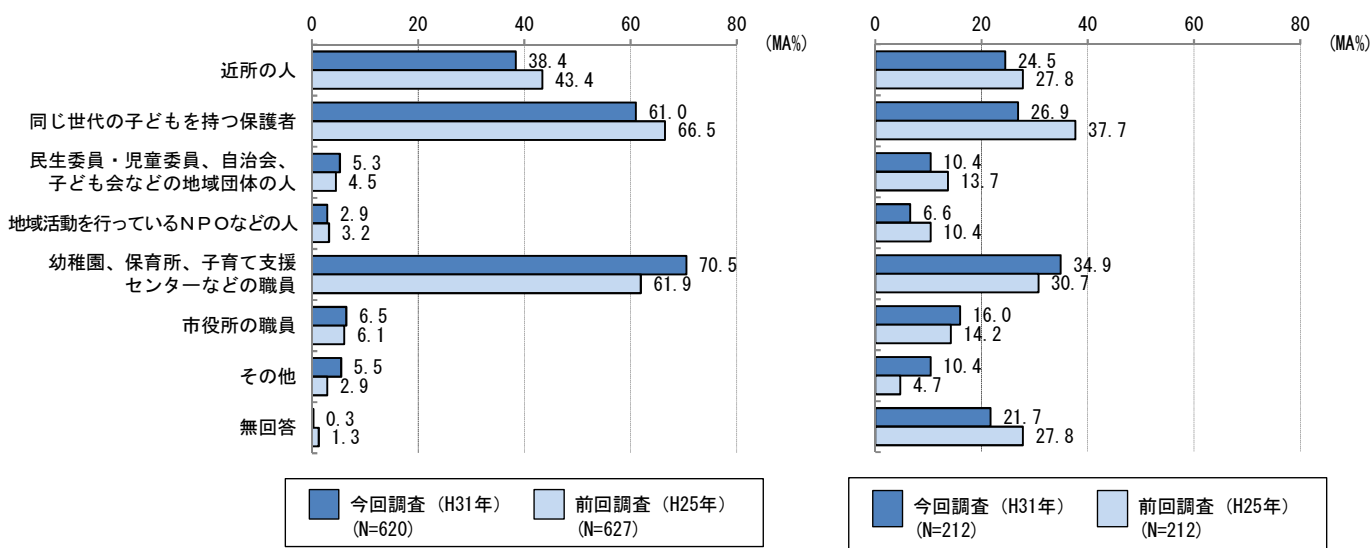
自身の子育てが地域の人に支えられていると「感じる」は72.2%となっています。

「感じる」とお答えの方

■ 支えられている人

「感じない」とお答えの方

■ 支えてほしい人



自身の子育てが地域の人に支えられていると「感じる」人が、支えられていると思う相手は、「幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員」が70.5%と最も多く、次いで、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が61.0%、「近所の人」が38.4%となっています。

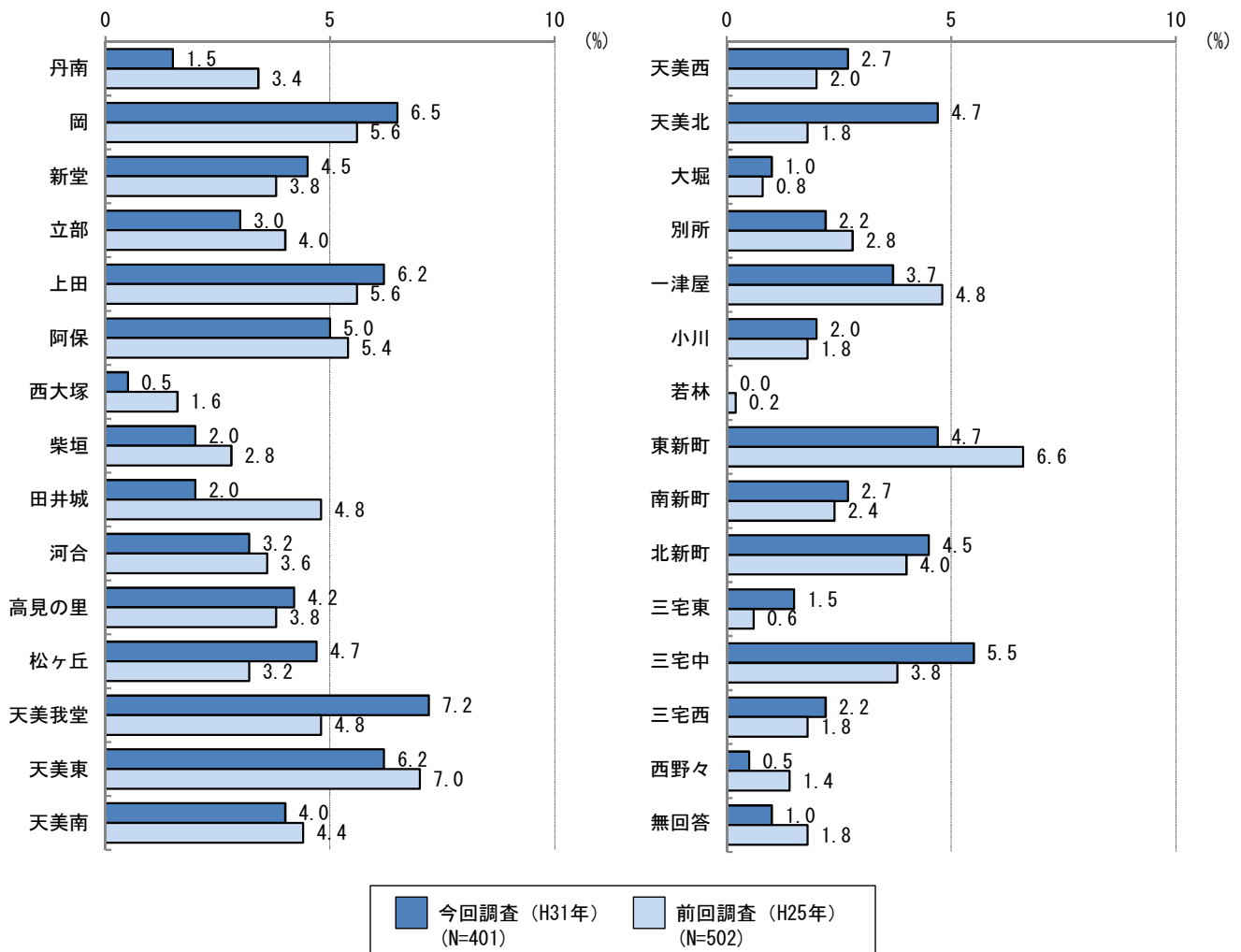
自身の子育てが地域の人に支えられていると「感じない」人が、支えてほしいと思う相手は、「幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員」が34.9%と最も多く、次いで、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が26.9%、「近所の人」が24.5%となっています。

Ⅱ-2. 就学児童調査

1 ご家族の構成や保護者の働いている状況

〔1〕居住地区

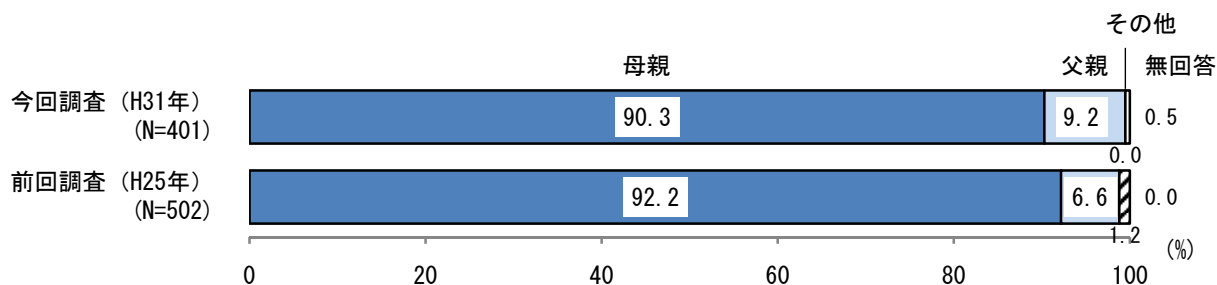
問1 お住まいの地区（町名・丁目まで）を記入してください。



回答者のお住まいの地区は、「天美我堂」(7.2%)が最も多く、次いで、「岡」(6.5%)、「上田」「天美東」(それぞれ6.2%)、「三宅中」(5.5%)となっています。

〔2〕 回答者

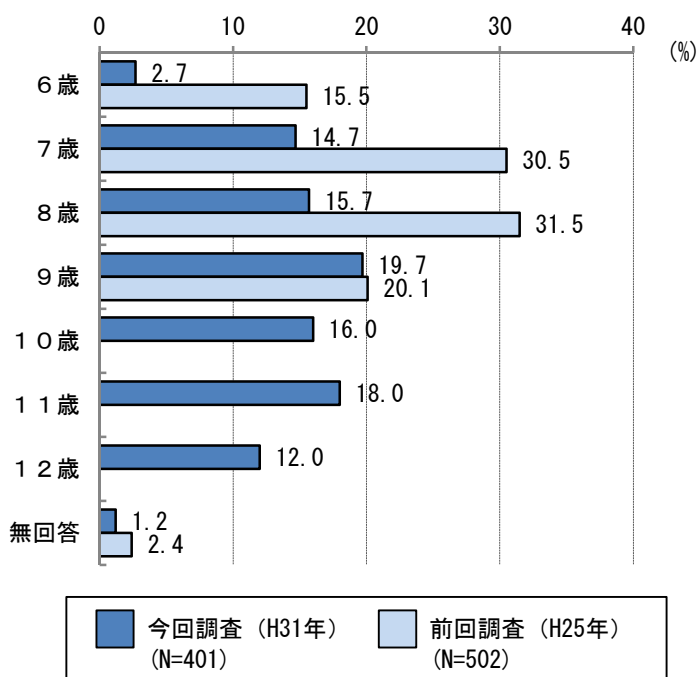
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さん
からみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



調査票の回答者は、「母親」が90.3%、「父親」が9.2%となっています。

〔3〕 子どもの年齢

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月日について、枠内に数字を入れてください。



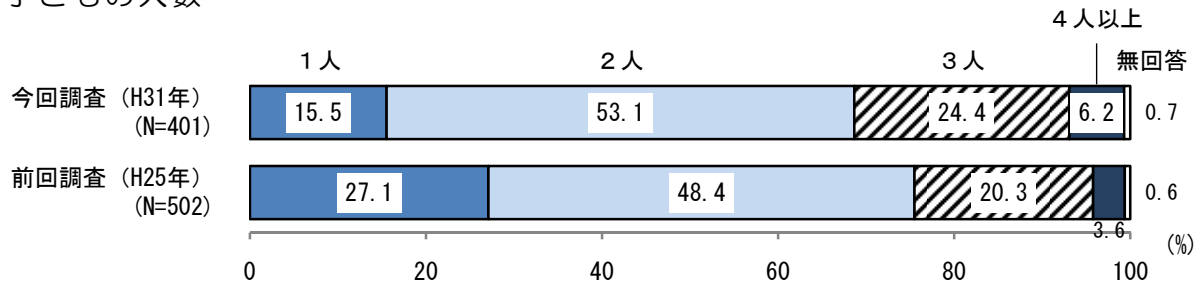
※前回調査は小学1年生～3年生（6～9歳）が対象

対象の子どもの年齢（平成31年1月時点での年齢）は、「9歳」（19.7%）が最も多く、次いで、「11歳」（18.0%）、「10歳」（16.0%）となっています。

〔4〕子どもの人数

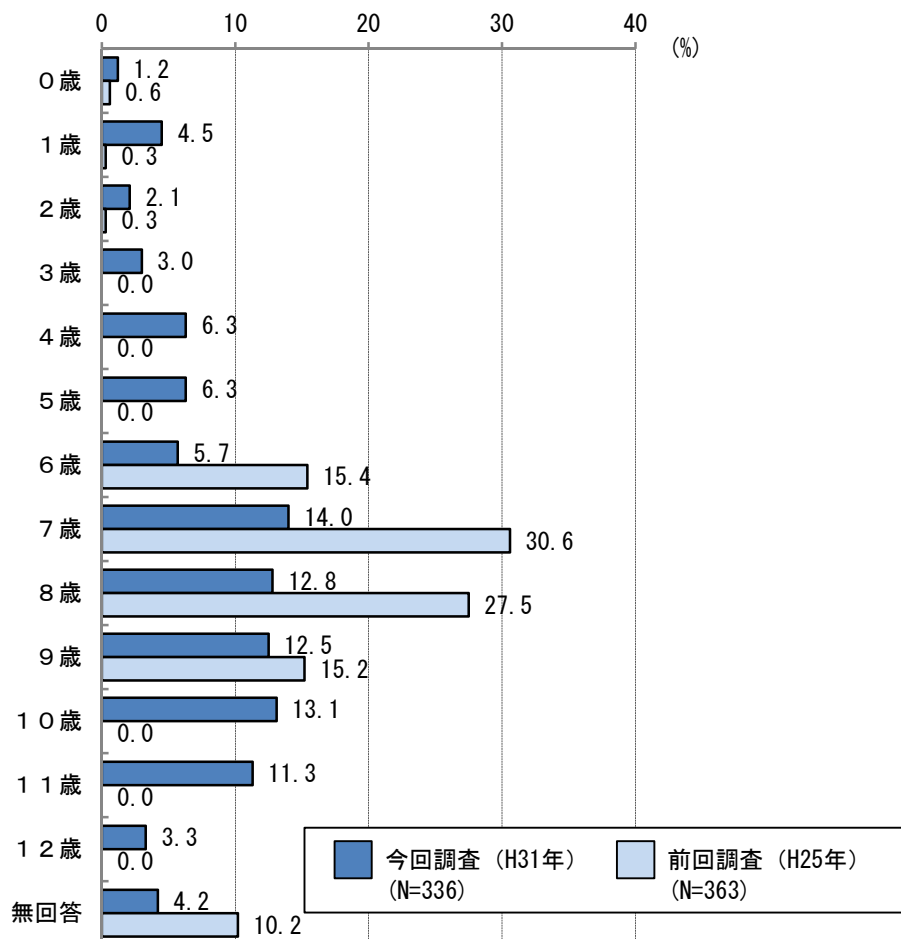
問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。

■子どもの人数



子どもの人数は「2人」が53.1%と最も多く、次いで、「3人」が24.4%、「1人」が15.5%で、前回調査に比べて、「1人」が11.6ポイント減少しています。

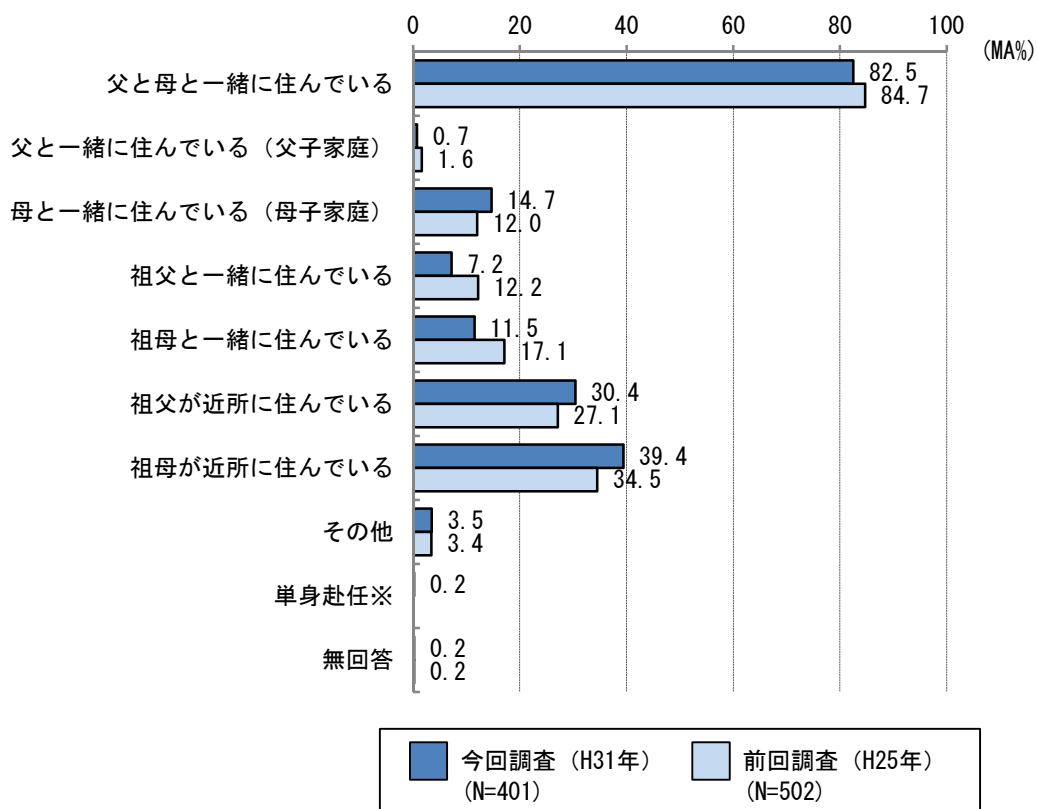
■末子の年齢



子どもが2人以上の場合の末子の年齢は、「7歳」が14.0%と最も多く、次いで、「10歳」が13.1%となっています。

〔5〕同居・近居の状況

問5 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

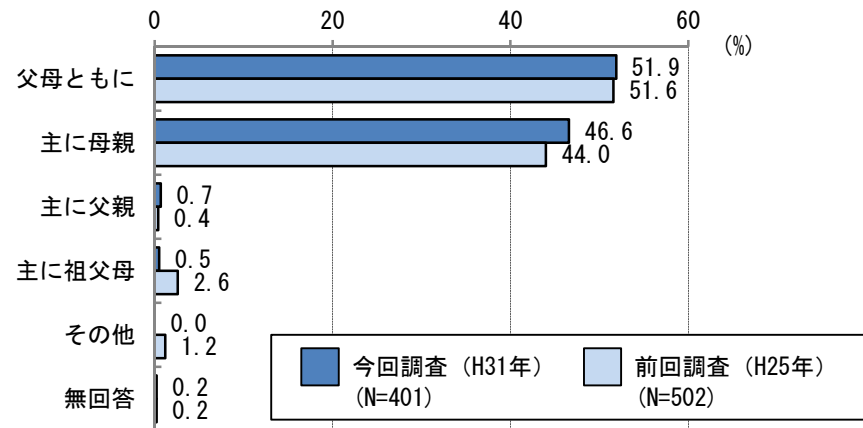


※「単身赴任」は前回調査では選択肢なし

子どもと同居・近居する家族については、「父と母と一緒に住んでいる」が 82.5%と最も多く、次いで、「祖母が近所に住んでいる」が 39.4%、「祖父が近所に住んでいる」が 30.4%となっています。

〔6〕子育ての主体

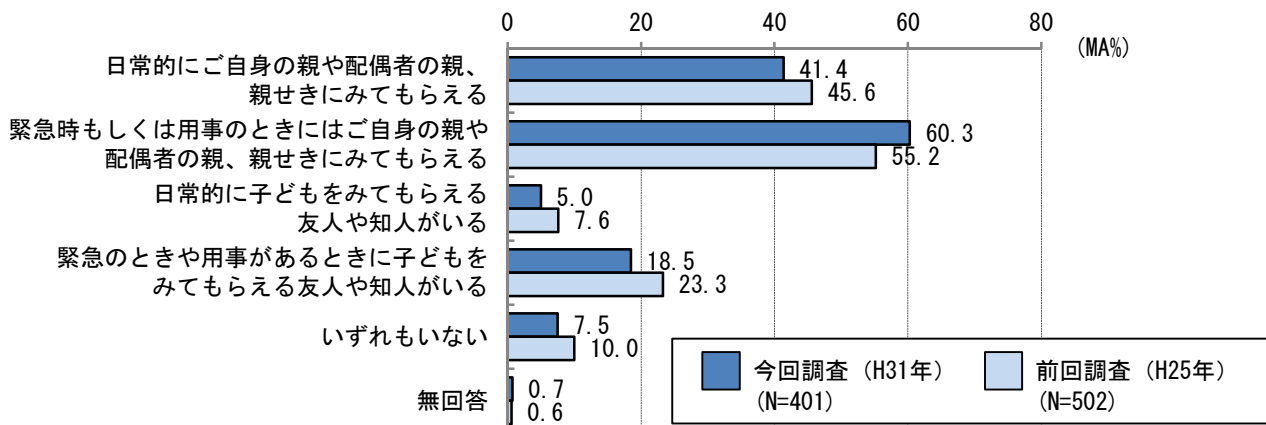
問6 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。



子育てや教育を主に行っているのは、「父母ともに」が51.9%と最も多く、次いで、「主に母親」が46.6%となっています。

〔7〕子どもをみてる人の有無

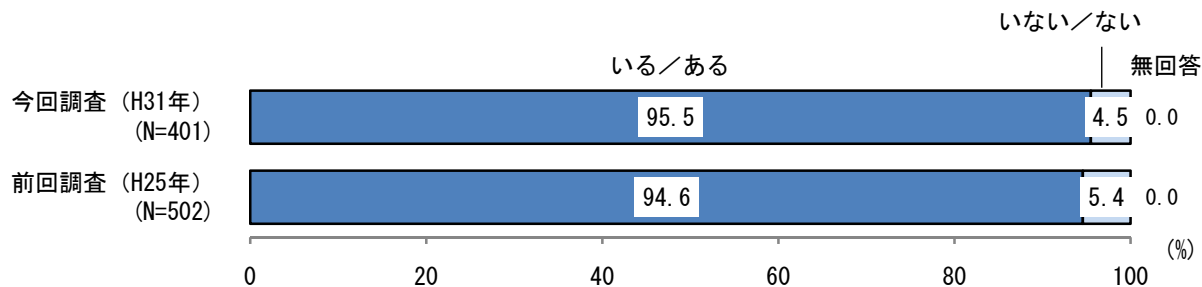
問7 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



日頃、子どもの面倒を見てくれる人の有無については、「緊急時もしくは用事の際にはご自身の親や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が60.3%と最も多く、次いで、「日常にご自身の親や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が41.4%となっています。

〔8〕子育てや教育についての相談先

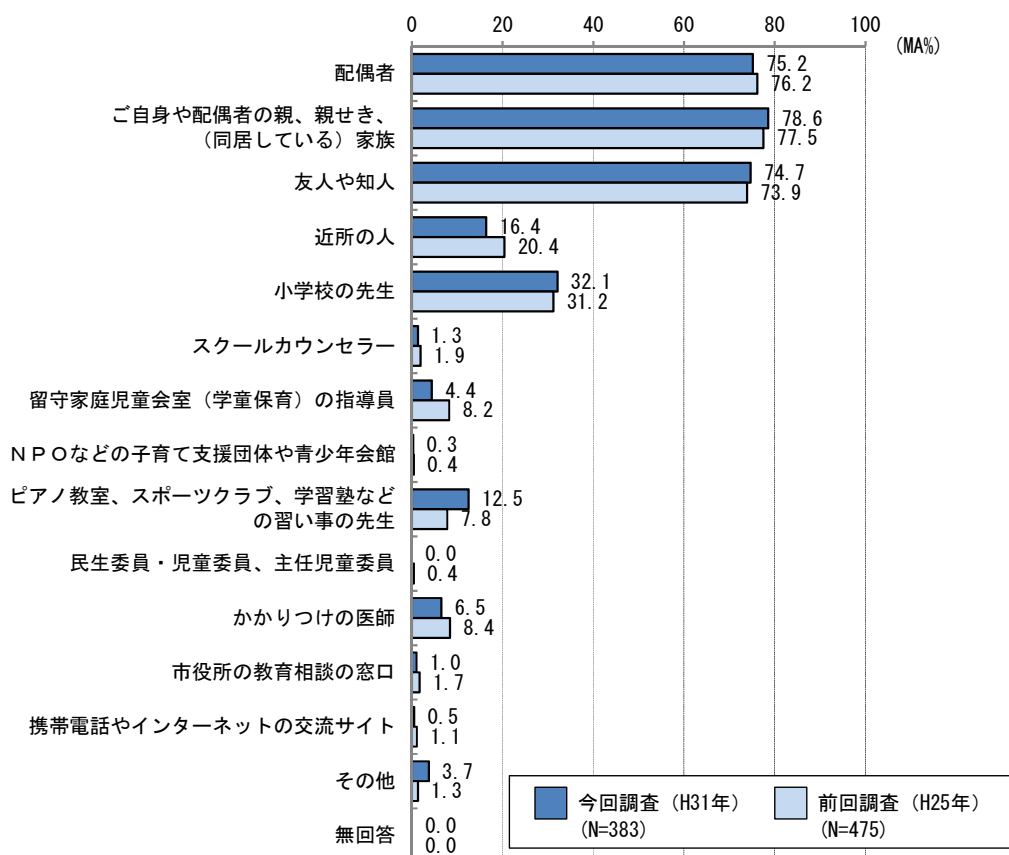
問8 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育てや教育について気軽に相談できる人や場所が「いる/ある」人は95.5%となっています。

問8で「いる/ある」を選ばれた方のみ

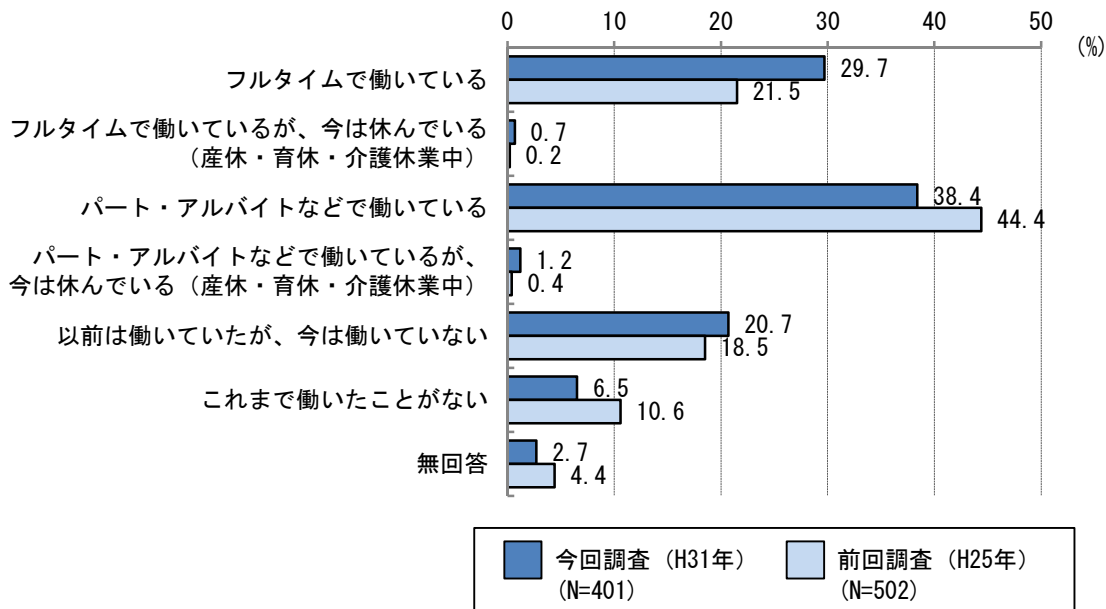
問8-1 気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



子育てや教育についての相談先は、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」が78.6%と最も多く、次いで、「配偶者」が75.2%、「友人や知人」が74.7%となっています。

〔9〕 母親の就労状況

問9 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで働いている」が38.4%と最も多く、次いで、「フルタイムで働いている」が29.7%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が20.7%で、前回調査に比べて、「フルタイムで働いている」が8.2ポイント増加し、「パート・アルバイトなどで働いている」が6.0ポイント減少しています。

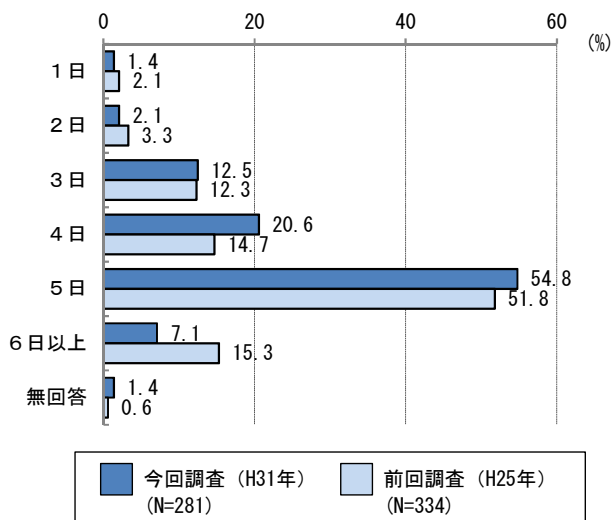
就労している母親の合計（産休・育休・介護休業中を含む）は70.0%と、前回調査時（66.5%）に比べて3.5ポイント増加しています。

[10] 母親の就労日数・就労時間

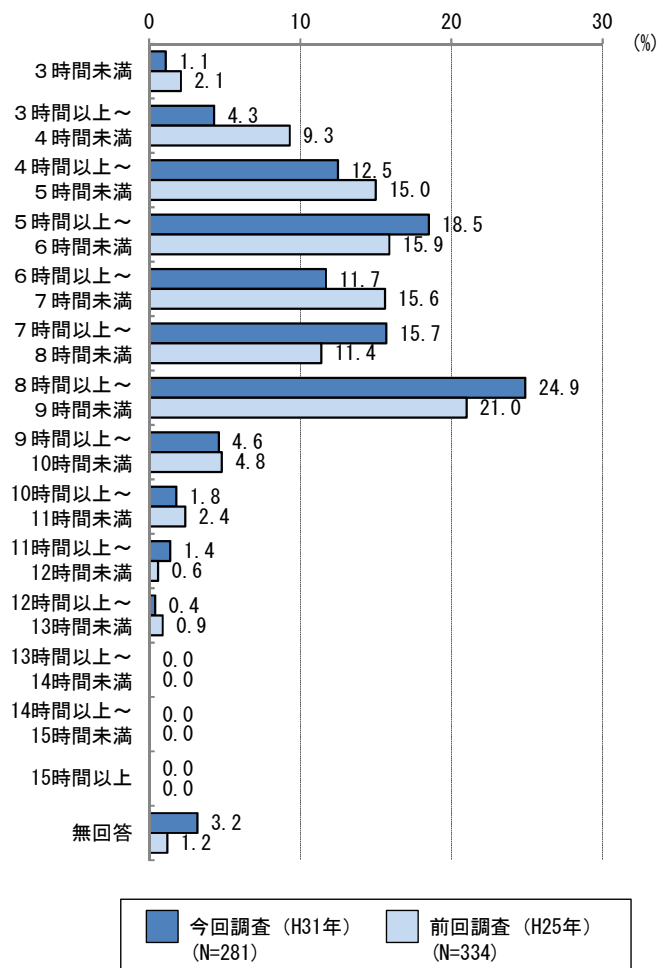
問9で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問9-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。
 不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
 今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間



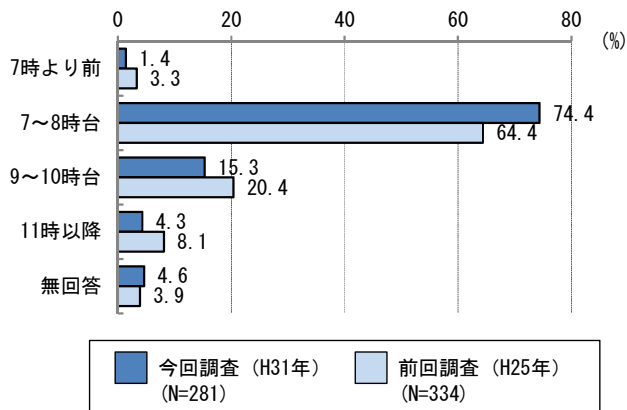
「就労している」母親の、1週あたりの就労日数は、「5日」(54.8%)が最も多くなっています。1日あたりの就労時間は、「8時間以上～9時間未満」(24.9%)が最も多く、次いで、「5時間以上～6時間未満」(18.5%)となっています。

〔11〕 母親の家を出る時間・帰宅時間

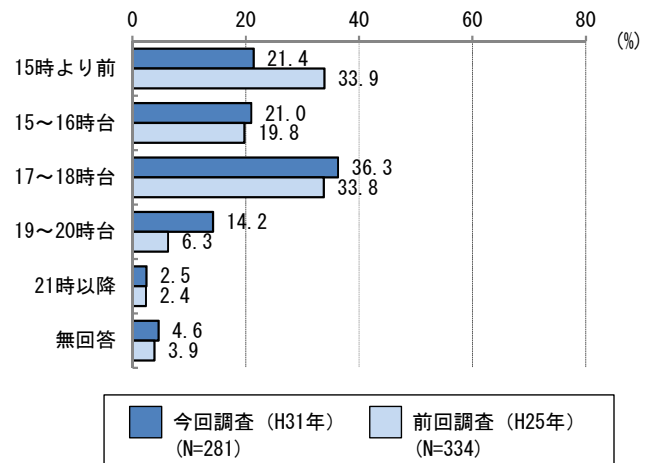
問9で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問9-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
時間は、必ず(18:00)のように、24時間制でお答えください。

■ 家を出る時間



■ 帰宅時間

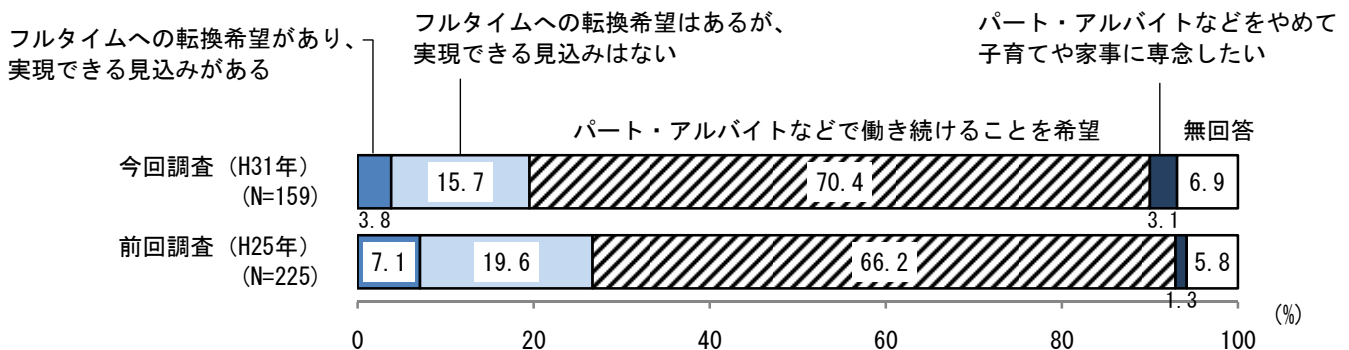


「就労している」母親の家を出る時間は「7~8時台」(74.4%)が最も多く、帰宅時間は「17~18時台」(36.3%)が最も多く、次いで、「15時より前」(21.4%)、「15~16時台」(21.0%)となっています。

〔12〕 母親のフルタイムへの転換希望

問9で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労)を選ばれた方のみ

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



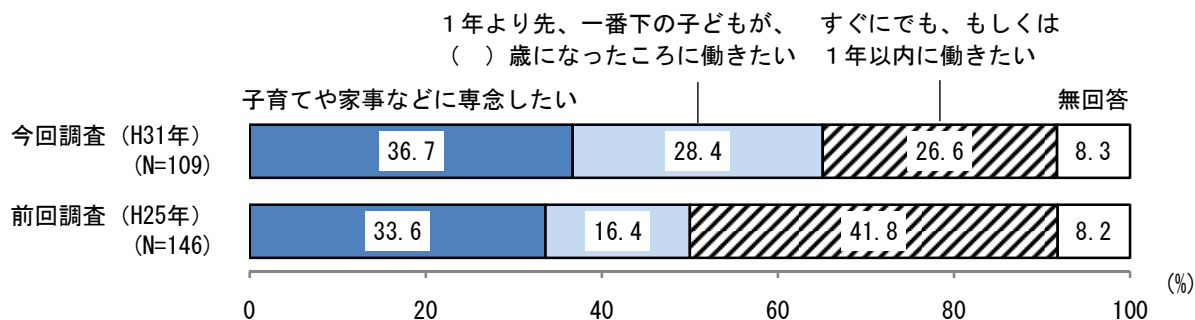
「パート・アルバイトなどで就労している」母親の、フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が70.4%と最も多くなっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は15.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は3.8%で、「フルタイムへの転換希望がある」人は合計19.5%となっています。

〔13〕 働いていない母親の就労希望

問9で「5」または「6」(就労していない)を選ばれた方のみ

問11 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2」または「3」(働きたい)を選ばれた方は、枠内に具体的な数字を入れてください。

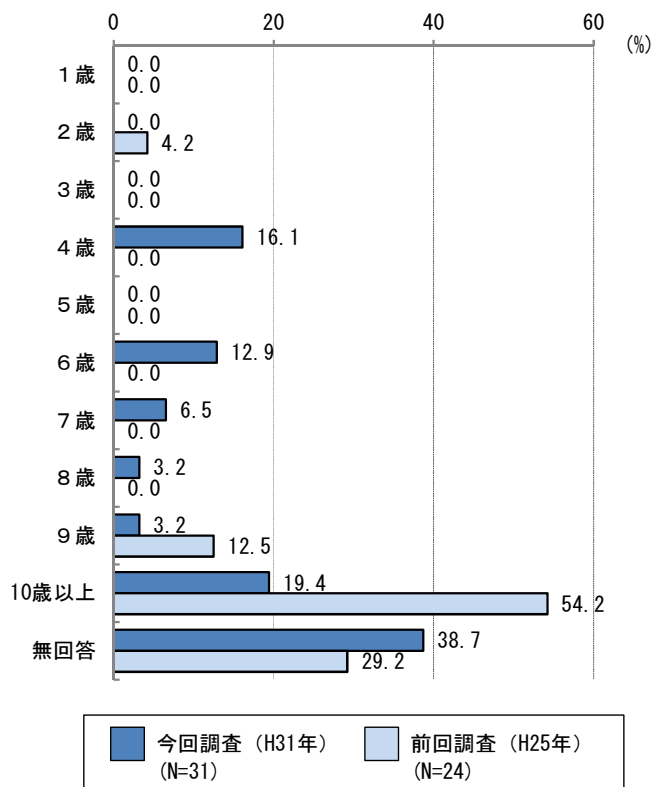
■ 就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」母親の就労の希望は、「子育てや家事などに専念したい」が36.7%と最も多く、次いで、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」が28.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が26.6%で、就労希望者は合計55.0%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」とお答えの方のみ

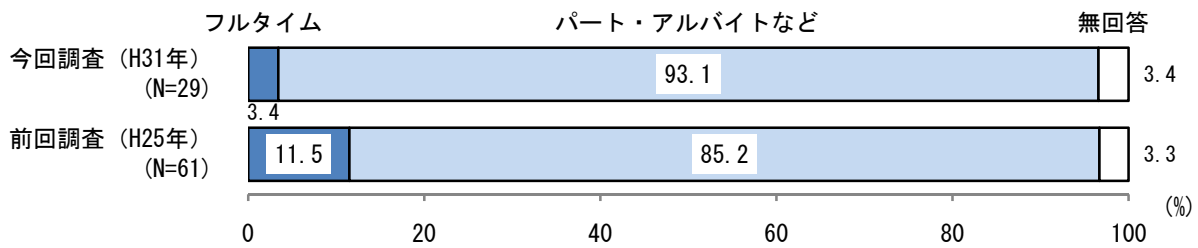
■ 就労を考える子どもの年齢



「1年より先に働きたい」母親が就労を考える子どもの年齢は、「10歳以上」が19.4%と最も多く、次いで、「4歳」が16.1%となっています。

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

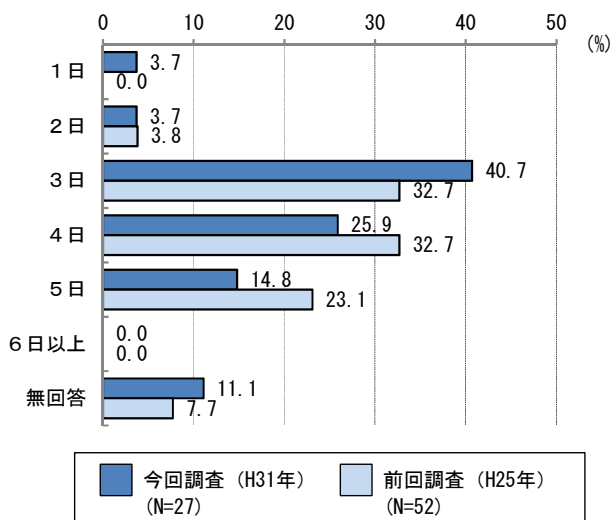
■ 希望する就労形態



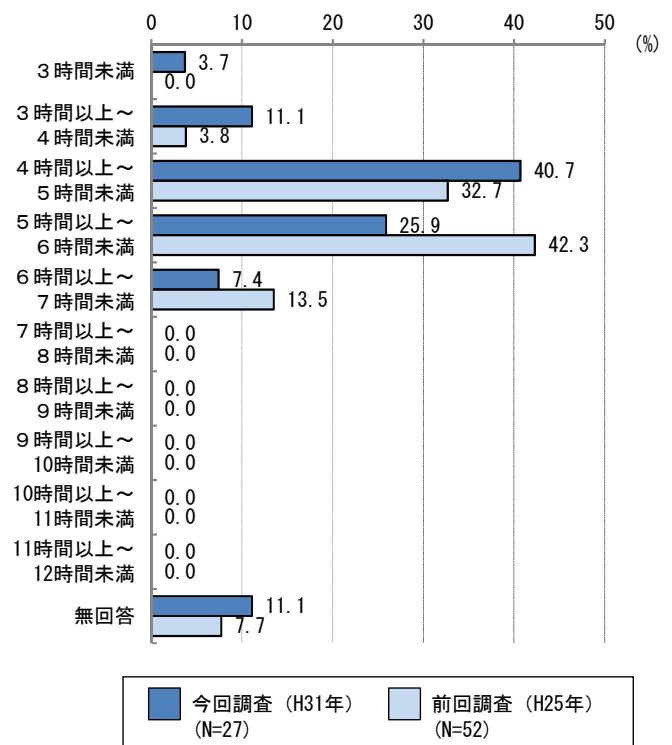
「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」母親の希望の就労形態は、「フルタイム」が3.4%、「パート・アルバイトなど」が93.1%となっています。前回調査と比べて、「パート・アルバイトなど」が7.9ポイント増加し、「フルタイム」が8.1ポイント減少しています。

「パート・アルバイトなど」での就労を希望する方のみ

■ 1週あたりの希望就労日数



■ 1日あたりの希望就労時間

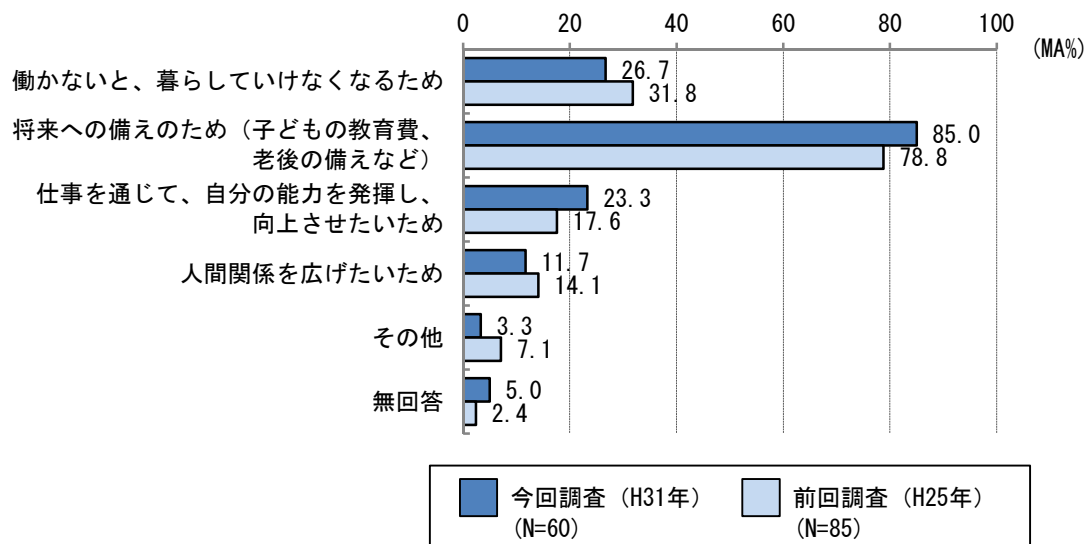


パート・アルバイトなどでの就労を希望する母親の、1週あたりの希望就労日数は、「3日」(40.7%)が最も多く、次いで、「4日」(25.9%)となっています。1日あたりの希望就労時間は、「4時間以上～5時間未満」(40.7%)が最も多く、次いで、「5時間以上～6時間未満」(25.9%)となっています。

〔14〕 働いていない母親が働きたい理由

問11で「2」または「3」（就労希望あり）を選ばれた方のみ

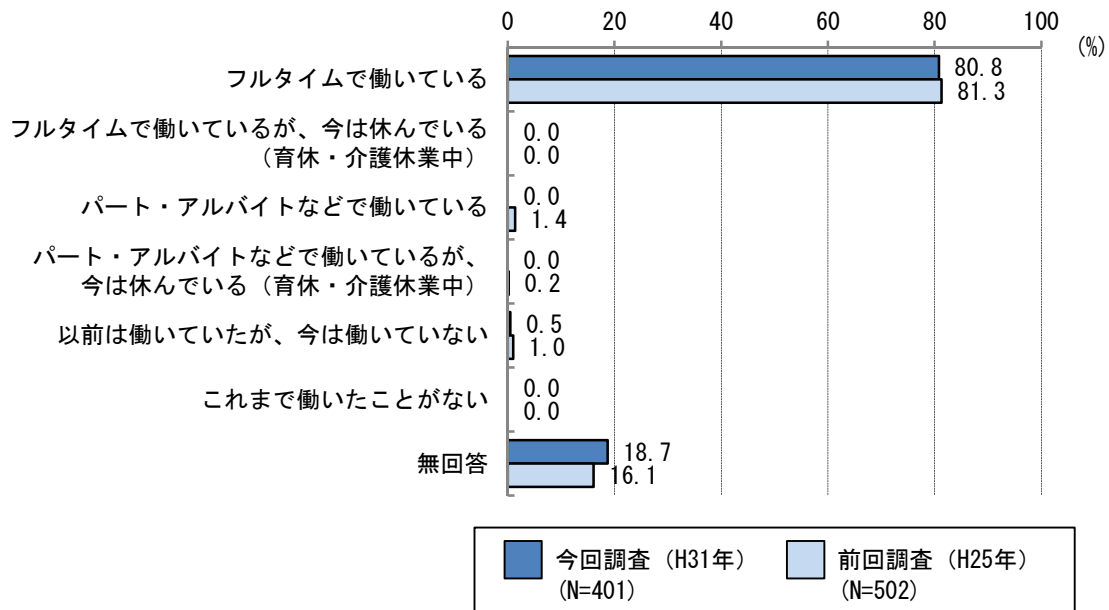
問11-1 働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



現在働いていない方で、就労希望のある母親の働きたい理由は、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が85.0%と最も多くなっています。

〔15〕 父親の就労状況

問12 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



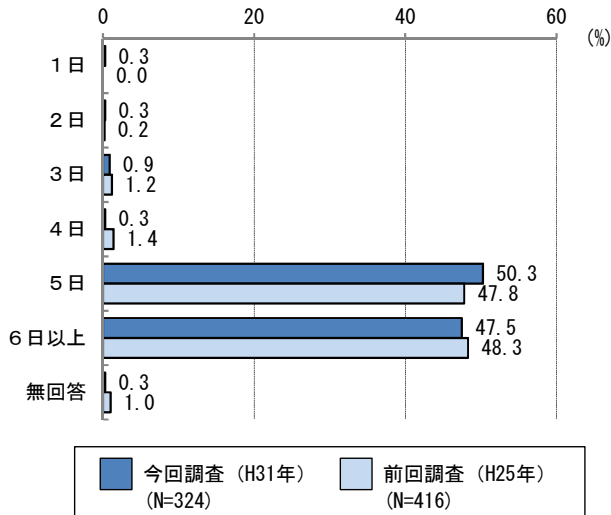
父親の就労状況は、回答のあった方すべてが「フルタイムで働いている」で、80.8%となっています。

〔16〕 父親の就労日数・就労時間

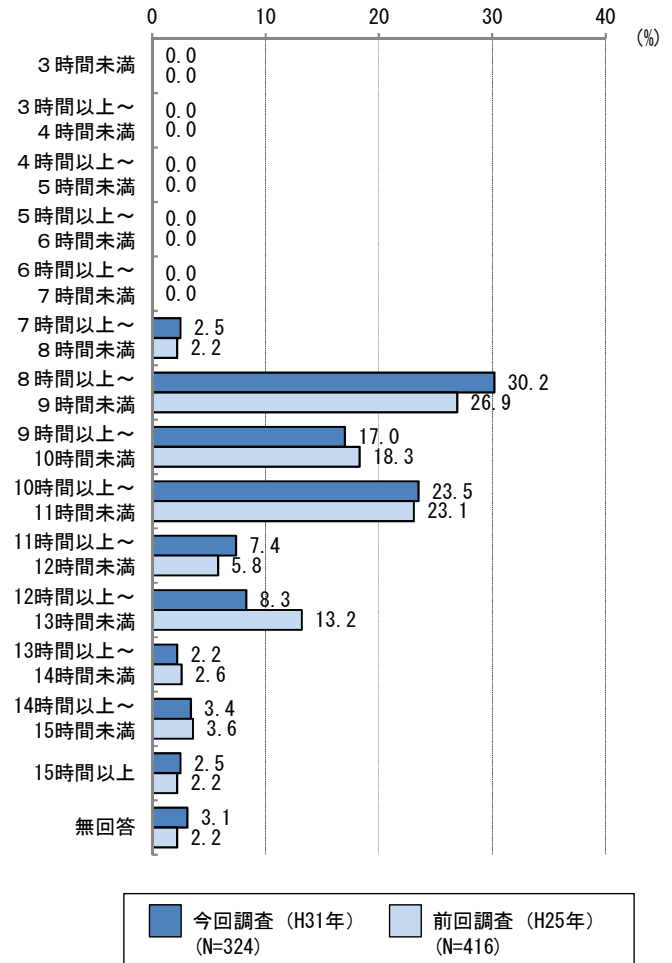
問12で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問12-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間



「就労している」父親の、1週あたりの就労日数は、「5日」(50.3%)が最も多く、次いで、「6日以上」(47.5%)となっています。1日あたりの就労時間は、「8時間以上～9時間未満」(30.2%)が最も多く、次いで、「10時間以上～11時間未満」(23.5%)となっています。

〔17〕 父親の家を出る時間・帰宅時間

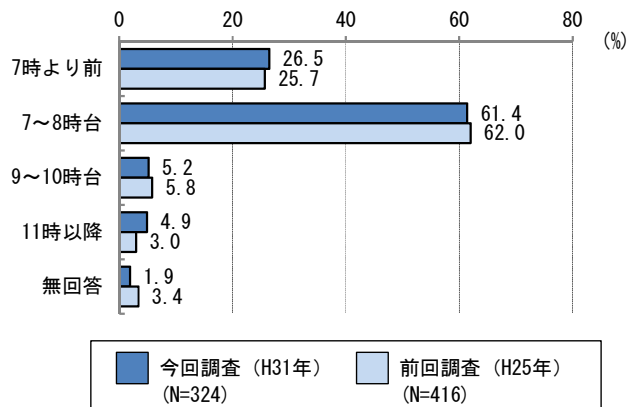
問12で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方のみ

問12-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

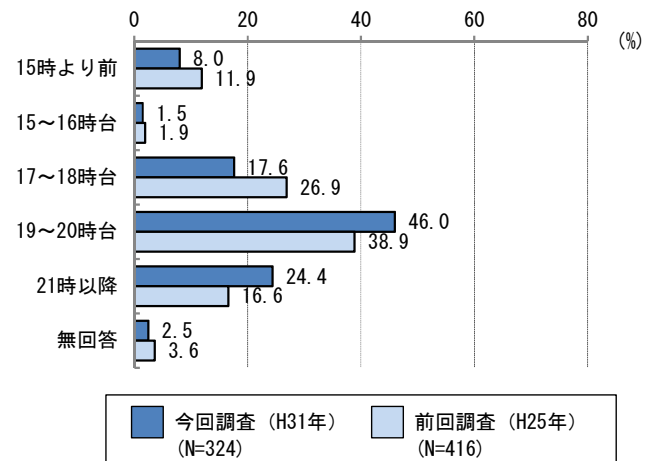
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず(18:00)のように、24時間制でお答えください。

■ 家を出る時間



■ 帰宅時間



「就労している」父親の家を出る時間は、「7～8時台」(61.4%)が最も多く、次いで、「7時より前」(26.5%)となっています。帰宅時間は、「19～20時台」(46.0%)が最も多く、次いで、「21時以降」(24.4%)となっています。

※父親については、フルタイム就労者のみであったため、以下の設問は回答者なし

〔18〕 父親のフルタイムへの転換希望

問12で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労)を選ばれた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

〔19〕 働いていない父親の就労希望

問12で「5」または「6」(就労していない)を選ばれた方のみ

問14 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2」または「3」を選ばれた方は、枠内に具体的な数字を入れてください。

〔20〕 働いていない父親が働きたい理由

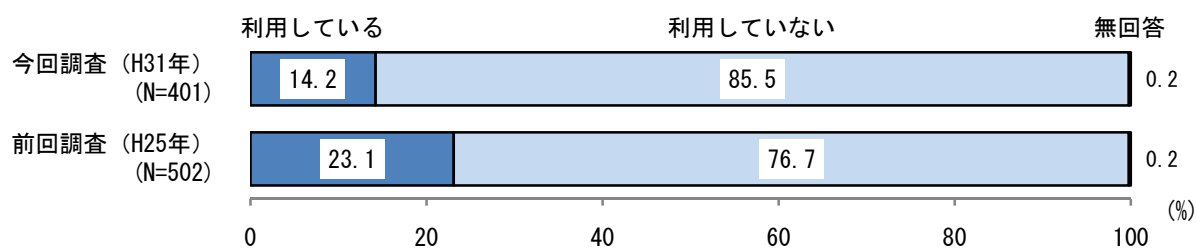
問14で「2」または「3」(就労希望あり)を選ばれた方のみ

問14-1 働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

2 留守家庭児童会室（学童保育）の利用

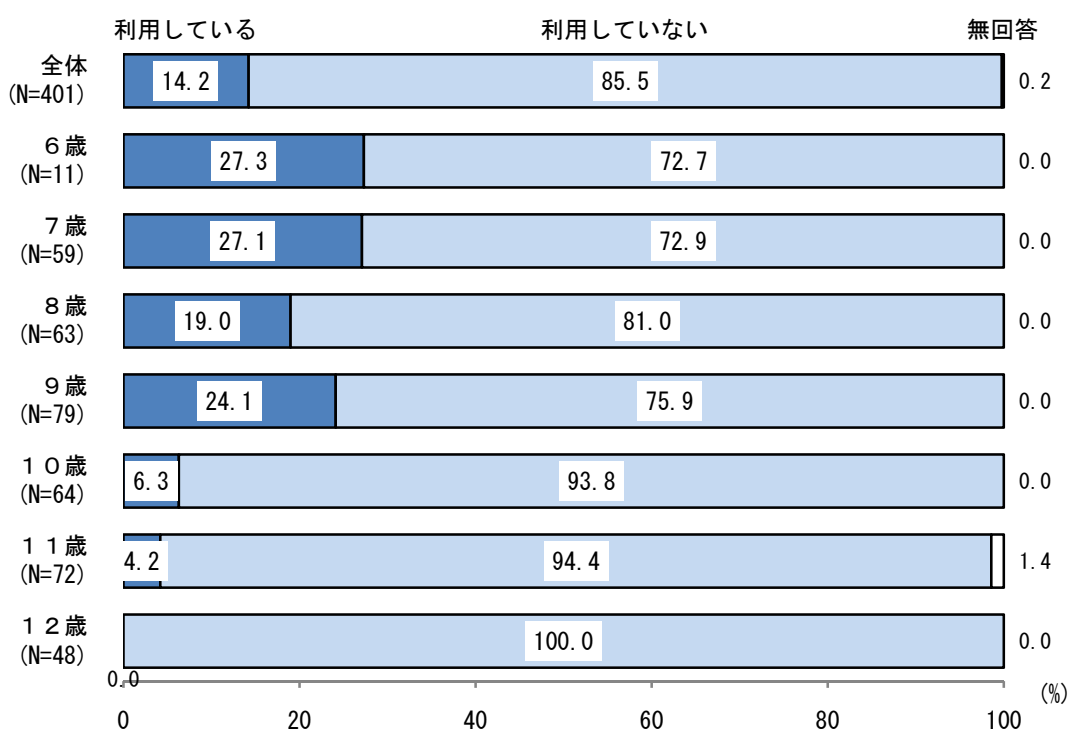
〔1〕留守家庭児童会室（学童保育）の利用状況

問15 現在、留守家庭児童会室（学童保育）を利用されていますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」は14.2%となっています。

【年齢別 留守家庭児童会室（学童保育）の利用状況】

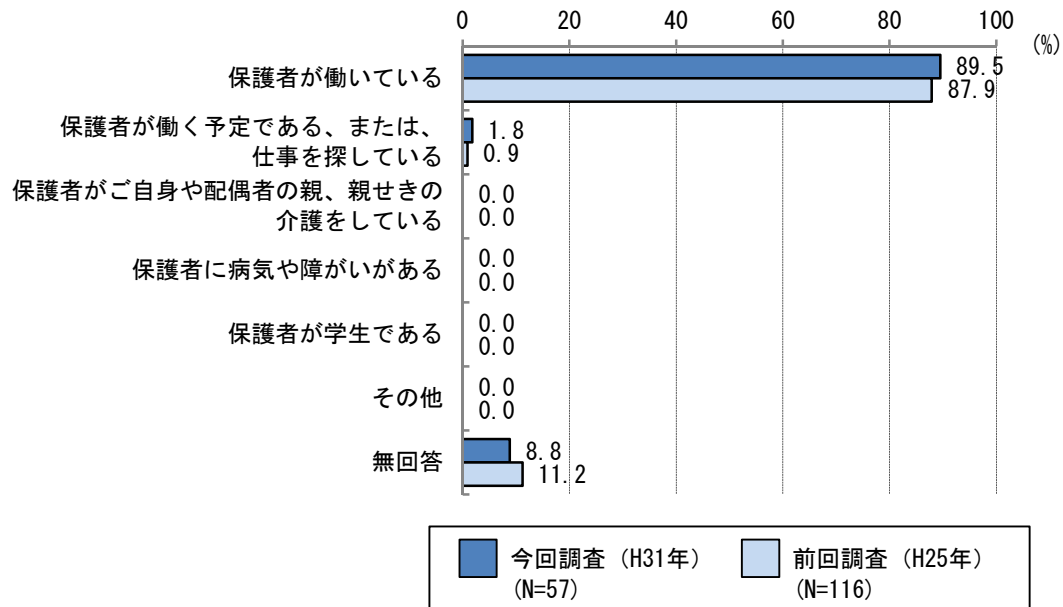


年齢別にみると、「6歳」から「9歳」までは「利用している」が2割弱～3割弱みられますが、10歳以上は9割以上が「利用していない」と回答しています。

〔2〕 留守家庭児童会室（学童保育）を利用している理由

問15で「利用している」に○をつけた方のみ

問16 留守家庭児童会室（学童保育）を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」理由は、「保護者が働いている」が89.5%と最も多くなっています。

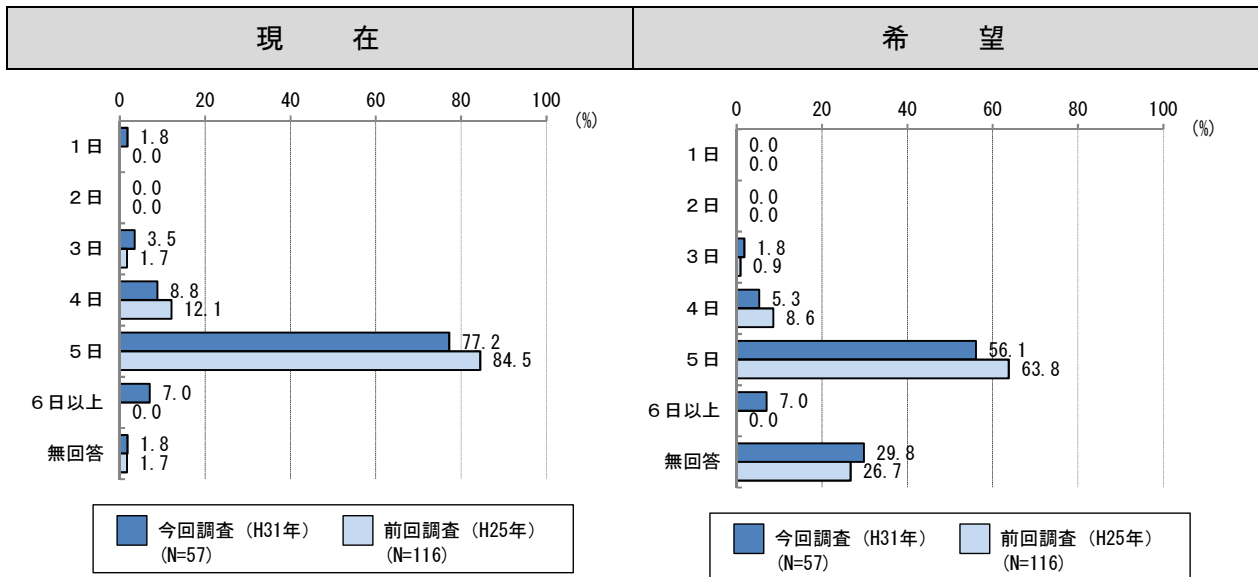
〔3〕現在の利用状況と今後の利用希望

問15で「利用している」に○をつけた方のみ

問16-1 現在利用している留守家庭児童会室（学童保育）の現在と今後の希望状況について、もっとも多いパターンを枠内に具体的に記入してください。また、土曜日については、あてはまるもの1つに○をつけてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。

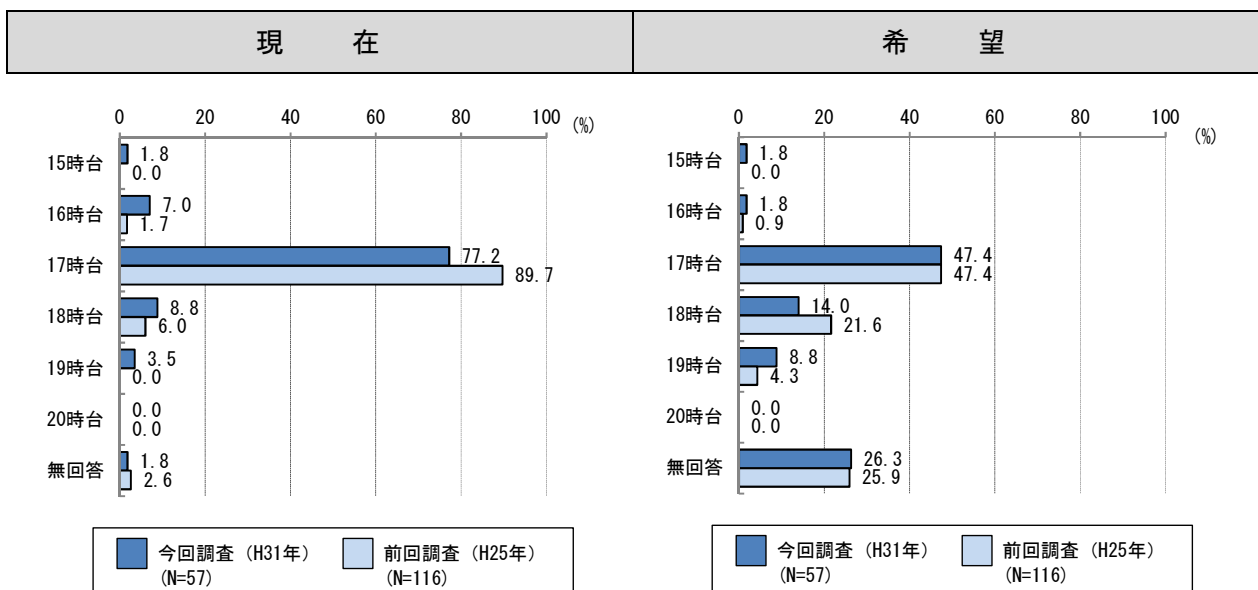
（1）平日

■ 1 週あたりの利用日数



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、平日の1週あたりの利用日数は、現在、希望ともに「5日」（現在 77.2%、希望 56.1%）が最も多くなっています。

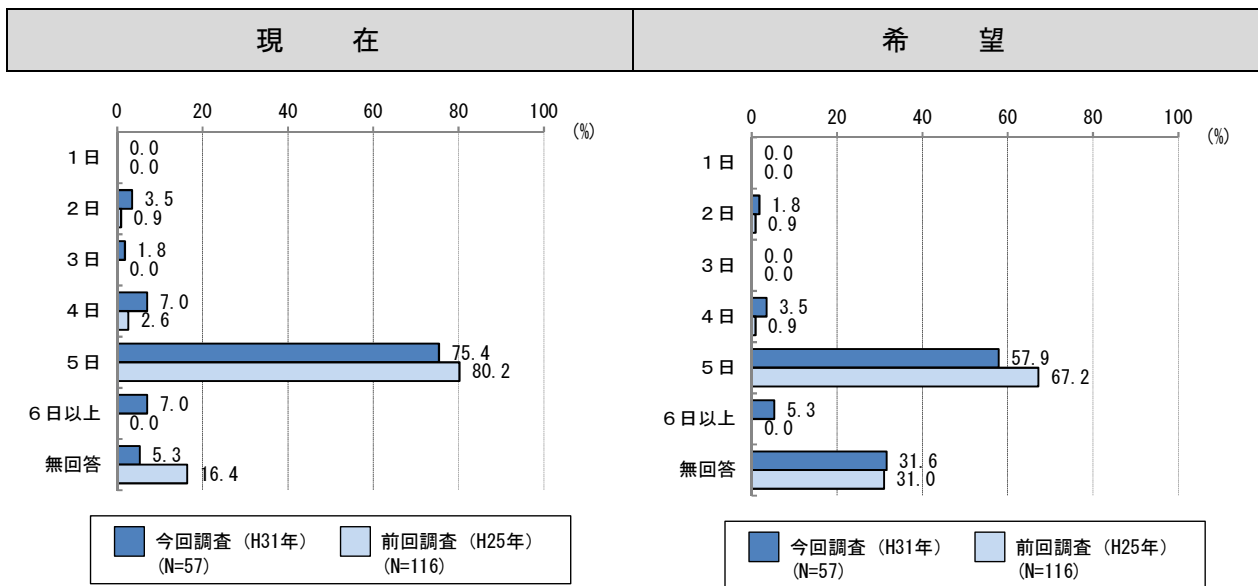
■ 利用終了時間



利用終了時間は、現在、希望ともに「17時台」（現在 77.2%、希望 47.4%）が最も多くなっています。

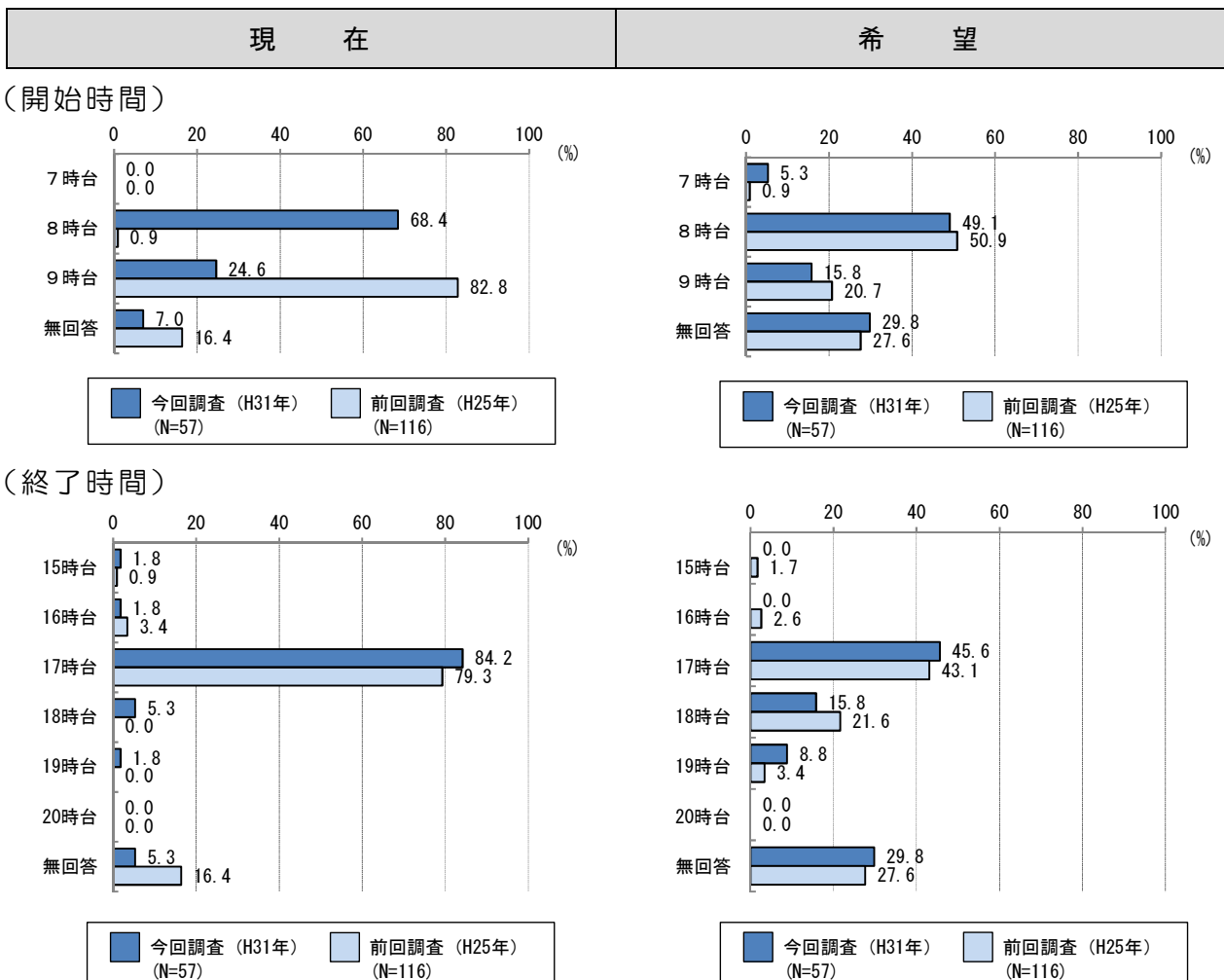
(2) 長期休暇中の平日

■ 1週あたりの利用日数



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、長期休暇中の平日の1週あたりの利用日数は、現在、希望ともに「5日」（現在 75.4%、希望 57.9%）が最も多くなっています。

■ 利用時間帯

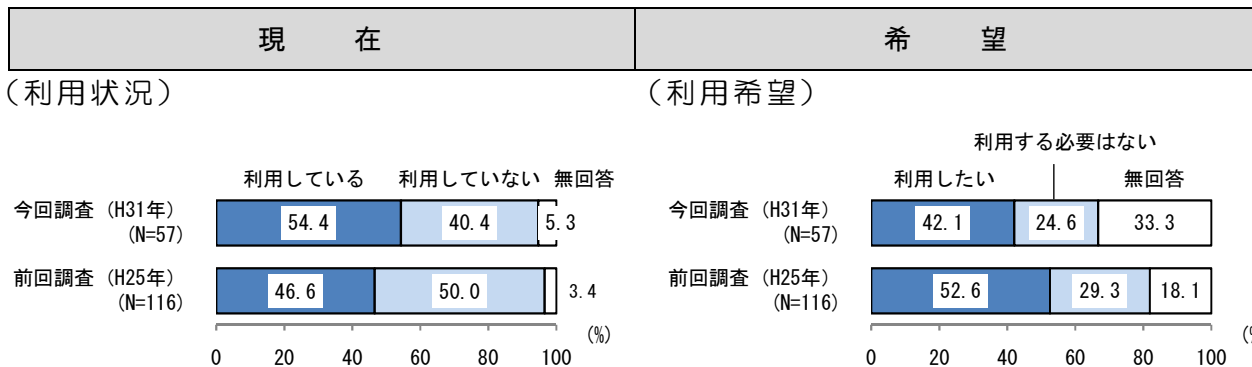


II-2. 就学児童調査

利用開始時間は、現在、希望共に「8時台」が最も多く（現在 68.4%、希望 49.1%）なっています。終了時間は、現在、希望共に「17時台」が最も多く（現在 84.2%、希望 45.6%）なっています。

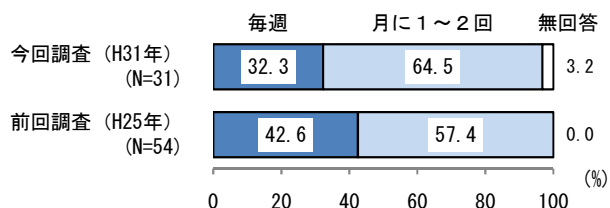
（3）土曜日

■ 利用状況



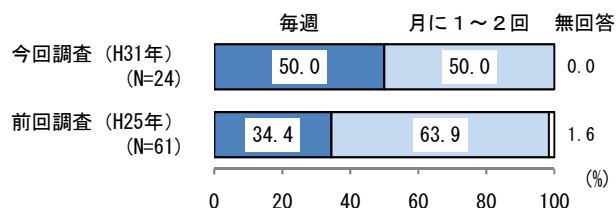
「利用している」人のみ

（利用頻度）



「利用したい」人のみ

（利用頻度）



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、現在の土曜日の利用状況は、「利用している」が 54.4%、「利用していない」が 40.4%で、「利用している」人の利用頻度は、「毎週」が 32.3%、「月に1～2回」が 64.5%となっています。

今後の土曜日の利用希望は、「利用したい」が 42.1%、「利用する必要はない」が 24.6%で、「利用したい」人の希望利用頻度は「毎週」、「月に1～2回」がそれぞれ 50.0%となっています。

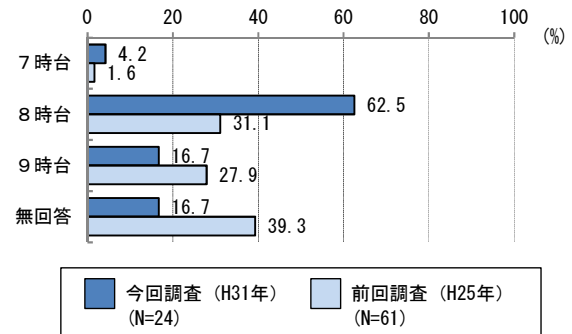
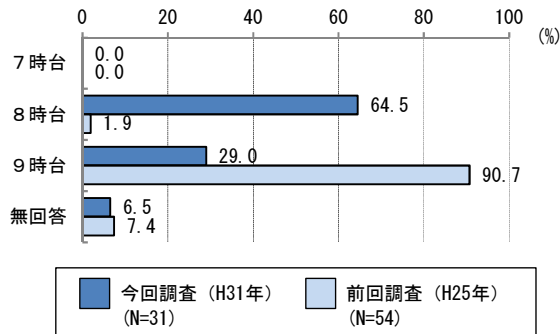
■ 利用時間帯

現 在	希 望
-----	-----

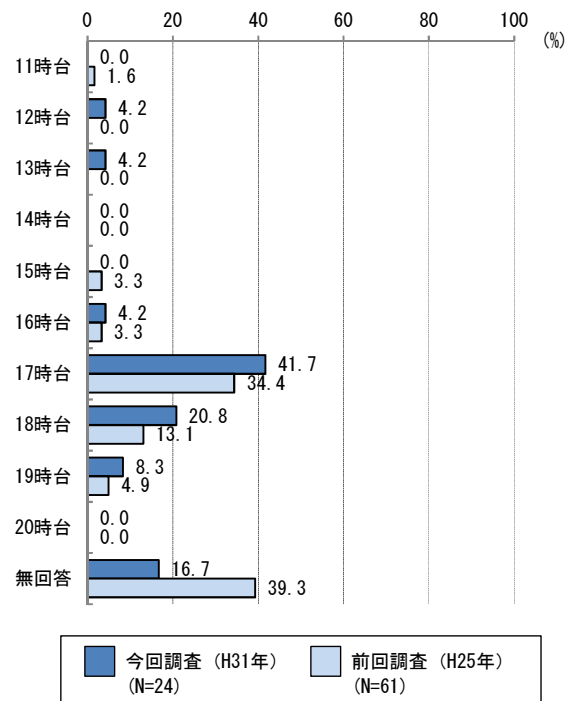
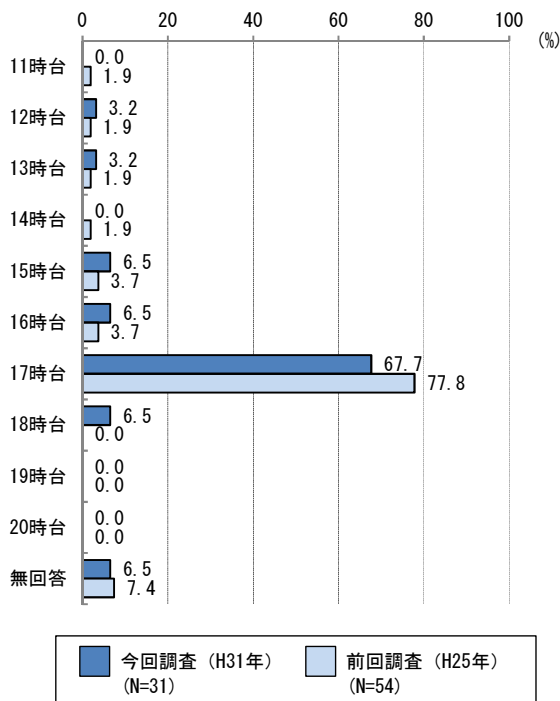
「利用している」人のみ

「利用したい」人のみ

(開始時間)



(終了時間)

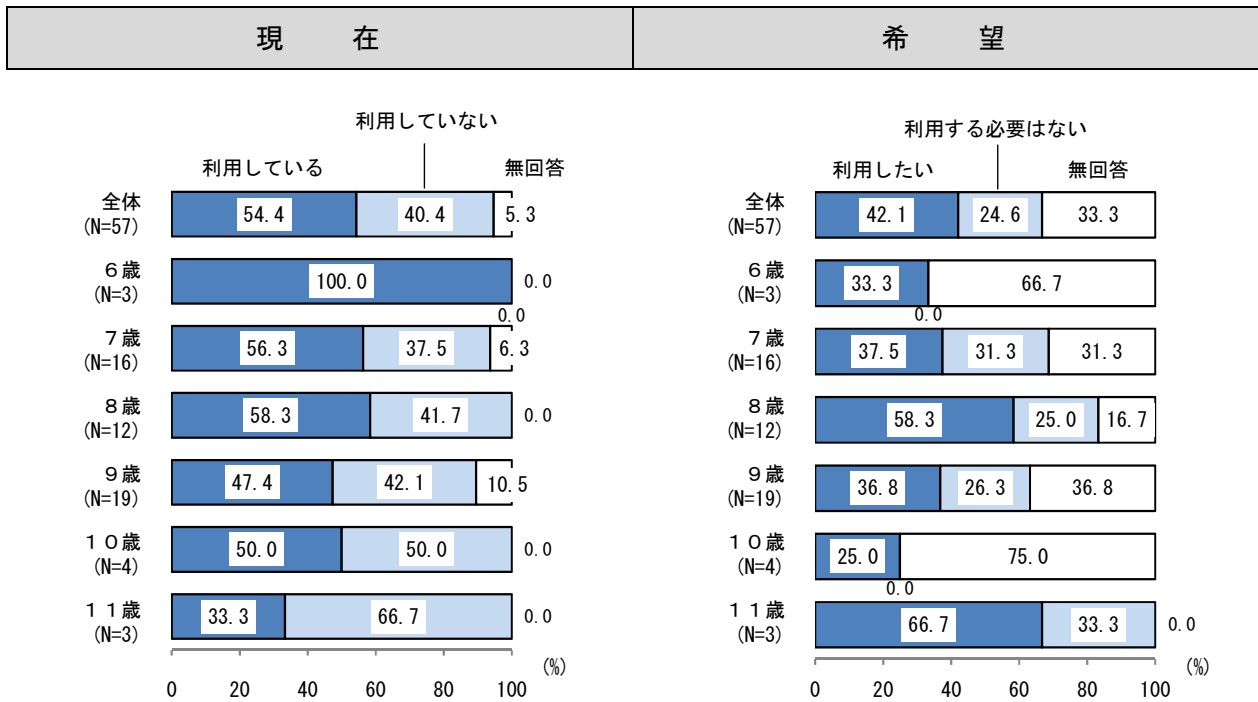


土曜日の留守家庭児童会室（学童保育）の利用開始時間は、現在、希望共に「8時台」が最も多く（現在 64.5%、希望 62.5%）なっています。終了時間は、現在、希望共に「17時台」が最も多く（現在 67.7%、希望 41.7%）なっています。

II-2. 就学児童調査

【年齢別 留守家庭児童会室（学童保育）の土曜日の利用状況・利用希望】

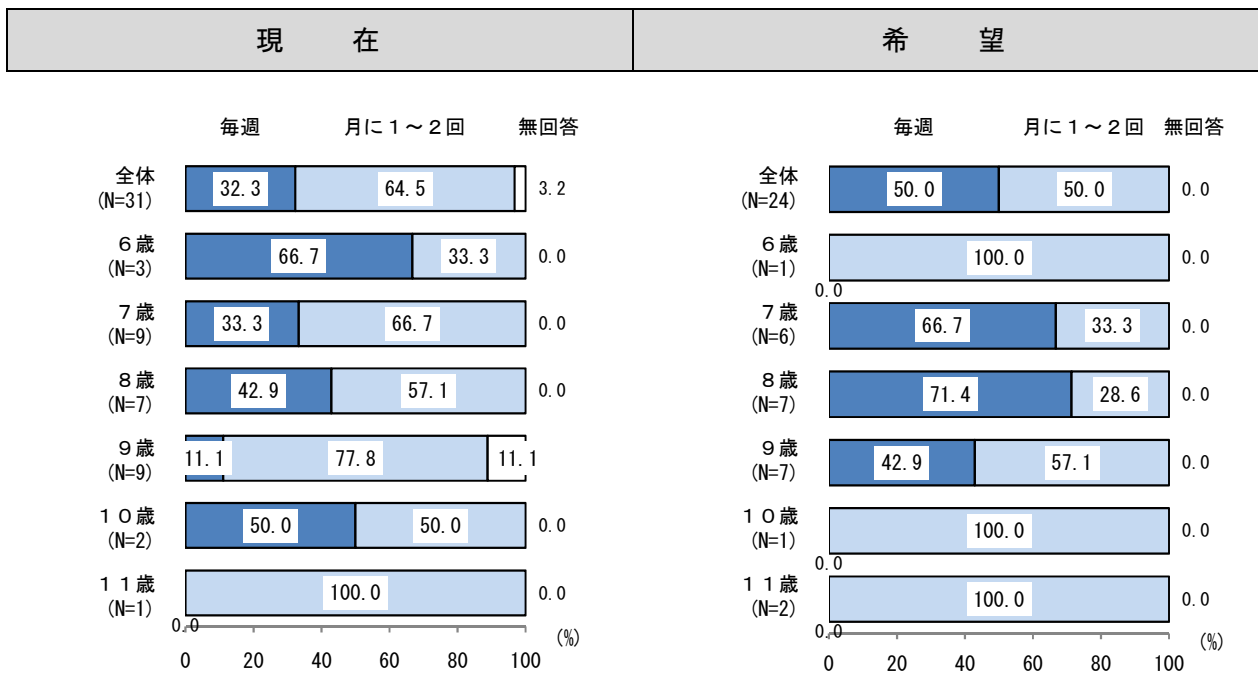
※「12歳」は0人のためグラフを省略。



留守家庭児童会室（学童保育）利用者の、土曜日の利用状況を年齢別にみると、「利用している」は「7歳」「8歳」で約6割、「9歳」「10歳」で約5割となっています。今後の利用希望を年齢別にみると、「利用したい」は「8歳」58.3%と多くなっています。

【年齢別 留守家庭児童会室（学童保育）の土曜日の利用頻度】

※「12歳」は0人のためグラフを省略。

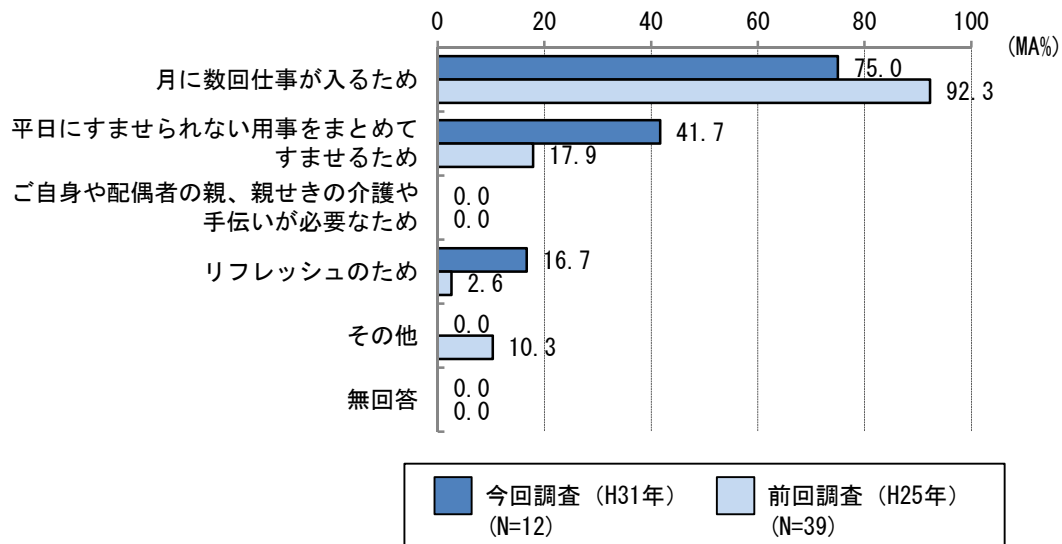


現在「利用している」方の利用頻度を年齢別にみると、「6歳」で「毎週」が66.7%と多くなっています。「利用したい」方では「7歳」「8歳」で「毎週」が約7割と多くなっています。

〔4〕 たまに利用したい理由

問16-1で土曜日の希望で「月に1～2回」を選んだ方のみ

問16-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



留守家庭児童会室（学童保育）の土曜日の希望利用頻度が「月に1～2回」の方に、毎週ではなく、たまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」が75.0%と最も多く、次いで、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が41.7%、「リフレッシュのため」が16.7%となっています。

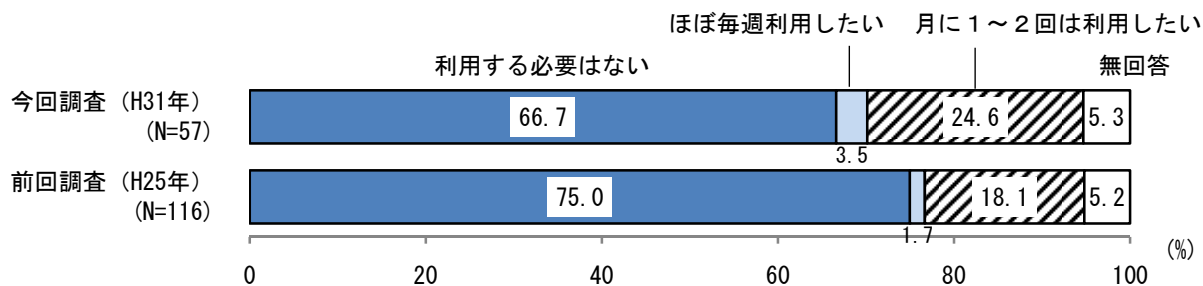
前回調査と比べて、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が23.8ポイント、「リフレッシュのため」が14.1ポイント増加しています。

〔5〕日曜日・祝日の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望

問15で「利用している」に○をつけた方のみ

問16-3 日曜日・祝日に、留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望はありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）
 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。
 時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。

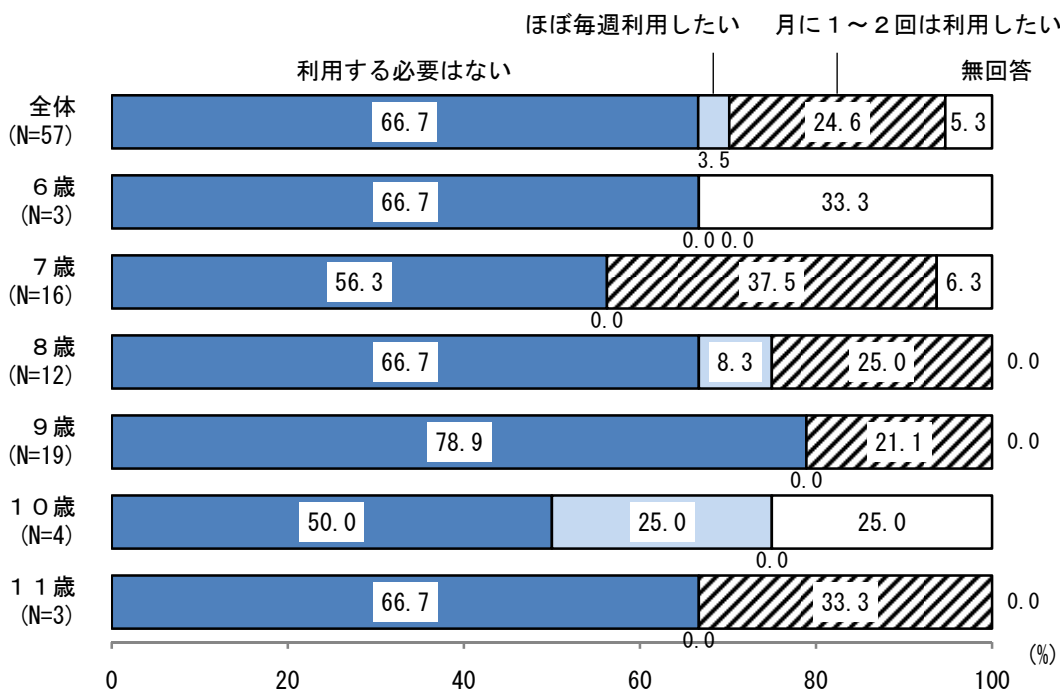
■ 利用希望



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が3.5%、「月に1～2回は利用したい」が24.6%で、利用希望者は合計28.1%となっています。前回調査に比べて、利用希望者は8.3ポイント増加しています。

【年齢別 日曜日・祝日の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望】

※「12歳」は0人のためグラフを省略。



年齢別にみると、利用希望者は「7歳」で37.5%と最も多くなっています。

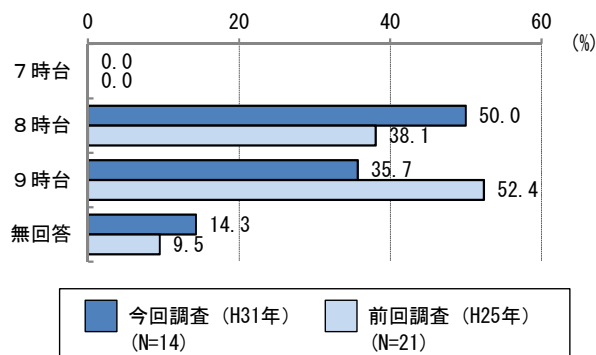
■ 「ほぼ毎週利用したい」人の希望利用時間帯

→ 開始時間は「7時台」1件、「8時台」1件となっています。

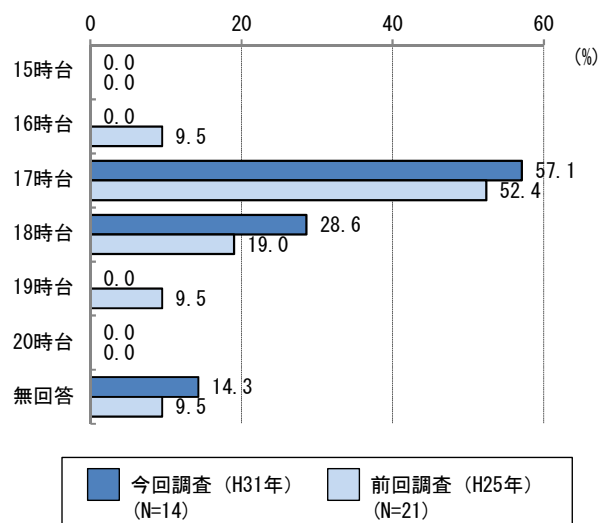
終了時間は「17時台」1件、「19時台」1件となっています。

■ 「月に1～2回は利用したい」人の希望利用時間帯

(開始時間)



(終了時間)

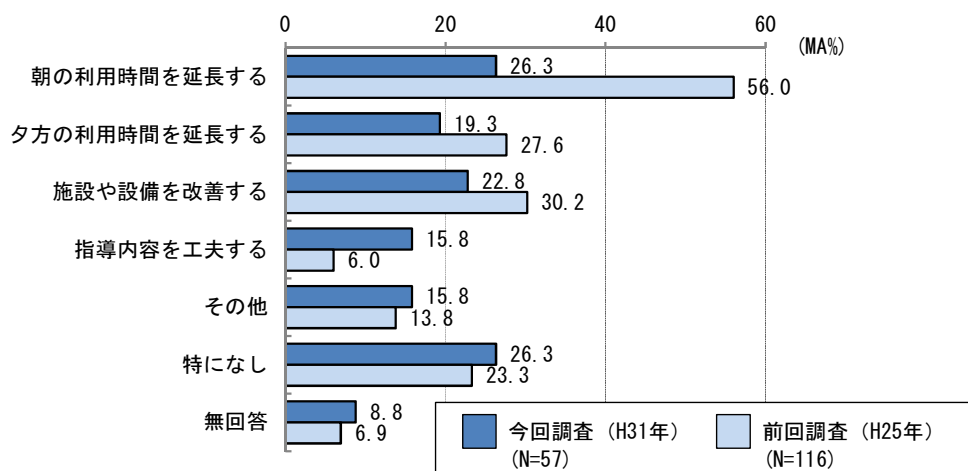


日曜日・祝日に留守家庭児童会室（学童保育）を「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「8時台」（50.0%）が最も多くなっています。希望終了時間は、「17時台」（57.1%）が最も多くなっています。

〔6〕 留守家庭児童会室（学童保育）に希望すること

問15で「利用している」を選ばれた方のみ

問16-4 現在通っている留守家庭児童会室（学童保育）にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

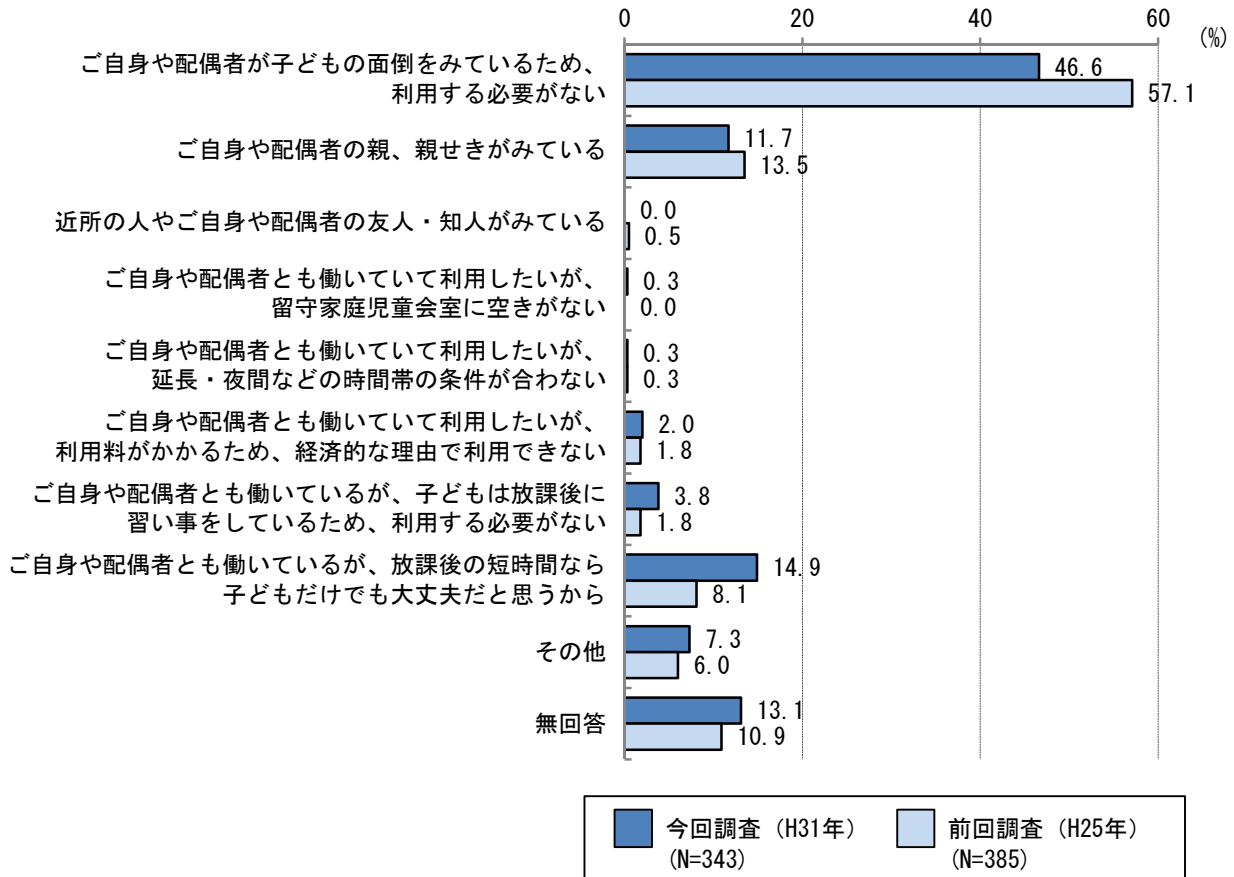


留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方に、利用する留守家庭児童会室（学童保育）に希望することをたずねたところ、「朝の利用時間を延長する」が26.3%と最も多く、次いで、「施設や設備を改善する」が22.8%となっています。

〔7〕 留守家庭児童会室（学童保育）を利用していない理由

問15で「利用していない」を選ばれた方のみ

問17 留守家庭児童会室（学童保育）を利用していない理由は何ですか。
 もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



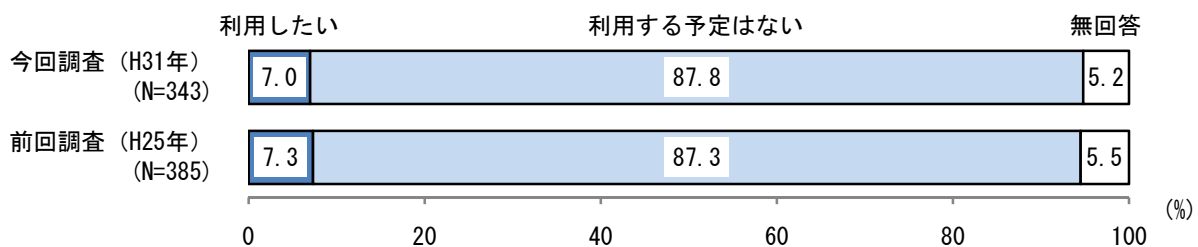
留守家庭児童会室（学童保育）を「利用していない」理由は、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が46.6%と最も多く、次いで、「ご自身や配偶者とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が14.9%となっています。

〔8〕 留守家庭児童会室（学童保育）未利用者の今後の利用意向

問15で「利用していない」を選ばれた方のみ

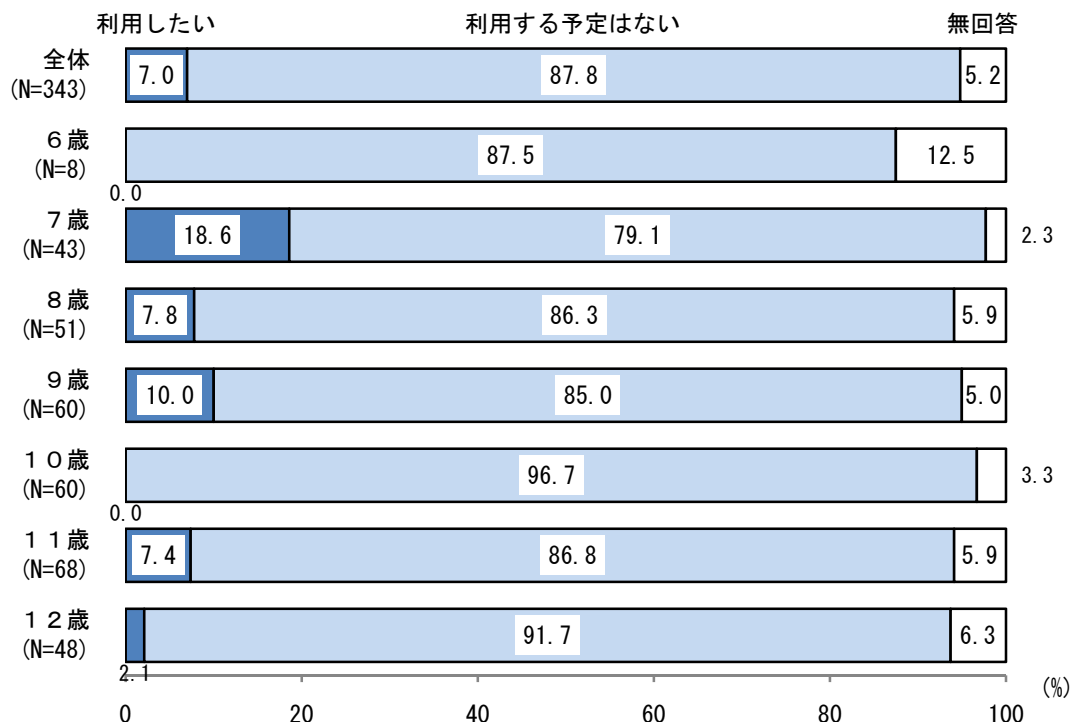
問17-1 封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童会室（学童保育）を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。
時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。

■ 今後の利用意向の有無



留守家庭児童会室（学童保育）を「利用していない」方の今後の利用意向は、「利用したい」が7.0%、「利用する予定はない」が87.8%となっています。

【年齢別 留守家庭児童会室（学童保育）未利用者の今後の利用意向】

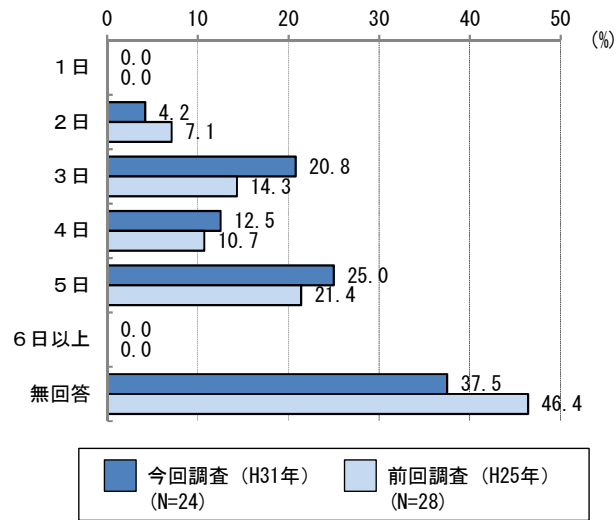


年齢別にみると、「利用したい」は「7歳」で18.6%とやや多くなっていますが、それ以外の年齢では8割以上が「利用する予定はない」と回答しています。

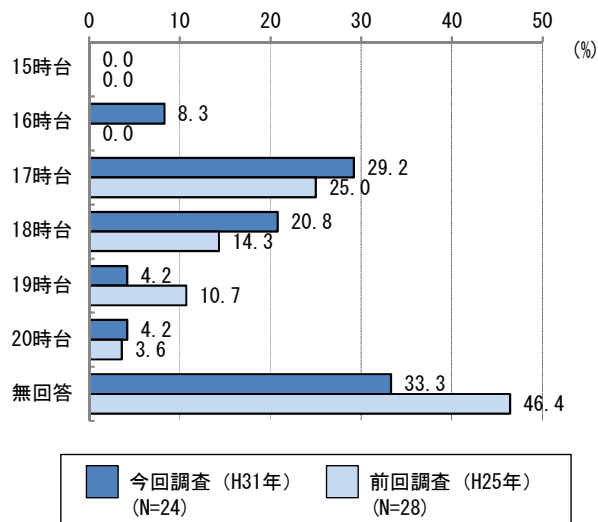
<平日の利用希望>

留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方のみ

■ 1週あたりの希望利用日数



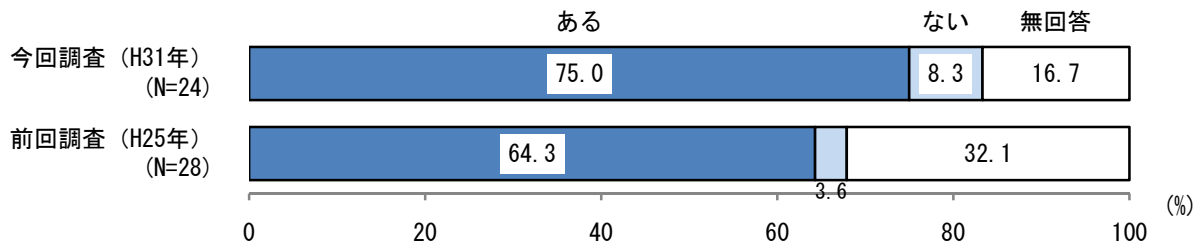
■ 希望利用終了時間



留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方の、平日の1週あたりの希望利用日数は、「5日」（25.0%）が最も多く、次いで、「3日」（20.8%）となっています。希望利用終了時間は、「17時台」（29.2%）が最も多く、次いで、「18時台」（20.8%）となっています。

<長期休暇中の平日の利用希望>

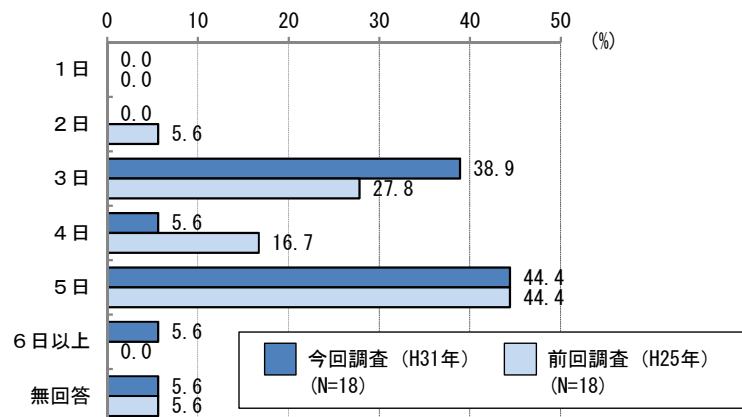
■ 今後の利用希望の有無



留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方のうち、長期休暇中の平日の利用希望が「ある」方は75.0%となっています。

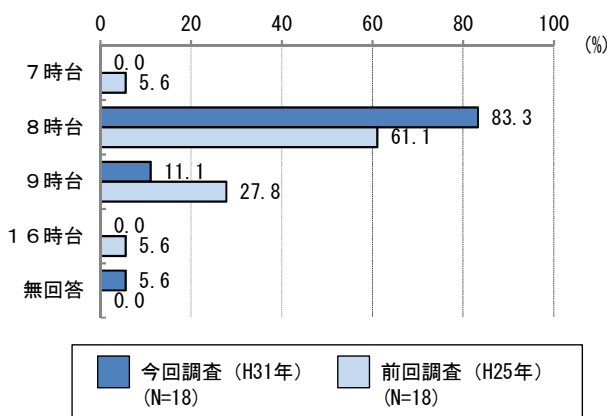
長期休暇中の平日の利用希望が「ある」方のみ

■ 1週あたりの希望利用日数

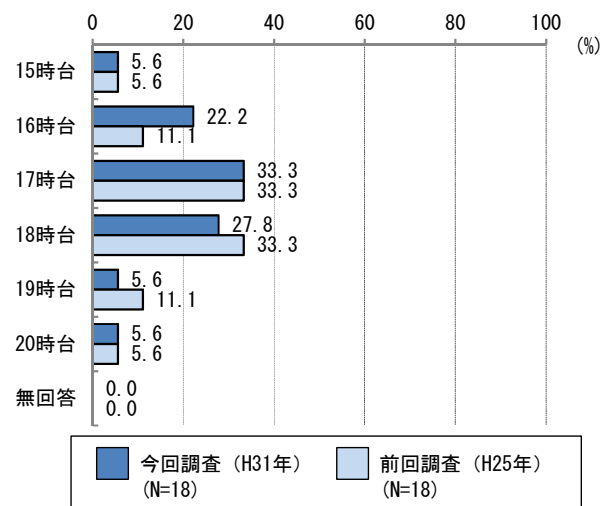


■ 希望利用時間帯

(開始時間)



(終了時間)



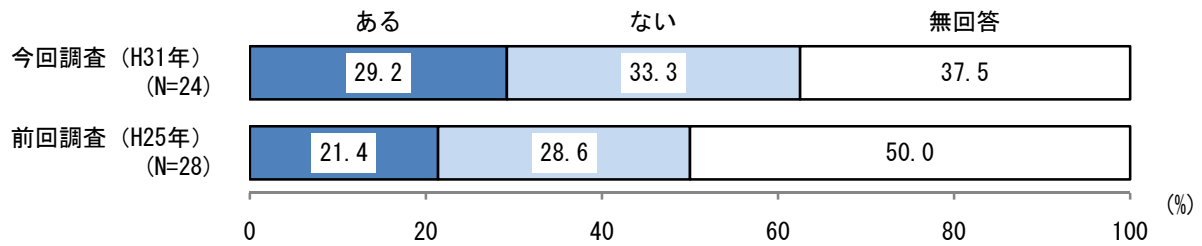
留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、長期休暇中の平日の利用希望がある方の、1週あたりの希望利用日数は、「5日」（44.4%）が最も多く、次いで、「3日」（38.9%）となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」（83.3%）が最も多く、終了時間は「17時台」（33.3%）、「18時台」（27.8%）が多くなっています。

II-2. 就学児童調査

<土曜日の利用希望>

■ 今後の利用希望の有無

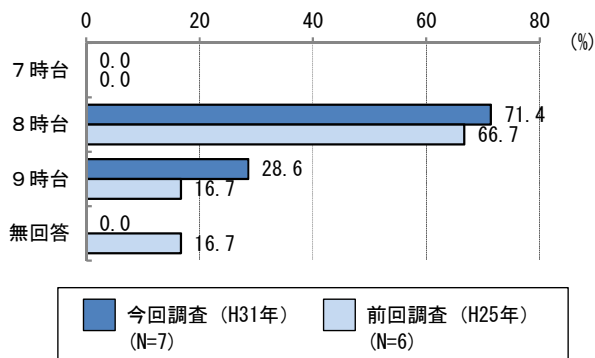


留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方のうち、土曜日の利用希望が「ある」方は 29.2%、「ない」は 33.3%となっています。

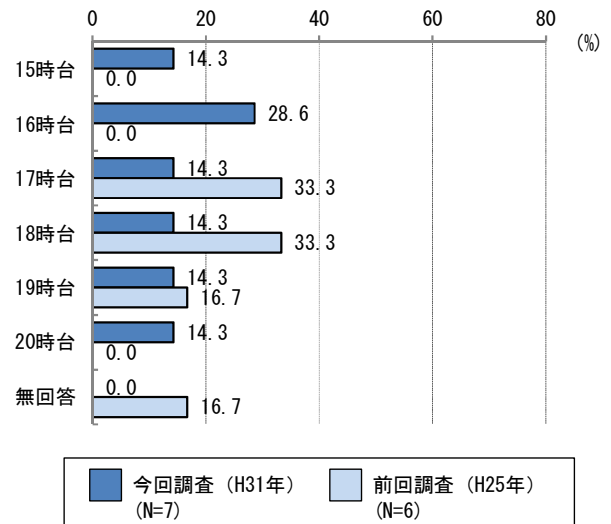
土曜日の利用希望が「ある」方のみ

■ 希望利用時間帯

（開始時間）



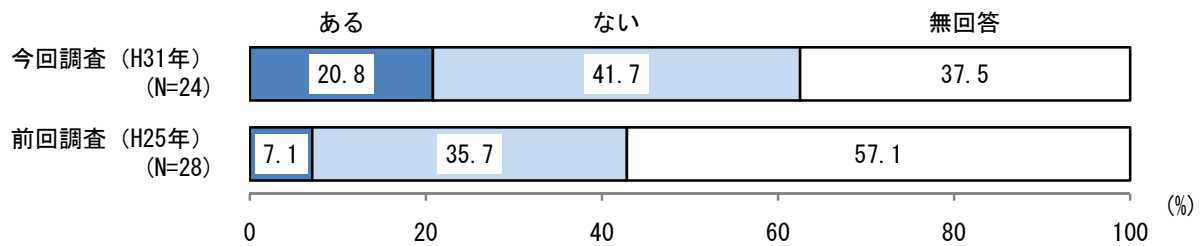
（終了時間）



留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、土曜日の利用希望がある方の、希望利用開始時間は、「8時台」（71.4%）が最も多くなっています。終了時間は「16時台」（28.6%）が最も多くなっています。

<日曜日・祝日の利用希望>

■ 今後の利用希望の有無

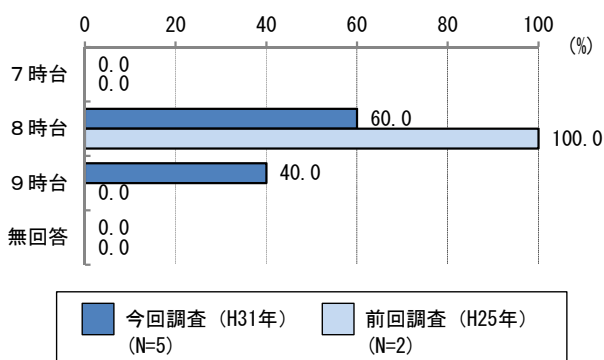


留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方のうち、日曜日・祝日の利用希望が「ある」方は 20.8%、「ない」は 41.7%となっています。

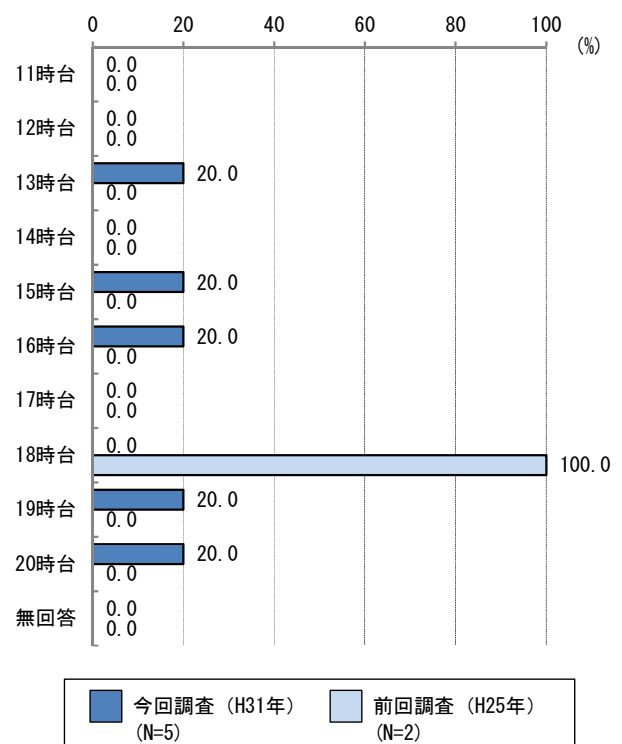
日曜日・祝日の利用希望が「ある」方のみ

■ 希望利用時間帯

(開始時間)



(終了時間)

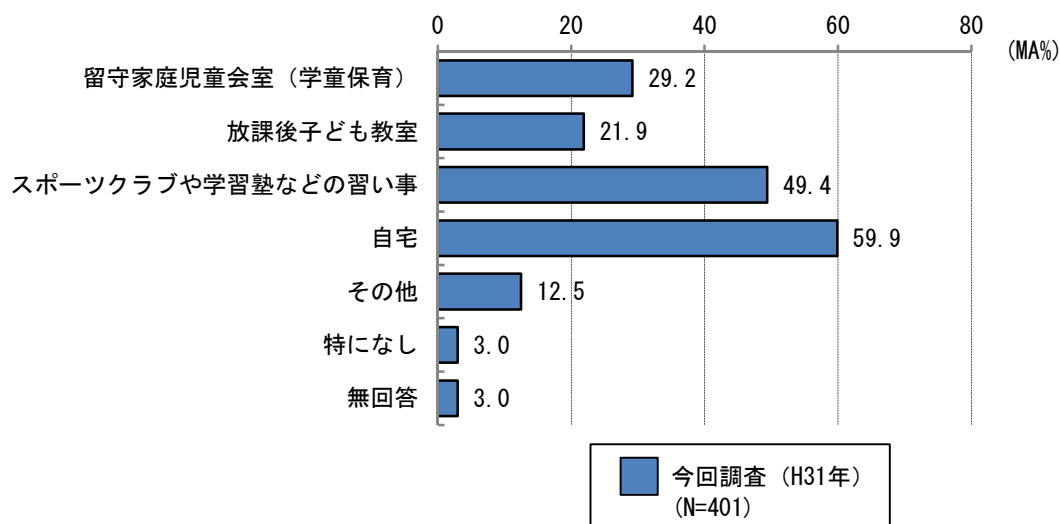


留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、日曜日・祝日の利用希望がある方の、希望利用開始時間は、「8時台」が 60.0%、「9時台」が 40.0%となっています。終了時間は、「13時台」「15時台」「16時台」「19時台」「20時台」がそれぞれ 20.0%となっています。

〔9〕 小学校低学年時の放課後の過ごし方【新規設問】

問18-1 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「2」（放課後子ども教室）を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

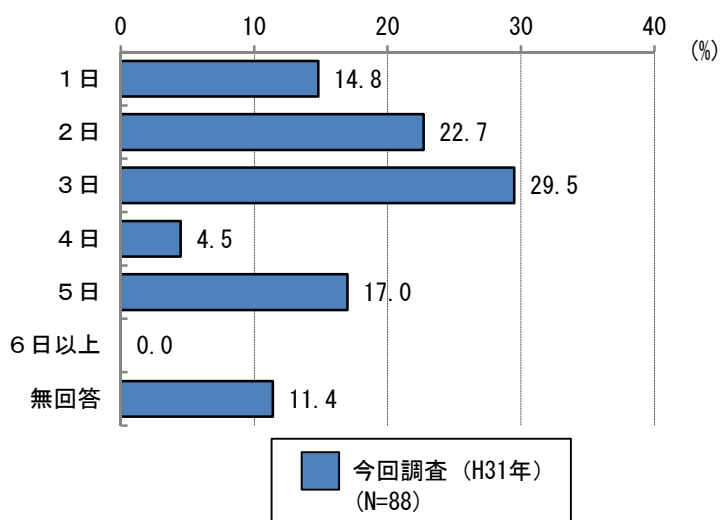
■ 小学校低学年（1～3年生）時に放課後を過ごさせたい場所



小学校低学年（1～3年生）のうちに放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が59.9%と最も多く、次いで、「スポーツクラブや学習塾などの習い事」が49.4%となっています。

「放課後子ども教室」を選択した方のみ

■ 「放課後子ども教室」の1週間あたりの希望利用日数

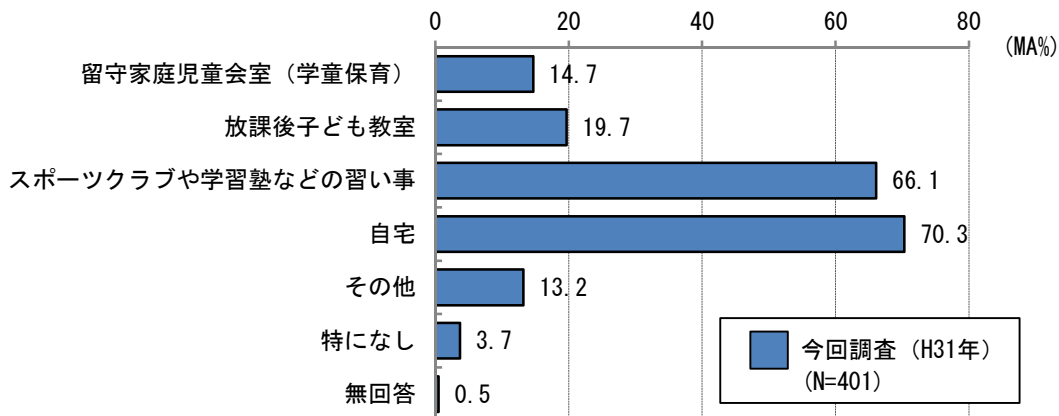


「放課後子ども教室」を選択した方の1週間あたりの希望利用日数は、「3日」（29.5%）が最も多く、次いで、「2日」（22.7%）となっています。

〔10〕 小学校高学年時の放課後の過ごし方【新規設問】

問18-2 小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」（留守家庭児童会室（学童保育））、「2」（放課後子ども教室）を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

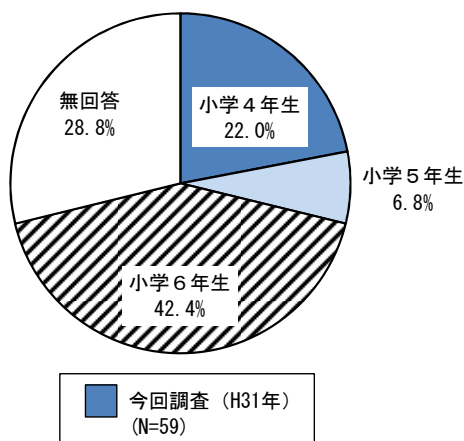
■ 小学校高学年（4～6年生）時に放課後を過ごさせたい場所



小学校高学年（4～6年生）のうちに放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が70.3%と最も多く、次いで、「スポーツクラブや学習塾などの習い事」が66.1%となっています。

「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方のみ

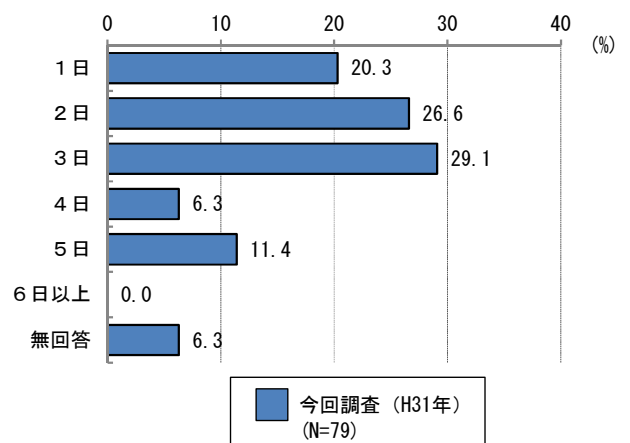
■ 「留守家庭児童会室（学童保育）」を何年生まで利用したいか



「留守家庭児童会室（学童保育）」の利用希望は、「小学6年生まで」が42.4%、「小学4年生まで」が22.0%となっています。

「放課後子ども教室」を選択した方のみ

■ 「放課後子ども教室」の1週間あたりの希望利用日数



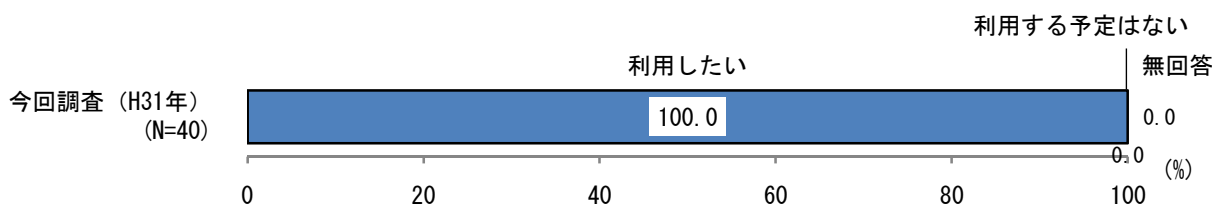
「放課後子ども教室」の1週間あたりの希望利用日数は、「3日」（29.1%）が最も多く、次いで、「2日」（26.6%）となっています。

[11] 小学校高学年（4～6年生）時の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望【新規設問】

問18-2で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選ばれた方で、封筒のあて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方のみ

問18-3 小学校高学年（4～6年）になって、留守家庭児童会室（学童保育）をどの程度利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つずつ○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。
 時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。
 なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

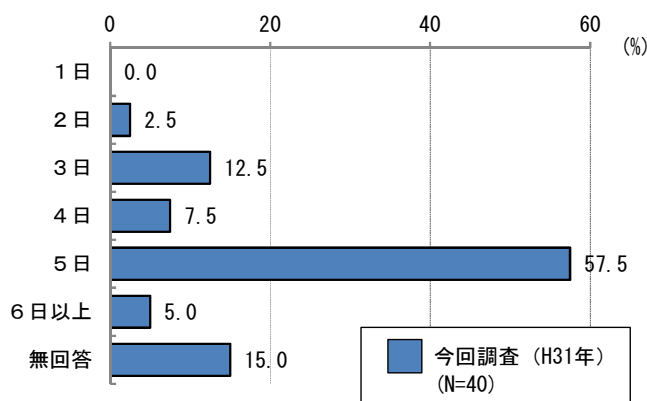
■ 小学校高学年（4～6年生）時の留守家庭児童会室（学童保育）の利用希望



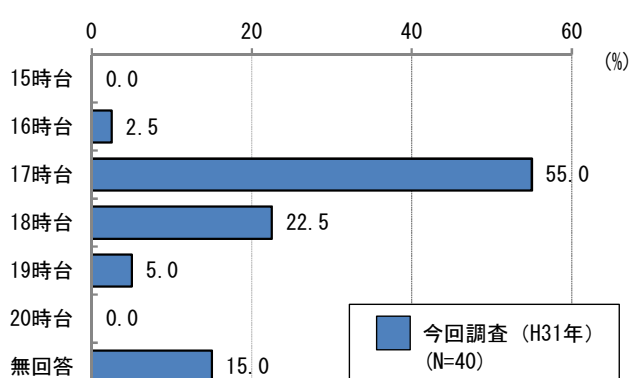
小学校高学年（4～6年生）時に放課後を過ごさせたい場所として、「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方のうち、現在小学校低学年（1～3年生）の方で、小学校高学年（4～6年生）になっても「利用したい」と回答した人は、100.0%となっています。

< 平日の利用希望 >

■ 1 週あたりの希望利用日数



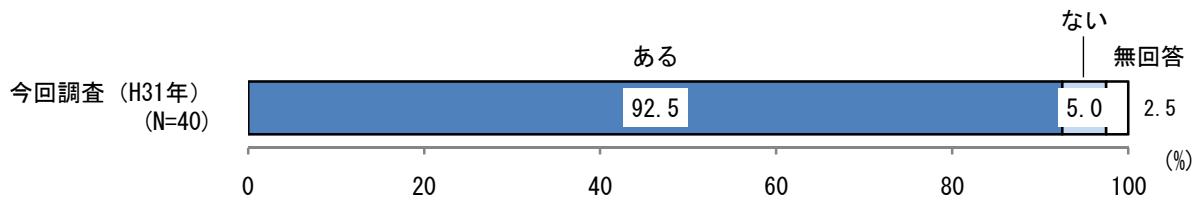
■ 希望利用終了時間



現在小学校低学年（1～3年生）で、小学校高学年（4～6年生）時に留守家庭児童会室（学童保育）を利用したい方の、平日の1週あたりの希望利用日数は、「5日」（57.5%）が最も多く、希望利用終了時間は、「17 時台」（55.0%）が最も多くなっています。

<長期休暇中の平日の利用希望>

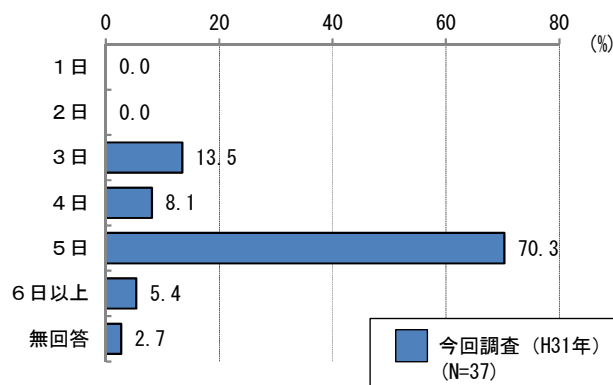
■ 利用希望の有無



現在小学校低学年（1～3年生）で、小学校高学年（4～6年生）時に留守家庭児童会室（学童保育）を利用したい方で、長期休暇中の平日の利用希望が「ある」方は92.5%となっています。

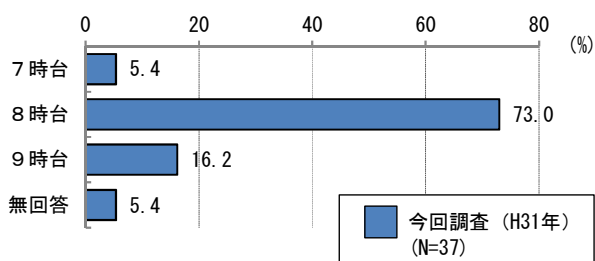
長期休暇中の平日の利用希望が「ある」方のみ

■ 1週あたりの希望利用日数

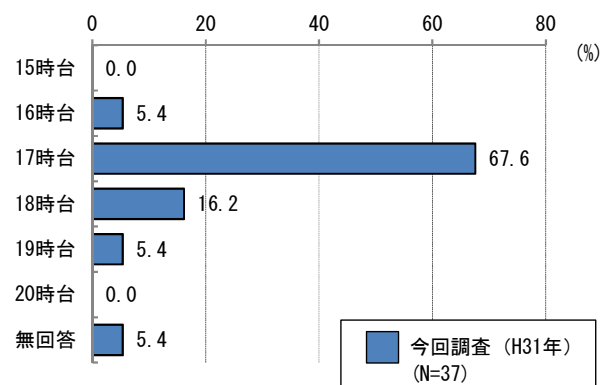


■ 希望利用時間帯

（開始時間）



（終了時間）



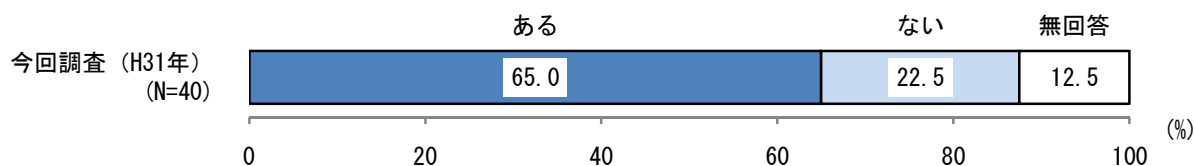
長期休暇中の平日の利用希望がある方の、1週あたりの希望利用日数は、「5日」（70.3%）が最も多くなっています。

希望利用開始時間は、「8時台」（73.0%）が最も多く、終了時間は「17時台」（67.6%）が最も多くなっています。

II-2. 就学児童調査

<土曜日の利用希望>

■ 利用希望の有無

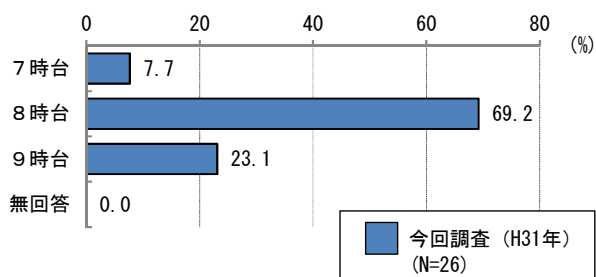


現在小学校低学年（1～3年生）で、小学校高学年（4～6年生）時に留守家庭児童会室（学童保育）を利用したい方で、土曜日の利用希望が「ある」方は65.0%、「ない」は22.5%となっています。

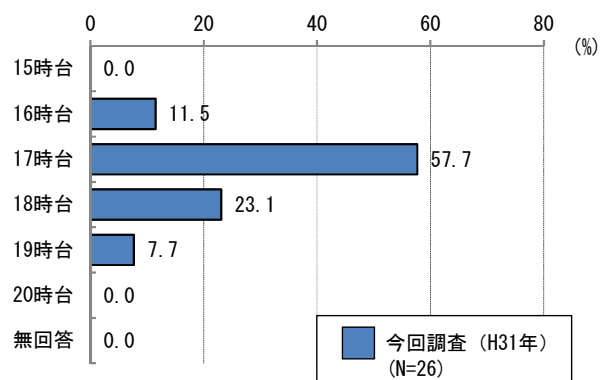
土曜日の利用希望が「ある」方のみ

■ 希望利用時間帯

（開始時間）



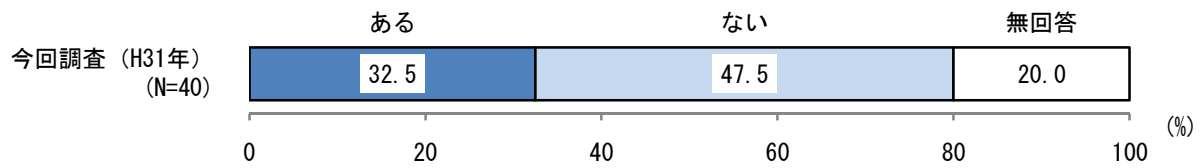
（終了時間）



土曜日の利用希望が「ある」方の、希望利用開始時間は、「8時台」（69.2%）が最も多く、終了時間は「17時台」（57.7%）が最も多くなっています。

<日曜日・祝日の利用希望>

■ 利用希望の有無

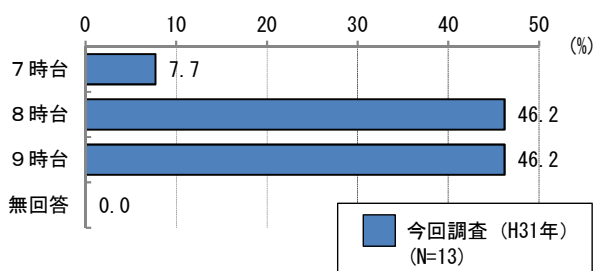


現在小学校低学年（1～3年生）で、小学校高学年（4～6年生）時に留守家庭児童会室（学童保育）を利用したい方で、日曜日・祝日の利用希望が「ある」方は32.5%、「ない」は47.5%となっています。

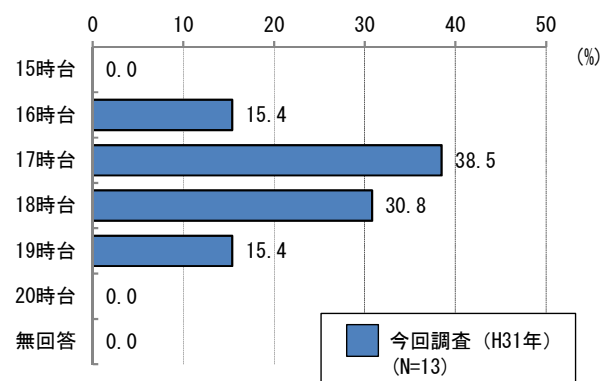
日曜日・祝日の利用希望が「ある」方のみ

■ 希望利用時間帯

（開始時間）



（終了時間）

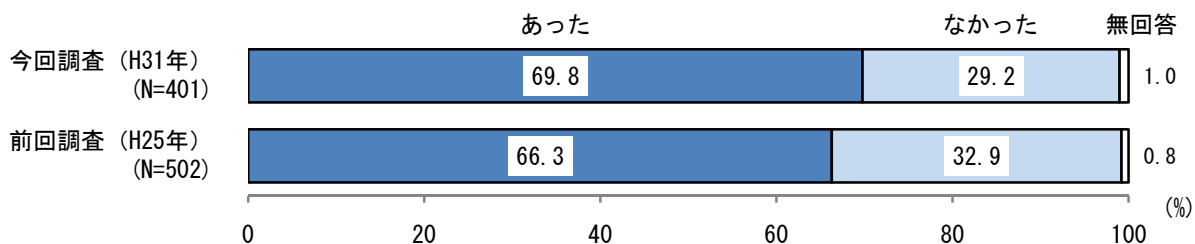


日曜日・祝日の利用希望が「ある」方の、希望利用開始時間は、「8時台」「9時台」がそれぞれ46.2%となっています。終了時間は「17時台」（38.5%）が最も多く、次いで、「18時台」（30.8%）となっています。

3 病気になったときの対応や、不定期な一時預かり

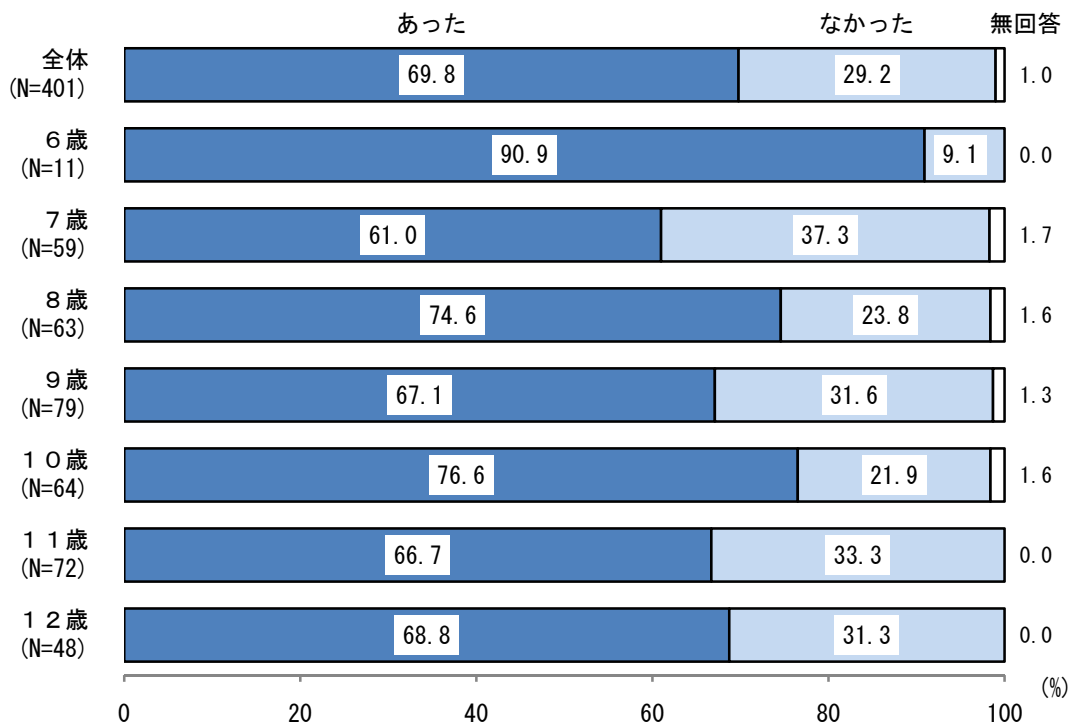
〔1〕 病気やけがで小学校を欠席したこと

問19 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。



この1年間に、子どもの病気やけがで小学校を休まなければならなかったことが「あった」人は69.8%となっています。

【年齢別 病気やけがで小学校を欠席したこと】



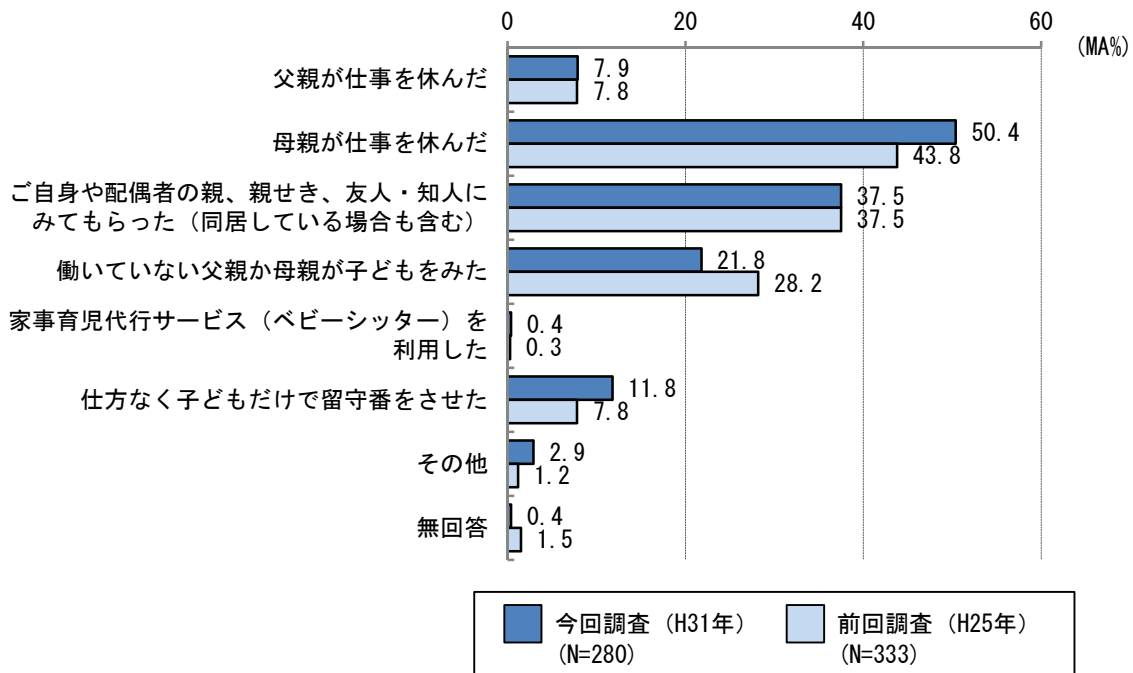
年齢別にみると、「あった」は「6歳」で90.9%と最も多く、「7歳」以上でも6割～7割強となっています。

〔2〕 病気やけがの際の対処方法

問19で「あった」を選ばれた方のみ

問19-1 この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

■ 対処の方法



この1年間に、病気やけがで小学校を休まなければならなかったときの対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が50.4%と最も多く、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が37.5%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が21.8%となっています。

前回調査に比べて、「母親が仕事を休んだ」は6.6ポイント増加し、「働いていない父親か母親が子どもをみた」は6.4ポイント減少しています。

II-2. 就学児童調査

■ 対処した日数

	N	(%)							平均 (日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	
父親が仕事を休んだ日数	22	68.2	9.1	4.5	13.6	0	0	4.5	2.1
母親が仕事を休んだ日数	141	35.5	14.9	5.7	14.2	1.4	12.8	15.6	3.9
ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に みてもらった日数	105	49.5	10.5	5.7	6.7	1.9	9.5	16.2	3.0
働いていない父親か母親が子どもをみた日数	61	21.3	9.8	3.3	11.5	11.5	14.8	27.9	5.2
家事育児代行サービスを利用した日数	1	0	0	0	0	0	0	100.0	0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数	33	63.6	12.1	0	3.0	0	0	21.2	1.7
その他日数	8	75.0	12.5	0	0	0	0	12.5	1.6

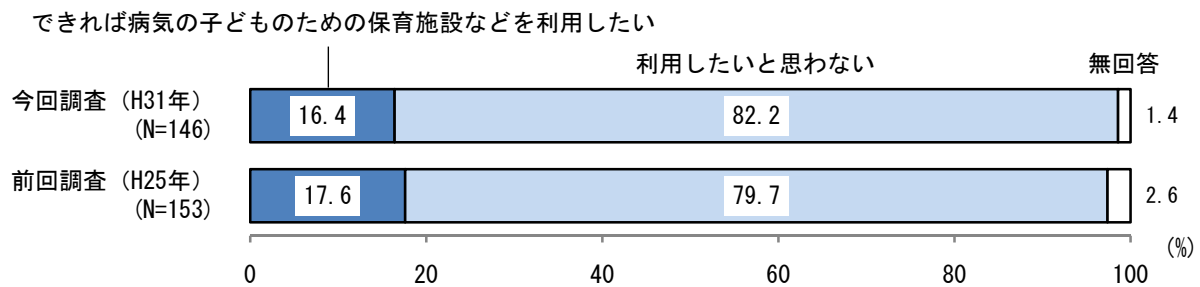
子どもの病気やけがに対処した日数は、「家事育児代行サービスを利用した」以外のすべての項目で「1日」が最も多くなっています。

〔3〕 病気の子どものための保育施設の利用希望

問19-1で「1」または「2」（父親または母親が休んだ）を選ばれた方のみ

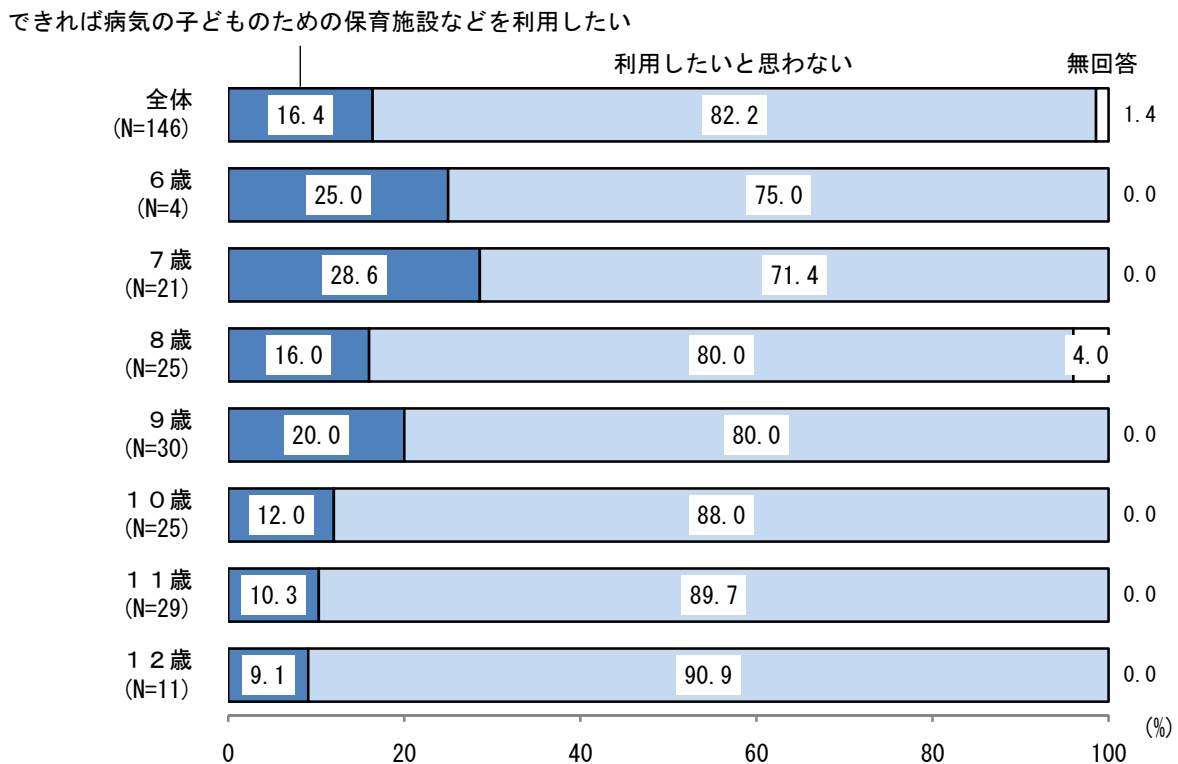
問19-2 子どもの病気のために仕事を休んだ際、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などを利用するには、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

■ 病気の子どものための保育施設の利用希望



病気やけがの際に「父親または母親が休んだ」方で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は16.4%、「利用したいと思わない」は82.2%となっています。

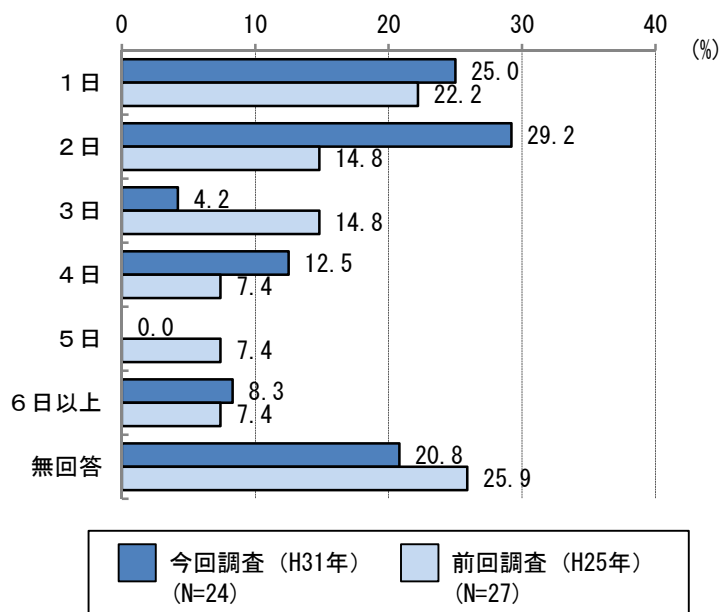
【年齢別 病気の子どものための保育施設の利用希望】



年齢別にみると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は「6歳」(25.0%)や「7歳」(28.6%)で多く、年齢が上がるとともに少なくなっています。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」方のみ

■ 利用したい日数

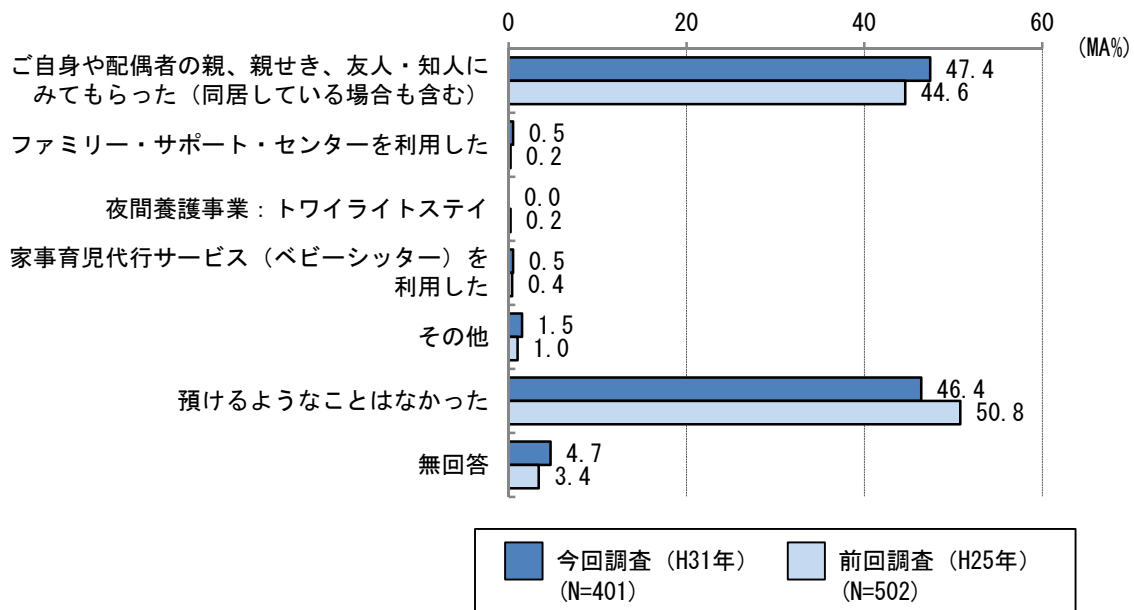


「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」人の利用希望日数は、「2日」が29.2%と最も多く、次いで、「1日」が25.0%となっています。

〔4〕一時預かりについて

問20-1 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気などのときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

■子どもを一時的に預けた経験



親の通院、不規則な仕事などを理由として子どもを一時的に預けた経験としては、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が47.4%で最も多くなっていますが、「預けるようなことはなかった」も46.4%みられます。

■1年間の利用日数

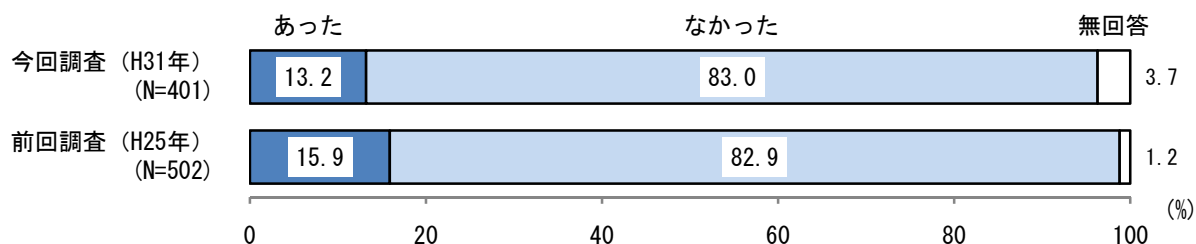
	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	平均 (日)
ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった日数 (同居している場合も含む)	190	39.5	14.2	16.8	7.9	2.6	9.5	9.5	14.8
ファミリー・サポート・センターを利用した日数	2	50.0	0	0	0	0	50.0	0	19.5
夜間養護事業：トワイライトステイを利用した日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家事育児代行サービス (ベビーシッター) を利用した日数	2	50.0	0	50.0	0	0	0	0	6.5
その他日数	6	33.3	0	33.3	0	0	16.7	16.7	39.4

「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」日数は、「1日」が最も多くなっています。

〔5〕子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験

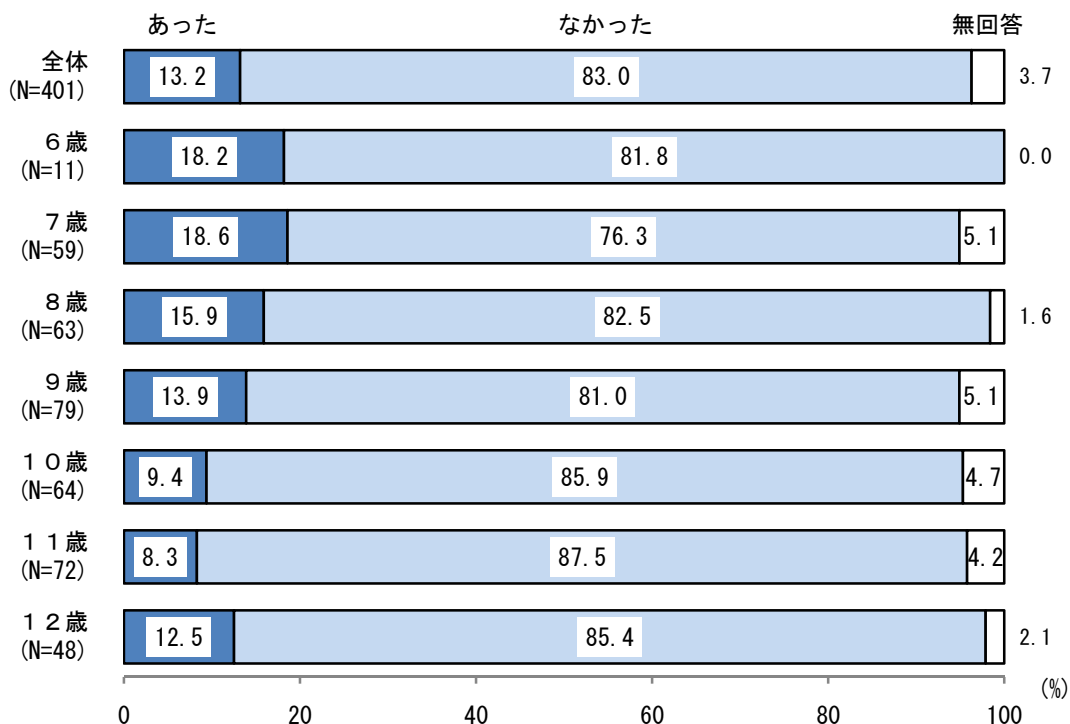
問20-2 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あったか、なかったかについて、あてはまる番号に○をつけてください。あった場合、その対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、枠内に日数を記入してください。

■子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験の有無



この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらうことが「あった」は13.2%となっています。

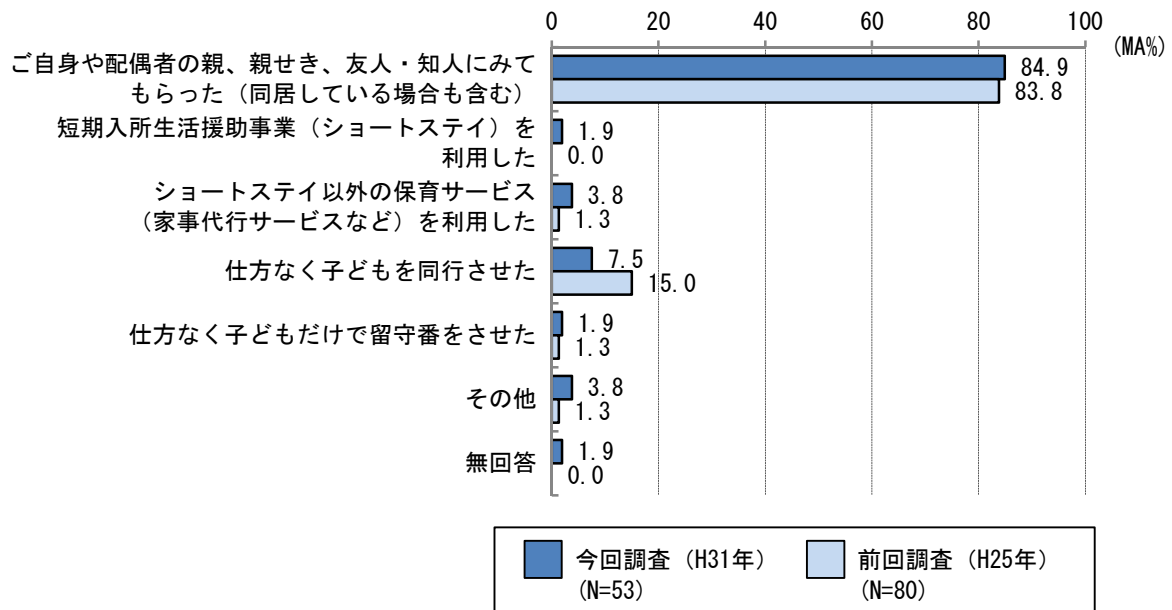
【年齢別 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験の有無】



年齢別にみると、「あった」は「6歳」(18.2%)、「7歳」(18.6%)で多くなっています。

子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験が「あった」方のみ

■この1年間の対処の方法



子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった際の、この1年間の対処の方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)」が84.9%と最も多くなっています。

■子どもを泊まりがけでみてもらった日数 (年間)

	N	(%)								平均 (日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答		
ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった日数 (同居している場合も含む)	45	60.0	4.4	4.4	6.7	0	22.2	2.2	7.1	
短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した日数	1	100.0	0	0	0	0	0	0	1.0	
ショートステイ以外の保育サービス (家事代行サービスなど) を利用した日数	2	50.0	0	0	0	0	50.0	0	4.5	
仕方なく子どもを同行させた日数	4	50.0	0	0	0	0	0	50.0	1.0	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数	1	100.0	0	0	0	0	0	0	1.0	
その他日数	2	0	0	0	0	0	50.0	50.0	7.0	

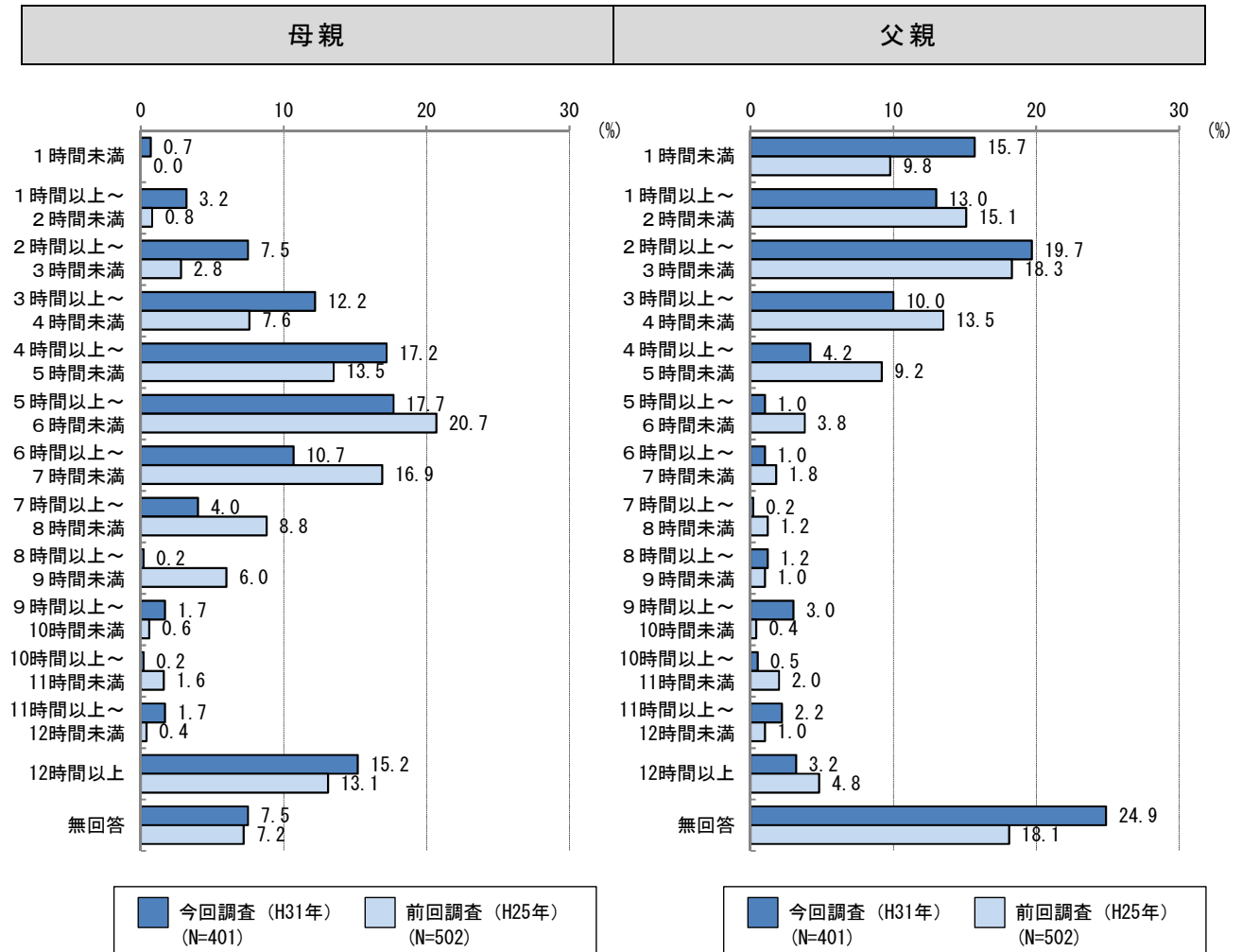
「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」日数は、「1日」が60.0%と最も多く、次いで、「6日以上」が22.2%となっています。

4 仕事と子育ての両立について

〔1〕子どもと一緒に過ごす時間

問21 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

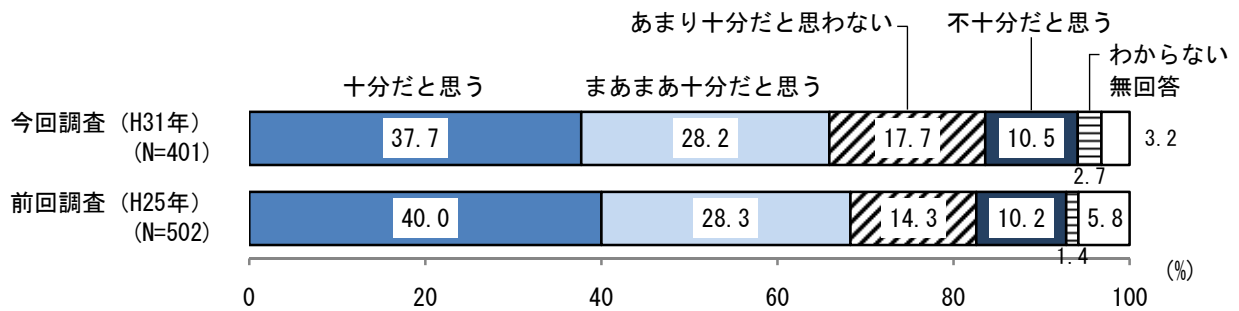
■ 平日に子どもと一緒に過ごす時間



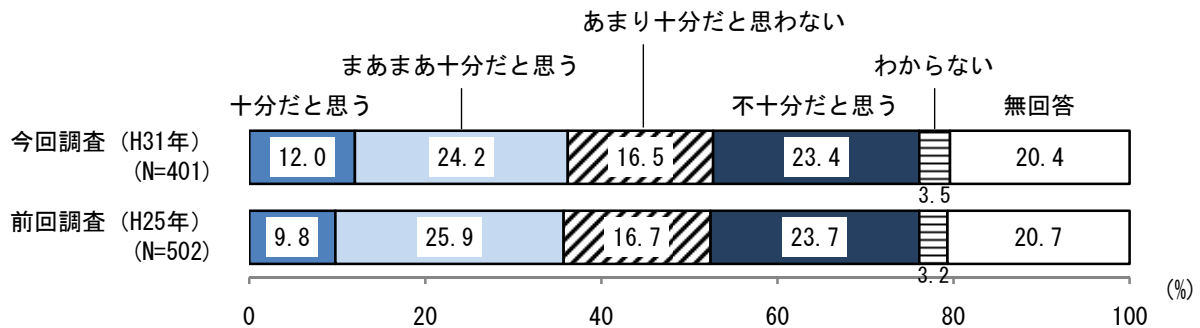
平日に子どもと一緒に過ごす時間については、母親は、「5時間以上～6時間未満」(17.7%)が最も多く、次いで、「4時間以上～5時間未満」(17.2%)となっています。父親は「2時間以上～3時間未満」(19.7%)が最も多く、次いで、「1時間未満」(15.7%)となっています。

■ 平日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度

(母親)



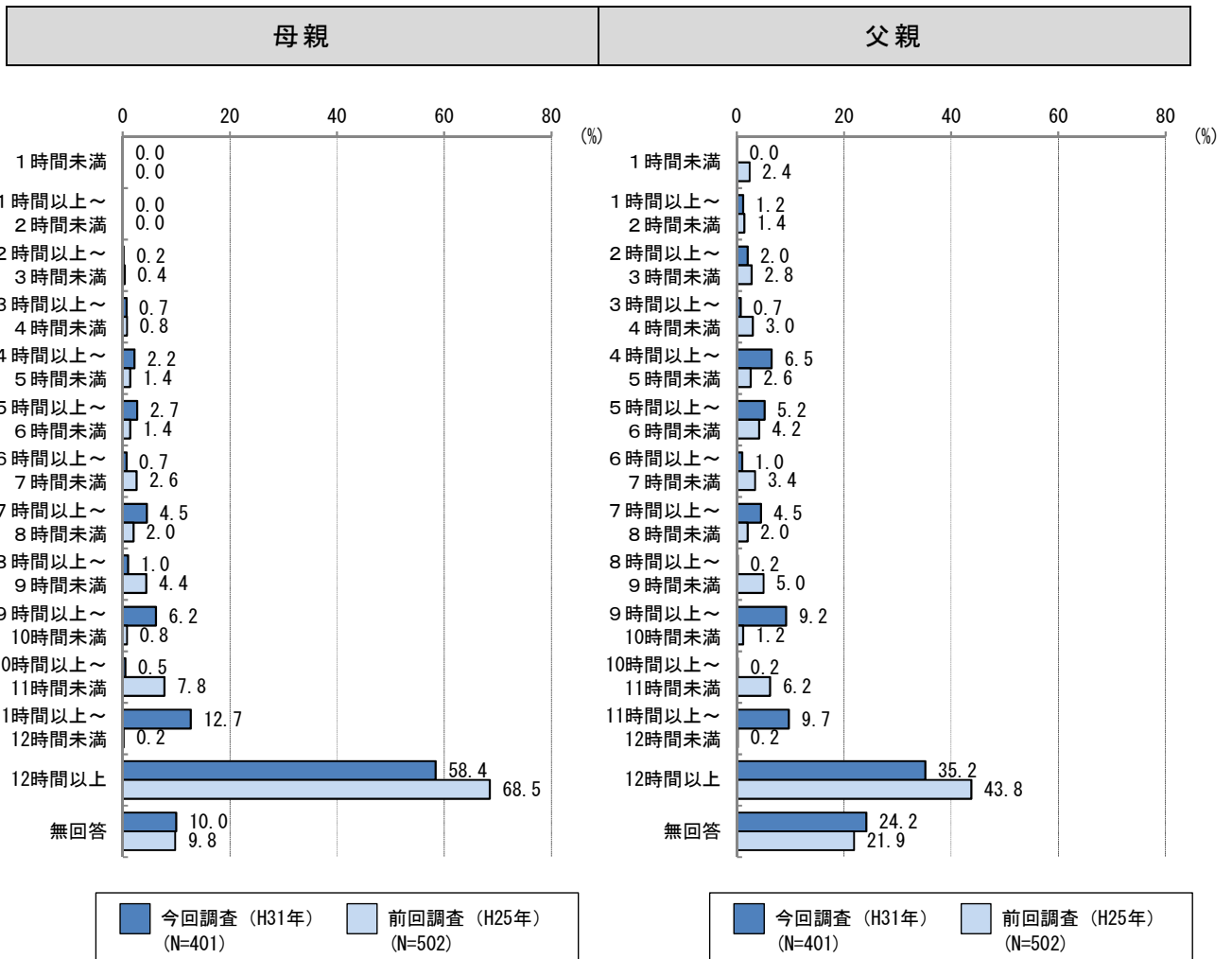
(父親)



平日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度については、母親は『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）が65.9%、『不十分』（「不十分だと思う」と「あまり十分だと思わない」の合計）が28.2%となっています。父親は『十分』が36.2%、『不十分』が39.9%となっています。

II-2. 就学児童調査

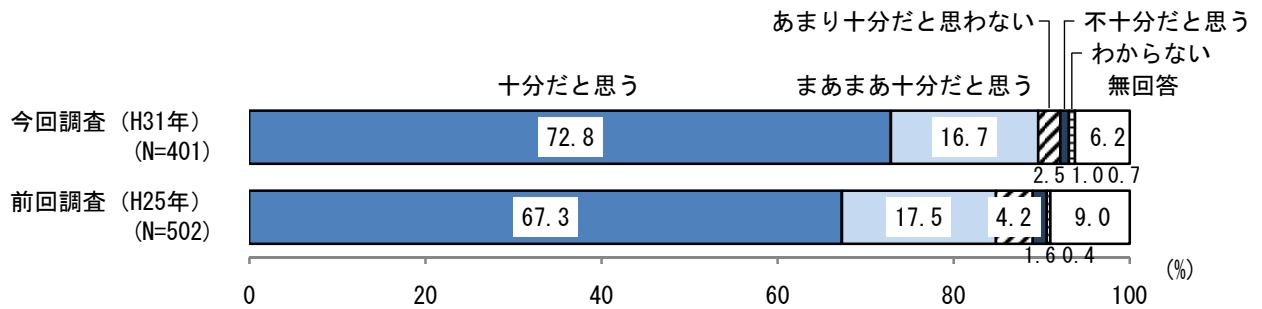
■ 休日に子どもと一緒に過ごす時間



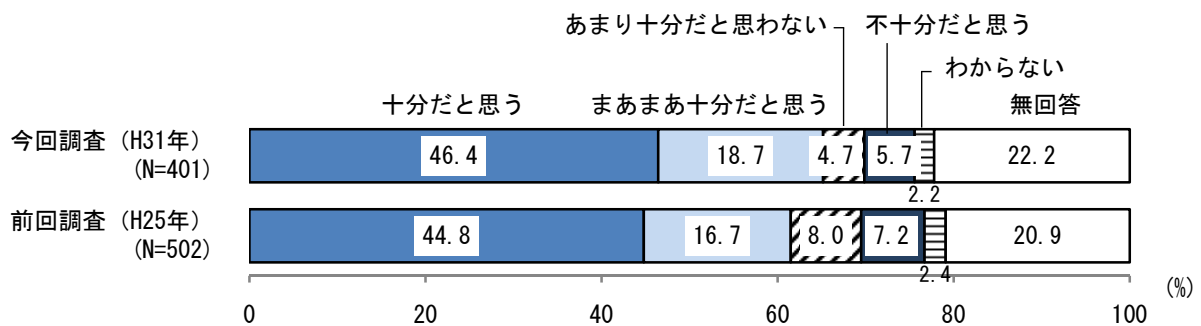
休日に子どもと一緒に過ごす時間については、母親、父親ともに「12時間以上」が最も多く（母親 58.4%、父親 35.2%）なっています。

■ 休日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度

(母親)



(父親)

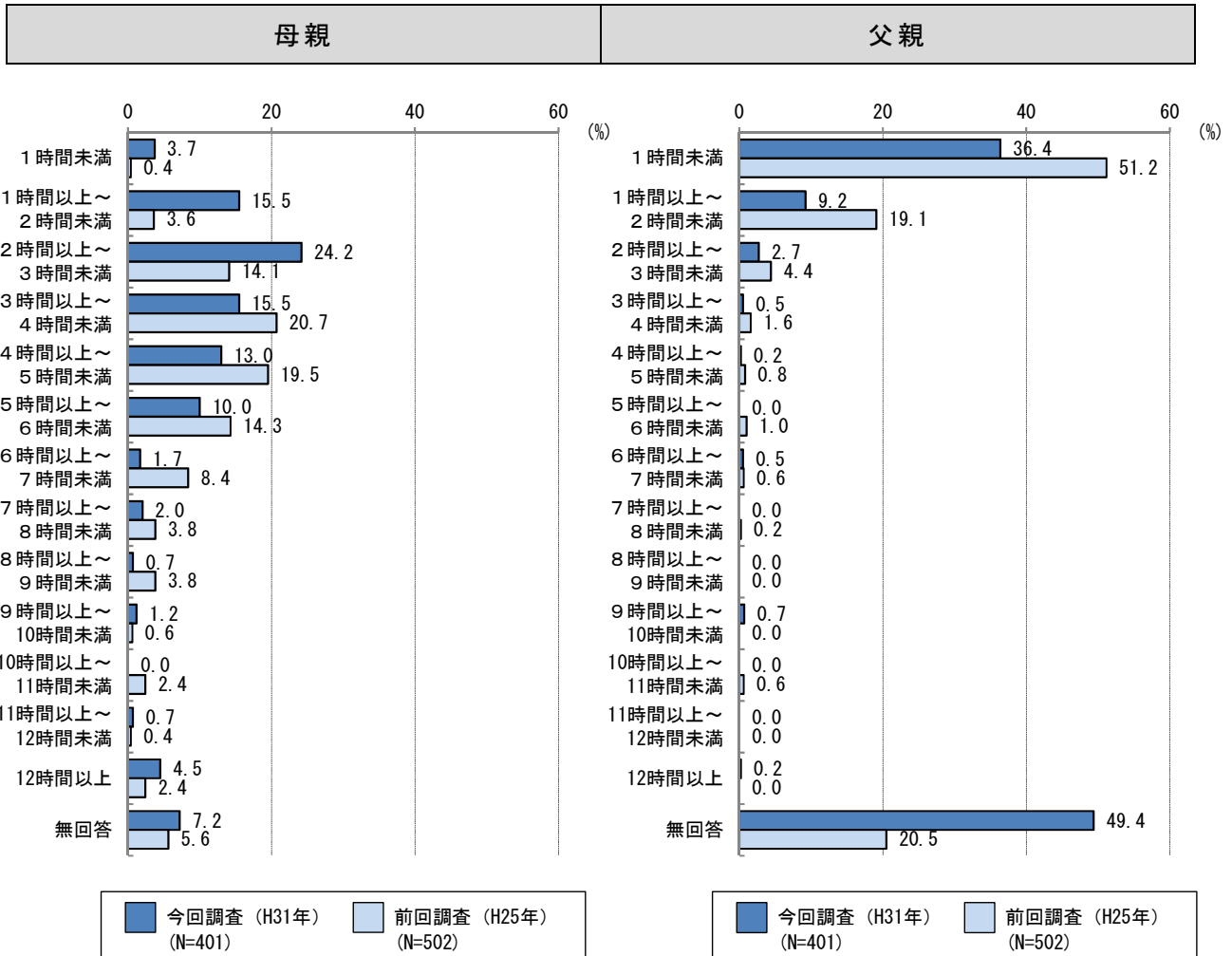


休日に子どもと一緒に過ごす時間の満足度については、母親は『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）が 89.5%、父親は『十分』が 65.1%となっています。

II-2. 就学児童調査

〔2〕 1日の家事時間

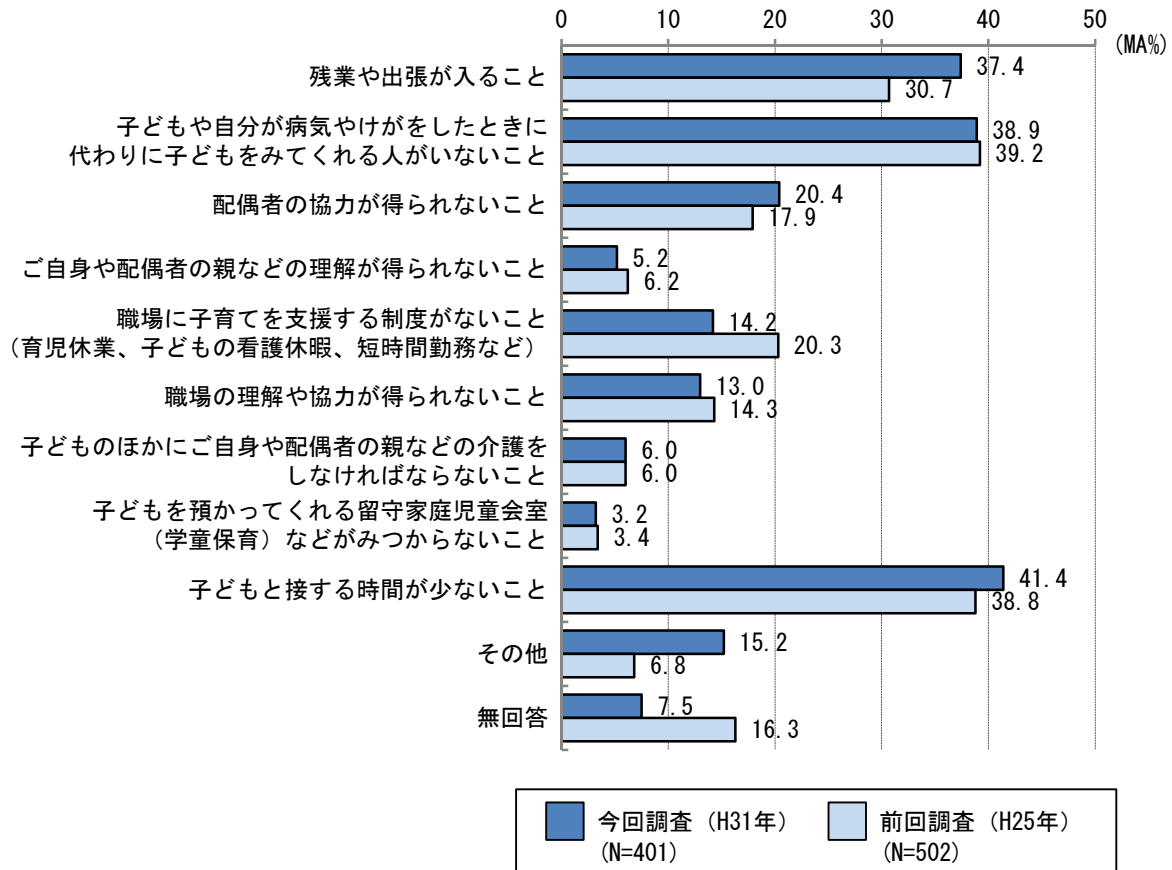
問22 1日あたり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。



1日あたりの家事時間については、母親は「2時間以上～3時間未満」(24.2%)が最も多く、次いで、「1時間以上～2時間未満」「3時間以上～4時間未満」(それぞれ15.5%)で、前回調査に比べて、「1時間以上～2時間未満」が11.9ポイント、「2時間以上～3時間未満」が10.1ポイント増加しています。父親は「1時間未満」(36.4%)が最も多くなっています。

〔3〕 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこと

問23 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

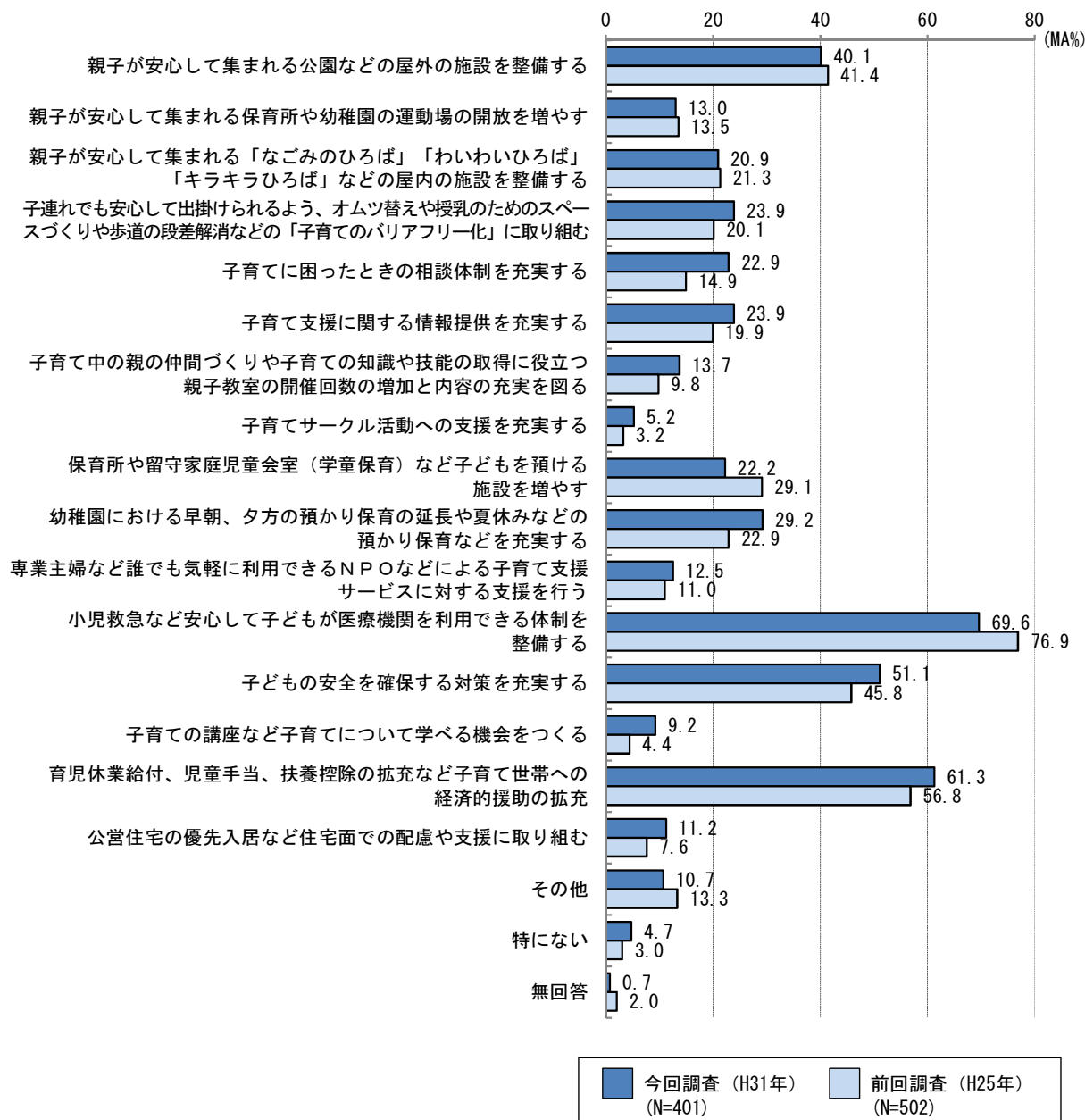


仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは、「子どもと接する時間が少ないこと」が 41.4%と最も多く、次いで、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 38.9%、「残業や出張が入ること」が 37.4%となっています。

5 市役所などへの要望

〔1〕充実してほしい子育て支援サービス

問24 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



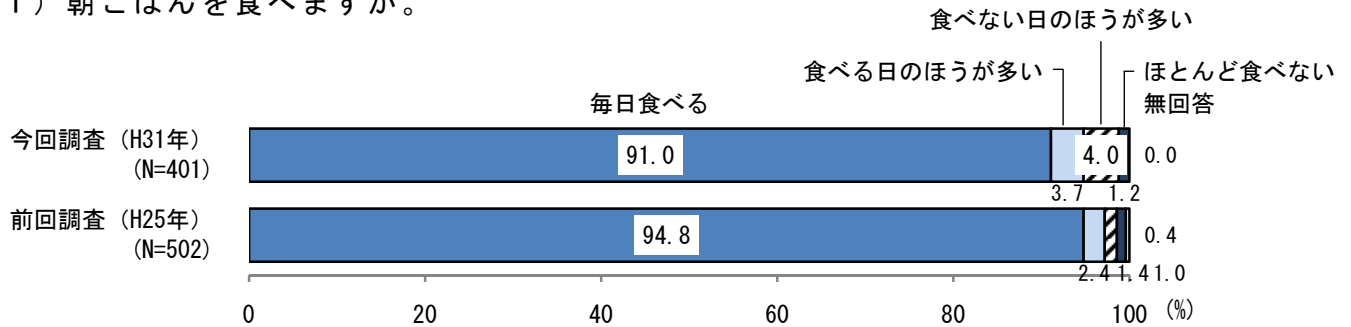
市役所などに対して充実してほしい子育て支援サービスは、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が69.6%と最も多く、次いで、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」が61.3%、「子どもの安全を確保する対策を充実する」が51.1%となっています。

6 子どもの生活習慣

〔1〕子どもの生活習慣について

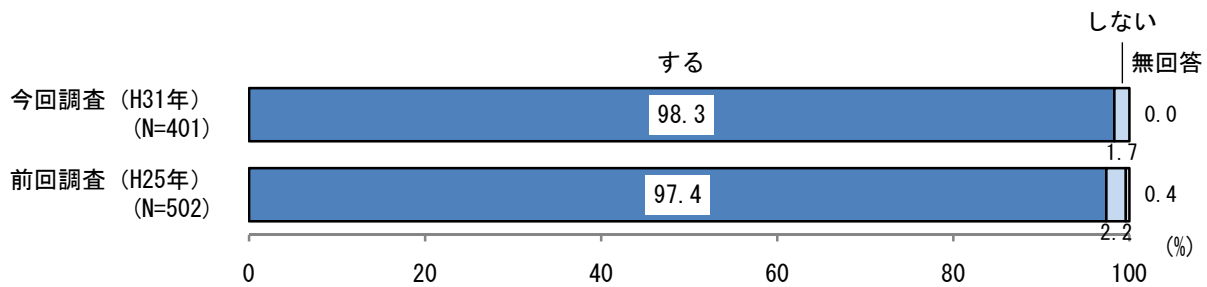
問25 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。



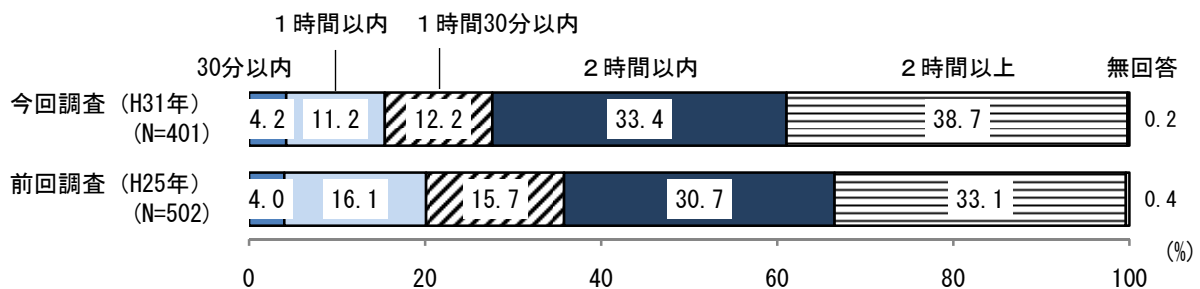
朝ごはんは、「毎日食べる」が91.0%と多くなっています。

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。



1日1回は家族と一緒に食事を「する」が98.3%となっています。

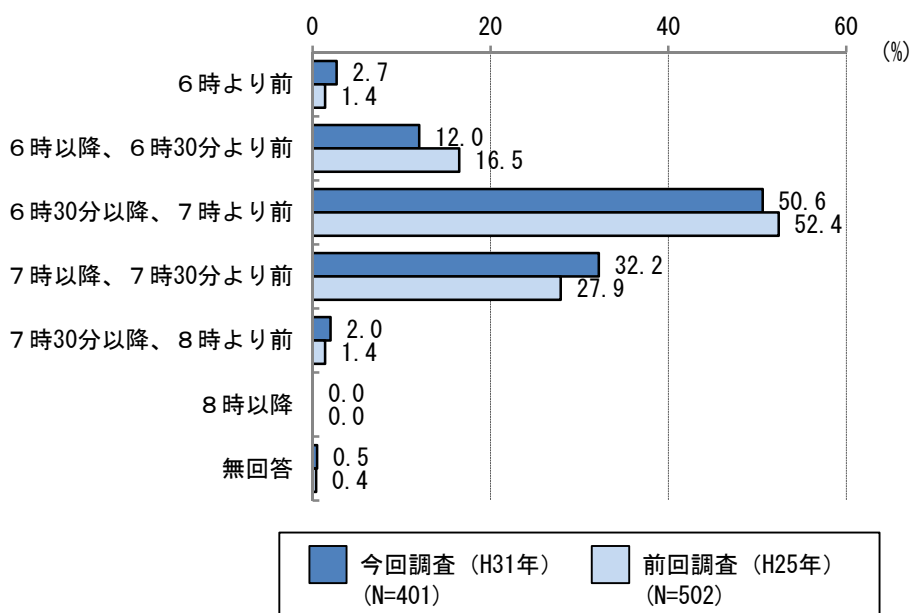
(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。



平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の平均視聴時間は、「2時間以上」が38.7%と最も多く、次いで、「2時間以内」が33.4%となっています。

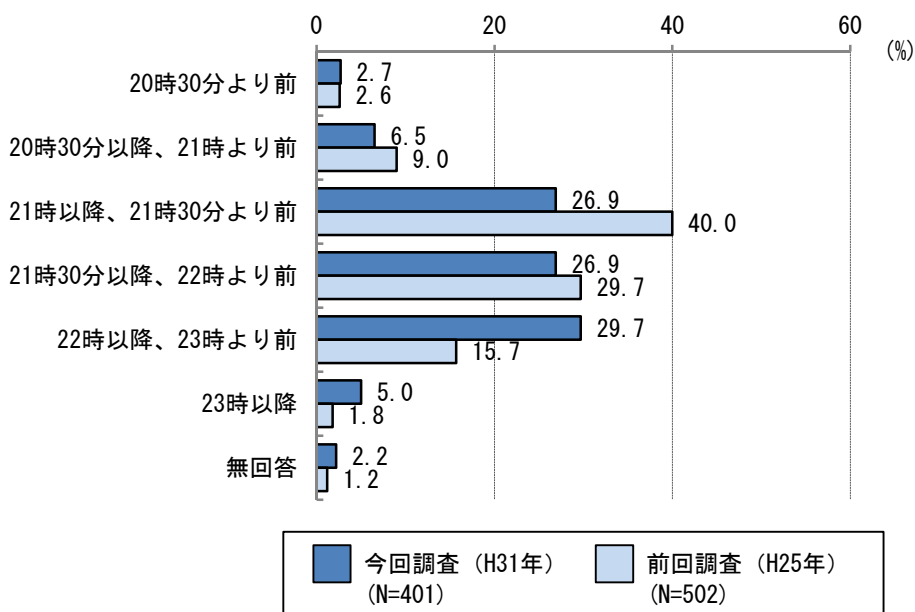
II-2. 就学児童調査

(4) 起床時間は何時ですか。



起床時間は、「6時30分以降、7時より前」が50.6%と最も多く、次いで、「7時以降、7時30分より前」が32.2%となっています。

(5) 就寝時間は何時ですか。

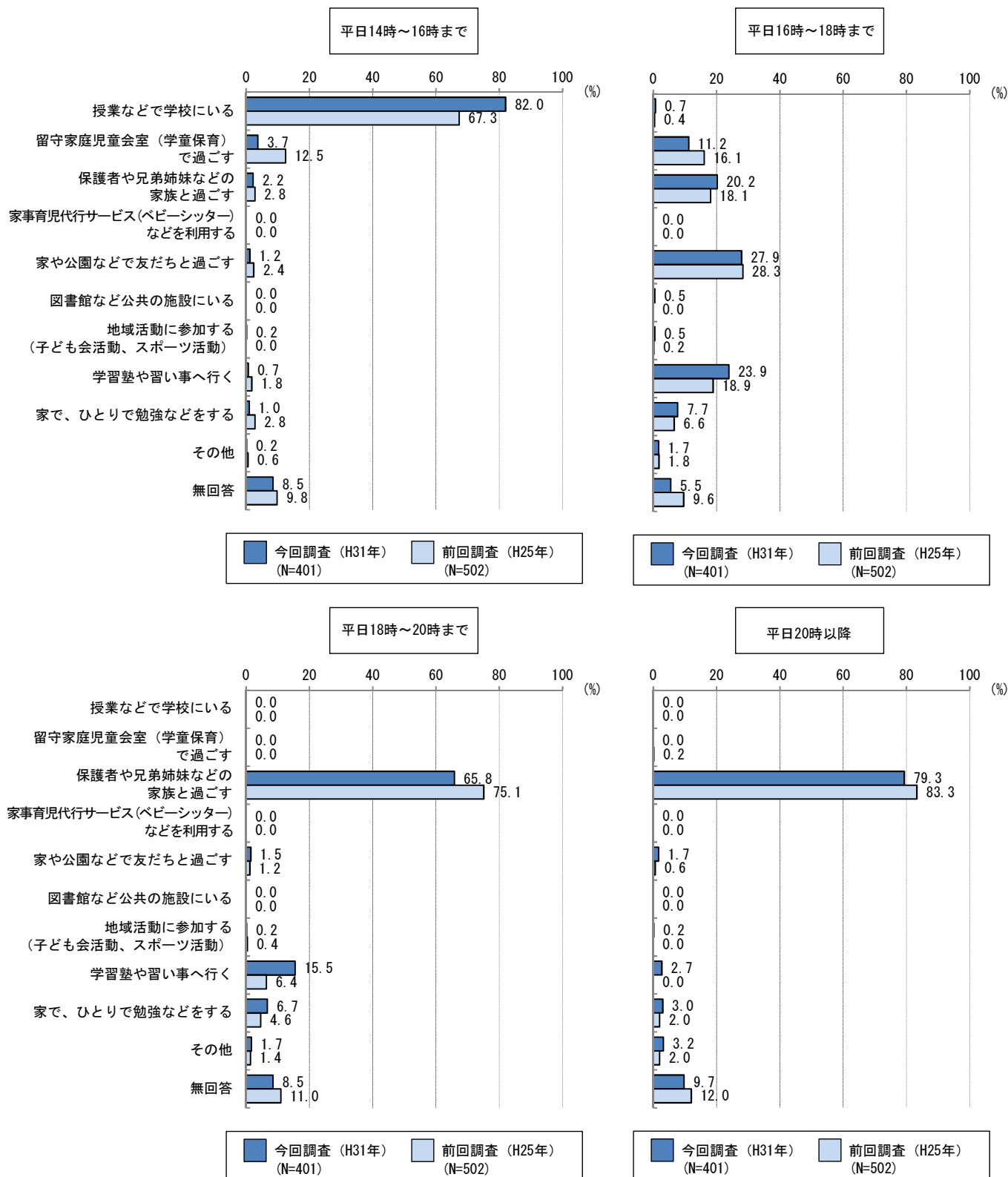


就寝時間は、「22時以降、23時より前」が29.7%と最も多く、次いで、「21時以降、21時30分より前」「21時30分以降、22時より前」がそれぞれ26.9%となっています。

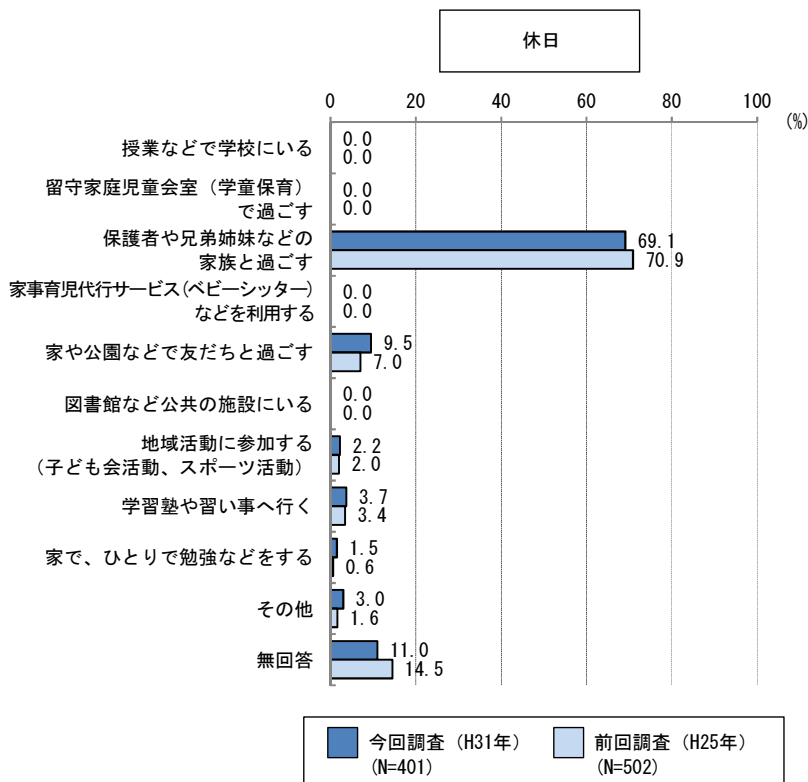
7 お子さんの普段の過ごし方

〔1〕 お子さんの普段の過ごし方

問26 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで記入してください。



II-2. 就学児童調査



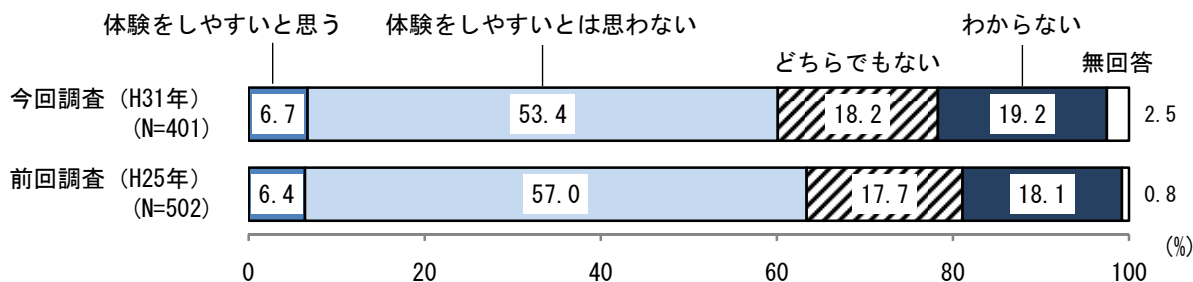
平日の放課後の過ごし方、休日の過ごし方については、以下のようになっています。

	1位	2位	3位
平日 14時～16時まで	授業などで学校にいる (82.0%)	留守家庭児童会室（学童保育）で過ごす (3.7%)	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす (2.2%)
平日 16時～18時まで	家や公園などで友だちと過ごす (27.9%)	学習塾や習い事へ行く (23.9%)	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす (20.2%)
平日 18時～20時まで	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす (65.8%)	学習塾や習い事へ行く (15.5%)	家で、ひとりで勉強などをする (6.7%)
平日 20時以降	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす (79.3%)	その他 (3.2%)	家で、ひとりで勉強などをする (3.0%)
休日	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす (69.1%)	家や公園などで友だちと過ごす (9.5%)	学習塾や習い事へ行く (3.7%)

8 地域での自然体験などへの参加

〔1〕子どもにとって体験をしやすい環境か

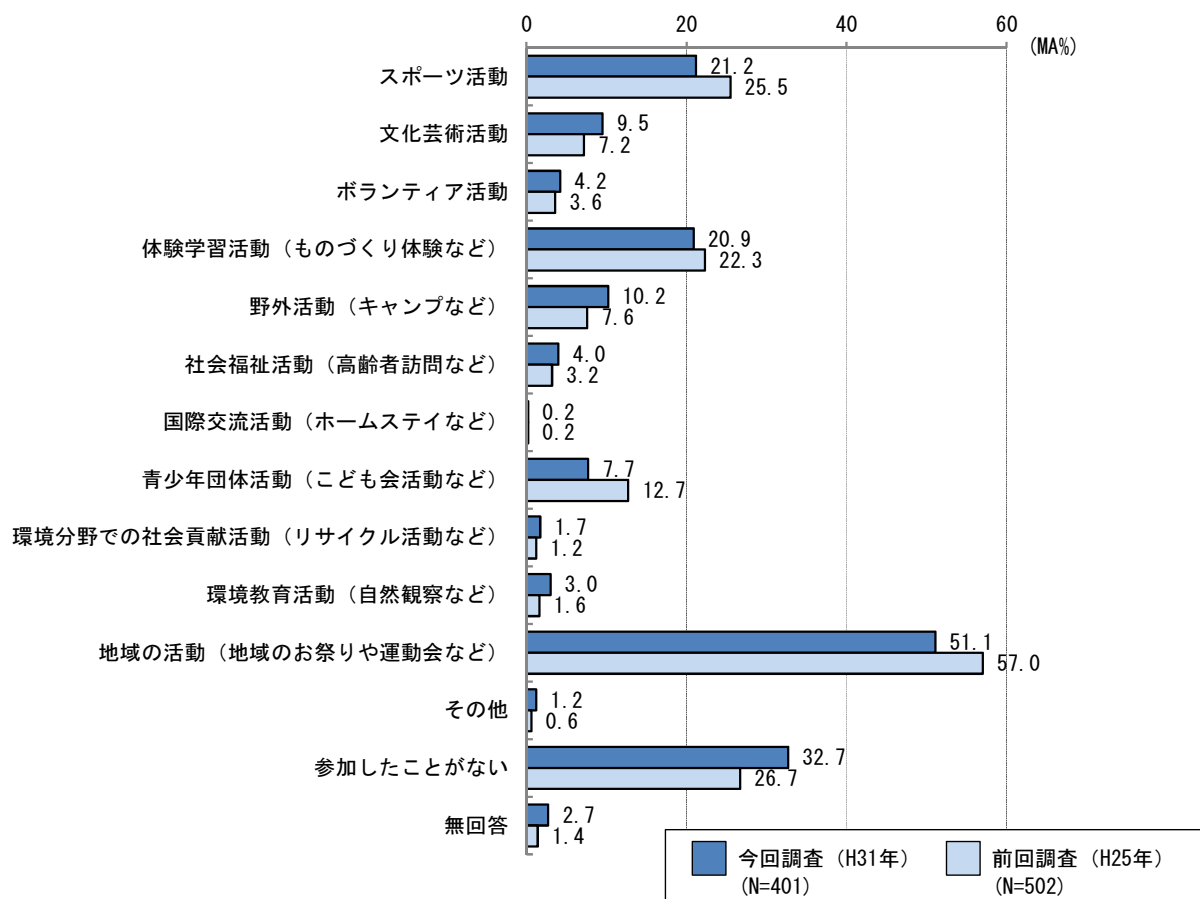
問27 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



お住まいの地域が、子どもにとって自然、社会、文化などの「体験をしやすいと思う」は6.7%、「体験をしやすいとは思わない」は53.4%となっています。

〔2〕参加したことがある地域での体験や活動

問28 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

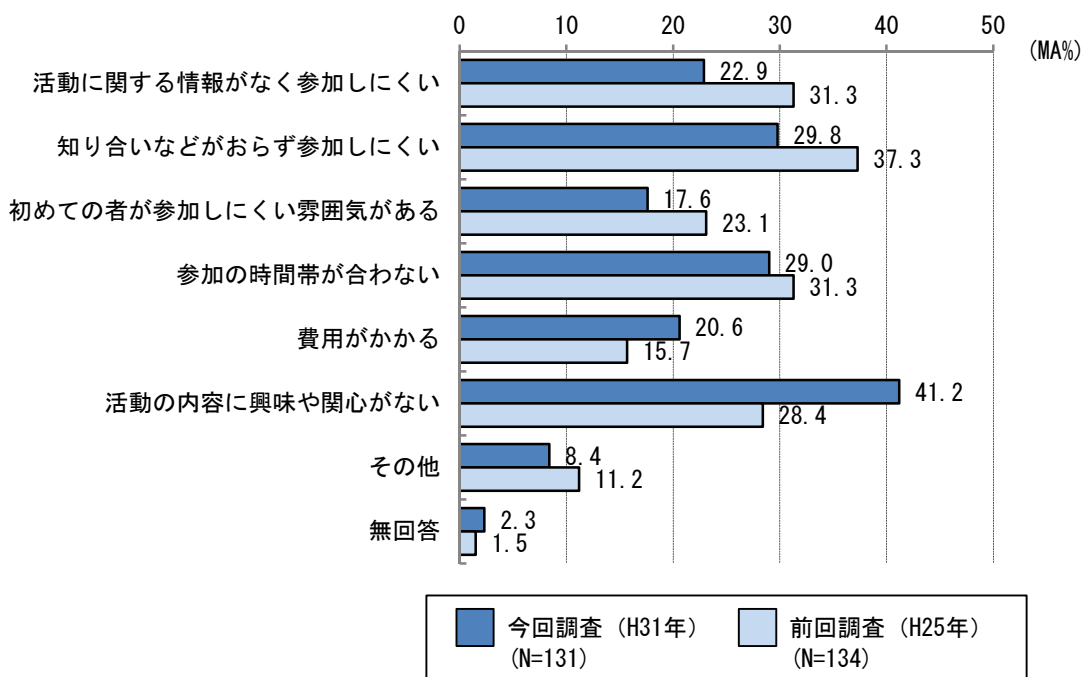


参加したことがある地域での体験や活動は、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が51.1%と最も多く、次いで、「スポーツ活動」が21.2%、「体験学習活動（ものづくり体験など）」が20.9%で、「参加したことがない」は32.7%となっています。

〔3〕 地域での体験や活動に参加したことがない理由

問28で「参加したことがない」を選ばれた方のみ

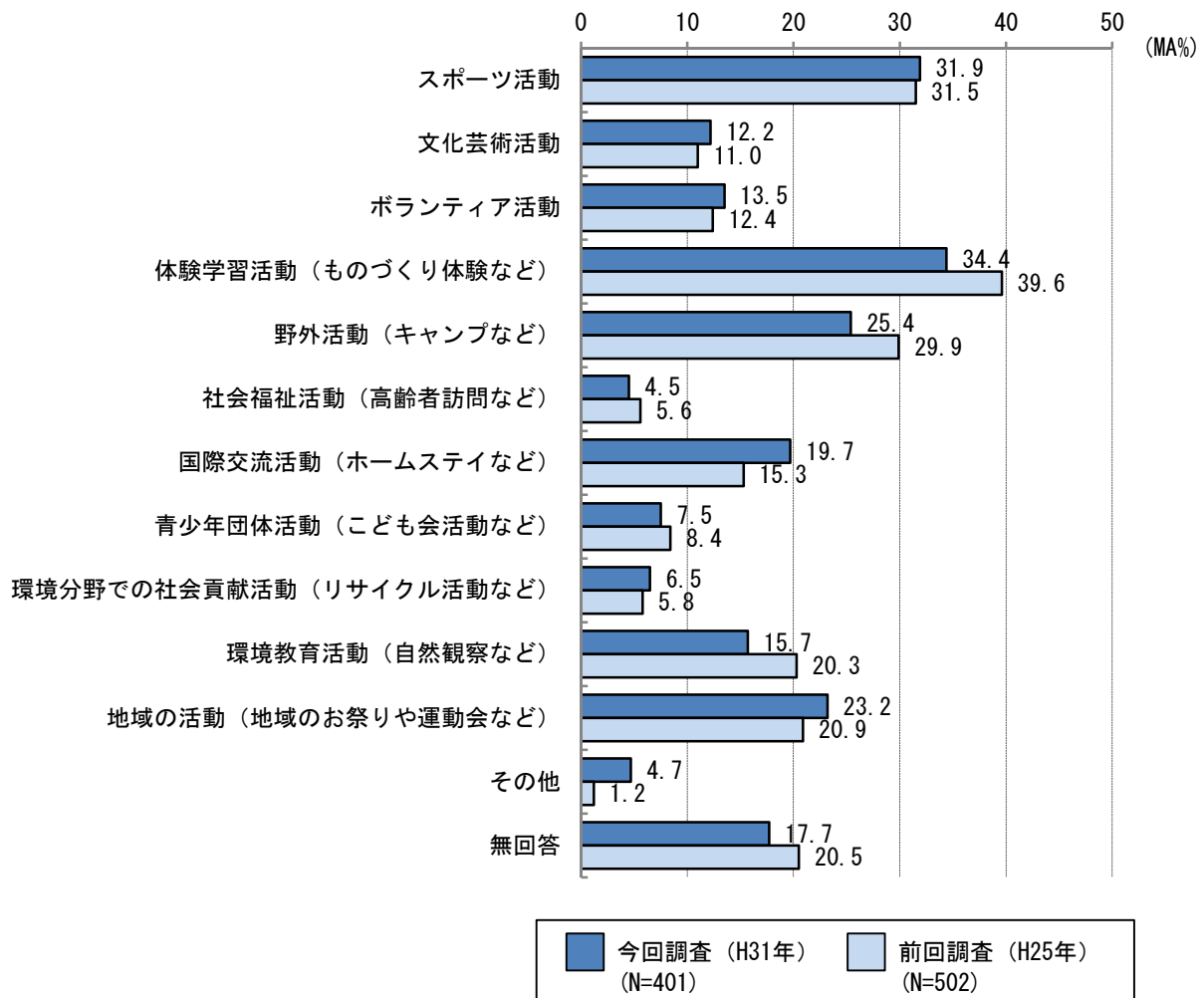
問28-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。



地域での自然体験、社会参加、文化活動などに「参加したことがない」理由は、「活動の内容に興味や関心がない」が41.2%と最も多く、次いで、「知り合いなどがおらず参加しにくい」が29.8%、「参加の時間帯が合わない」が29.0%となっています。

〔4〕 今後参加させたいと思っている地域での体験や活動

問29 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

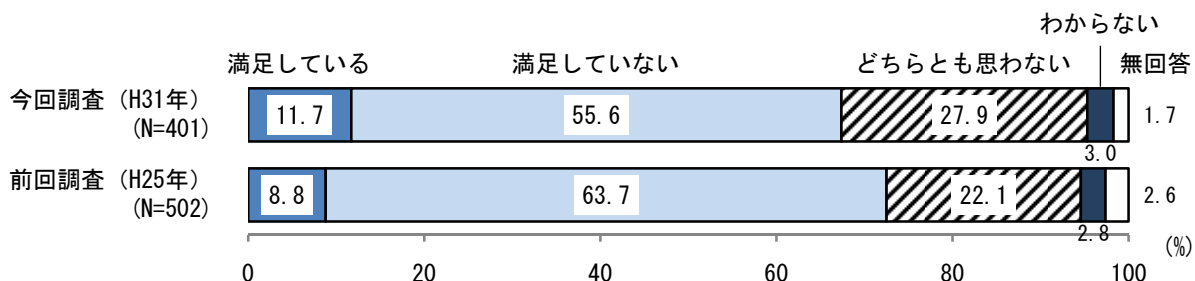


今後参加させたいと思っている地域での活動は、「体験学習活動 (ものづくり体験など)」が34.4%と最も多く、次いで、「スポーツ活動」が31.9%、「野外活動 (キャンプなど)」が25.4%となっています。

9 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保

〔1〕子どもの遊び場の満足度

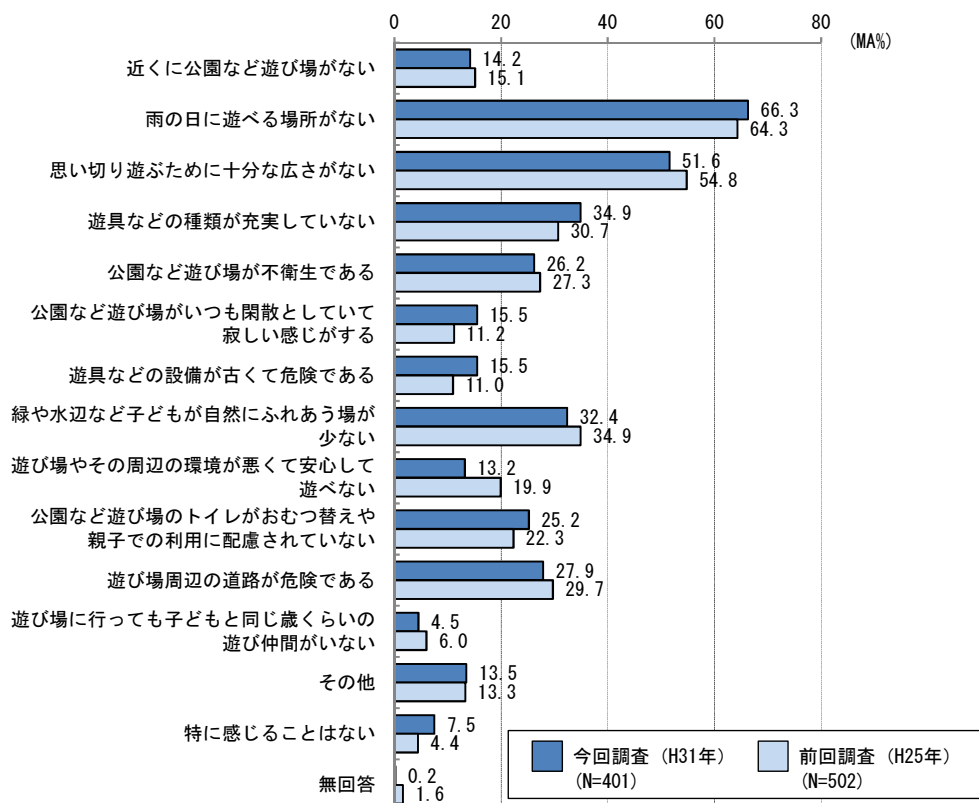
問30 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



地域における子どもの遊び場に、「満足している」は11.7%、「満足していない」は55.6%となっています。

〔2〕子どもの遊び場について日ごろ感じること

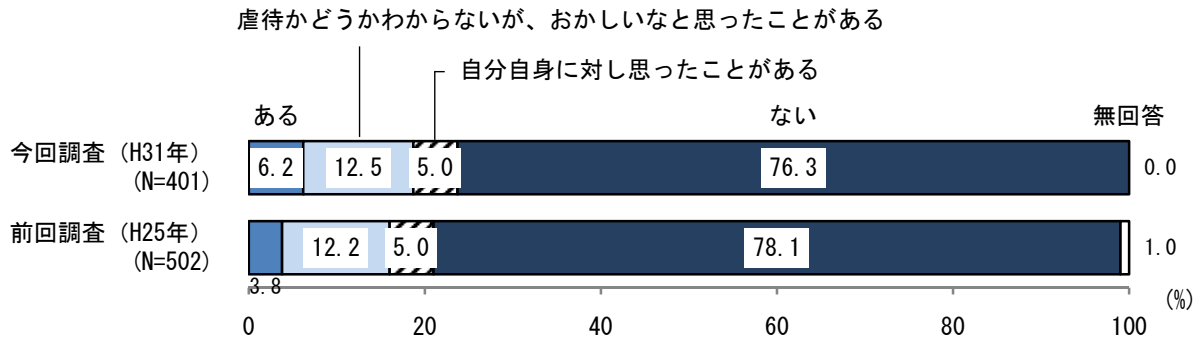
問31 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が66.3%と最も多く、次いで、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が51.6%となっています。

〔3〕 虐待を見聞きした経験

問32 あなたは、身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

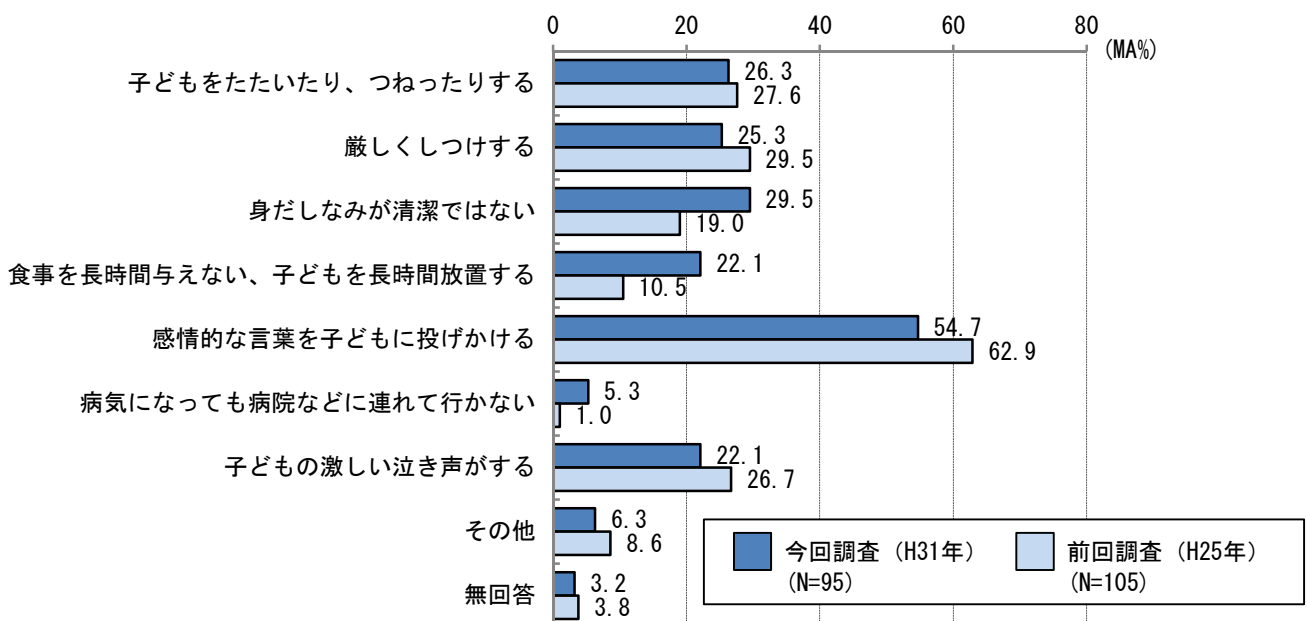


身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりした経験は「ない」が76.3%で、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」「自分自身に対し思ったことがある」を含めた『ある』の合計は23.7%となっています。

〔4〕 虐待の状況

問32で「1」から「3」（虐待を見聞きしたことがある）を選ばれた方のみ

問32-1 それは、どのような状況でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

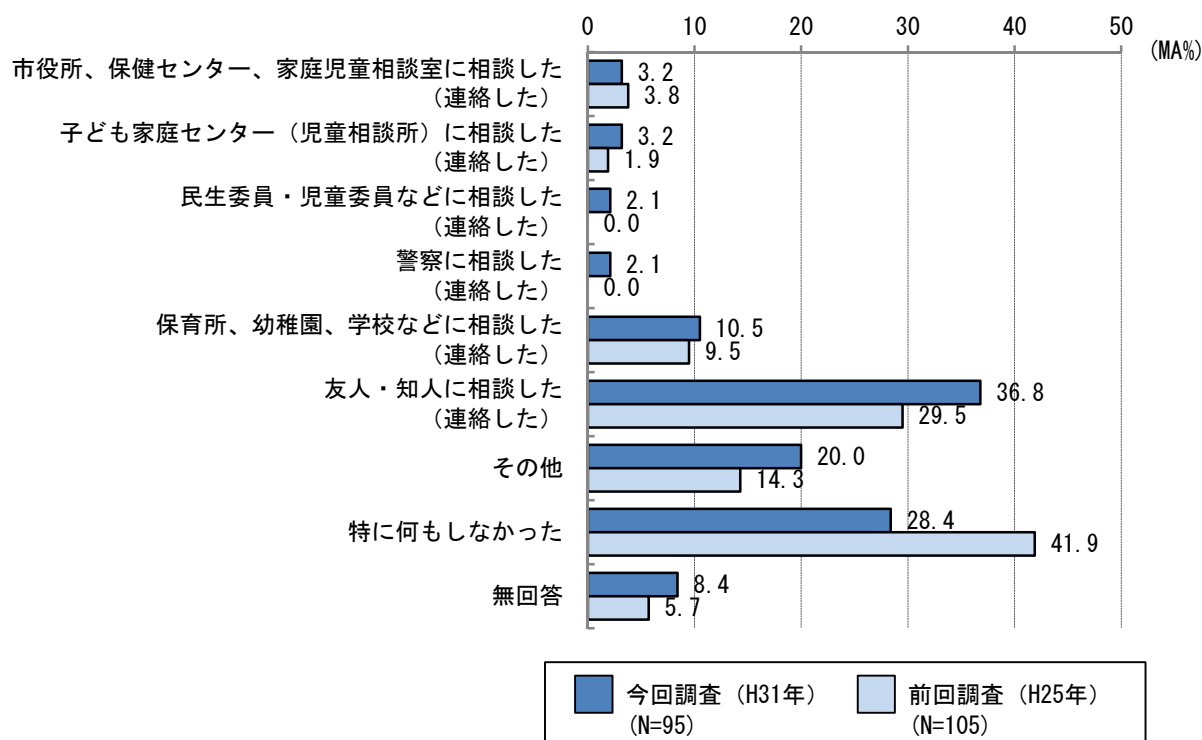


子どもの虐待を見聞きしたことが『ある』方に、その状況をたずねたところ、「感情的な言葉を子どもに投げかける」が54.7%と最も多くなっています。

〔5〕虐待を見聞きしたときの対応

問32で「1」から「3」（虐待を見聞きしたことがある）を選ばれた方のみ

問32-2 その時、あなたはどのように対応しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

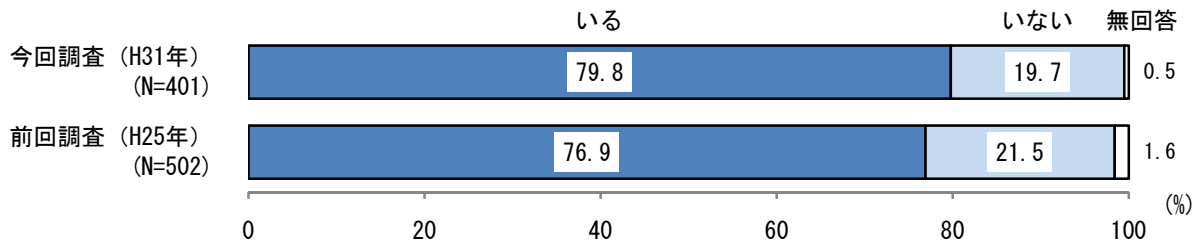


子どもの虐待を見聞きしたことが『ある』方が、その時にとった対応は、「友人・知人に相談した（連絡した）」が36.8%と最も多く、次いで、「特に何もしなかった」が28.4%となっています。

10 子育てに対する意識

〔1〕近所で日常的に話をする人の有無

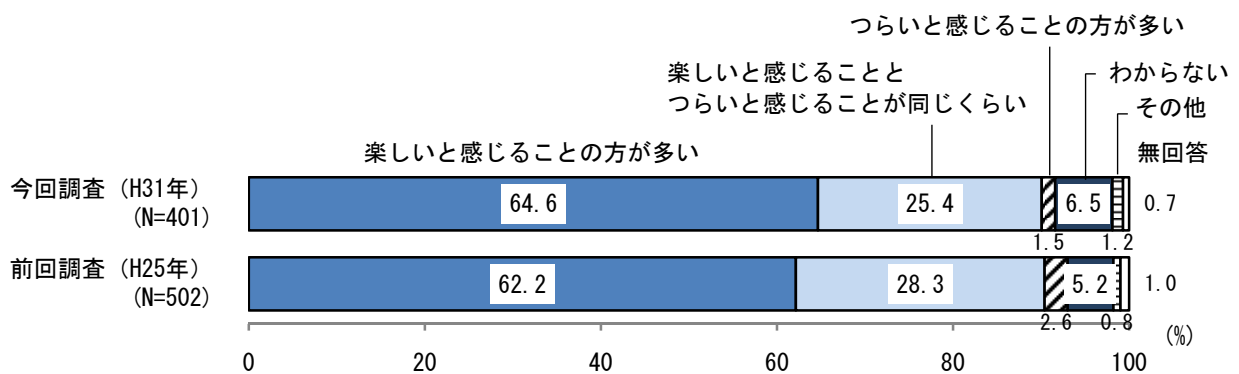
問33 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。



近所で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人が「いる」人は 79.8%となっています。

〔2〕子育てを楽しんでいるか

問34 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

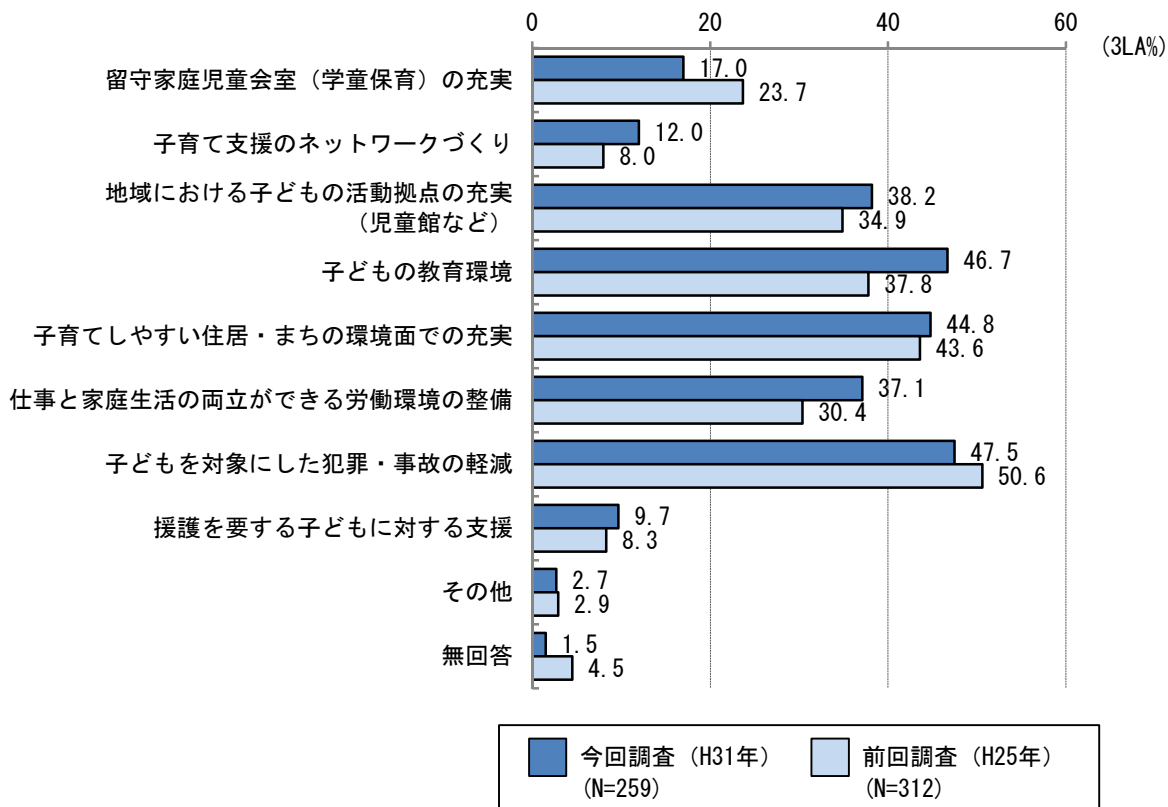


子育てを「楽しいと感じることが多い」人は 64.6%、「楽しいと感じることが多いこととつらいと感じることが同じくらい」は 25.4%となっています。

〔3〕子育てが「楽しい」人が有効だと感じる支援・対策

問34で「1」（楽しいと感じることの方が多い）を選ばれた方のみ

問34-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



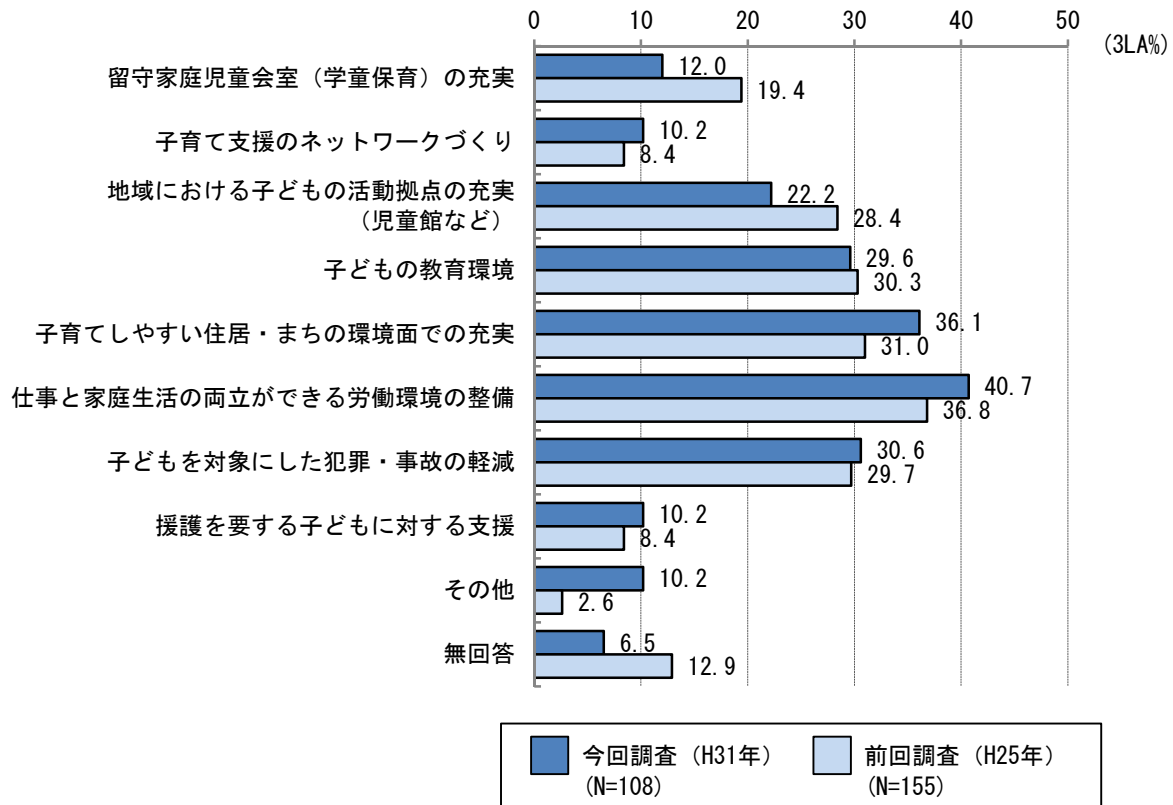
子育てを「楽しいと感じることの方が多い」人が、有効だと感じる支援・対策は、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が47.5%と最も多く、次いで、「子どもの教育環境」が46.7%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が44.8%となっています。

前回調査に比べて、「子どもの教育環境」が8.9ポイント、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が6.7ポイント増加し、「留守家庭児童会室（学童保育）の充実」が6.7ポイント減少しています。

〔4〕子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

問34で「2」「3」（つらいと感じる）を選ばれた方のみ

問34-2 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



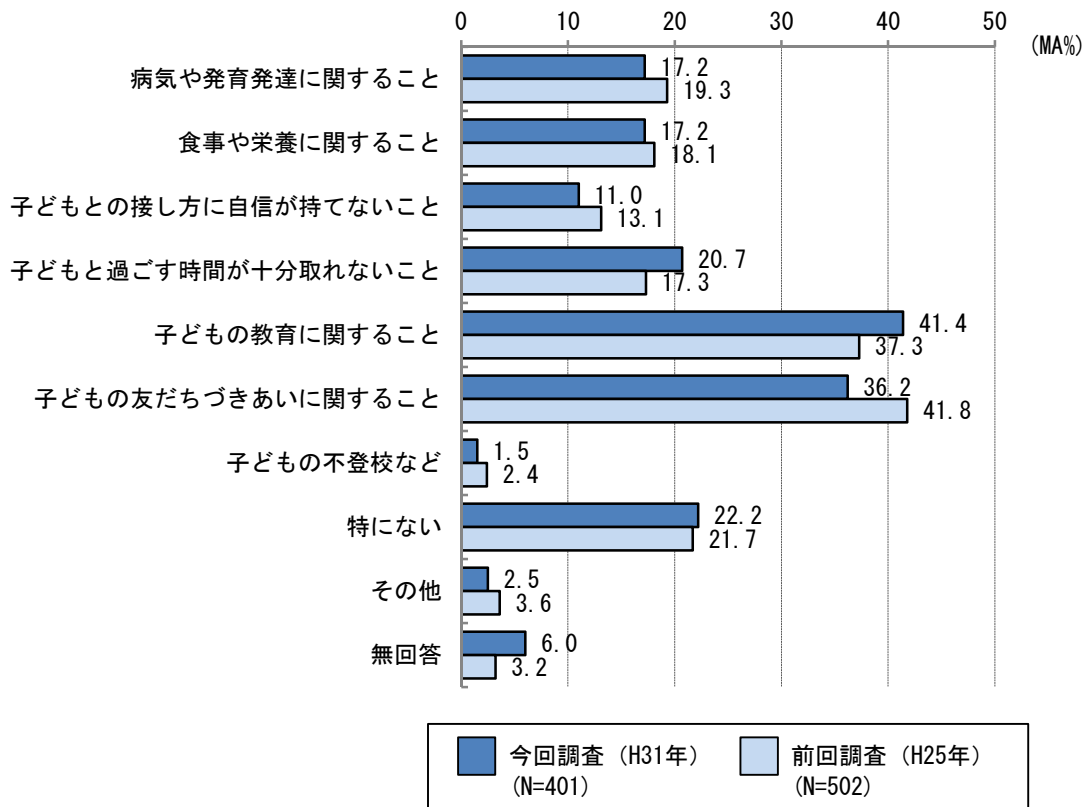
子育てを「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多し」人が、子育てのつらさを解消するために必要だと思ふ支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が40.7%と最も多く、次いで、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が36.1%となっています。

前回調査に比べて、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が5.1ポイント増加し、「留守家庭児童会室（学童保育）の充実」が7.4ポイント、「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が6.2ポイント減少しています。

〔5〕子育てに関して日常悩んでいること、気になること

問35 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

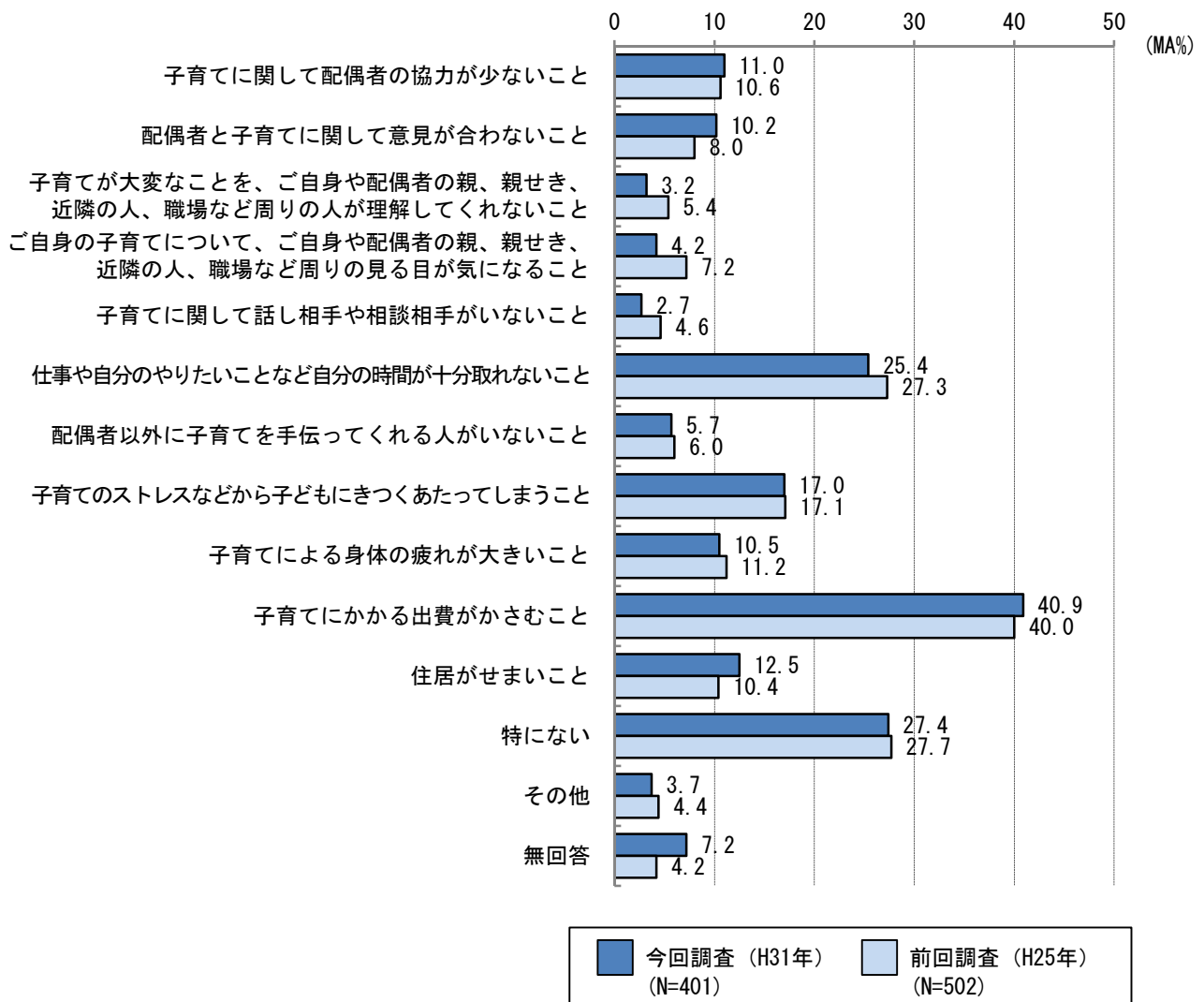
(1) 子どもに関すること



子どもに関することで日常悩んでいることや気になることは、「子どもの教育に関すること」が 41.4%と最も多く、次いで、「子どもの友だちづきあいに関すること」が 36.2%となっています。

前回調査に比べて、「子どもの教育に関すること」が 4.1 ポイント増加し、「子どもの友だちづきあいに関すること」が 5.6 ポイント減少しています。

(2) ご自身に関すること

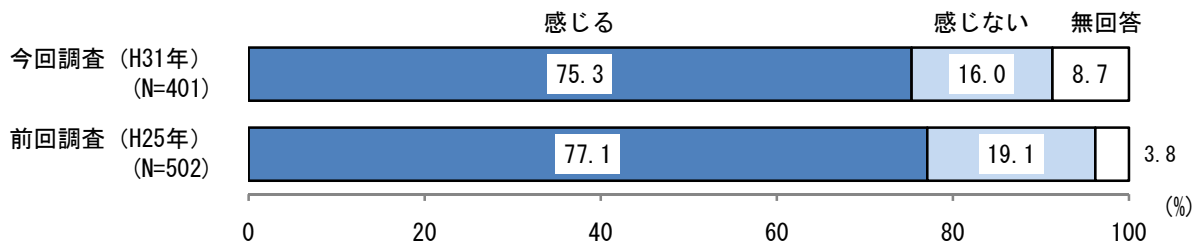


ご自身に関することで日常悩んでいることや気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 40.9%と最も多く、次いで、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 25.4%となっています。

〔6〕 地域の人に支えられていると感じること

問36 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

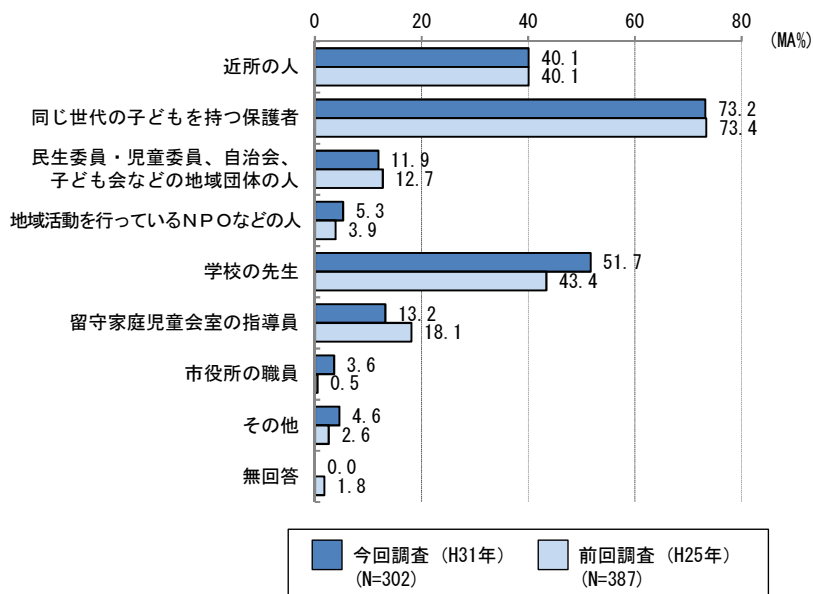
■ 自身の子育てが地域に支えられていると感じるか



自身の子育てが地域の人に支えられていると「感じる」は 75.3%となっています。

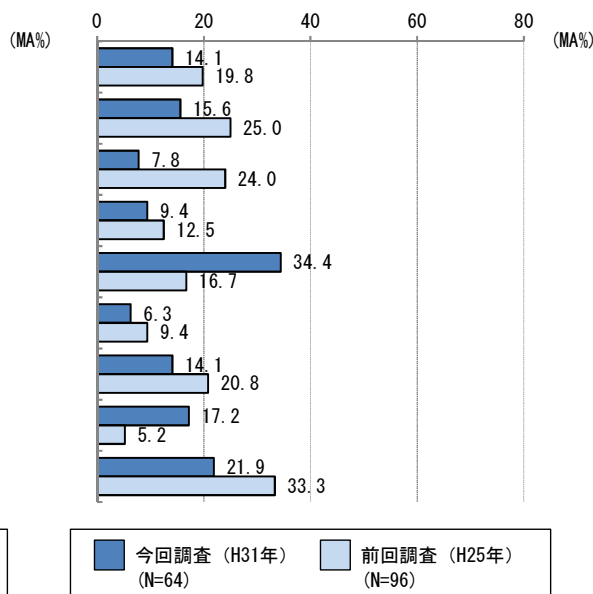
「感じる」とお答えの方

■ 支えられている人



「感じない」とお答えの方

■ 支えてほしい人



自身の子育てが地域の人に支えられていると「感じる」人が、支えられていると思う相手は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 73.2%と最も多く、次いで、「学校の先生」が 51.7%、「近所の人」が 40.1%で、「学校の先生」は前回調査に比べて 8.3ポイント増加しています。

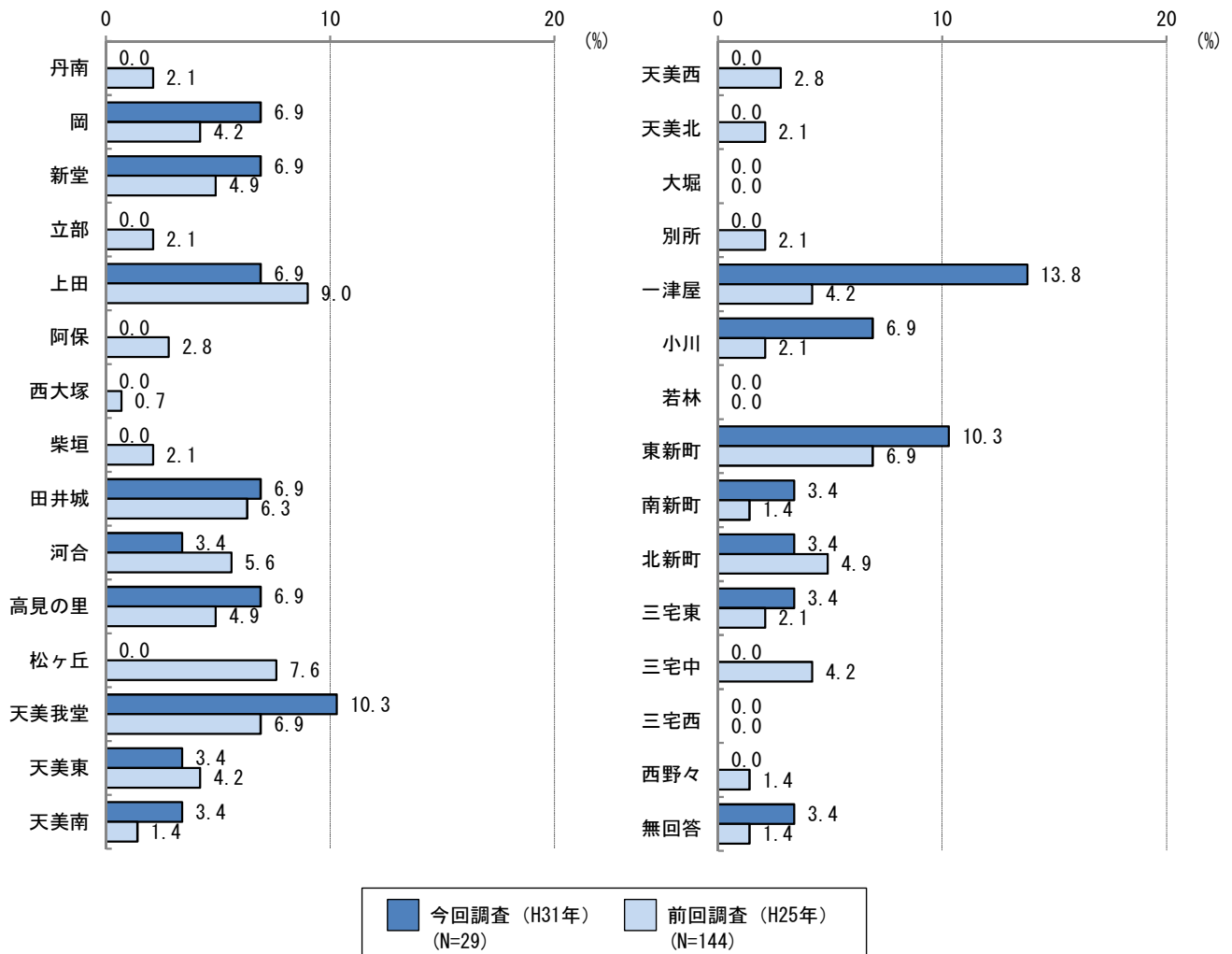
自身の子育てが地域の人に支えられていると「感じない」人が、支えてほしいと思う相手は、「学校の先生」が 34.4%と最も多く、前回調査に比べて 17.7ポイント増加しています。

II-3. 妊娠中の方への調査

1 あなたやご家族について

〔1〕居住地区

問1 あなたのお住まいの地区（町名・丁目まで）を記入してください。

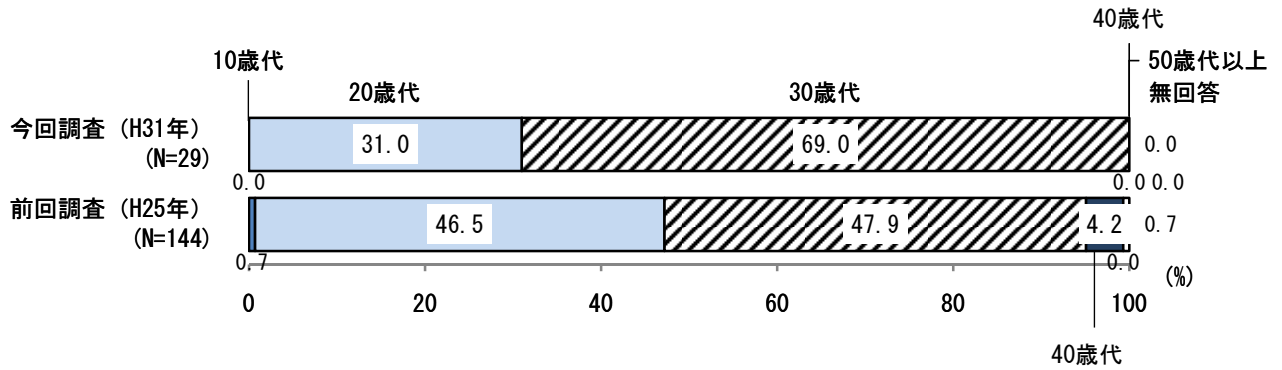


回答者のお住まいの地区は、「一津屋」（13.8%）が最も多く、次いで、「天美我堂」、「東新町」（それぞれ 10.3%）となっています。

II-3. 妊娠中の方への調査

〔2〕 年齢

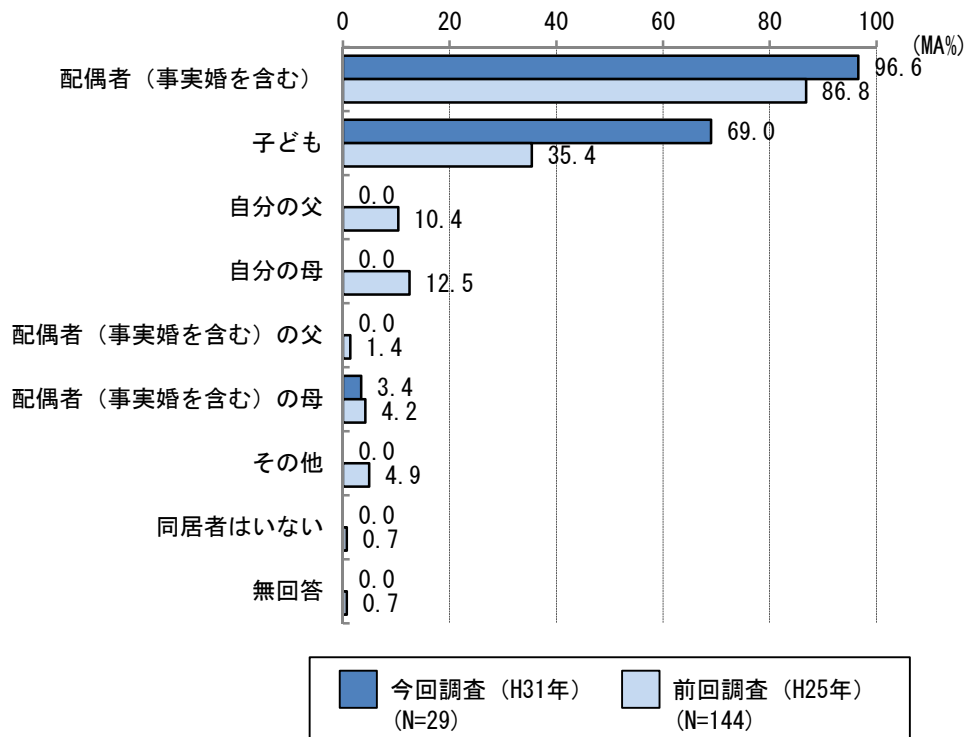
問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。



回答者の年齢は、「30歳代」が69.0%、「20歳代」が31.0%となっています。

〔3〕 同居人

問3 現在、あなたは、誰と暮らしていますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

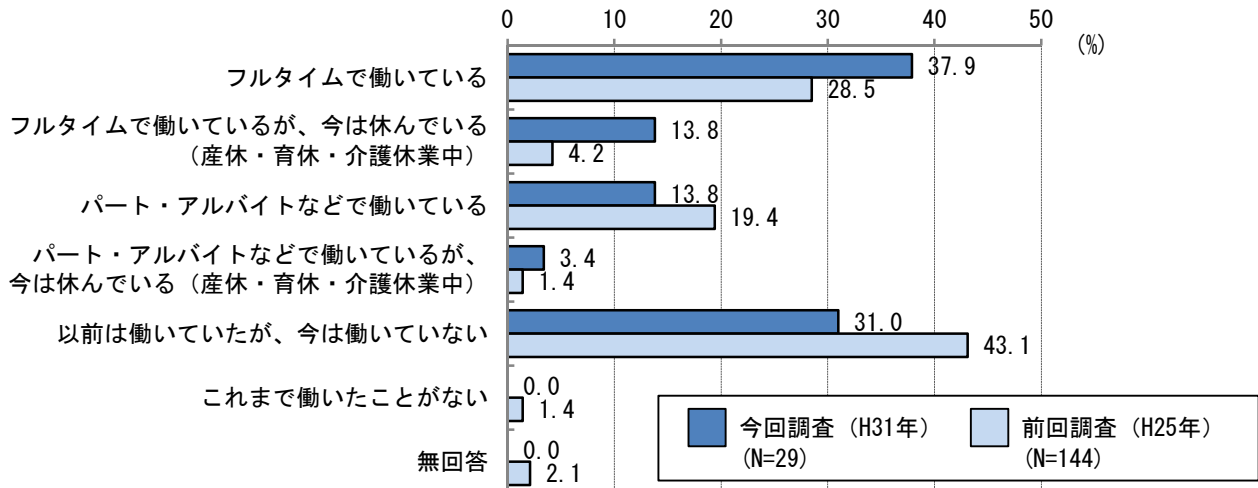


回答者の同居人は、「配偶者 (事実婚を含む)」が96.6%と最も多く、次いで、「子ども」が69.0%となっています。

〔4〕就労状況

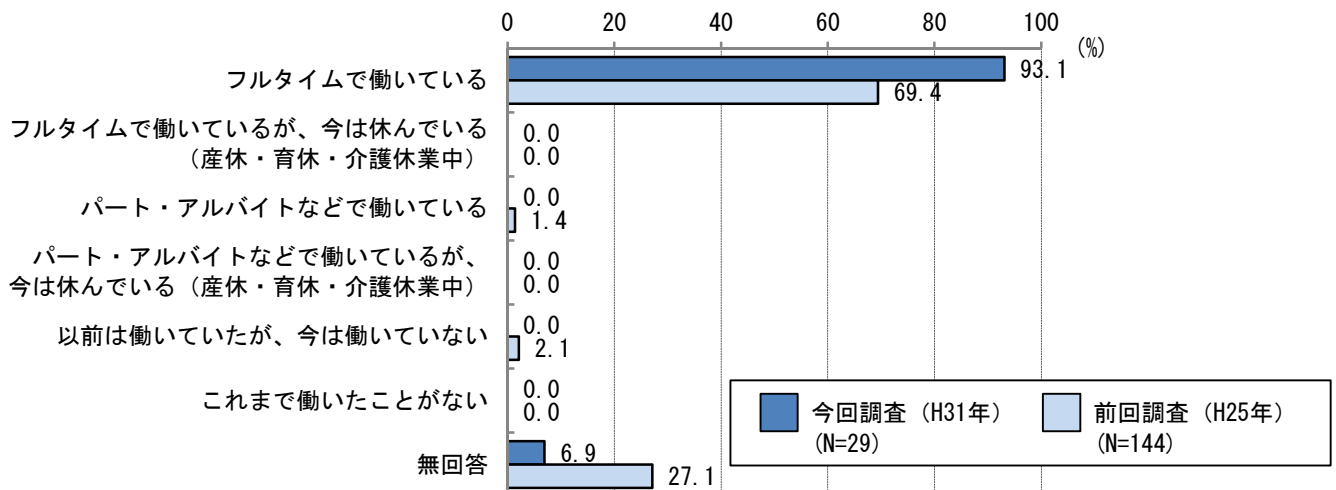
問4 あなたや配偶者（事実婚を含む）の方の就労状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。

(1) あなた自身について



回答者本人の就労状況は、「フルタイムで働いている」が 37.9%と最も多く、次いで、「以前は働いていたが、今は働いていない」が 31.0%となっています。

(2) 配偶者（事実婚を含む）の方について



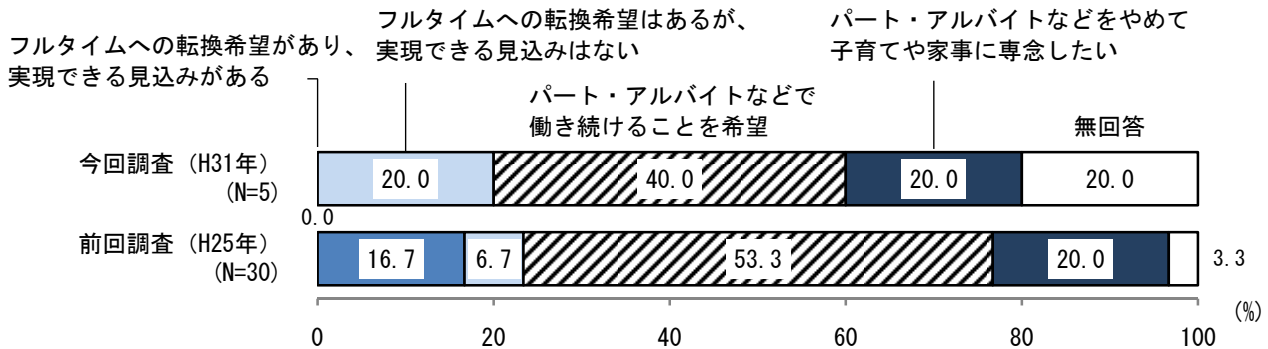
配偶者の方の就労状況は、回答のあった方すべてが「フルタイムで働いている」で、93.1%となっています。

〔5〕フルタイムへの転換希望

問4の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労)に○をつけた方のみ

問5 あなたは、フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) あなた自身について



「パート・アルバイトなどで働いている」「パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中)」方の、フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が40.0%と最も多く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」がそれぞれ20.0%となっています。

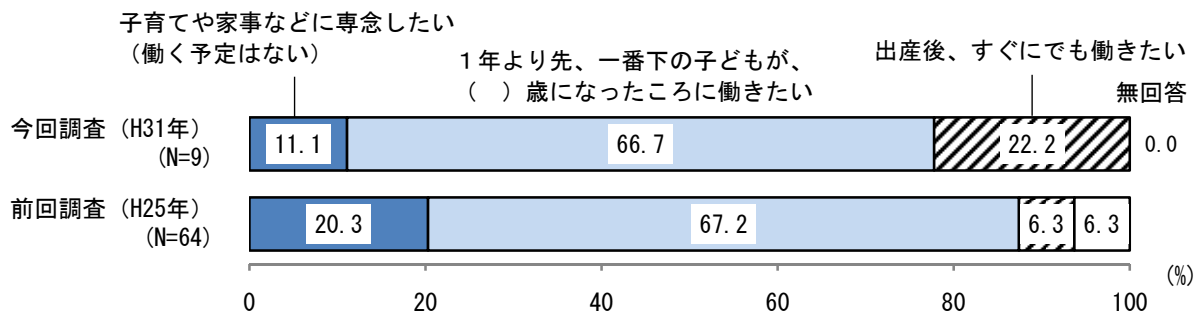
(2) 配偶者(事実婚を含む)の方について

→パート・アルバイトなどで就労している人が0人のため、回答なし

〔6〕就労希望

問4の(1)または(2)で「5」または「6」(就労していない)に○をつけた方のみ
問6 あなたは、いずれ働きたいという希望はありますか。
 あてはまる番号1つに○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

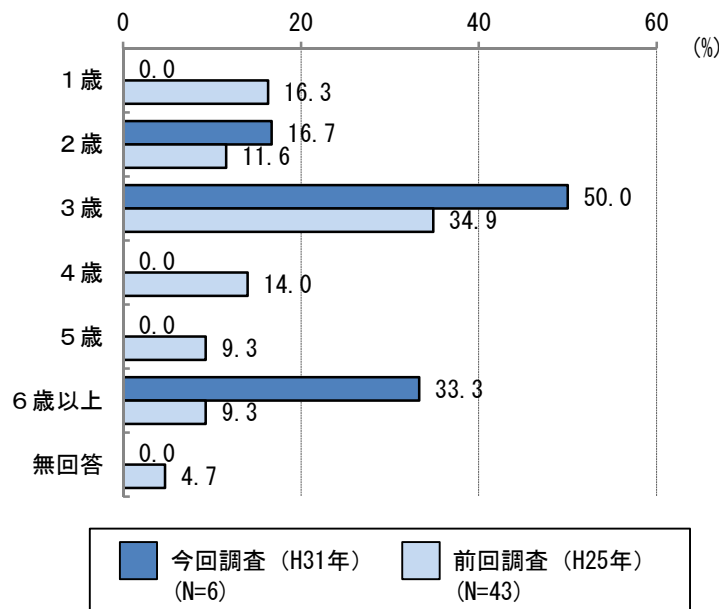
(1) あなた自身について



「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」方の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい」が66.7%と最も多く、次いで、「出産後、すぐにでも働きたい」が22.2%で、就労希望者は合計88.9%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに働きたい」とお答えの方のみ

■ 就労を考える子どもの年齢



「1年より先に働きたい」人が、就労を考える子どもの年齢は、「3歳」が50.0%と最も多く、次いで、「6歳以上」が33.3%となっています

II-3. 妊娠中の方への調査

「出産後、すぐにでも働きたい」とお答えの方のみ

■ 希望する就労形態

→回答者2名ともが、「パート・アルバイトなど」と回答。

■ 1週あたりの労働日数

→回答者2名ともが、「3日」と回答。

■ 1日あたりの労働時間

→回答者2名ともが、「4時間以上～5時間未満」と回答。

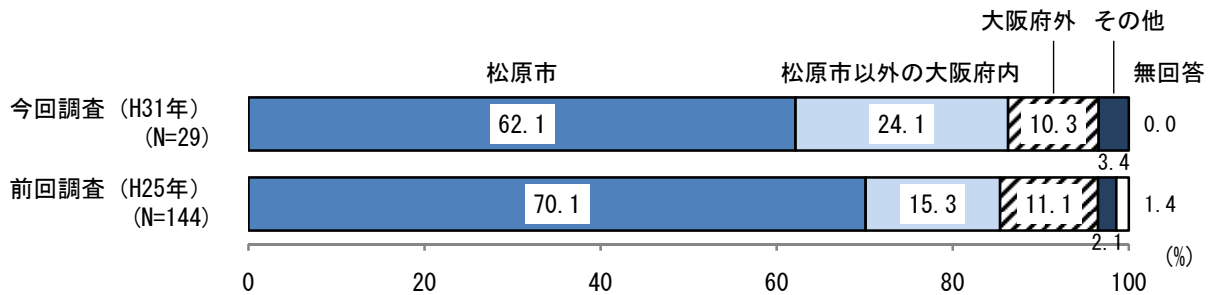
(2) 配偶者（事実婚を含む）の方について

→就労していない人が0人のため、回答なし

2 妊娠・出産に関すること

〔1〕 出産予定地

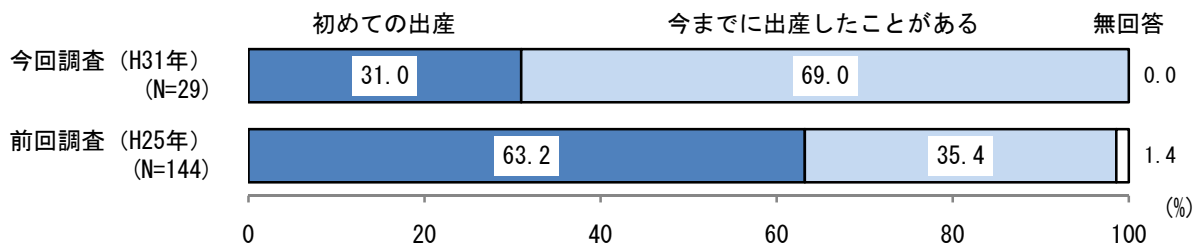
問7 あなたは、お子さんをどちらにある医療機関等で出産する予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



出産を予定する場所は、「松原市」が62.1%と最も多く、次いで、「松原市以外の大阪府内」が24.1%、「大阪府外」が10.3%となっています。

〔2〕 出産経験

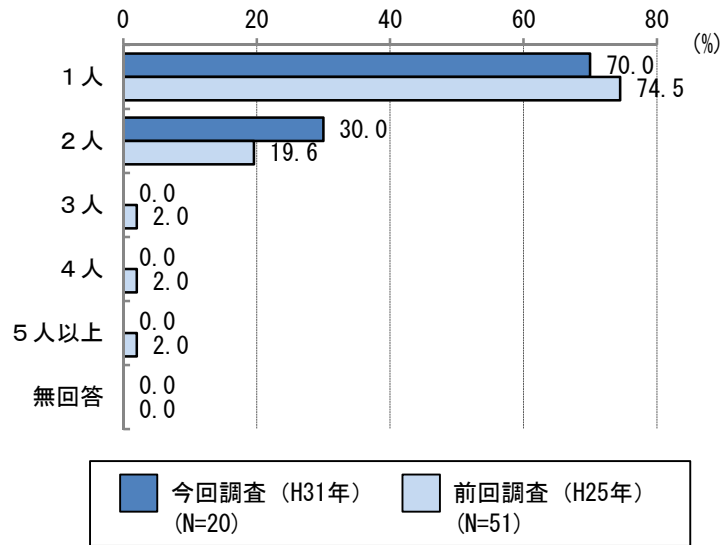
問8 あなたは今までに子どもを出産されたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。「今までに出産したことがある」に○をつけた方は、枠内にきょうだいの人数及び平成30年4月1日現在の年齢を記入してください。



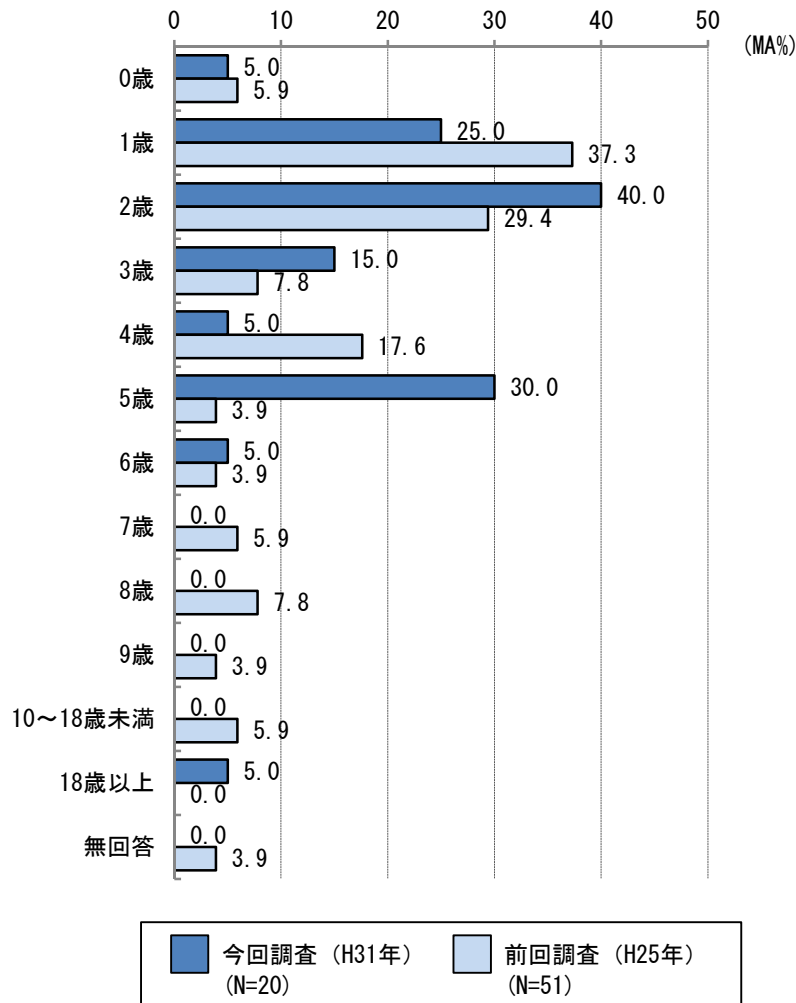
回答者の出産経験は、「今までに出産したことがある」が69.0%、「初めての出産」が31.0%となっています。

「今までに出産したことがある」とお答えの方のみ

■ 兄弟の人数



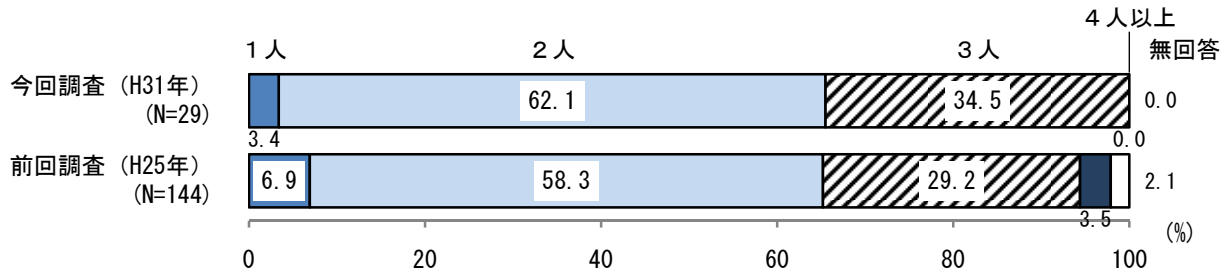
■ 兄弟の年齢（平成30年4月1日現在）



「今までに出産したことがある」場合の兄弟の人数は、「1人」が70.0%、「2人」が30.0%となっています。兄弟の年齢は、「2歳」が40.0%と最も多く、次いで、「5歳」が30.0%、「1歳」が25.0%となっています。

〔3〕希望する子どもの数

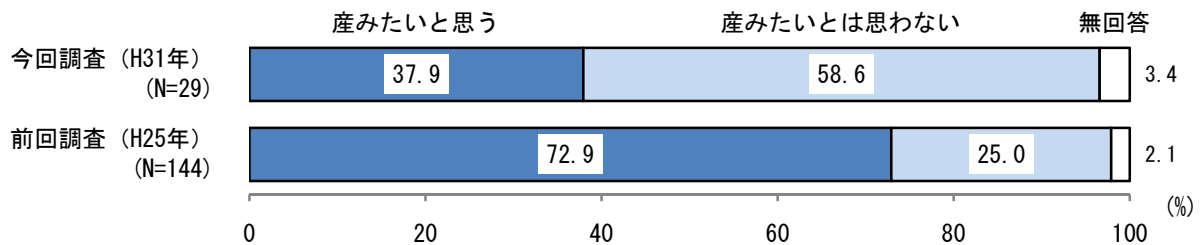
問9 あなたが希望するお子さんの数は何人ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



希望する子どもの人数は、「2人」が62.1%と最も多く、次いで、「3人」が34.5%となっています。

〔4〕もう1人以上の子どもの産みたいか

問10 あなたは、もう1人以上の子どもの産みたいと思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

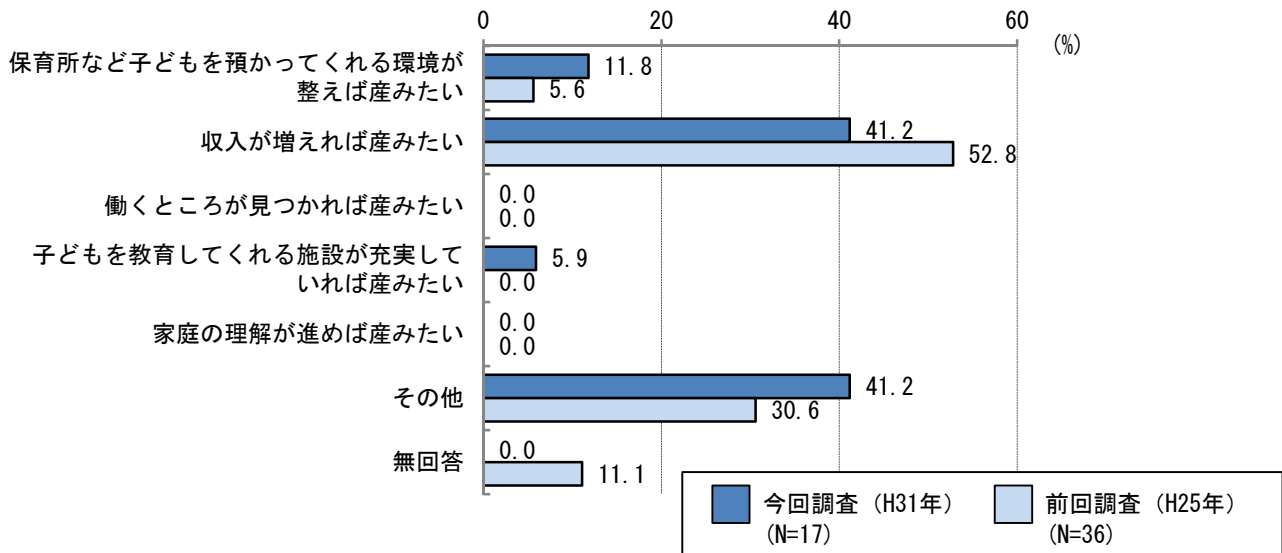


もう1人以上の子どもの「産みたいと思う」人は37.9%、「産みたいとは思わない」人は58.6%となっています。

〔5〕 もう1人以上の子どもを産むのに必要な環境

問10で「産みたいとは思わない」に○をつけた方のみ

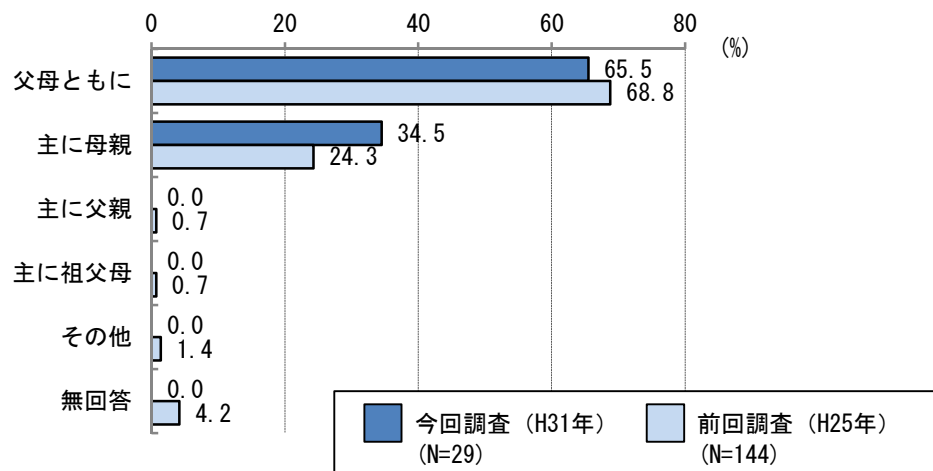
問11 どのような環境を整えればもう1人以上の子どもを産みたいと思いますか。もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。



もう1人以上の子どもを「産みたいとは思わない」とお答えの方に、どのような環境を整えれば産みたいと思うかをたずねたところ、「収入が増えれば産みたい」が41.2%と最も多くなっています。

〔6〕 子育ての主体

問12 妊娠中の子どもの子育てや教育は主にどなたが行う予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

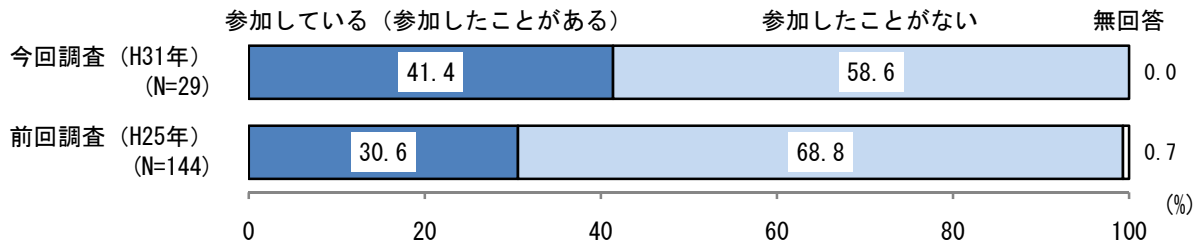


子どもの子育てや教育を主に行うのは、「父母ともに」が65.5%と最も多く、次いで、「主に母親」が34.5%となっています。

3 育児に関する悩みや不安感

〔1〕 マタニティ・スクールやパパママ教室への参加

問13 市で実施しているマタニティ・スクールや日曜日実施のパパママ教室に参加したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

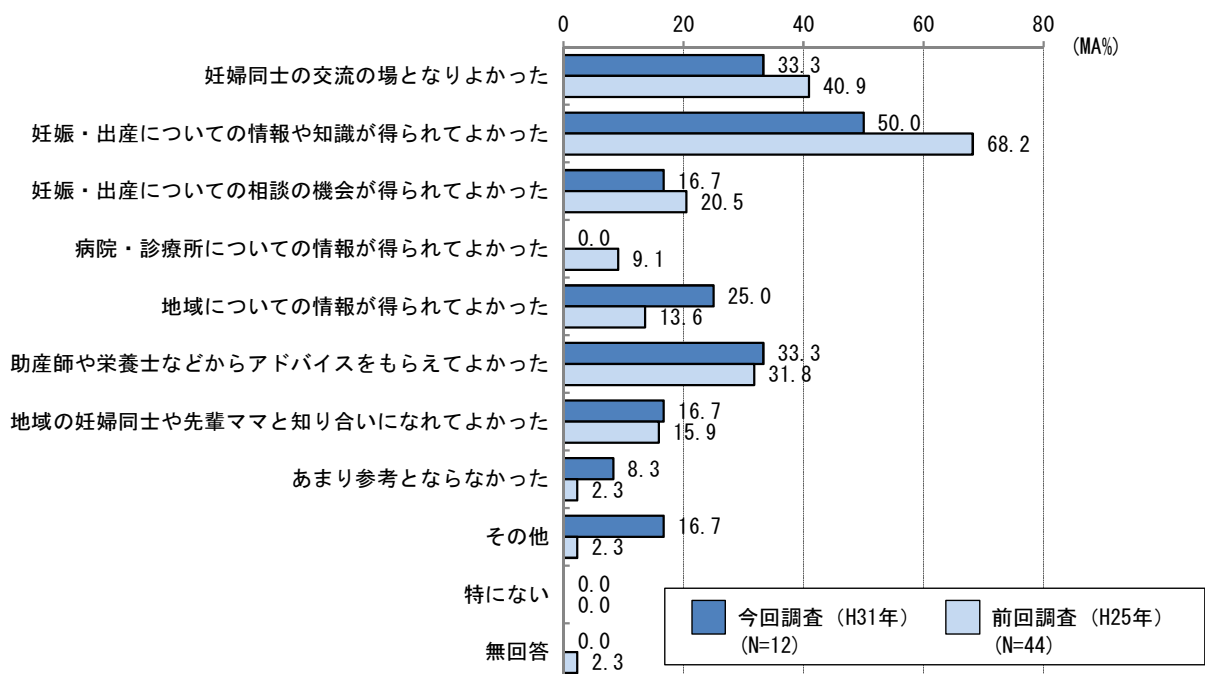


市で実施しているマタニティ・スクールや日曜日実施のパパママ教室に「参加している (参加したことがある)」人は 41.4% となっています。

〔2〕 マタニティ・スクールやパパママ教室の感想

問13で「参加している (参加したことがある)」に○をつけた方のみ

問14 参加した感想はいかがでしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

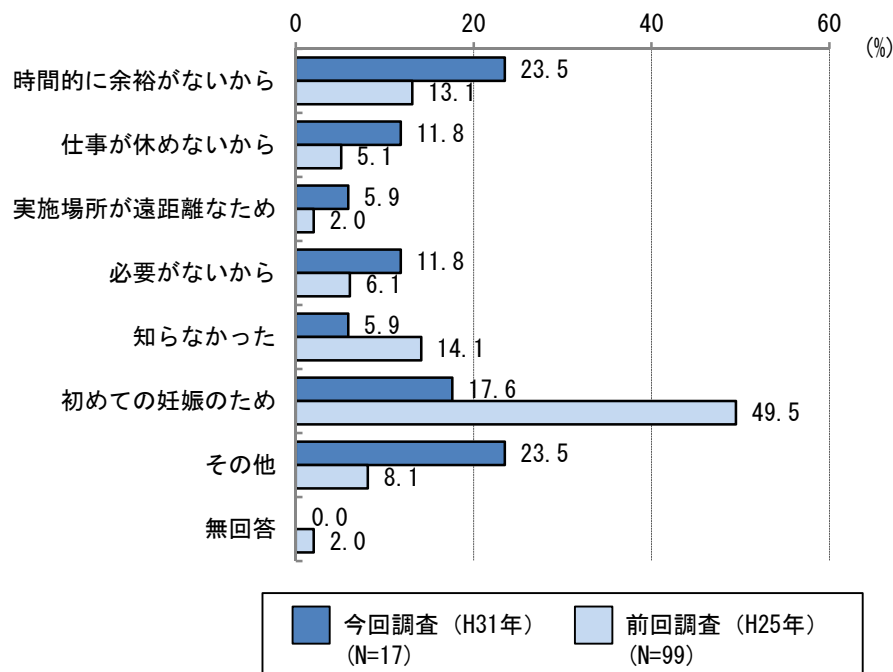


マタニティ・スクールや日曜日実施のパパママ教室に参加した感想をたずねたところ、「妊娠・出産についての情報や知識が得られてよかった」が 50.0% と最も多く、次いで、「妊婦同士の交流の場となりよかった」「助産師や栄養士などからアドバイスをもらえてよかった」がそれぞれ 33.3% となっています。

〔3〕 マタニティ・スクールやパパママ教室に参加したことがない理由

問13で「参加したことがない」に○をつけた方のみ

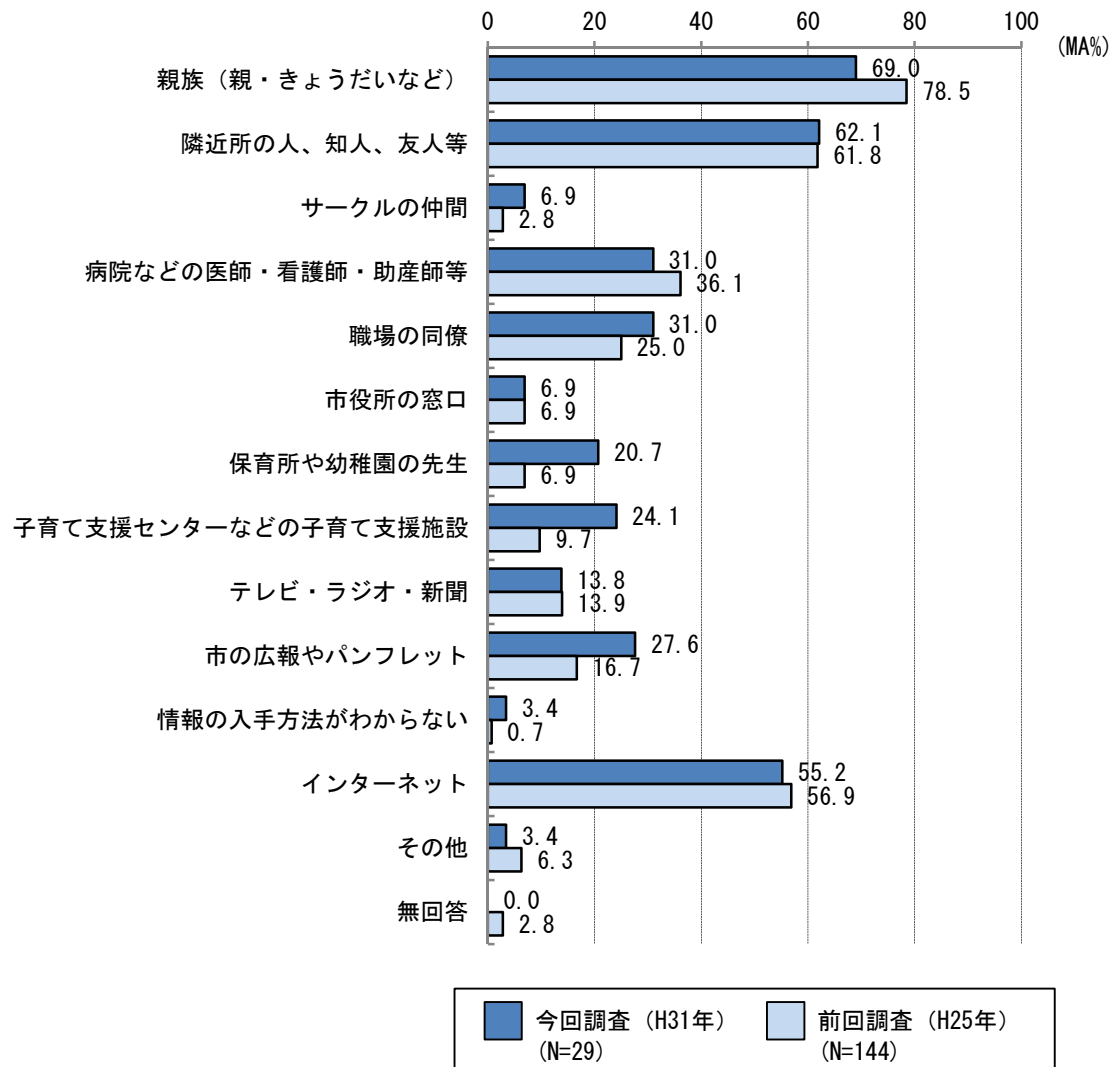
問15 参加したことがない理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



マタニティ・スクールや日曜日実施のパパママ教室に「参加したことがない」理由は、「時間的に余裕がないから」が23.5%と最も多く、次いで、「初めての妊娠のため」が17.6%となっています。

〔4〕 出産・育児に関する情報の入手先

問16 出産・育児に関する情報をどのように入手されていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

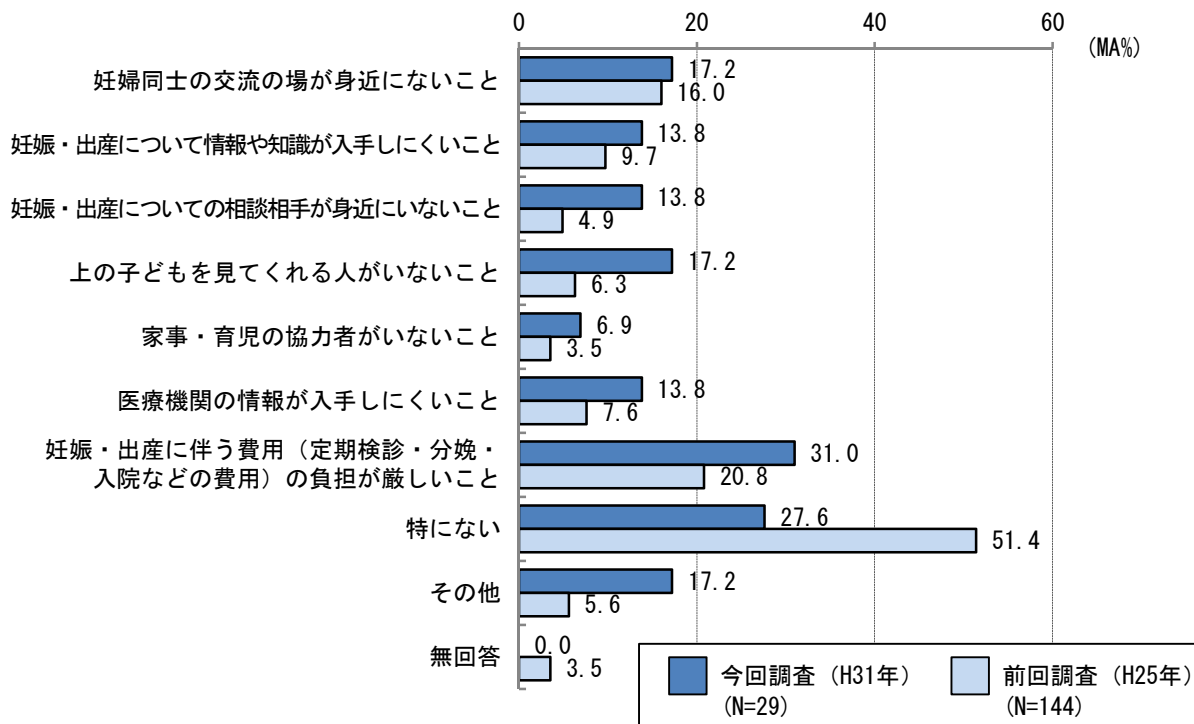


出産・育児に関する情報の入手先は、「親族（親・きょうだいなど）」が69.0%と最も多く、次いで、「隣近所の人、知人、友人等」が62.1%、「インターネット」が55.2%となっています。

II-3. 妊娠中の方への調査

〔5〕 妊娠や出産について困ったこと

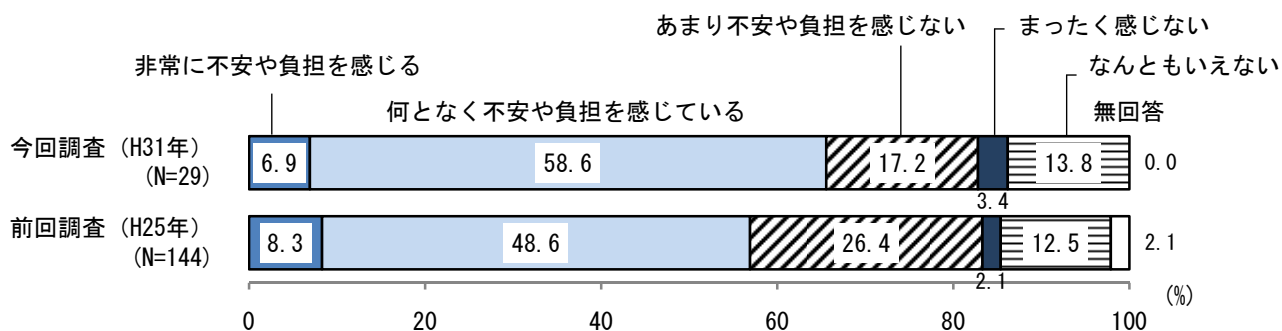
問17 あなたの妊娠や出産について困ったことはありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



妊娠や出産について困ったことは、「妊娠・出産に伴う費用（定期検診・分娩・入院などの費用）の負担が厳しいこと」が 31.0%と最も多く、次いで、「妊婦同士の交流の場が身近にないこと」「上の子どもを見てくれる人がいないこと」がそれぞれ 17.2%となっています。

〔6〕 出産やその後の育児に関しての不安感や負担感

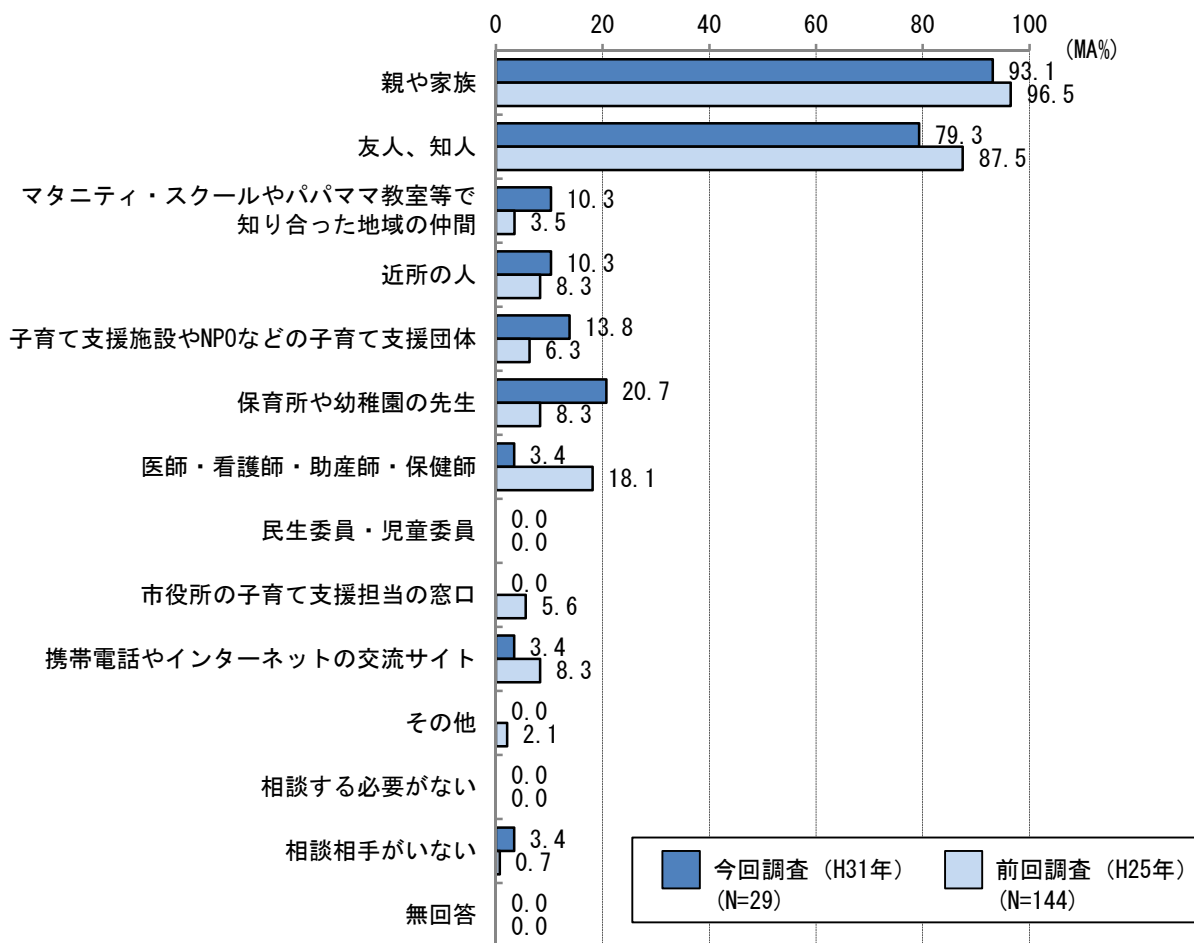
問18 あなたは、出産やその後の育児に関して不安感や負担感を感じることがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



出産やその後の育児に関して、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じている」の合計）人は 65.5%で、『不安や負担を感じない』（「あまり不安や負担を感じない」と「まったく感じない」の合計）は 20.6%となっています。

〔7〕 出産・育児に関して気軽に相談できる人や場所

問19 あなたは、出産・育児に関して気軽に相談できる人や場所はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

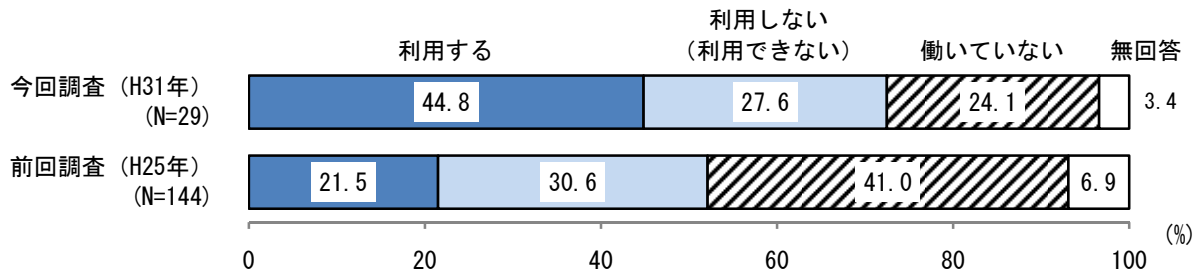


出産・育児に関して気軽に相談できる人や場所は、「親や家族」が 93.1%と最も多く、次いで、「友人、知人」が 79.3%となっています。

4 仕事と子育ての両立

〔1〕育児休業制度の利用

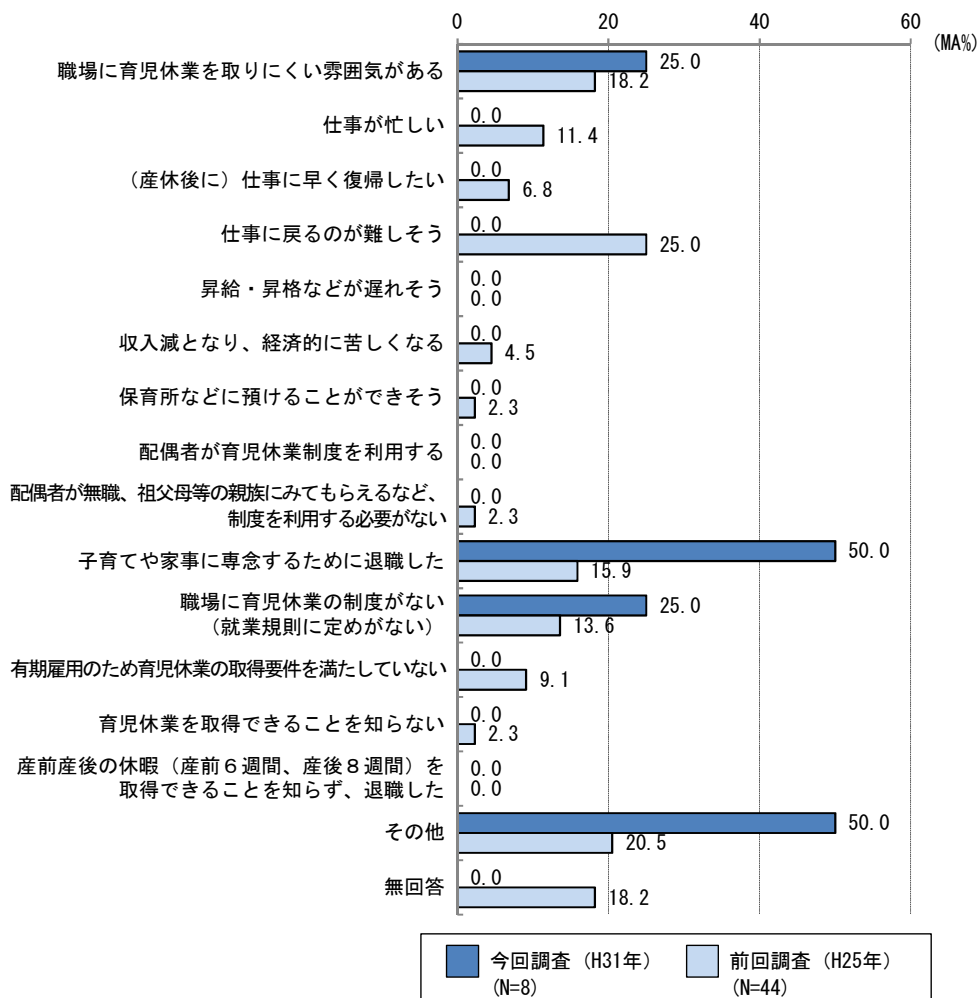
問20 あなたは、現在妊娠されているお子さんの出産に伴い、育児休業制度を利用する予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
また、「利用しない（利用できない）」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。



育児休業制度の利用については、「利用する」が44.8%、「利用しない（利用できない）」が27.6%となっています。

「利用しない（利用できない）」とお答えの方のみ

■ 育児休業を利用しない（利用できない）理由

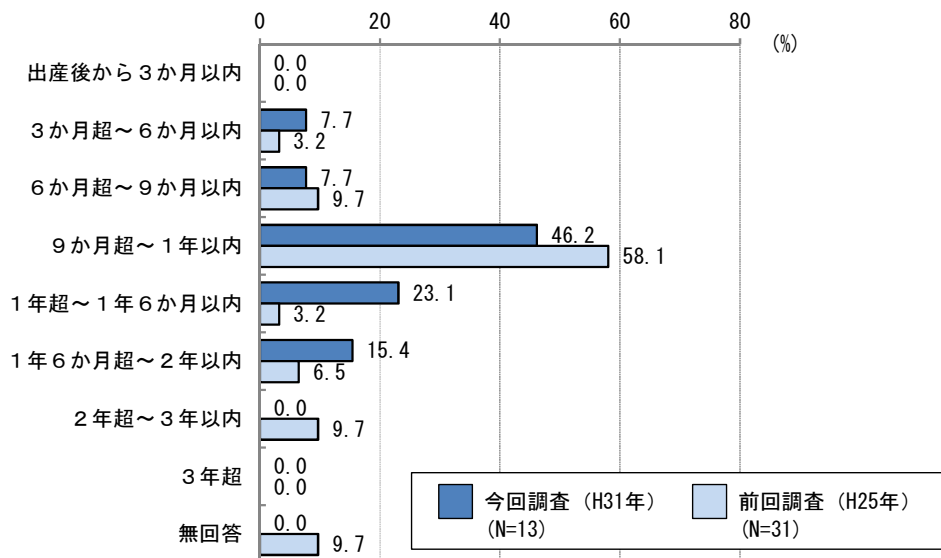


育児休業を利用しない（利用できない）理由は、「子育てや家事に専念するために退職した」が50.0%と最も多く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」「職場に育児休業の制度がない（就業規則に定めがない）」がそれぞれ25.0%となっています。

〔2〕 育児休業の期間

問20の「利用する」に○をつけた方のみ

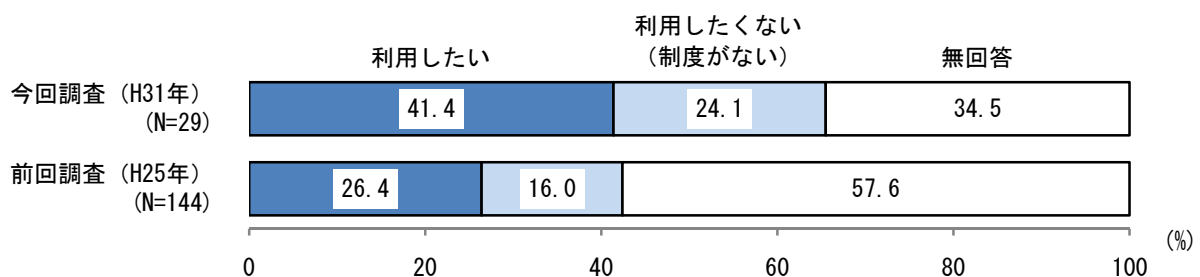
問20-1 あなたが予定している育児休業の期間はどの程度ですか。



育児休業を「利用する」方が予定している休業期間は、出産後から「9か月超～1年以内」が46.2%と最も多く、次いで、「1年超～1年6か月以内」が23.1%となっています。

〔3〕 短時間勤務制度の利用意向

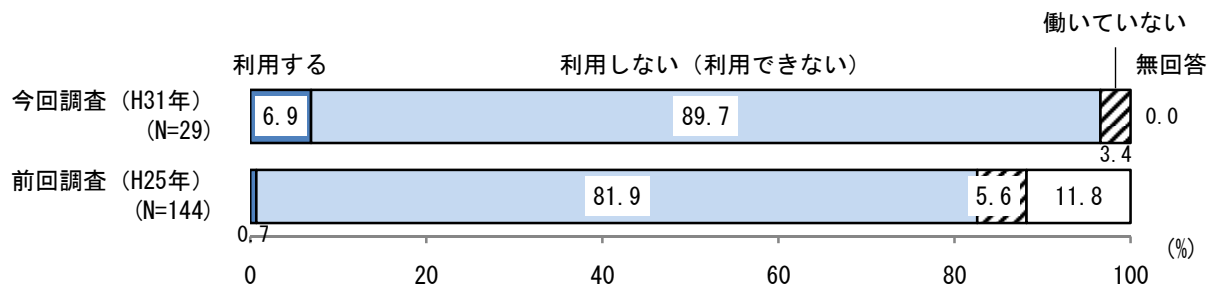
問21 あなたは、短時間勤務制度を利用したいですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



短時間勤務制度については、「利用したい」が41.4%、「利用したくない（制度がない）」が24.1%となっています。

〔4〕配偶者の育児休業制度の利用

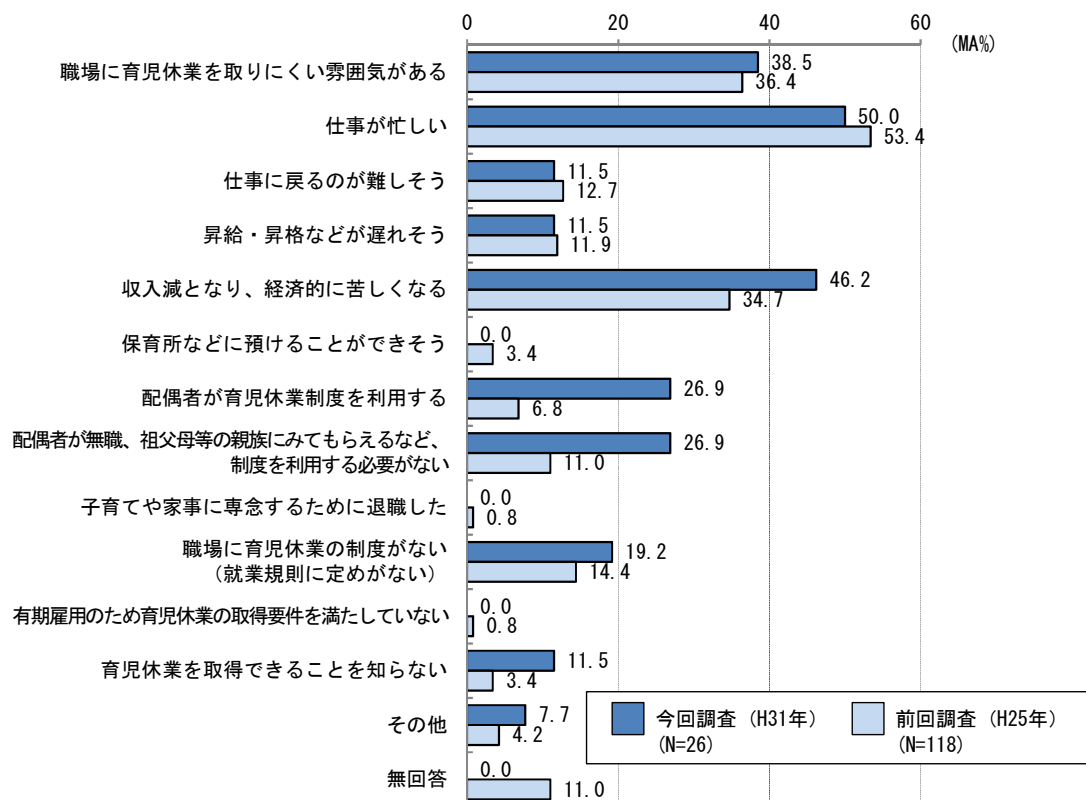
問22 配偶者の方は、現在妊娠されているお子さんの出産に伴い、育児休業制度を利用する予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、「2. 利用しない（利用できない）」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。



配偶者の育児休業制度の利用については、「利用する」が6.9%、「利用しない（利用できない）」が89.7%となっています。

「利用しない（利用できない）」とお答えの方のみ

■ 育児休業を利用しない（利用できない）理由



育児休業を利用しない（利用できない）理由は、「仕事が忙しい」が50.0%と最も多く、次いで、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が46.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」が38.5%となっています。

〔5〕配偶者の育児休業の期間

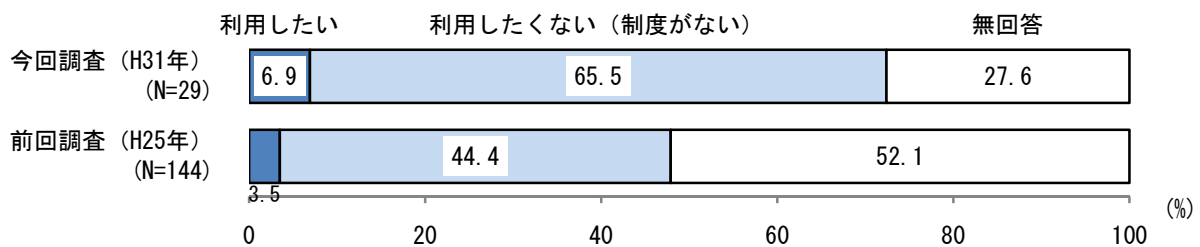
問22で「利用する」に○をつけた方のみ

問22-1 配偶者の方が予定している育児休業の期間はどの程度ですか。

→「利用する」と回答した2名のうち、出産後から「9か月超～1年以内」が1名となっています。

〔6〕配偶者の短時間勤務制度の利用希望

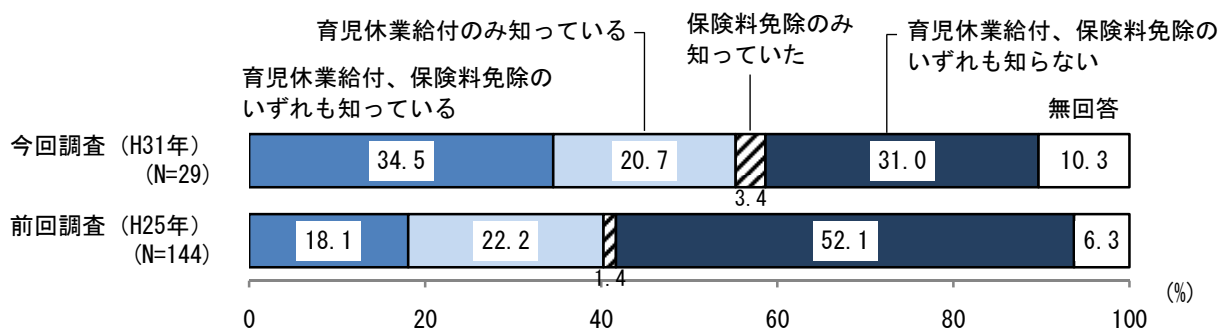
問23 配偶者の方の短時間勤務制度の利用希望について、あてはまる番号1つに○をつけてください。



配偶者の短時間勤務制度の利用については、「利用したい」が6.9%、「利用したくない（制度がない）」が65.5%となっています。

〔7〕育児休業給付や保険料免除の認知

問24 子どもが1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業などの期間について健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



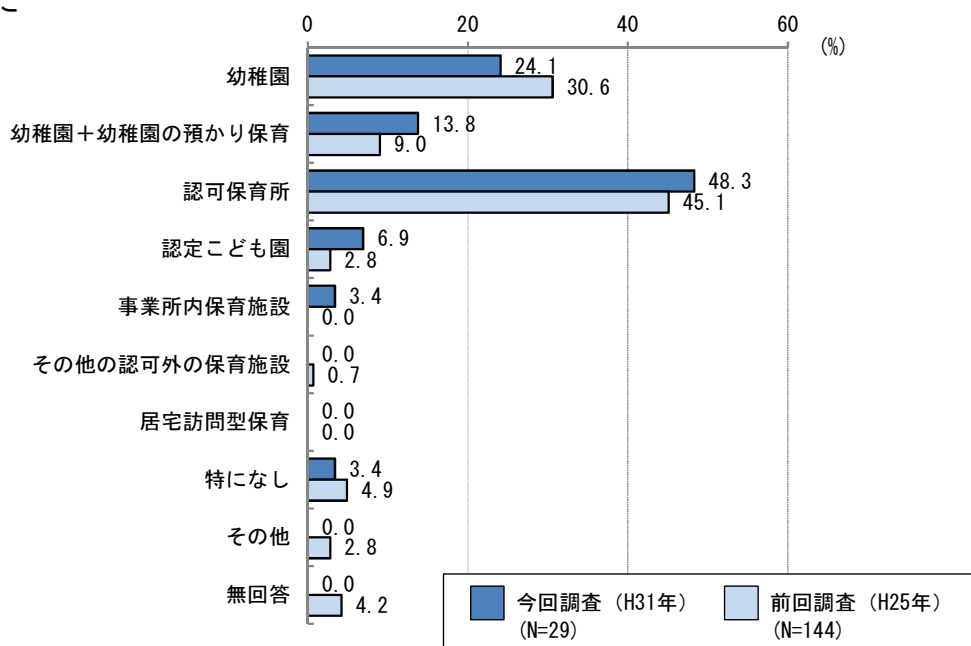
育児休業給付や、健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みについて、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っている」は34.5%、「育児休業給付のみ知っている」は20.7%、「保険料免除のみ知っていた」は3.4%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない」は31.0%となっています。

5 保育所・幼稚園等について

〔1〕保育所・幼稚園等の利用

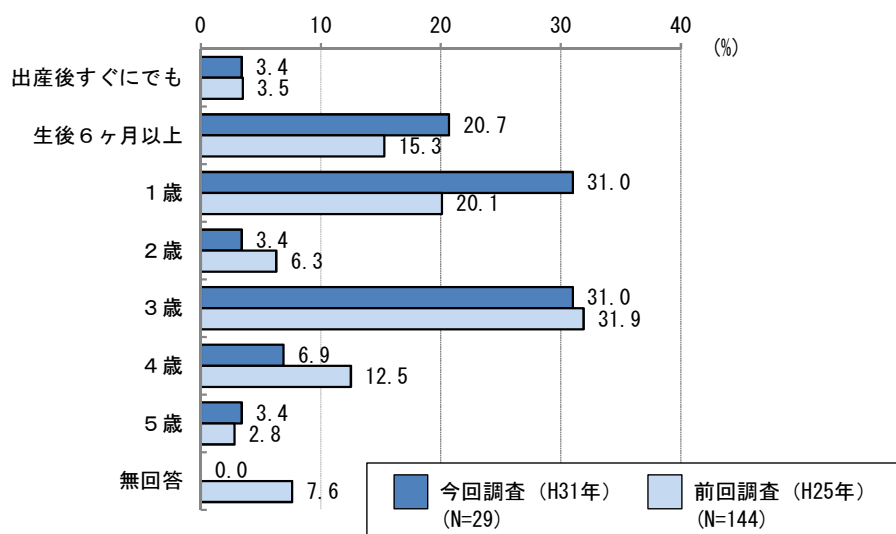
問25 お子さんがいくつになったら、どこに、どのくらいの頻度で通わせたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) どこに



子どもを通わせたい保育所・幼稚園等は、「認可保育所」が 48.3%と最も多く、次いで、「幼稚園」が 24.1%となっています。

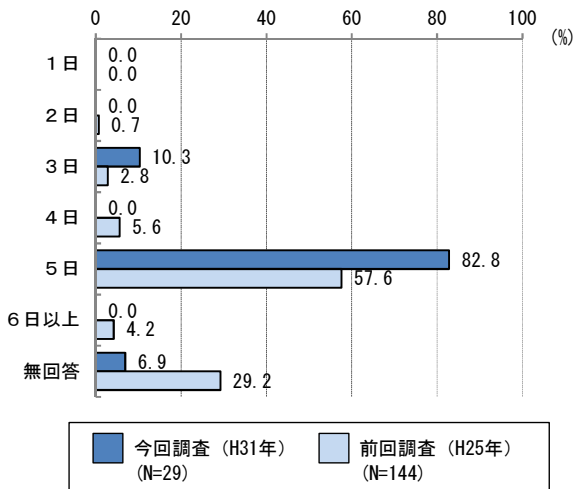
(2) いくつになったら



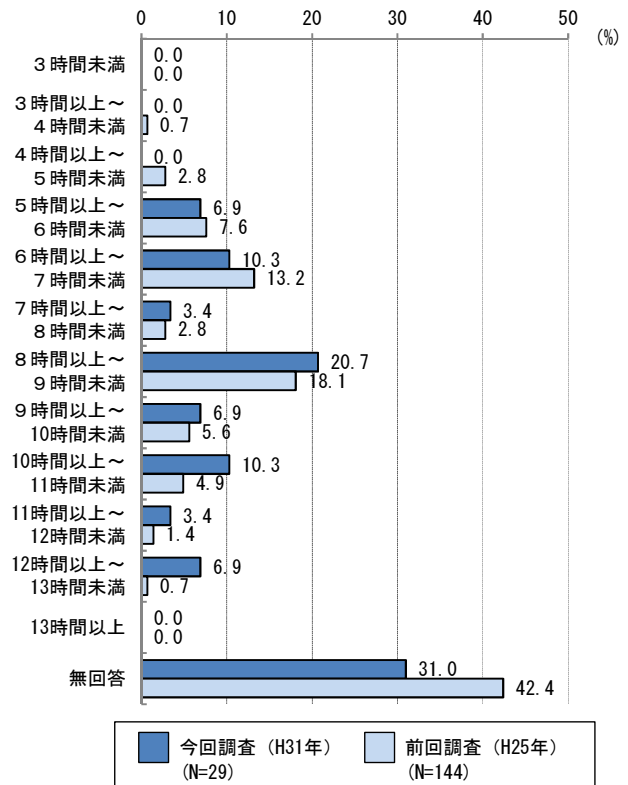
保育所・幼稚園等に通わせたいと思う時期は、「1歳」「3歳」がそれぞれ 31.0%と最も多く、次いで、「生後6ヶ月以上」が 20.7%となっています。

(3) 利用頻度

■ 1週間あたりの希望利用日数

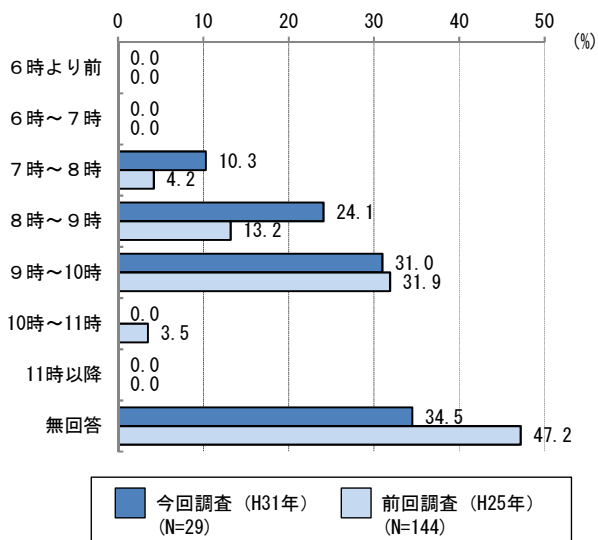


■ 1日あたりの希望利用時間

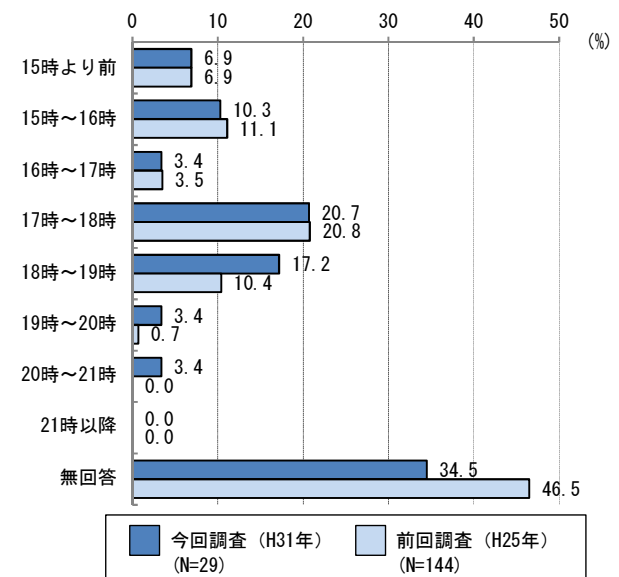


1週間あたりの希望利用日数は「5日」(82.8%)が最も多く、1日あたりの希望利用時間は「8時間以上～9時間未満」(20.7%)が最も多くなっています。

■ 希望開始時間



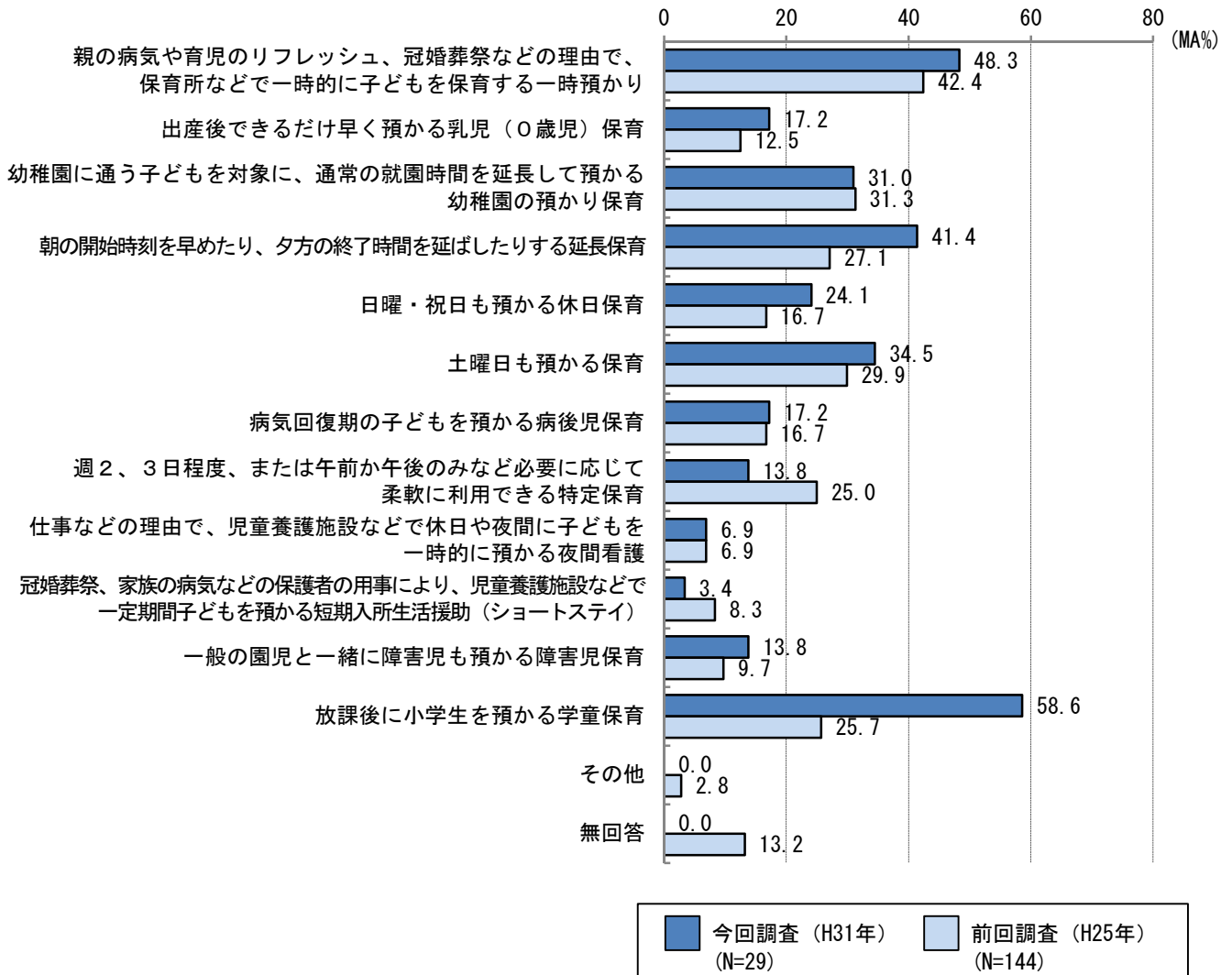
■ 希望終了時間



希望開始時間は「9時～10時」(31.0%)が最も多く、次いで、「8時～9時」(24.1%)、終了時間は「17時～18時」(20.7%)が最も多く、次いで、「18時～19時」(17.2%)となっています。

〔2〕 今後利用してみたいサービス

問26 あなたは、今後どのようなサービスを利用してみたいと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



今後利用してみたいサービスは、「放課後に小学生を預かる学童保育」が 58.6%と最も多く、次いで、「親の病気や育児のリフレッシュ、冠婚葬祭などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育する一時預かり」が 48.3%、「朝の開始時刻を早めたり、夕方の終了時間を延ばしたりする延長保育」が 41.4%となっています

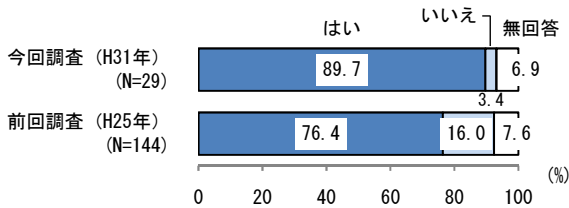
6 子育て支援サービス

〔1〕子育て支援サービスの認知・利用経験・利用意向

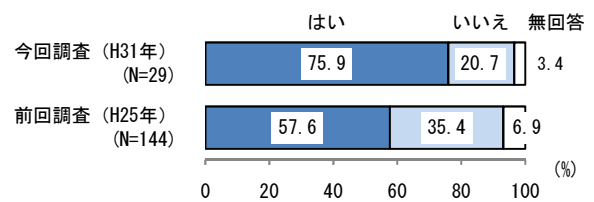
問27 あなたは、下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

A 認知（知っている）

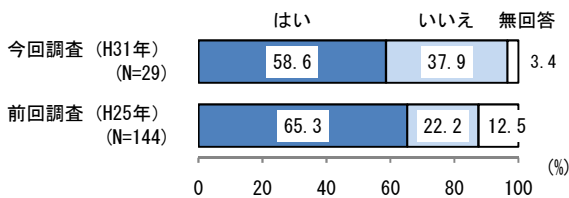
① マタニティスクール、パパママ教室



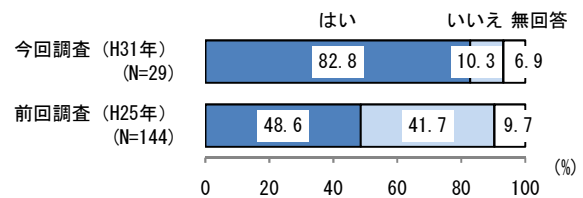
② 保健師・栄養士による相談



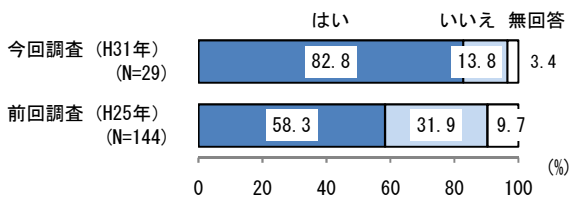
③ こんにちは赤ちゃん事業



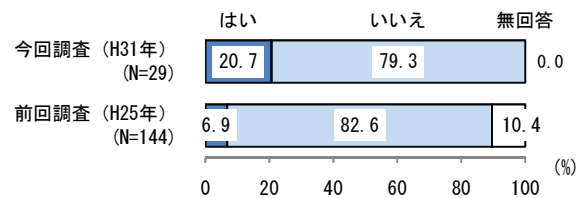
④ 地域子育て支援拠点



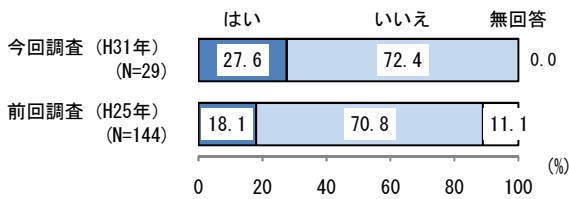
⑤ 保育所や幼稚園の園庭などの開放



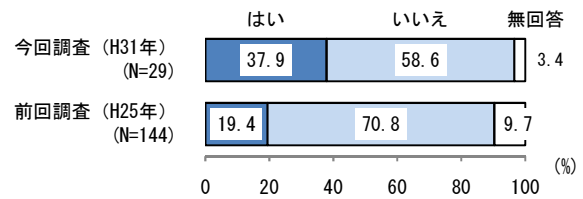
⑥ 家庭教育に関する学級・講座



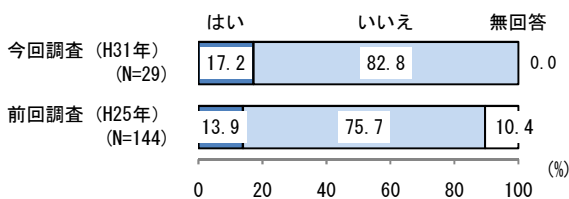
⑦ 家庭児童相談室



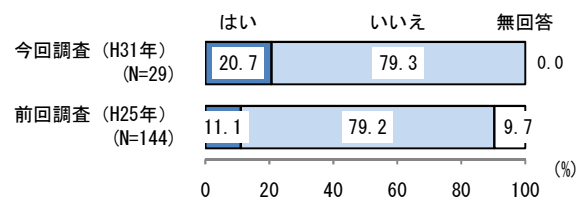
⑧ 市が発行する子育て支援情報ブック



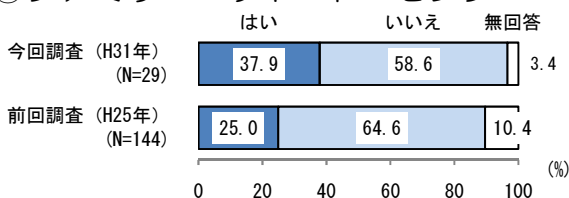
⑨ 育児支援家庭訪問事業



⑩ 子ども家庭センター



⑪ ファミリー・サポート・センター



※地域子育て支援拠点

…身近な地域における相談や親同士の交流の場
子育て支援センター・なごみのひろば・わいわいひろば・キラキラひろばなど。

※ファミリー・サポート・センター

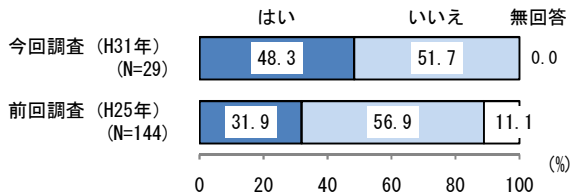
…会員制による児童の一時預かりを中心とした市民の互助援助活動

II-3. 妊娠中の方への調査

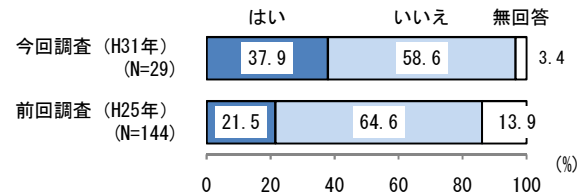
松原市が行っている各子育て支援サービスの認知については、「マタニティスクール、パパママ教室」「地域子育て支援拠点」「保育所や幼稚園の園庭などの開放」で8割以上と多くなっています。

B 利用経験（利用したことがある）

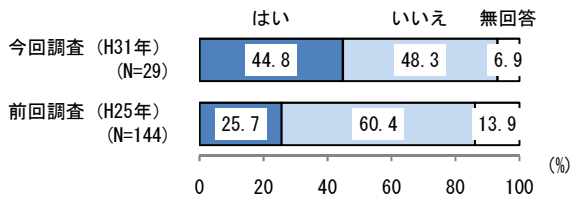
① マタニティスクール、パパママ教室



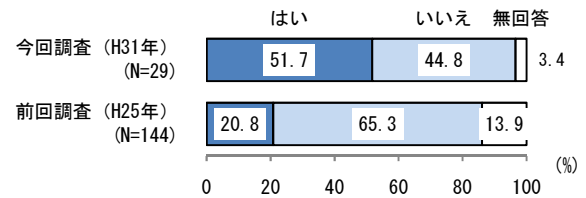
② 保健師・栄養士による相談



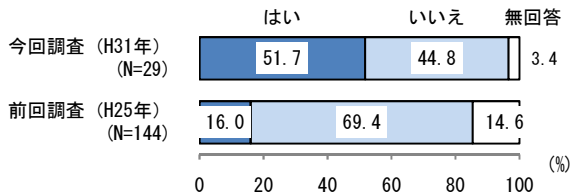
③ こんにちは赤ちゃん事業



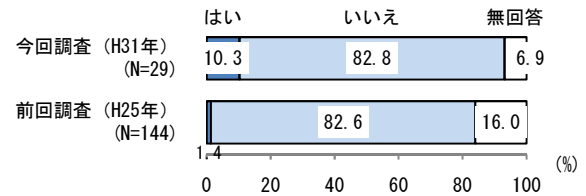
④ 地域子育て支援拠点



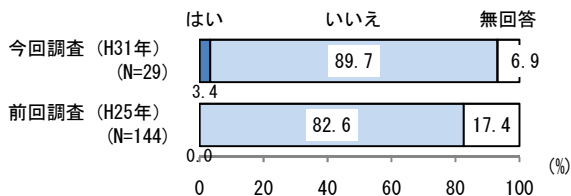
⑤ 保育所や幼稚園の園庭などの開放



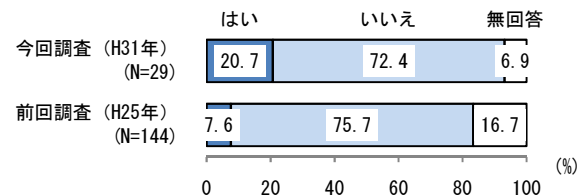
⑥ 家庭教育に関する学級・講座



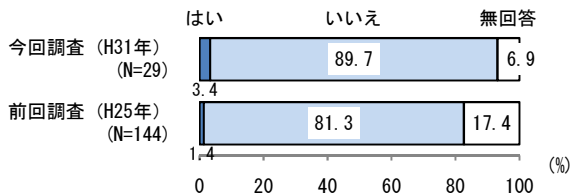
⑦ 家庭児童相談室



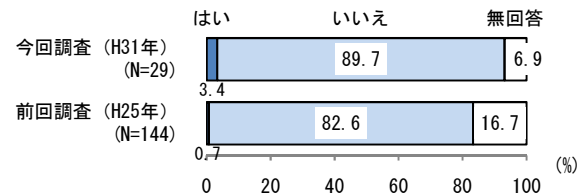
⑧ 市が発行する子育て支援情報ブック



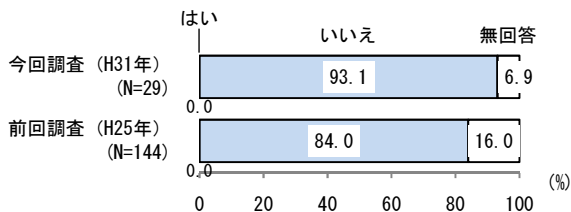
⑨ 育児支援家庭訪問事業対象者



⑩ 子ども家庭センター



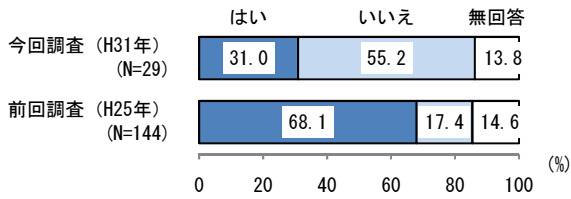
⑪ ファミリー・サポート・センター



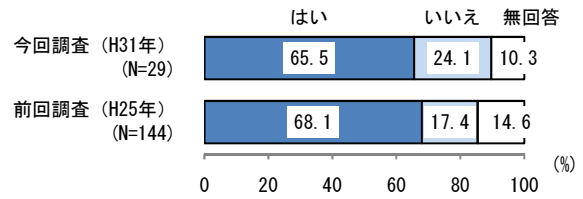
利用経験は、「地域子育て支援拠点」「保育所や幼稚園の園庭などの開放」「マタニティスクール、パパママ教室」で5割前後となっています。

C 今後の利用意向（今後利用したい）

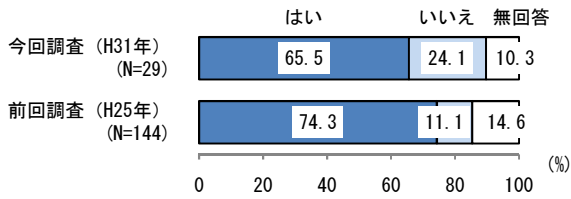
① マタニティスクール、パパママ教室



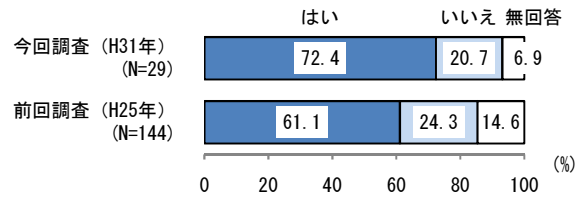
② 保健師栄養士による相談



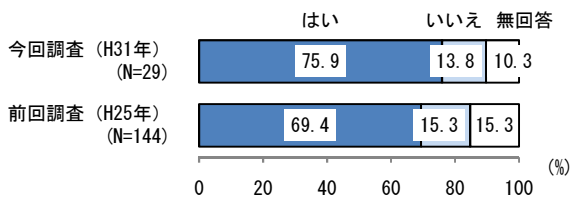
③ こんにちは赤ちゃん事業



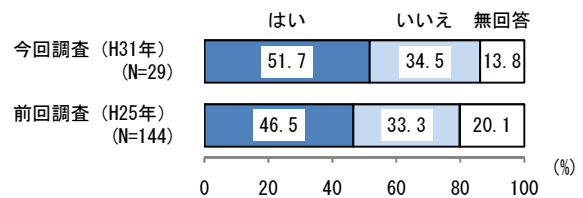
④ 地域子育て支援拠点



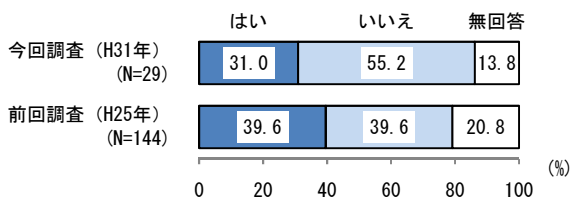
⑤ 保育所や幼稚園の園庭などの開放



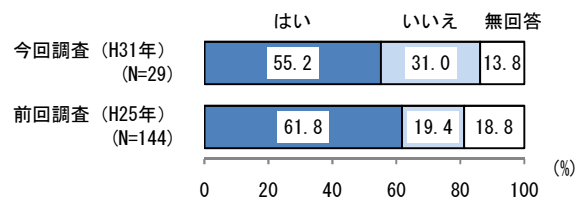
⑥ 家庭教育に関する学級・講座



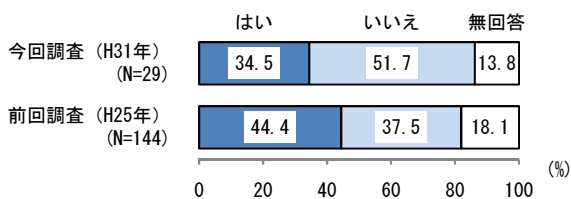
⑦ 家庭児童相談室



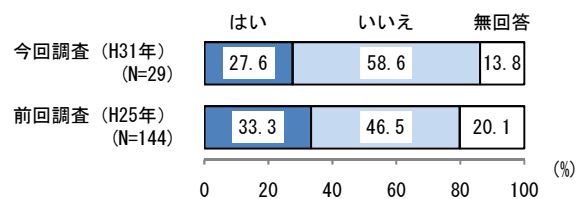
⑧ 市が発行する子育て支援情報ブック



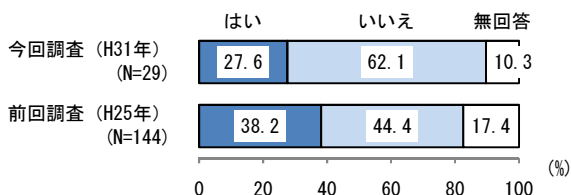
⑨ 育児支援家庭訪問事業対象者



⑩ 子ども家庭センター



⑪ ファミリー・サポート・センター



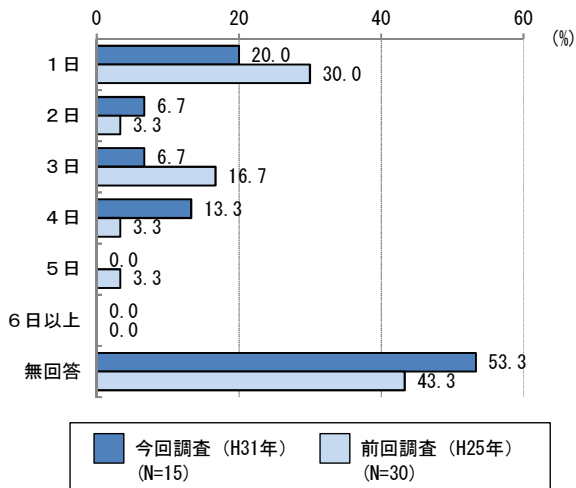
今後の利用意向は、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」「地域子育て支援拠点」で7割以上と多くなっています。

〔2〕地域子育て支援拠点事業の利用頻度

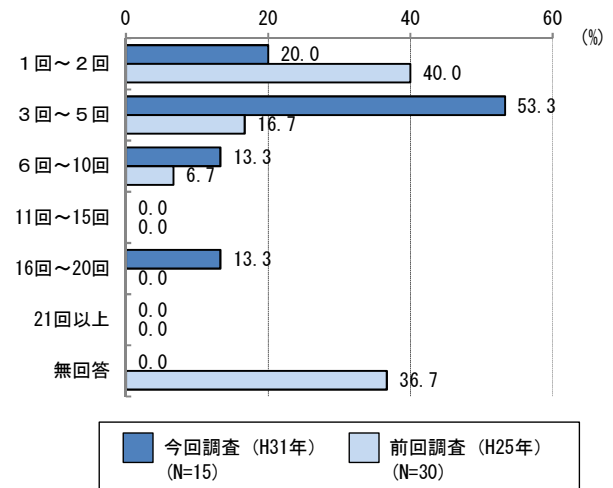
問27の④地域子育て支援拠点のB（利用経験）で「はい」に○をつけた方のみ

問28 あなたは、これまでどのくらいの頻度で地域子育て支援拠点事業を利用しましたか。枠内に具体的な数字を記入ください。

■ 1週間当たりの利用日数



■ 1ヶ月あたりの利用回数



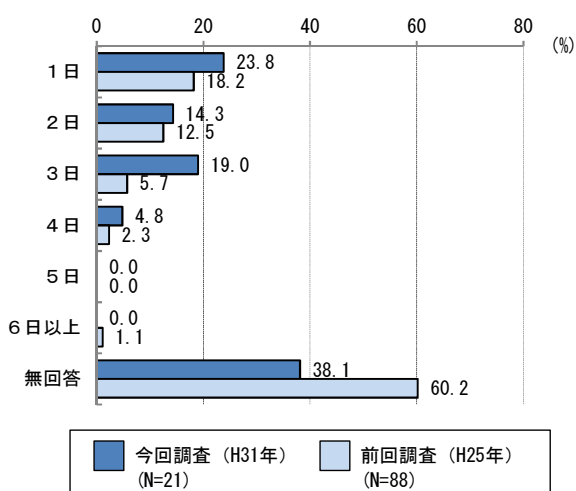
地域子育て支援拠点を「利用したことがある」方の、1週間あたりの利用日数は、「1日」が20.0%と最も多く、1ヶ月あたりの利用回数は、「3回～5回」が53.3%と最も多くなっています。

〔3〕地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

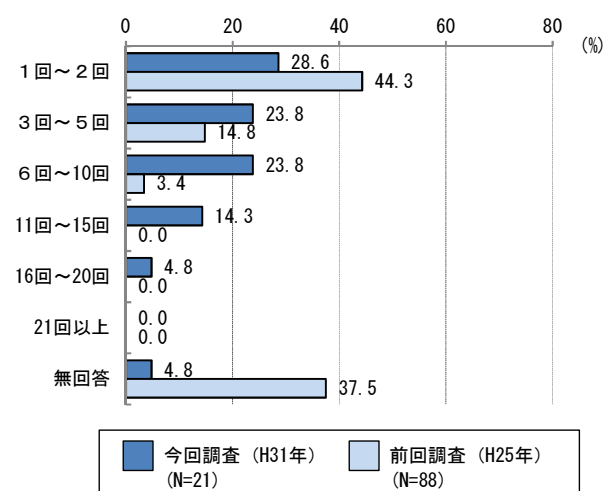
問27の④地域子育て支援拠点のC（利用意向）で「はい」に○をつけた方のみ

問29 あなたは、妊娠中のお子さんとは今後どの程度の頻度で地域子育て支援拠点事業を利用したいと思いますか。枠内に具体的な数字を記入ください。

■ 1週間当たりの利用日数



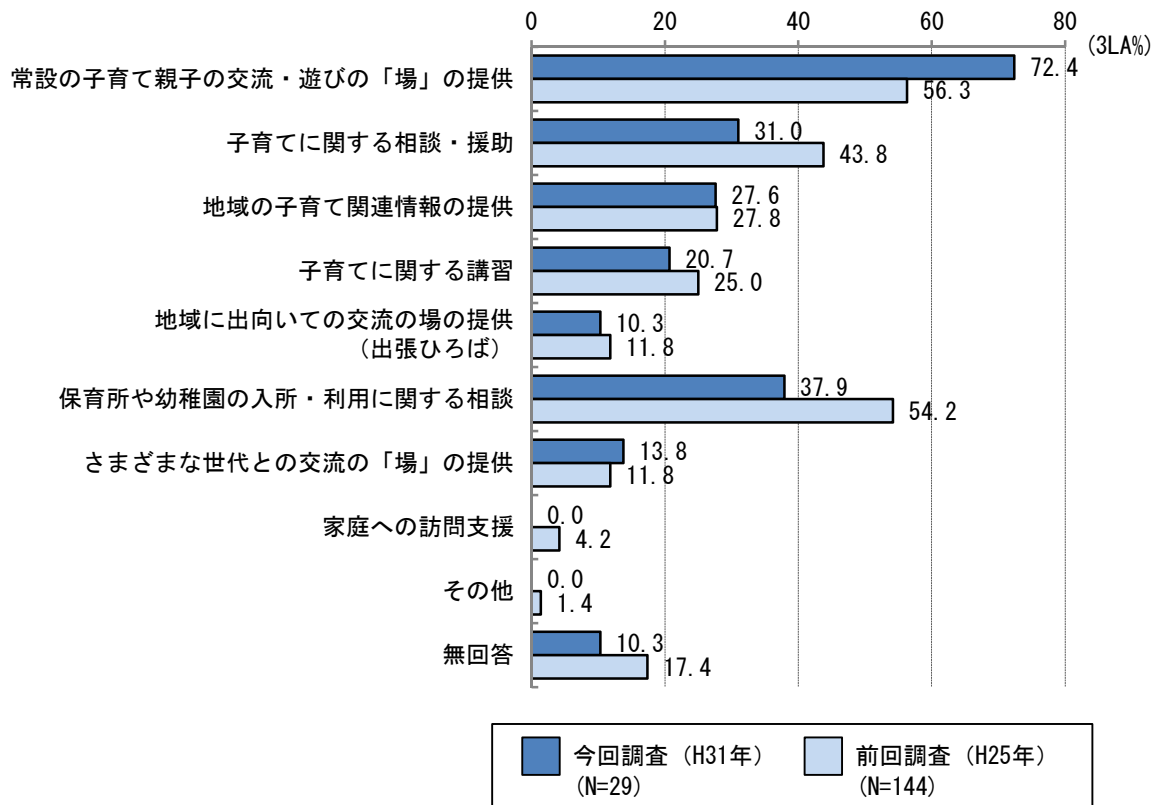
■ 1ヶ月あたりの利用回数



地域子育て支援拠点を「今後利用したい」方の、1週間あたりの利用日数は、「1日」が23.8%と最も多く、1ヶ月あたりの利用回数は、「1回～2回」が28.6%と最も多くなっています。

〔4〕 地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス

問30 地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。
 なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

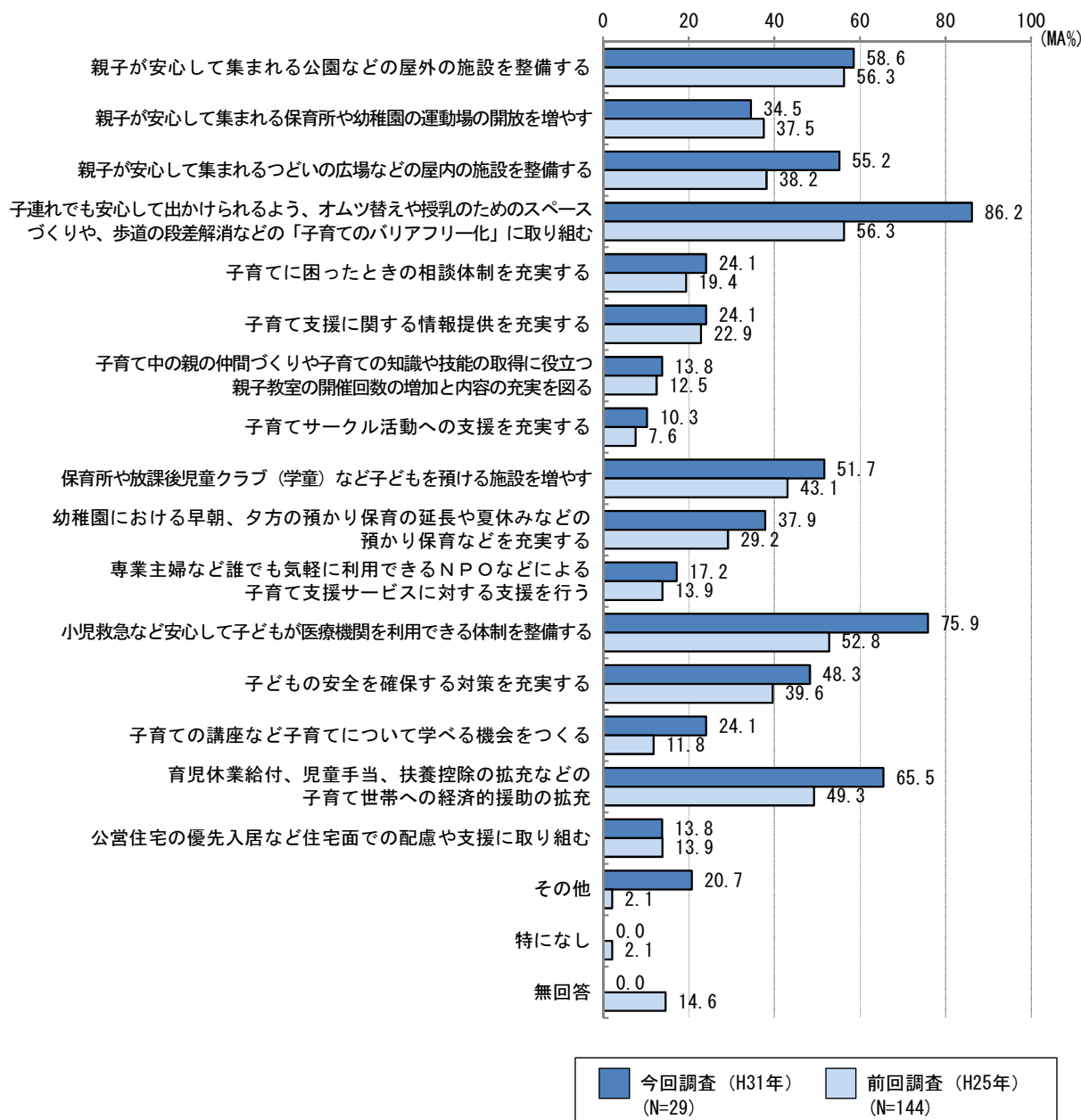


地域子育て支援拠点事業で利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流・遊びの「場」の提供」が 72.4%と最も多く、次いで、「保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談」が 37.9%となっています。

7 市への要望

〔1〕 充実してほしい子育て支援策

問31 市や府、国に対して、これから子育てしていく際に、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



市や府、国に対して充実してほしい子育て支援策は、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」が 86.2%と最も多く、次いで、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が 75.9%、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が 65.5%となっています。

調 査 票

松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査

(就学前児童用調査票)

この調査に関するお問い合わせは、こちらまで
松原市役所 福祉部 子ども未来室
電話072-337-3118

回答される前にお読みください

松原市では、平成27年3月に、一人ひとりの子どもが健やかに育ち、社会の一員として成長することができる環境を整備することを目的とした子ども・子育て支援法に基づく「松原市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。

このたび、計画の見直しにあたり、市民のみなさんが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や、施策に対する意向を把握するための調査を実施することとなり、市内にお住まいの就学前のお子さんがおられるご家庭を対象に、1,800人を無作為に選ばせていただきました。お忙しいとは存じますが、調査用紙にご回答いただき、同封の返送用封筒(切手不要)に入れて、**1月31日(木)**までにご投函ください。

調査の結果は統計的に処理し、本市の子ども・子育て支援事業施策の推進目的以外には使用いたしません。お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本市の施策の向上のため、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成31(2019)年1月
松原市

ご記入にあたってのお願い

- ・アンケートは、お子さんの保護者の方が、特にことわりのある場合を除き封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ・ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- ・選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- ・数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時は18時)でご記入ください。
- ・設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問へお進みください。

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

問 8 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | |

問 9 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 5. いずれもない |

問 10 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. いる／ある →問 10-1 へ | 2. いない／ない →問 11 へ |
|--------------------|-------------------|

【問 10 で「1. いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。】

問 10-1 気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 配偶者 |
| 2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族 |
| 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援センターなどの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体 |
| 6. 保健師 |
| 7. 幼稚園の先生 |
| 8. 保育所の先生 |
| 9. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 10. かかりつけの医師 |
| 11. 市役所の子育て支援担当の窓口 |
| 12. 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 13. キンダーカウンセラー(子育て相談を行うため幼稚園に配置された臨床心理士など) |
| 14. スマイルサポーター(私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員) |
| 15. その他 () |

※**子育て支援センターなどの子育て支援施設**…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、松原市では「なごみのひろば」「わいわいひろば」「キラキラひろば」「子育て支援センターのびのび」「子育て支援センターわくわく」「子育て支援センターともだち広場」「子育て支援センターぴい～す KIDS」「子育て支援センターNICO(ニコ)ひろば」「子育て支援センターあいあい・あいあいひろば」が該当します。

問 11 お子さんの子育てや教育のために、身近な人、市役所の職員などからどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

【問 15 で「5」または「6」を選ばれた方におうかがいします。】

問 17 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2」または「3」を選ばれた方は、枠内に具体的な数字を入れてください。

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）→問 18 へ | } →問 17-1 へ |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったころに働きたい | |
| 3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい | |
| →希望する働き方 | |
| 〔 ア. フルタイム | 〕 |
| イ. パート・アルバイトなど | |
| →1週あたり() 日 | 1日あたり() 時間 |

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労

「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

【問 17 で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 17-1 働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 働かないと、暮らしていけなくなるため |
| 2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど） |
| 3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため |
| 4. 人間関係を広げたいため |
| 5. その他() |

【問 18 で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。】

問 18-2 あなたが現在利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように 24 時間制で記入してください。

(1) 現在

1 週あたり () 日
1 日あたり () 時間 (:) ~ (:)

(2) 希望

1 週あたり () 日
1 日あたり () 時間 (:) ~ (:)

【問 18 で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。】

問 18-3 現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

1. 住んでいる松原市内（自宅を訪問するサービスも含む）
2. 他の市町村 ()

【問 18 で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。】

問 18-4 幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用されている理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が働いている
3. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
4. 保護者がご自身の親や配偶者の親、親せきの介護をしている
5. 保護者に病気や障がいがある
6. 保護者が学生である
7. その他 ()

【問 19-2 で「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。】

問 19-4 病気の子どものために保育施設などを「利用したいと思わない」理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
2. 病気の子どもは家族がみるべきである
3. サービスの質に不安がある
4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5. 利用料がかかる、高い
6. 利用料がわからない
7. 父母が仕事を休んで対応できるため
8. その他（)
9. 特に理由はない

4. 平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについておうかがいします。

すべての方におうかがいします。

問 20 幼稚園や保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの施設やサービスを利用するためには一定の利用料を支払う必要があります。

【教育・保育】

1. 幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらえる）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や民間保育園）
4. 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）
5. 小規模な保育施設（主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの）
6. 家庭的保育（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
7. 事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
8. 企業主導型保育事業（企業が設置する、従業員の子どもを保育する認可外保育施設。地域の子どもが利用できる場合もあります）
9. 市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが市役所が定める基準を満たした施設）
10. その他の認可外の保育施設
11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてるサービス）

【子育て支援】

12. 子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場
13. ファミリー・サポート・センター（市役所に登録している近所の人が子どもをみてるサービス）

【その他】

14. その他（)
15. 特にない

【問20で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、「3」～「13」にも○をつけた方におうかがいします。】

問 20-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 21-1 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定です。無償化が実施された場合、世帯の収入に関わらず、3歳以上の子どもの幼稚園、保育所などの施設やサービスの利用料が月額3万7千円まで（幼稚園は月額2万5700円まで）無償化される予定です（0～2歳児については、住民税非課税世帯のみが、月額4万2千円まで無償化の対象）。また、認可外保育施設や幼稚園の預かり保育等については、保育の必要性の認定を受けた子どもが無償化の対象となる予定です（この内容は確定したものではありません）。

このように、無償化の内容について検討されていることをご存知ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 無償化の内容を知っている | 2. 無償化になることは知っているが内容は知らない |
| 3. 無償化になることを知らない | |

問 21-2 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、問20で選んだ、利用したい平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスは変わりますか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 利用したい施設やサービスは変わらない |
| 2. 異なる施設やサービスを利用したい |
| 3. 利用希望はなかったが、無償化が実施されれば施設やサービスを利用したい |
| 4. 無償化が実施されても、施設やサービスの利用は希望しない |

【問21-2で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 21-3 利用料が無償化された場合、封筒のあて名のお子さんの平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスとして、今後、定期的に利用したいと思う事業は何ですか。あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. <u>幼稚園</u> （通常の就園時間だけ利用） |
| 2. <u>幼稚園+幼稚園の預かり保育</u> （通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう） |
| 3. <u>認可保育所</u> （市役所に申し込んで入る公立保育所や民間保育園） |
| 4. <u>認定こども園</u> （施設の中に幼稚園と保育所がある施設） |
| 5. <u>小規模な保育施設</u> （主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの） |
| 6. <u>家庭的保育</u> （保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス） |
| 7. <u>事業所内保育施設</u> （会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設） |
| 8. <u>企業主導型保育事業</u> （企業が設置する、従業員の子どもの保育する認可外保育施設。地域の子どもが利用できる場合もあります） |
| 9. <u>市役所が認証・認定した保育施設</u> （認可外だが市役所が定める基準を満たした施設） |
| 10. <u>その他の認可外の保育施設</u> |
| 11. <u>居宅訪問型保育</u> （ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてるサービス） |
| 12. <u>ファミリー・サポート・センター</u> （市役所に登録している近所の人が子どもをみてるサービス） |

5. 封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

問 22-1 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制でご記入ください。

なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

（1）土曜日

- | |
|--|
| 1. 利用する必要はない |
| 2. ほぼ毎週利用したい
利用したい時間帯（ : ）～（ : ） |
| 3. 月に1～2回は利用したい
利用したい時間帯（ : ）～（ : ） |

（2）日曜日・祝日

- | |
|--|
| 1. 利用する必要はない |
| 2. ほぼ毎週利用したい
利用したい時間帯（ : ）～（ : ） |
| 3. 月に1～2回は利用したい
利用したい時間帯（ : ）～（ : ） |

【封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。】

問 22-2 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が必要です。

- | |
|--|
| 1. 利用する必要はない |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日使いたい
利用したい時間帯（ : ）～（ : ） |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
利用したい時間帯（ : ）～（ : ） |

6. 育児休業など、仕事と子育ての両立についておうかがいします。

父子家庭の場合は記入不要です。→問 24 へ

問 23 封筒のあて名のお子さんが生まれたときの「母親」の育児休業の取得状況についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「3」または「4」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

1. 働いていなかった →問 24 へ	2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている →問 23-1 へ
3. 育児休業を取らずに働いた ↓ その理由（番号をいくつでも記入）	4. 育児休業を取らずに離職した ↓ その理由（番号をいくつでも記入）
↑	↑

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 出産後すぐに仕事に復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため
11. 職場に育児休業の制度がなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取れることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らなかった
15. その他（ ）

【問 23 で「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 23-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した | →問 23-2 へ |
| 2. 現在も育児休業中である | →問 23-5 へ |
| 3. 育児休業中に仕事をやめた | →問 24 へ |

【問 23-1 で「1」を選ばれた方におうかがいします。】

問 23-2 育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

実際の取得期間	()	歳	()	ヶ月
希望の取得期間	()	歳	()	ヶ月
	1. 満1歳まで			
	2. 出生後最初の4月の一斉入所時			
	3. 出生後2度目の4月の一斉入所時			
	4. その他()			

【問 23-1 で「1」を選ばれた方におうかがいします。】

問 23-3 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。

()	歳	()	ヶ月
-----	---	-----	----

【問 23-2 で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。実際の復帰と希望が同じ方は問 24 へお進みください】

問 23-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

- | |
|--------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他() |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6. その他() |

【問 23-1 で「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 23-5 育児休業を取ったあと、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰する予定ですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

()	歳	()	ヶ月
1. 満1歳まで			
2. 出生後最初の4月の一斉入所時			
3. 出生後2度目の4月の一斉入所時			
4. その他()			

【問 23-1 で「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 23-6 宛名のお子さんが1歳になったときに、子どもを預ける事ができる保育所など、必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

母子家庭の場合は記入不要です。→問 25 へ

問 24 封筒のあて名のお子さんが生まれたときの「父親」の育児休業の取得状況についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「2」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

「3」または「4」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

1. 働いていなかった →問 25 へ	2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている ()日 →問 24-1 へ
3. 育児休業を取らずに働いた ↓ その理由(番号をいくつでも記入)	4. 育児休業を取らずに離職した ↓ その理由(番号をいくつでも記入)
→問 25 へ	→問 25 へ

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育所などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するため
10. 職場に育児休業の制度がなかった
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取れることを知らなかった
13. その他 ()

【問 24 で「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 24-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した →問 24-2 へ
2. 現在も育児休業中である →問 24-5 へ
3. 育児休業中に仕事をやめた →問 25 へ

【問 24-1 で「1」を選ばれた方におうかがいします。】

問 24-2 育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

実際の取得期間	() 歳	() ヶ月
希望の取得期間	() 歳	() ヶ月
	1. 満1歳まで	
	2. 出生後最初の4月の一斉入所時	
	3. 出生後2度目の4月の一斉入所時	
	4. その他 ()	

【問 24-1 で「1」を選ばれた方におうかがいします。】

問 24-3 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。

() 歳	() ヶ月
-------	--------

【問 24-2 で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。実際の復帰と希望が同じ方は問 25 へお進みください】

問 24-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

- | |
|--------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6. その他 () |

【問 24-1 で「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 24-5 育児休業を取ったあと、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰する予定ですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

() 歳	() ヶ月
1. 満1歳まで	
2. 出生後最初の4月の一斉入所時	
3. 出生後2度目の4月の一斉入所時	
4. その他 ()	

【問 24-1 で「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 24-6 宛名のお子さんが1歳になったときに、子どもを預ける事ができる保育所など、必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

すべての方におうかがいします。

問 25 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 平日

母親	父親
子どもと一緒に過ごす時間 () 時間	子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない	1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない

(2) 休日

母親	父親
子どもと一緒に過ごす時間 () 時間	子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない	1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない

問 26 1日あたり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

(1) 母親

() 時間

(2) 父親

() 時間

問 27 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 残業や出張が入ること 2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみってくれる人がいないこと 3. 配偶者の協力が得られないこと 4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと 5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など） 6. 職場の理解や協力が得られないこと 7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと 8. 子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと 9. 子どもと接する時間が少ないこと 10. その他 ()

→封筒のあて名のお子さんが、5歳未満の方は 18 ページの問 32 へ
5歳以上の方は 17 ページの問 28 へ

7. 封筒のあて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問 28 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（ ）日くらい
3. 留守家庭児童会室（学童保育）	週（ ）日くらい
	→ 下校時から（ : ）まで
4. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
5. 青少年会館・松原市民道夢館	週（ ）日くらい
6. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
8. 公民館、図書館	週（ ）日くらい
9. その他（公園など）	週（ ）日くらい

※「留守家庭児童会室（学童保育）」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できますが、松原市では土曜日のみ実施しています。

問 29 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（ ）日くらい
3. 留守家庭児童会室（学童保育）	週（ ）日くらい
	→ 下校時から（ : ）まで
4. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
5. 青少年会館・松原市民道夢館	週（ ）日くらい
6. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
8. 公民館、図書館	週（ ）日くらい
9. その他（公園など）	週（ ）日くらい

【問 32 で「7. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。】

問 32-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない 2. 利用したいサービスが近くにない 3. サービスの質に不安がある 4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない 5. 利用料がかかる、高い 6. 利用料がわからない 7. ご自身がサービスの対象になるのかどうかかわからない 8. 手続きなどサービスの利用方法がわからない 9. その他 ()

問 33 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。
 なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 利用したい →問 33-1 へ	合計 () 日
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	() 日
ウ. 不規則な仕事	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない →問 34 へ	

【問 33 で「1. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。】

問 33-1 問 33 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われ
 ますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。
 なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてるサービス 2. 子育て支援センターなどの施設で子どもをみてるサービス 3. ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてるサービス 4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス 5. その他 ()

問 34 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含まれます。) あったか、なかったかについて、あてはまる番号に○をつけてください。あった場合、その対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、枠内に日数を記入してください。

「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことの有無		泊数(年間)
1. あった		
対処方法	ア. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの)	() 泊
	ウ. イ以外の保育サービス(認可外保育施設、ベビーシッターなど)を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他()	() 泊
2. なかった		

9. 封筒のあて名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についておうかがいします。

問 35 子育て支援センターなどについておうかがいします。現在、子育て支援センターなどを利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

1. 子育て支援センターなど 1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度
2. その他市(町/村)が実施している類似の事業 (具体名:) 1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度
3. 利用していない

※**子育て支援センターなど**…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、松原市では「なごみのひろば」「わいわいひろば」「キラキラひろば」「子育て支援センターのびのび」「子育て支援センターわくわく」「子育て支援センターともだち広場」「子育て支援センターぴい〜す KIDS」「子育て支援センターNICO(ニコ)ひろば」「子育て支援センターあいあい・あいあいひろば」が該当します。

問 36 子育て支援センターなどについて、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい →問 36-1 へ 1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい →問 36-1 へ 1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない →問 37 へ

(5) 就寝時刻は何時ですか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 20時30分より前 | 2. 20時30分以降、21時より前 |
| 3. 21時以降、21時30分より前 | 4. 21時30分以降、22時より前 |
| 5. 22時以降、23時より前 | 6. 23時以降 |

12. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問40 封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配 |
| 2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている |
| 3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない |
| 4. トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 5. 授乳する場所や必要な設備がない |
| 6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない |
| 7. 買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない |
| 8. 緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとuringおいがない |
| 9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る |
| 10. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない |
| 11. その他 () |
| 12. 特にない |

問41 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問42 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 近くに公園など遊び場がない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない |
| 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 公園など遊び場が不衛生である |
| 6. 公園など遊び場がいつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない |
| 10. 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない |
| 13. その他 () |
| 14. 特に感じることはない |

問 43 あなたは、身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. ある
2. 虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある
3. 自分自身に対し思ったことがある
4. ない →問 44 へ | } →問 43-1 へ |
|--|-------------|

【問 43 で「1」から「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 43-1 それは、どのような状況でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子どもをたたいたり、つねったりする
2. 厳しくしつけする
3. 身だしなみが清潔ではない
4. 食事を長時間与えない、子どもを長時間放置する
5. 感情的な言葉を子どもに投げかける
6. 病気になっても病院などに連れて行かない
7. 子どもの激しい泣き声がある
8. その他（) |
|---|

【問 43 で「1」から「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 43-2 その時、あなたはどのように対応しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 市役所、保健センター、家庭児童相談室に相談した（連絡した）
2. 子ども家庭センター（児童相談所）に相談した（連絡した）
3. 民生委員・児童委員などに相談した（連絡した）
4. 警察に相談した（連絡した）
5. 保育所、幼稚園、学校などに相談した（連絡した）
6. 友人・知人に相談した（連絡した）
7. その他（)
8. 特に何もしなかった |
|---|

13. 子育てに対する意識についておうかがいします。

問 44 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 45 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い →問 45-1 へ | } →問 45-2 へ |
| 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい | |
| 3. つらいと感じることの方が多い | } →問 46 へ |
| 4. わからない | |
| 5. その他（) | |

◎ 子育てが「楽しい」「つらい」と感じるときは、どのようなときですか。ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

【問 45 で「1」を選ばれた方におうかがいします。】

問 45-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで ○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 援護を要する子どもに対する支援
12. その他（)

【問 45 で「2」「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 45-2 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで ○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 援護を要する子どもに対する支援
12. その他（)

問 46 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに ○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5. 子どもの教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの登所・登園拒否や不登校など
8. 特にない
9. その他（)

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. その他 ()
13. 特になし

問 47 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

<p>1. <u>感じる</u></p> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%; margin: 0 auto;">(番号を選択)</div>	<p>2. <u>感じない</u></p> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%; margin: 0 auto;">(番号を選択)</div>
---	--

【選択肢】

1. 近所の人
2. 同じ世代の子どもを持つ保護者
3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4. 地域活動を行っているNPOなどの人
5. 幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員
6. 市役所の職員
7. その他 ()

14. その他についておうかがいします。

問 48 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに 1月31日(木)までに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査

(就学児童用調査票)

この調査に関するお問い合わせは、こちらまで
松原市役所 福祉部 子ども未来室
電話072-337-3118

回答される前にお読みください

松原市では、平成27年3月に、一人ひとりの子どもが健やかに育ち、社会の一員として成長することができる環境を整備することを目的とした子ども・子育て支援法に基づく「松原市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。

このたび、計画の見直しにあたり、市民のみなさんが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や、施策に対する意向を把握するための調査を実施することとなり、市内にお住まいの小学生のお子さんがおられるご家庭を対象に、1,000人を無作為に選ばせていただきました。お忙しいとは存じますが、調査用紙にご回答いただき、同封の返送用封筒(切手不要)に入れて、**1月31日(木)**までにご投函ください。

調査の結果は統計的に処理し、本市の子ども・子育て支援事業施策の推進目的以外には使用いたしません。お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本市の施策の向上のため、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成31(2019)年1月
松原市

ご記入にあたってのお願い

- ・アンケートは、お子さんの保護者の方が、特にことわりのある場合を除き封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ・ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- ・選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- ・数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時は18時)でご記入ください。
- ・設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問へお進みください。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【問8で「1. いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。】

問 8-1 気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者
2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 小学校の先生
6. スクールカウンセラー
7. 留守家庭児童会室(学童保育)の指導員
8. NPOなどの子育て支援団体や青少年会館
9. ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾などの習い事の先生
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員
11. かかりつけの医師
12. 市役所の教育相談の窓口
13. 携帯電話やインターネットの交流サイト
14. その他()

※「留守家庭児童会室(学童保育)」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

問 9 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

父子家庭の場合は記入不要です。→問12へ

- | | | |
|--|---|--------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイムで働いている 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中) 3. アルバイトなどで働いている 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中) 5. 以前は働いていたが、今は働いていない 6. これまで働いたことがない | } | →問9-1へ |
| | } | →問11へ |

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

【問9で「1」から「4」を選ばれた方におうかがいします。】

問 9-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週あたり()日 1日あたり()時間

【問9で「1」から「4」を選ばれた方におうかがいします。】

問 9-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(18:00)のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間(:) 帰宅時間(:)

【問9で「3」または「4」を選ばれた方におうかがいします。】

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

【問9で「5」または「6」を選ばれた方におうかがいします。】

問11 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2」または「3」を選ばれた方は、枠内に具体的な数字を入れてください。

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）→問12へ
 2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
- } →問11-1へ
- 希望する働き方
- (ア. フルタイム
 イ. パート・アルバイトなど)
- 1週あたり()日 1日あたり()時間

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

【問11で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問11-1 働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他()

問12 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

母子家庭の場合は記入不要です。→問15へ

1. フルタイムで働いている
 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
 3. パート・アルバイトなどで働いている
 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
 5. 以前は働いていたが、今は働いていない
 6. これまで働いたことがない
- } →問12-1へ
 } →問14へ

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

【問12で「1」から「4」を選ばれた方におうかがいします。】

問12-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週あたり()日 1日あたり()時間

【問 19-1 で「1」「2」を選ばれた方におうかがいします。】

問 19-2 子どもの病気のために仕事を休んだ際、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。

なお、病気の子どものための保育施設などを利用するには、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい → () 日 |
| 2. 利用したいと思わない |

問 20-1 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。)あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数(年間)
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日
2. ファミリー・サポート・センターを利用した (市役所に登録している近所の人子どもをみてるサービス)	() 日
3. 夜間養護事業：トワイライトステイ (仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	() 日
4. 家事育児代行サービス(ベビーシッター)を利用した	() 日
5. その他()	() 日
6. 預けるようなことはなかった	

問 20-2 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)あったか、なかったかについて、あてはまる番号に○をつけてください。あった場合、その対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、枠内に日数を記入してください。

「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことの有無		泊数(年間)
1. あった		
対 処 方 法	ア. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの)	() 泊
	ウ. イ以外の保育サービス(家事代行サービスなど)を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他()	() 泊
2. なかった		

4. 仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問 21 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 平日

母親	父親
子どもと一緒に過ごす時間 () 時間	子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない	1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない

(2) 休日

母親	父親
子どもと一緒に過ごす時間 () 時間	子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない	1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない

問 22 1日あたり、家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

(1) 母親

() 時間

(2) 父親

() 時間

問 23 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 残業や出張が入ること 2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと 3. 配偶者の協力が得られないこと 4. ご自身の親や配偶者の親などの理解が得られないこと 5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など） 6. 職場の理解や協力が得られないこと 7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと 8. 子どもを預かってくれる留守家庭児童会室（学童保育）などがみつからないこと 9. 子どもと接する時間が少ないこと 10. その他 ()

5. 市役所などへの要望についておうかがいします。

問 24 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれる「なごみのひろば」「わいわいひろば」「キラキラひろば」などの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出掛けられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や留守家庭児童会室（学童保育）など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他（)
18. 特にない

6. 封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問 25 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 食べる日のほうが多い |
| 3. 食べない日のほうが多い | 4. ほとんど食べない |

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 30分以内 | 2. 1時間以内 |
| 3. 1時間30分以内 | 4. 2時間以内 |
| 5. 2時間以上 | |

(4) 起床時刻は何時ですか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 6時より前 | 2. 6時以降、6時30分より前 |
| 3. 6時30分以降、7時より前 | 4. 7時以降、7時30分より前 |
| 5. 7時30分以降、8時より前 | 6. 8時以降 |

(5) 就寝時刻は何時ですか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 20時30分より前 | 2. 20時30分以降、21時より前 |
| 3. 21時以降、21時30分より前 | 4. 21時30分以降、22時より前 |
| 5. 22時以降、23時より前 | 6. 23時以降 |

7. 封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方についておうかがいします。

問 26 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで記入してください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 平日 14時～16時まで () | 2. 平日 16時～18時まで () |
| 3. 平日 18時～20時まで () | 4. 平日 20時以降 () |
| 5. 休日 () | |

【選択肢】

- | |
|-------------------------------|
| 1. 授業などで学校にいる |
| 2. 留守家庭児童会室（学童保育）で過ごす |
| 3. 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす |
| 4. 家事育児代行サービス（ベビーシッター）などを利用する |
| 5. 家や公園などで友だちと過ごす |
| 6. 図書館など公共の施設にいる |
| 7. 地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動） |
| 8. 学習塾や習い事へ行く |
| 9. 家で、ひとりで勉強などをする |
| 10. その他 () |

8. 封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加などについておうかがいします。

問 27 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 体験をしやすいと思う | 2. 体験をしやすいとは思わない |
| 3. どちらでもない | 4. わからない |

問 28 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. スポーツ活動 | } →問 29 へ |
| 2. 文化芸術活動 | |
| 3. ボランティア活動 | |
| 4. 体験学習活動（ものづくり体験など） | |
| 5. 野外活動（キャンプなど） | |
| 6. 社会福祉活動（高齢者訪問など） | |
| 7. 国際交流活動（ホームステイなど） | |
| 8. 青少年団体活動（こども会活動など） | |
| 9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など） | |
| 10. 環境教育活動（自然観察など） | |
| 11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など） | |
| 12. その他（) | |
| 13. 参加したことがない →問 28-1 へ | |

【問 28 で「13. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。】

問 28-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 活動に関する情報がなく参加しにくい |) |
| 2. 知り合いなどがおらず参加しにくい | |
| 3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある | |
| 4. 参加の時間帯が合わない | |
| 5. 費用がかかる | |
| 6. 活動の内容に興味や関心がない | |
| 7. その他（) | |

問 29 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. スポーツ活動 |) |
| 2. 文化芸術活動 | |
| 3. ボランティア活動 | |
| 4. 体験学習活動（ものづくり体験など） | |
| 5. 野外活動（キャンプなど） | |
| 6. 社会福祉活動（高齢者訪問など） | |
| 7. 国際交流活動（ホームステイなど） | |
| 8. 青少年団体活動（こども会活動など） | |
| 9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など） | |
| 10. 環境教育活動（自然観察など） | |
| 11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など） | |
| 12. その他（) | |

9. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問 30 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問 31 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 近くに公園など遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 公園など遊び場が不衛生である
6. 公園など遊び場がいつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10. 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない
11. 遊び場周辺の道路が危険である
12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない
13. その他 ()
14. 特に感じることはない |
|---|

問 32 あなたは、身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. ある
2. 虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある
3. 自分自身に対し思ったことがある
4. ない →問 33 へ | } →問 32-1 へ |
|--|-------------|

【問 32 で「1」から「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 32-1 それは、どのような状況でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもをたたいたり、つねったりする
2. 厳しくしつけする
3. 身だしなみが清潔ではない
4. 食事を長時間与えない、子どもを長時間放置する
5. 感情的な言葉を子どもに投げかける
6. 病気になっても病院などに連れて行かない
7. 子どもの激しい泣き声がする
8. その他 () |
|--|

【問 34 で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。】

問 34-2 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 留守家庭児童会室（学童保育）の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
4. 子どもの教育環境
5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8. 援護を要する子どもに対する支援
9. その他（)

問 35 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5. 子どもの教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの不登校など
8. 特にない
9. その他（)

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. 特にない
13. その他（)

松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査

(妊娠中の方の調査票)

この調査に関するお問い合わせは、こちらまで
松原市役所 福祉部 子ども未来室
電話072-337-3118

回答される前にお読みください

松原市では、平成27年3月に、一人ひとりの子どもが健やかに育ち、社会の一員として成長することができる環境を整備することを目的とした子ども・子育て支援法に基づく「松原市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。

このたび、計画の見直しにあたり、市民のみなさんが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や、施策に対する意向を把握するための調査を、市内にお住まいの妊娠中の方を対象に実施することとなりました。お忙しいとは存じますが、調査用紙にご回答いただき、同封の返送用封筒(切手不要)に入れて、**1月31日(木)**までにご投函ください。

調査の結果は統計的に処理し、本市の子ども・子育て支援事業施策の推進目的以外には使用いたしません。お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本市の施策の向上のため、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成31(2019)年1月
松原市

ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- ・選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- ・数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時は18時)でご記入ください。
- ・設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問へお進みください。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【問4の(1)または(2)で「3」または「4」に○をつけた方におうかがいします。】

問5 あなたは、フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) あなた自身について

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 配偶者（事実婚を含む）の方について

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

【問4の(1)または(2)で「5」または「6」に○をつけた方におうかがいします。】

問6 あなたは、いずれ働きたいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。

(1) あなた自身について

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったころに働きたい
 3. 出産後、すぐにでも働きたい
- 希望する働き方
- | | |
|---|------------------------------|
| { | ア. フルタイム（1週間5日程度、1日8時間程度の就労） |
| | イ. パート・アルバイトなど |
- 1週あたり（ ）日 1日あたり（ ）時間

(2) 配偶者（事実婚を含む）の方について

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったころに働きたい
 3. 出産後、すぐにでも働きたい
- 希望する働き方
- | | |
|---|------------------------------|
| { | ア. フルタイム（1週間5日程度、1日8時間程度の就労） |
| | イ. パート・アルバイトなど |
- 1週あたり（ ）日 1日あたり（ ）時間

3. 育児に関する悩みや不安感などについておうかがいします。

問 13 市で実施しているマタニティ・スクールや日曜日実施のパパママ教室に参加したことがありますか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 参加している（参加したことがある） →問 14 へ
2. 参加したことがない →問 15 へ

【問 13 で「1. 参加している（参加したことがある）」に○をつけた方におうかがいします。】

問 14 参加した感想はいかがでしたか。あてはまる番号 す べてに○をつけてください。

1. 妊婦同士の交流の場となりよかった
2. 妊娠・出産についての情報や知識が得られてよかった
3. 妊娠・出産についての相談の機会が得られてよかった
4. 病院・診療所についての情報が得られてよかった
5. 地域についての情報が得られてよかった
6. 助産師や栄養士などからアドバイスをもらえてよかった
7. 地域の妊婦同士や先輩ママと知り合いになれてよかった
8. あまり参考とならなかった（理由： ）
9. その他（ ）
10. 特にない

【問 13 で「2. 参加したことがない」に○をつけた方におうかがいします。】

問 15 参加したことの無い理由は何ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 時間的に余裕がないから
2. 仕事が休めないから
3. 実施場所が遠距離なため
4. 必要がないから
5. 知らなかった
6. 初めての妊娠のため
7. その他（ ）

問 16 出産・育児に関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号 す べてに○をつけてください。

1. 親族（親・きょうだいなど）
2. 隣近所の人、知人、友人等
3. サークルの仲間
4. 病院などの医師・看護師・助産師等
5. 職場の同僚
6. 市役所の窓口
7. 保育所や幼稚園の先生
8. 子育て支援センターなどの子育て支援施設
9. テレビ・ラジオ・新聞
10. 市の広報やパンフレット
11. 情報の入手方法がわからない
12. インターネット
13. その他（ ）

問 17 あなたの妊娠や出産について困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊婦同士の交流の場が身近にないこと
2. 妊娠・出産について情報や知識が入手しにくいこと
3. 妊娠・出産についての相談相手が身近にいないこと
4. 上の子どもを見てくれる人がいないこと
5. 家事・育児の協力者がいないこと
6. 医療機関の情報が入手しにくいこと
7. 妊娠・出産に伴う費用（定期検診・分娩・入院などの費用）の負担が厳しいこと
8. 特にない
9. その他（)

問 18 あなたは、出産やその後の育児に関して不安感や負担感を感じることはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 2. 何となく不安や負担を感じている |
| 3. あまり不安や負担を感じない | 4. まったく感じない |
| 5. なんともいえない | |

問 19 あなたは、出産・育児に関して気軽に相談できる人や場所はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親や家族
2. 友人、知人
3. マタニティ・スクールやパパママ教室等で知り合った地域の仲間
4. 近所の人
5. 子育て支援施設や NPO などの子育て支援団体
6. 保育所や幼稚園の先生
7. 医師・看護師・助産師・保健師
8. 民生委員・児童委員
9. 市役所の子育て支援担当の窓口
10. 携帯電話やインターネットの交流サイト
11. その他（)
12. 相談する必要がない
13. 相談相手がいない

4. 仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問 20 あなたは、現在妊娠されているお子さんの出産に伴い、育児休業制度を利用する予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

また、「2. 利用しない（利用できない）」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

1. 利用する →問 20-1 へ	2. 利用しない（利用できない） →問 21 へ
3. 働いていない →問 22 へ	その理由（番号をいくつでも記入）

【選択肢】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある
2. 仕事が忙しい
3. （産休後に）仕事に早く復帰したい
4. 仕事に戻るのが難しそう
5. 昇給・昇格などが遅れそう
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができそう
8. 配偶者が育児休業制度を利用する
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がない
10. 子育てや家事に専念するために退職した
11. 職場に育児休業の制度がない（就業規則に定めがない）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たしていない
13. 育児休業を取得できることを知らない
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

【問 20 の「1. 利用する」に○をつけた方におうかがいします。】

問 20-1 あなたが予定している育児休業の期間はどの程度ですか。

出産後から（ ）年（ ）ヶ月

問 21 あなたは、短時間勤務制度を利用したいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない（制度がない） |
|----------|-------------------|

6. 子育て支援サービスについておうかがいします。

問 27 あなたは、下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービスの種類	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後 利用したい
①マタニティスクール、パパママ教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健師・栄養士による相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③こんにちは赤ちゃん事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④地域子育て支援拠点（身近な地域における相談や親同士の交流の場：子育て支援センター・なごみのひろば・わいわいひろば・キラキラひろばなど）	はい いいえ	はい いいえ ↳ 問28へ	はい いいえ ↳ 問29へ
⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦家庭児童相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧市が発行する子育て支援情報ブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨育児支援家庭訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩子ども家庭センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪ファミリー・サポート・センター （会員制による児童の一時預かりを中心とした市民の互助援助活動）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

【問27の④のBで「はい」に○をつけた方におうかがいします。】

問 28 あなたは、これまでどのくらいの頻度で地域子育て支援拠点事業を利用しましたか。枠内に具体的な数字を記入ください。

1週間あたり（ ）日 または 1ヶ月あたり（ ）回程度

【問27の④のCで「はい」に○をつけた方におうかがいします。】

問 29 あなたは、妊娠中のお子さんとは今後どの程度の頻度で地域子育て支援拠点事業を利用したいと思いますか。枠内に具体的な数字を記入ください。

1週間あたり（ ）日 または 1ヶ月あたり（ ）回程度

問 30 地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 常設の子育て親子の交流・遊びの「場」の提供
2. 子育てに関する相談・援助
3. 地域の子育て関連情報の提供
4. 子育てに関する講習
5. 地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）
6. 保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談
7. さまざまな世代との交流の「場」の提供
8. 家庭への訪問支援
9. その他（)

7. 市への要望についておうかがいします。

問 31 市や府、国に対して、これから子育てしていく際に、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や放課後児童クラブ（学童）など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他（)
18. 特になし

松原市子ども・子育て支援に関する ニーズ等調査 結果報告書

発行 : 松原市 福祉部 こども未来室
住所 : 〒580-8501
大阪府松原市阿保1丁目1番1号
TEL : 072-337-3118
FAX : 072-334-5959